

平成 7 年度 (1995年)

講義概要

白鷗女子短期大学

学籍 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

講義概要タイトル表示について

一般教育科目
全：保健体育科目
外国語科目

目次区分

全	：一般教育、保健体育、外国語科目	(P 1)
英	：英語科専門科目	(P 23)
教	：英語科教職に関する科目	(P 58)
幼	：幼児教育科、幼児教育科第二部専門科目	(P 65)
経	：経営科専門科目	(P108)
専	：専攻科幼児教育専攻専門科目	(P152)

英：英語科専門科目

教：英語科教職に関する科目

目次No.

全	1	① 哲学	英・幼 経・専	選 2 単位	的 場 哲 朗
---	---	------	------------	--------	---------

幼：幼児教育科
幼児教育科第二部
専門科目

科目名

開設学科

担当者名

選択・必修等の表示
 通年・半期科目の表示
 単位数の表示
 選 2 単位(選択半期 2 単位)
 必修 2 単位(必修通年 2 単位)

経：経営科専門科目

専：専攻科幼児教育
専攻専門科目

95年度開講

一般教育科目・保健体育科目・外国語科目 目次

区分	全No	授 業 科 目 名	備 考	
一 般 教 育 科 目	人文科学系	1 哲 学	英・経に開講	
		2 歴 史		
		3 文 学		
		4 音 楽		
		5 美 術		
		6 地 理		
		7 造 形 文 化 論		幼・幼二に開講
	社会科学系	8 法 学	幼二部休講	
		9 休 講		
		11 社 会 学		
		12 経 済 学		
		13 教 育 学		
		14 心 理 学 I		幼二部93年度生は「心理学」 幼二部：94年度生「心理学I」、93年度生「心理学」
	自然科学系	15 自 然 科 学 概 論	幼二部休講	
		16 数 学		
		17 統 計 学		
		18 生 物 環 境 論		英・経に開講
		19 生 物 環 境 論 [幼]		幼・幼二に開講
	総合	20 テ ー マ 講 座		
		21 随 意 科 目		
	保健体育	22 ス ポ ー ツ と 健 康		
外 国 語	23 英 語	留学生対象		
	24 ド イ ツ 語			
	25 フ ラ ン ス 語			
	26 ス ペ イ ン 語			
	27 中 国 語			
	28 日 本 語			
保健体育	理論 実技	22 保 健 体 育 講 義 体 育 実 技	幼二部93年度生対象	

☆ (注)「幼児教育科・幼児教育科第二部」の一般教育・保健体育・外国語科目の開
設学科にある〔幼・幼二〕は「幼免選」「保母選△」科目

全 7	①哲学	英・幼 経・紅	選 2単位	的 場 哲 郎
--------	-----	------------	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

哲学と芸術は不思議なつながりをもつとしか思えない。

何といっても有名なのは、ニーチェとワグナーの場合だろう。しかしこの点では、ヘーゲルやハイデッガーやアドルノなども——その主張はたがいに異なっているにもかかわらず——まったく変わりが無い。日本でも、九鬼周造や和辻哲郎のすぐれた作品が知られている。哲学は理論ではなくて芸術の問題ではないのだろうか。芸術の光学によって哲学は語られるべきではないだろうか——この疑問が本講の出発点をなす。

わたしは、この不思議なつながりを何とか模索したいと考えているが、受講者も一緒に考えてもらいたい。ともあれ、本講は、哲学だけでなく芸術や文化史などに関心をもつ学生も歓迎したい。

最初の数時間はまず、ソクラテスの奇妙ななぞを紹介し、このなぞ解きをいろいろな角度から試みる。ついで、このなぞ解きを出発点にして、代表的な西欧哲学を紹介し、現代哲学の展望も試みたい。これは一応、簡単な哲学入門という意味をもつ。したがって、受講者は哲学についての特別な予備知識など必要なく、哲学のなぞに興味をもっていただければ十分である。

本論では、ハンス・コルネリウスというドイツの哲学者を選ぶことにする。かれの著作を手掛かりにして、〈哲学と芸術〉のつながりを嗅ぎ出すのである。

コルネリウスは今日、ホルクハイマーやアドルノを育てた“フランクフルト学派の父”としてしか知られていないと思われるが、その実、今世紀初頭のミュンヘン芸術に大きな寄与をなし、優れた芸術教育論も著している。そればかりか、かれの影響は、現象学派や実存主義にも及んでいるのである。本講はかれの芸術教育論を紹介しながら、上記のなぞに迫りたい。

基本テーマは、“哲学と芸術の不思議なつながり”であるが、このなぞに迫るための予備知識も教授する。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

19世紀から20世紀にかけての芸術運動や哲学の動き、またミュンヘンやドレスデンといったドイツの都市にも関心をもってもらえるとうれしい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

ニーチェ『ツアラトウストラはこう言った』（上下）
岩波文庫

〔指定参考図書〕

全 2	①歴史	英・幼 経・紅	選 2単位	福 島 正 義
--------	-----	------------	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

歴史学を学ぶ意義は、過去の歴史を回顧することによって、現代社会を正しく理解し、未来を展望する能力を身につけることにあると思う。そのため、まず歴史を科学的、実証的に研究することが大切である。そこで皆さんの歴史的思考力を一段と高次なものにする視点で講義をするつもりである。

テーマは「日本における古代国家の成立過程」

〔授業計画と内容〕

講義内容としては、1～2世紀における小国家分立の状況、邪馬台国と女王卑弥呼の支配、大和王権の成立と古墳文化、倭の五王と河内王朝、大化前代における氏族制度、聖徳太子とその政治理想、蘇我氏の勢力、磐井の反乱、東アジア諸国の情勢、大化元年のクーデター、大化の改新の開始、改新の詔、改新政治の実施、大化の改新の評価、律令体制の成立等を具体的に述べたいと思っている。

〔履修のポイント・注意点〕

講義はできるだけ分かりやすく、また興味ある話題を取り上げるようにするので、学生諸君は授業に積極的に参加して、ともに歴史学を研究する喜びを体験してもらいたい。

〔成績評価の方法〕

期末に筆記試験をおこなう。

〔使用テキスト〕

特に指定しない。

〔指定参考図書〕

授業中に指示したい。

全 5	①文 学	英・幼 経・紅	選 2単位	粒 来 哲 蔵
--------	------	------------	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

つねに自分自身に誠実であろうとし、他人のためにもそう在りたいと願った宮沢賢治という男の生き方は決して器用なものではありませんでした。しかし彼が自らの文学を通してともし続けた灯は、始めは吊りランプほどの明るさでしたが、最近では光域がひろがり、それは海の向こうにまで及ぶようになりました。

おそらく幼い頃、皆さんは「セロ弾きのゴーシュ」を読み、「風の又三郎」の映画やアニメーションに触れて来たかと思います。その賢治体験をおし進め、彼の詩的世界のまっただ中に自分を置いてみて、はたしてその時皆さんの青春は、賢治のイメージとかがわつてどのような光を放つのか、いかなる輝きを所有することができるのか ― を確かめてほしいと思います。

もちろんそれは皆さんの歴史に詩的光彩を投げかけるだけにとどまりません。やがては皆さんにまつわりつく幼児達のために、更には皆さんの両腕の中でほほ笑む赤子のために、彼のポエジーは顔を含んで鳴り響くでしょう。吹雪の夜の、とおいとおい潮騒のように…。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 講義内容と受講の仕方の説明
- 第2週 「雨ニモマケズ」の虚美の彼方へ
- 第3週 「雨ニモマケズ」のパロディ
- 第4週 童話「なめとこ山のくま」の批判読み1
- 第5週 童話「なめとこ山のくま」の批判読み2
- 第6週 童話「なめとこ山のくま」の批判読み3
- 第7週 動物童話の制作
- 第8週 「永訣の朝」 読みと鑑賞
- 第9週 「松の針」 読みと鑑賞
- 第10週 「無声慟哭」読みと鑑賞
- 第11週 「無声慟哭」詩篇と「オホーツク挽歌」
- 第12週 アニメ映画「セロ弾きのゴーシュ」鑑賞
- 第13週 原作とアニメ「セロ弾きのゴーシュ」の比較と批評

〔履修のポイント・注意点〕

1つの童話、1篇の詩は、賢治の全作品の中で在るべきところに位置づけられ、その位置で他作とかがわりながら光っています。

従って1つの童話、1篇の詩を自らのものとするために、テキストの全文読みが必須の条件となるでしょう。

〔成績評価の方法〕

毎週出席票を提出させ、出席回数を成績評価の1助とします。講義中は受講メモをとらせ、試験問題はそ

の概要を予告します。また作文等の文章表現を試験と同等の位置で評価します。

〔使用テキスト〕

「宮沢賢治」（ちくま日本文学全集文庫版）
宮沢賢治著 筑摩書房刊 定価1,000円

〔指定参考図書〕

「宮沢賢治」吉本隆明著 筑摩書房刊 定価2,160円
「宮沢賢治ふたたび」中村 稔著
思潮社刊 定価2,400円

全 4	④音楽	英・幼 経・Ⅱ	選 2単位	前川 滋子
--------	-----	------------	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

西洋音楽史から18世紀をとり上げる。この世紀の前半にはバッハ、ヘンデルが活躍し、後の四半世紀にハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンが登場する音楽史上最も豪華な顔ぶれによる舞台が展開された時代である。バロックから古典派へ、音楽様式の大きく変化した時代でもある。偉大な音楽家の業績を辿り、その作品を鑑賞することを通じて、クラシック音楽の真の美しさと楽しさを受講生に伝えたい。さらに、バロックから古典派への音楽様式上の変化についても充分な理解を得られるよう留意して、講義を進めたい。

バッハ、ヘンデル、そしてウイーンを中心に活躍したハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンは、音楽史上一際高くそびえる峰々である。しかし、今回私はこの峰々の間に横たわる谷間、いわゆる谷間の時代の音楽家達について、今までより多くの作品をとり上げ詳細な解説を加えたいと思う。バッハの息子達やマンハイム楽派の音楽家達について、一般にはあまり知られていないが、明るく優美な曲が数多く残されているばかりでなく、古典派のソナタ、交響曲の基礎を築きハイドン、モーツァルトに影響を与えた点でも、彼等の功績は大である。谷間の時代について学ぶことは、バロックから古典派への音楽史の大きな流れを理解する上で重要なことと考えるからである。

〔授業計画と内容〕

1. コレツリとヴィヴァルディ
2. バッハ
3. ヘンデル
4. バッハの息子達
5. マンハイム楽派
6. ヴェルサイユ楽派
7. ハイドン
8. モーツァルト
9. ベートーヴェン
10. 18世紀のオペラ
11. コンセール・スピリチュエルと各国の公開音楽会

〔履修のポイント・注意点〕

音楽史を学ぶ上で最も大切な心構えといえ、人間の歴史の広い大きな流れの中の一つの現象として音楽芸術の変遷を促えることである。受講生は、18世紀のヨーロッパの文化、社会について、広く多くの知識をとり入れ、学習に役立てて頂きたい。

〔成績評価の方法〕

毎回出席票を配布して出席を記録する。成績評価はレポートによる。

〔使用テキスト〕

プリント配布。

〔指定参考図書〕

千蔵八郎（他）著 基本「音楽史」音楽之友社

全 5	⑤美術	英・経	選 2単位	飯田 昌平
--------	-----	-----	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

人間の創造活動を理解し、美的感覚を洗練し、表現と観賞の能力を高め、美術を愛好する心情を養うことを目的とする。講義では、歴史上普遍的な価値を持つ美術作品を取り上げ、その時代背景、民族、風土等の関連を考察し、作品の良さや美しさ、観賞の楽しみや喜びについての認識を深めて行く。

人々が美術に託した願いや憧れ。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

美しい人生、楽しい生活を主体的に築くことの重要性を認識し、積極的に創造活動に参加すること。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「西洋美術史」嘉門安雄監修 美術出版社 定価980円

〔指定参考図書〕

全	①地理学	英・幼 経	選 2単位	奥澤信行
6				

〔講義目的・テーマ〕

「地理学」というと、地名や統計を暗記しなければならぬ無味乾燥な科目と思っている学生諸君も多いことであろう。しかし「地理学」は、決して退屈するような科目ではない。「地理学」とは、地球表面にみられる諸現象を自然的要因・社会的要因などから分析する学問である。そしてその扱う対象によって、人文地理と自然地理に大別されるが、両者はそれぞれに独立している学問ではなく、互いに影響を及ぼしつつ形成されている。

さて、本講義では、人文地理に区分される都市地理学について、小山・宇都宮・大宮・東京などを事例にして、その発達要因を分析する。また個々の都市だけでなく、その周辺部も含む都市圏についても考察する。またこれらの中心的テーマを論じる前に、地理的認識と地図に関する一般的な常識についても言及したい。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 地理的な物の見方・地球と地図の常識
- 第2週 地形学の基礎（特に沖積平野について）
- 第3週 都市の分類
- 第4週 都市度と中心地の階層性
- 第5週 都市配列と都市力
- 第6週 交通条件と都市の発達
- 第7週 都市圏の形成（商圏の特質）
- 第8週 小売業からみた都市の発達
- 第9週 アンケート調査による都市圏の設定
- 第10週 都市圏と都市圏の境界
- 第11週 等質地域と機能地域
- 第12週 世界各都市の絶対位置と相対位置
- 第13週 地域概念規定

〔履修のポイント・注意点〕

講義の中で、居住地の商業活動の実態や都市的景観の変容について質問することがあるので、自分の住んでいる地域を熟知し、積極的に発言してもらいたい。

〔成績評価の方法〕

出席票を毎回配布し、出席を重視する。また期末に筆記試験を行う。

〔使用テキスト〕

テキストは特に使用せず、必要に応じてプリントを配布する。また高校で使用した地図帳を持っている受講生は、これを毎回持参すること。

〔指定参考図書〕

石井素介編「総観地理学講座14 産業地理—日本」
朝倉書店

全	①造形文化論	幼・中	必 2単位	飯田昌平
7				

〔講義目的・テーマ〕

児童における「造形遊び」が、大脳の働き、つまり知性、感情の働きを発達させ、高度の文化生活を創生し、楽しむことのできる人間になるために役立つ、ということを理解することを主な目的とする。そのために、絵を描き、物を造るという人間の造形活動がそれぞれの民族、それぞれの時代の精神的、物質的文化的創生の活力となってきた、ということを検討していく。人はなぜ絵を描き、物を造るか

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

物の色、形、材質等に関心を持ち、その良さや美しさを深く味わうとともに、表現の方法、形式の重要性を認識すること。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「西洋美術史」嘉門安雄監修 美術出版社 定価980円

〔指定参考図書〕

全 8	法 学	英・幼 経	選 2単位	上 田 章
--------	-----	----------	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

皆さんは法律を専門的に勉強するわけではありませんから、いわば法律学入門といった形で講義を進めます。だから、専門的分野に深く立ち入るといふより、社会に出て法律問題にでくわしても驚くことなくこれに対処できるような常識ないし知識を身につけることに焦点をあてて説明します。

特に現代社会で問題となっている国際社会との関係、福祉国家を形成するための中心課題となる社会保障、労働関係、経済生活、環境などと法律の関係を重点的に説明します。

〔授業計画と内容〕

- 第1講 法とは何か、法の分類、体系
- 第2講 明治憲法と日本国憲法の対比
- 第3講 法律ができるまで
- 第4講 法と行政
- 第5講 法と裁判
- 第6講 天皇・地方自治
- 第7講 基本的人権
- 第8講 家族法
- 第9講 財産法
- 第10講 犯罪と刑罰
- 第11講 社会保障法
- 第12講 労働法
- 第13講 経済法、環境法、国際法

〔履修のポイント・注意点〕

なるべくわかり易く現実の問題をとりあげて説明します。しかし、法律自体があまりなじみの深いものとはいえないと思いますので、えてして私語をし勝ちですが、勉強しようとしている他人の迷惑になりますから、私語は一切禁止。ノートを丁寧にとること。

〔成績評価の方法〕

期末試験の成績による。

〔使用テキスト〕

テキストは不使用、ノートをとること。

参考書は次のとおり。

- 法学入門 末川 博編 有斐閣
- 現代法学入門 伊藤正己・加藤一郎編 有斐閣

全 8	法 学	英・経	選 2単位	岡 本 幹 輝
--------	-----	-----	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

法律を難しいものとは考えずに、自分たちの日常生活を守る武器であるという考え方に立って、身近なところに法律があるという意識を養成します。また法律を学ぶことによって、権利意識を高めるとともに、論理的な思考方法を身につけ、リーガル・マインドを持った自立した女性をつくるのが目的です。

学ぶ範囲は法律一般ですが、自分で六法全書の必要な法律条項を探し出せる程度の力をつけたいものです。

〔授業計画と内容〕

オーバー・ヘッド・プロジェクター（OHP）を用いた講義をします。席の前の方に着席するように心がけてください。

具体的な講義項目と内容は以下を予定しています。

- ・法と道徳、宗教。法と国家
- ・法の種類、大系
- ・法と政治
- ・基本的人権（憲法）
- ・犯罪捜査と人権（刑事訴訟法）
- ・契約、取引と法（民法）
- ・会社組織（商法）
- ・犯罪の成立要件（刑法）
- ・裁判制度（民事訴訟法）
- ・女性の一生と法。結婚、家族（民法）

〔履修のポイント・注意点〕

講義に出席することが理解への必要条件です。ぜひ、講義に出席してください。

日頃から問題意識を持って新聞を読むように心がけてください。読書する習慣も身につけることが必要です。また、積極的に発言、議論することは自分の論理思考を高める重要な手段となることに留意してください。

〔成績評価の方法〕

期末試験の成績。丸暗記では答えられないような問題の出しかたをします。判例にあたり、読書し、自分の考えをまとめて文章を構成する力を養ってください。

〔使用テキスト〕

特に使用しません。

〔指定参考図書〕

- 「法学概論（法学全集2）」我妻 栄著 有斐閣
- 「法 学」山田 晟著 東大出版会
- 「法学入門」三ヶ月章著 弘文堂
- 「法学入門（双書）」末川 博著 有斐閣
- 「法学をやさしく学ぶ」久留島隆著 中央経済社
- 「レディの法律」金井正元著 一橋出版
- 「人間一生の法律ごよみ」吉田杉明、飯野 財監修 自由国民社

全 8	法 学	紅 選 2単位	荒 木 教 夫
--------	-----	---------	---------

〔講義目的・テーマ〕

国内社会におけると同様、国際社会においても法が存在し国際社会を規律しています。日本の経済力が増大し、「物」だけでなく「人」の往来も激しくなり、しかも国境を越えて拡大してきたために、我々が好むと好まざるとにかかわらず国際社会を規律する法についての知識がますます要求されてきたわけです。本講義では国際社会に関わる法のうち、最も身近な領域と思われる「個人の地位」に関連する分野に焦点をあて、国際社会を規律する法の一端をかいま見ようと思います。具体的には以下の通りです。(1)国籍とは何か、どのような機能を果たしているのか。(2)出入国をめぐる問題にはどのようなものがあるか、旅券・査証の意義は何か。(3)外国在留中のトラブルにはどのようなものがあるか、どう処理されるのか(交通事故、無許可労働、犯罪等)。(4)国際結婚にまつわる問題点は何か。(5)外国から逃亡してきた犯罪者はどう処罰されるのか、航空機をハイジャックしたり、テロ行為を行った場合はどうか。(6)難民問題とは何か。

こうした事例の研究を通じて、我々の生きている国際社会の本質を少しでも正確に把握できるよう共に考えていくこと、これが本講義の目的となります。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

正当な事由なき限り早退・遅刻・欠席は一切認めません。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

ありません。こちらで配布する文書を使います。

〔指定参考図書〕

全 9	憲 法	幼 必 2単位	上 田 章
--------	-----	---------	-------

〔講義目的・テーマ〕

憲法は今までも勉強してきているから、とつつきやすく目新しく感じないかも知れませんが、国家の基本法ですからその間口は広く、奥行は底知れぬ程深いものがあります。しかも思ったよりも国民生活に直接結びつくものがあり、我々から程遠い存在では決してありません。そこで法律を専門に勉強するわけではない皆さんには、むづかしい問題よりも現実に新聞、テレビなどで問題とされている事柄と憲法とを結びつけながら講義を進めますので、理解に努めて下さい。

〔授業計画と内容〕

- 第1講 憲法とは何か、概念と分類
- 第2講 明治憲法と日本国憲法の基本原則の対比
- 第3講 基本的人権(法の下での平等)
- 第4講 基本的人権(自由権)
- 第5講 基本的人権(社会権)
- 第6講 基本的人権(参政権その他)
- 第7講 国会
- 第8講 内閣
- 第9講 裁判所
- 第10講 地方自治
- 第11講 天皇
- 第12講 平和主義

〔履修のポイント・注意点〕

なるべくわかり易く現実の問題をとりあげて説明するつもりですが、皆さんにとってあまり興味のない問題が講義の中にまじることがあっても、興味がないからといって私語をしてよいということにならないのは当然です。特に大教室では私語をし勝ちですが、他人の迷惑になるので私語は一切禁止。自分で理解しつつノートをとることが大切です。

〔成績評価の方法〕

期末試験の成績による。

〔指定参考図書〕

テキストは不使用、ノートをとること。さらに勉強し、理解を深めるための参考書などは、講義のときに話すことにします。

全	⑨ 憲法	英・経	選 2単位	藝 柱 國
9		幼二	必 2単位	
英語科で教員免許状を取得する場合必修				

〔講義目的・テーマ〕

憲法は国家の全法秩序の基礎的な根本法であり、国家の政治体制、統治機構と市民の基本権利はすべて憲法によって定められている。さらに市民の日常生活と深い係わりをもつ様々な法律も又、ことごとく憲法の精神に基づくものであるので、スムーズに社会生活を営むためには、憲法の理念を念頭に置かなければなりません。

このような意味で、この講義は受講者に分かり易くするため、出来るだけ日常生活に起きた出来事、マスコミに提起された問題、又は外国の立法例等も織り込んで解説し、平易な仕方で講義をします。

〔授業計画と内容〕

1. 法の意味と体系
2. 近代憲法の成立
3. 日本国憲法の基本構造とその特色
4. 統治機構—国会、内閣、裁判所
5. 天皇制
6. 地方自治
7. 人権の体系
8. 様々な人権、表現の自由、人身の自由、信教の自由、平等権、教育権等
9. 国防と平和主義

〔履修のポイント・注意点〕

講義は必ず毎回出席し、ノートをきちんととること。出席重視しますので、欠席、遅刻しない様に注意して頂きたい。遅刻は回数により欠席と換算します。又授業中は静粛な秩序を保って頂きたい。

〔成績評価の方法〕

期末テストと出席回数により、総合的に評価します。

〔使用テキスト〕

特に指定しません。

〔指定参考図書〕

「憲法入門」(第3版) 伊藤正己著 有斐閣
定価1,545円

全	⑩ 経済学	英・幼	選 2単位	大 木 啓 次
11		経		

〔講義目的・テーマ〕

私たちを含めて、人々がそのなかで生活を送っている社会の経済的な仕組みはどうなっているのだろうか。現在の社会は、経済発展のうえでどのような位置にあるのだろうか。今後はどんな方向に進んで行くのだろうか。そのようなことを考えていくこと—それがこの講義の目的です—は、私たちの生き方、将来計画を考えるためにとても大切なことです。

社会における自分の場所を経済学的な意味で自覚するとともに、日々の経済ニュースを聞いたりしたとき、それについての自分の考えをもつことができるようにすること、つまり、経済学的な自主性の確立がこの講義のテーマです。経済学的思考になじんでもらいたいとねがいます。

〔授業計画と内容〕

そもそも経済とはなんだろうか？物の値段とか、おカネとか、サラリーとか、資本とかは何なのだろうか？日頃、なにげなく使っている言葉の意味の深みと広がりを探りながら、経済現象の意味を考えていきます。講義は、基本的な経済用語の順序だった説明を軸に進めます。経済学の面白さを解ってほしいと思います。

〔履修のポイント・注意点〕

経済学では覚えることも必要ですが、それよりも、どんな仕組みで？どうして？という疑問、好奇心を大切に、それを自主的に解いていくよう心がけて下さい。聴講は受動的に受け入れるだけでなく、そうだろうか？そんなことってあるのかな？先生はそういうけれど、というように挑戦的にのぞんで下さい。質問大歓迎。

〔成績評価の方法〕

ペーパー・テストです。暗記力よりも、理解力と自主的な思考力をみたいと思います。こういうところをみて欲しいという主張があれば、それにも対応します。

〔使用テキスト〕

教科書は使いません。講義を聞きながらノートをとって、沢山の板書もすばやく書きとって下さい。

〔指定参考図書〕

『ゼミナール・日本経済入門』 日本経済新聞社編
『日本国勢図会』 国勢社
新聞やテレビの政治・経済記事、ニュースは大切な参考資料です。

私の立場や考えは、拙著「マルクス経済学を見直す」(平原社刊)に書きました。ごらん下さい。解らないところがあれば解説します。

楽しく勉強しましょう。

全	④教育学	英・幼	選 2単位	三枝孝弘
12		経		

〔講義目的・テーマ〕

高校時代に、カントという哲学者の名前を聞いたことがあると思います。カントは、「人は、教育をとおしてのみ人間となり得る。」といった、といわれています。その意味は、どういうことでしょうか。

皆さんの今までの生涯の中で、「学校」という存在は、大きな意味をもっています。一体、「学校」というものは、現代の社会において、どのような意味をもち、どのような役割を果たしているものでしょうか。

また、「学校」での教育ということだけではなくて最近では、人の一生は教育の生涯です、といわんばかりに、「生涯学習の時代」ということが、あちこちでいわれるようになりました。

新聞やテレビは、毎日のように、学校教育、生涯学習にかかわる、さまざまな問題、事例を報じています。教育の問題は、広く政治や経済、社会全体の問題となってきました。

このような状況のもとでは、一般市民的教養として教育の全般の問題について、しっかりした自分自身の考えをもつことが必要となります。

この講義の目的は、皆さんへのその一助ということ です。

〔授業計画と内容〕

- 教育についての定義と人間観
- 社会化過程と教育
- 人間の成長・発達と教育
- 学校体系と社会体制との関係
- 現代日本の政治・経済体制と学校の機能
- 生涯学習社会と自己実現

〔履修のポイント・注意点〕

教育に関わる日常的事例にたえず意をもち、積極的・自発的に自分の見解をひれきすることが期待されます。

〔使用テキスト〕

特に指定しない。必要に応じて資料を配布します。予定しているものとしては、憲法の関係条項、教育基本法、学校教育法をはじめとした教育関係法規、学校体系図（日本および諸外国）、社会化過程に関する資料、その他日常的な教育事例の資料などがあります。

〔指定参考図書〕

全	13	④心理学Ⅰ	英・幼	選 2単位	神戸文朗
	14	④心理学Ⅱ	経・仁	選 2単位	
幼二部 94年度生「心理学Ⅰ」 93年度生「心理学Ⅱ」					

〔講義目的・テーマ〕

心理学とは他者の気持ちや性格を憶測するための学問ではありません。心理学研究の目的は人間の行動や諸能力を科学的・実証的方法によって究明することにあるといってもよいでしょう。

さて、人間は動物でありながら動物的な性質を大きく越えた側面をも持っているようにもみえます。我々は人間を考えたときその特異性（例えば高度の認知能力、言語、社会性、…）にのみ注意を向けがちですが、これらの独自性や特異性というものも実は進化の過程の中で獲得されてきた性質なのです。我々はより下等な動物と共通する能力・特性を所有していることを知るべきです。このことによって我々は人間の行う無意識的行動や非理性的行動の本当の意味を理解することができるようになるでしょう。また我々はある特定の脳の構造がどのようにしてその機能を発揮させているかについても知るべきです。これによって我々はごく当たり前と思っていた能力や行動がいかに複雑な仕組みによって初めて実現されているのかについて垣間見ることができるようでしょう。

心理学Ⅰでは哺乳類・下等霊長類との共通性・連続性に力点を置き、心理学Ⅱでは人間のもつ高度な情報処理能力に焦点を当てた講義にしたいと思います。それ故、心理学Ⅰ及び心理学Ⅱはそれぞれ前期及び後期に開講する半期科目ではありますが、上に述べた講義の全体的構想からして皆さんには心理学Ⅰ、心理学Ⅱを連続して受講することを強く期待しています。

この講義で多分皆さんは予想とは異なった心理学に接するでしょう。しかしその中で必ず皆さんは人間についての新たな興味深い事実をも知ることになるでしょう。この講義を受講することによって皆さんが人間についてより深く考えるきっかけとなればよいと思います。

〔授業計画と内容〕

〔心理学Ⅰ〕

1. 霊長類における進化の方向性とヒトの基本的特徴
2. 神経系の進化と行動の複雑化
3. 生命維持と脳幹・脊髄系
4. 情動及び本能行動と大脳辺縁系
5. 比較行動学的にみた本能行動
 - ①攻撃行動
 - ②求愛・生殖行動
 - ③社会的行動
6. コミュニケーション行動と類人猿の言語運用力

全	◎自然科学概論	英・幼 経	選 2単位	石倉 洋子
15				

【心理学Ⅱ】

1. 大脳新皮質における機能局在¹⁾
2. 視覚伝導路及び視覚諸野における情報分析
3. 更に高次な視覚情報分析²⁾
4. パターン認知とカテゴリー化
5. 注意及び特徴の統合
6. イメージ及びイメージ論争
7. 記憶及び記憶障害
8. 言語及び言語障害
9. 大脳半球機能差
 - 1) 講義の進み具合によっては心理学Ⅰに含める。
 - 2) 恒常性、錯視、ゲシュタルト法則、文脈効果を含む。

【履修のポイント・注意点】

本講は広範な領域を扱っているので数冊の参考書によってその内容をカバーするのは困難と思います。また通常の参考書等には載っていないような新しいデータや理論も紹介したいので、丁寧にノートをとることが何よりも肝心でしょう。講義はできる限り分かりやすく、興味深いものとなるように努力するつもりですので熱心に授業を受ければ内容の理解には何の問題もないことと思います。もし講義内容以上のことを知りたくなった場合は直接教員に相談して下さい。

【成績評価の方法】

試験の答案内容により評価します。

【使用テキスト】

なし。

【指定参考図書】

なし。

【講義目的・テーマ】

現代の私たちの生活はあらゆる面で科学から得られたものの恩恵を受けている。と同時に科学の進歩がそのまま人間の幸せに通じるのかということに疑問を投げかけられている現在、科学はむずかしい、分からないでは済まされない時代に私たちは生きているのである。

自然科学とは広い分野にわたる学問で半期の授業ではとてもカバーできないので、本講では日常生活の身近な物質や事象を取り上げその機能や性質が理解できるようにすることを目的とした。

石けんを使うとなぜ汚れが落ちるのか、遺伝子組み換えでどんなことができるようになったか、オゾンホールとはどんなことでなぜそんな事態になったのか、などが少しは理解できるようになり、これらのことに関心をもつようになることを期待している。

【授業計画と内容】

第1週	科学の歴史	自然観の変遷
第2週		物質観の変遷
第3週	物質とは	化合物、分子、原子
第4週	無機化合物と有機化合物	
第5週	生活の科学	衣；繊維
第6週		洗濯
第7週		食；栄養素
第8週		住；金属、セラミックス
第9週		新素材
第10週	生体物質の化学	
第11週	生命の起源	生命観の変遷
第12週	エネルギー問題	燃料、核化学
第13週	環境問題	

【履修のポイント・注意点】

テキストを使用しないので要領よくノートをとること。遅刻や授業中のおしゃべりは減点とする。

【成績評価の方法】

期末テスト、出席回数、授業中の態度。

【使用テキスト】

テキストは使用しない。

【指定参考図書】

「生活の化学」 門多和広ほか 建帛社1,600円
 「くらしの化学」 伊藤哲雄ほか 化学同人1,500円

全 16	①数 学	英・幼 経	選 2単位	栗 田 健太郎
---------	------	----------	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

いままで数学は、主として自然科学、技術の方面に
応用され、したがって自然科学、技術分野を志す学生
にとって必要欠くべからざるものであっても、文系の
経営、経済分野を志す学生にとっては、さして必要あ
るものとは考えられなかった。

しかし最近の情報科学文化の普及にともなって数学
が生活のなかにかなり入ってきており、特に産業社会
の中で活躍せんとする文系の人たちも数学及び数学的
思考なくしては仕事ができにくくなる状況になってき
た。

本講義では数学が社会でどのように使われているか
実例を参考にしながら数学に親しみを覚えられるよう
配慮し判り易く、また興味ある授業とすることを目指
したい。

なお、情報関連で使用され、コンピューター、情報
通信で広く使用されているデジタル関連の基礎になっ
ている2進法などについても触れてゆく。

〔授業計画と内容〕

一下記テーマは一見肩ぐるしく難しいようなタイトル
となっていますが内容は身近なものとしてとらえてゆ
く。

- 1：集合
- 2：数列と関数
- 3：微分と積分
- 4：行列式と行列
- 5：確率

〔履修のポイント・注意点〕

- 1：指示事項及び内容の予習
- 2：教科書への書き込み……………教科書は汚されるため
にある
- 3：礼節の順守……………居眠り、私語は厳禁
- 4：自分の手と頭を使って簡単な計算を行う

〔成績評価の方法〕

期末に行う筆記試験の成績により評価する。

〔使用テキスト〕

「文化系の数学」
渡部隆一・深見哲造著 森北出版株式会社1,751円

〔指定参考図書〕

「情報科学のための数学入門」
道脇義正著 東京図書2,000円

全 17	①統 計 学	英・幼 経	選 2単位	星 法 子
---------	--------	----------	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

コンピューターの発達により、高度情報化社会におい
て統計的な分析思考は、自然科学の分野に留まらず、
社会科学においても積極的に利用されている。企業や
官庁を問わず、データの統計的処理と解析は不可欠で
ある。また日常生活においてもさまざまに利用され、
その重要性は論をまたない。本講義では、基礎的な統
計知識の理解に主眼を置く内容とし、統計調査の方法
も時間があれば言及したい。

〔授業計画と内容〕

- | | |
|------|-----------|
| 4・5月 | 度数分布の分析 |
| | ・度数分布 |
| | ・平均値 |
| | ・分散度と非対称度 |
| 6月 | 関係の分析 |
| | ・相関分析 |
| | ・回帰分析 |
| | ・重回帰分析 |
| 7月 | 時系列の分析 |

〔履修のポイント・注意点〕

授業時に練習問題を数多く解くので計算機（できる
だけ桁の大きいもの）を用意する。

〔成績評価の方法〕

期末に行う筆記試験の成績により評価する。

〔使用テキスト〕

プリントを配布する。

〔指定参考図書〕

森田優三他著「新統計概論」日本評論社

全 17	◎統計学	選	2単位	星	法子
---------	------	---	-----	---	----

〔講義目的・テーマ〕

コンピュータの発達により、高度情報化社会において統計的な分析思考は、自然科学の分野に留まらず、社会科学においても積極的に利用されている。企業や官庁を問わず、データの統計的処理と解析は不可欠である。また日常生活においてもさまざまに利用され、その重要性は論をまたない。本講義では、基礎的な統計知識の理解に主眼を置くとともに、コンピュータの基本操作方法を学習し、コンピュータを活用した統計解析の理解を深める。

〔授業計画と内容〕

- 9月 度数分布の分析
 ・度数分布
 ・平均値
 ・分散度と非対称度
- 10月 関係の分析
 ・相関分析
 ・回帰分析
 ・重回帰分析
- 11月 コンピュータの基本操作
 12月 表計算ソフトの活用
 1月 コンピュータによる統計解析

〔履修のポイント・注意点〕

計算機（できるだけ桁の大きいもの）とフロッピーディスクを用意する。

〔成績評価の方法〕

テーマごとに課題を課す。その成績により評価する。

〔使用テキスト〕

名取龍彦他著「はじめてのLotus1-2-3 R2.4J」
 秀和システムトレーディング
 他にプリントを配布する。

〔指定参考図書〕

森田優三田著「新統計概論」日本評論社

全 18	◎生物環境論	英・経	選	2単位	細野英夫
---------	--------	-----	---	-----	------

〔講義目的・テーマ〕

自然環境であれ、人工的な環境であれ、環境というものに対する人間の認識とはどのようなものなのだろうか。われわれは環境をどのようにして知覚し、構成し、評価しているのだろうか。われわれの理想とする環境とはどのようなものであり、またどのようなものであったのだろうか。経済、生活様式、そしてまわりの自然それ自体は、環境に対する態度や価値づけにどのような影響を与えているのだろうか。環境と世界観とのつながりはどのようなものなのだろうか。

地球の環境悪化についてテレビや新聞などで報道されない日はない。人間による開発活動の拡大と工業化社会の維持、発展、そして私達の日常生活そのものが大いに関係を持っている。環境問題とは基本的に人間の問題である。

「Only One Earth」（かけがいのない地球）を守るために知恵を出し、工夫をしていかねばならない。地球環境問題は、未解決な課題のひとつであり、しかも科学・技術・社会の相互作用によって考えていかねば解決に近づくことのできない問題といえる。

この授業では、植物生態学をもとに環境について考え、これをもととして環境問題について考えてみることをする。

〔授業計画と内容〕

- 第1部 生態学へのいざない
 ○生物界と生物圏
 ○生物コミュニティー
 ○植物群落について
 ○生態系の機能と構造
 ○生態系での物質環境とエネルギーの流れ
 ○食物連鎖について
- 第2部 地球環境と人間
 ○地球規模での環境問題の動向
 ○人間活動の地球環境への影響
 ○陸上生態系の汚染と破壊
 ○大気環境問題
 ○野生生物の種の減少
 ○地球サミットと環境基本法

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

学習過程でのレポート、期末テスト、出席等を総合して行う。

〔使用テキスト〕

生物環境論 細野英夫 学文社

〔指定参考図書〕

生態学の基礎 E. P. オダム 筑地書館出版
 地球環境キーワード事典 環境庁 中央法規

全	生物環境論 〔幼〕	幼	必通4単位	細野英夫
19				

〔講義目的・テーマ〕

自然環境であれ、人工的な環境であれ、環境というものに対する人間の認識とはどのようなものなのだろうか。われわれは環境をどのようにして知覚し、構成し、評価しているのだろうか。われわれの理想とする環境とはどのようなものであり、またどのようなものであったのだろうか。経済、生活様式、そしてまわりの自然それ自体は、環境に対する態度や価値づけにどのような影響を与えているのだろうか。環境と世界観とのつながりはどのようなものなのだろうか。

地球の環境悪化についてテレビや新聞などで報道されない日はない。人間による開発活動の拡大と工業化社会の維持、発展、そして私達の日常生活そのものが大いに関係を持っている。環境問題とは基本的に人間の問題である。

「Only One Earth」（かけがいのない地球）を守るために知恵を出し、工夫をしていかねばならない。地球環境問題は、未解決な課題のひとつであり、しかも科学・技術・社会の相互作用によって考えていかねば解決に近づくことのできない問題といえる。

この授業では、植物生態学をもとに環境について考え、これをもととして環境問題について考えてみることにする。

〔授業計画と内容〕

第1部 生態学へのいざない

- 生物界と生物圏
- 生物コミュニティー
- 植物群落について
- 生態系の機能と構造
- 生態系での物質環境とエネルギーの流れ
- 食物連鎖について

第2部 地球環境と人間

- 地球規模での環境問題の動向
- 人間活動の地球環境への影響
- 陸上生態系の汚染と破壊
- 大気環境問題
- 野生生物の種と減少
- 地球サミットと環境基本法

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

学習過程でのレポート、期末テスト、出席等を総合して行う。

〔使用テキスト〕

生物環境論 細野英夫 学文社

〔指定参考図書〕

生物学の基礎 E. P. オダム 筑地書館出版
地球環境キーワード事典 環境庁 中央法規

全	生物環境論 〔幼〕	幼二	必通4単位 (集中講義含む)	細野英夫 古野勝久
19				

〔集中講義担当：細野英夫〕Ⅰ部幼児教育科の講義概要参考のこと
〔後期担当：古野勝久〕

〔講義目的・テーマ〕

環境汚染が地球的規模で差し迫ったところに来ていいる。長い年月をかけて育まれてきた多様な生命の世界をつまらぬことで失いたくない。ひとりでも多くの人に、悪化してきた環境にさらされている生物の危機を認識していただきたい。講義では、生態学の視野から生物とそれを取り巻く環境とのかかわりについて基本的なことを学習し、環境問題を考える一助としたい。

下に挙げた講義テーマは全体としてまとまりがないようだが、テーマ毎に、具体的なデータを取り上げ、そこから、生物と自然環境、また、生物どうしが深く関係しあい、複雑で巧みな系をなして、いかに生命と環境を維持しているかを学習する。

また、データを扱う上で基本的なことだが、測定値の持つ意味を知り、数値にほうろうされず、事象を冷静に判断することが求められる。このことは、環境問題を考える上では特に注意が必要なので、測定値の扱いやその持つ意味についても学習する。

多様性、類似性、自然度などの環境の質的な面は数量化して客観化しにくい、数量化する工夫もなされてきた。この環境の質の数量化についてもその注意点を含めて講義で触れる。

1. データのとらえ方
2. 生物的環境の質の数量化
3. 土壌動物と土の機能
4. エネルギーの流れ、物質の環境
5. 生態系の人為的制御など

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

講義では、具体的なデータを扱い、細かい解説をすることもあるが、それは、抽象的な概念などを解り易くするためなので、あまり細かい部分だけにとらわれず、常に大意をとらえるようにして欲しい。

また、簡単な計算などもするので、卓上計算機（単純なものでもよい）を用意すること。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

「生態学」E. P. オダム著 筑地書館出版
「自然の診断役土タニ」青木淳一著
日本放送出版協会出版
「土の世界」
土の世界編集グループ編著 朝倉書店出版

全 20	◎テーマ講座	英・幼 経	選 2単位	的 場 哲 朗
---------	--------	----------	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

わたしたちの生活のなかでもっとも関心の深い“ホットなテーマ”を選び出し、これを毎回、まったく分野のちがう先生たちが生の声で分析し、皆さんと一緒に考えたいというのがこの講座の狙いです。講師は専門も所属もさまざまにちがいます。したがって、アプローチの仕方結論もちがうものになるはず。皆さんは、こうしたテーマに自分でぶつかり、自分のオリジナルな視点を自分の言葉で表現するように努めて欲しいと思います。

実は、こうしたオリジナルな言葉こそこれからの社会では重要なことだと考えます。大切なのは、従来の集団的な柔順さや和合ではなくて、“個性や創造性や反権力”という世界共通の価値観の方なのです。

今年は、「〈原点〉に帰る ― 一冊の本から学ぶ」というテーマで6人の講師がさまざまな方向から個性的なメスをいれます。

このところ、世界が大きく変わりつつあります。ソ連の崩壊、東西ドイツの統一、ECやNAFTAの動き、民族主義や内戦の勃発、米国のジレンマ。これに歩調を合わせるかのように、日本の政治、経済、農業、社会など急速に変わりました。そればかりか、身近なところでも、政治、宗教、文学、大学、企業など、従来価値ありとされてきたものが急速に大衆化し、わたしたちの目の前で崩れつつあります。― 世界は大変動期にはいったようです。

本講座では、このような変動しつつある“現代”に一体何が大切なのか、を各講師の個性的なメスによって、生き生きと明らかにしていきたいと思っています。

〔授業計画と内容〕

テーマ「〈原点〉に帰る ― 一冊の本から学ぶ」

1. 科学の原点
2. 文学の原点
3. 宗教の原点
4. 近代の原点
5. 女性の原点
6. 生きることの原点

〔履修のポイント・注意点〕

講座のテーマに主体的創造的に取り組んで、積極的に質問して欲しい。大切なのは、ただ考えることではなくて、他人と議論し自分の意見を言葉に表現することだ。

〔成績評価の方法〕

レポート

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

テキスト・指定参考図書などは後に掲示する予定。

全 21	◎随意科目	英・幼 経・紅	随意選択	
---------	-------	------------	------	--

※卒業及び資格のための単位数には含まれない。
※希望者には別に指示する。

全	スポーツと健康	経	選通2単位	三宅綱子
22	(実技を含む)	幼二	必通2単位	

〔講義目的・テーマ〕

〔実技〕 「トランポリン」と「武道」

テーマは、今そこに危機をつくらない！ 危険への認識と管理能力の体得です。2つの種目は非常に異質のようですが、極めて共通点を持っています。①単独技能である。②危険度が高い。スポーツの面白味の一つは、この危険度にチャレンジする事にあります。対面する危険に己をどうコントロールするかを学んでいきます。私たち女性はこの点が極めて不得手なのです。又たいていの学生は未知なるものへの挑戦かとも思われますが、進学の証に良い思い出をつくって下さい。この能力は今マスターしていただくで一生の貯キンになる事を約束します。

〔講義〕

実技でカウアー出来ない点を知識として学習していただきます。

〔授業計画と内容〕

前期(トランポリン)

4月～7月

基本技能(歩行、跳躍、初歩組合せ技能)

応用(基本の高度化と自由演技)

後期(武道)

9月～12月

基本技能(各種武道に通用するオリジナル)

応用(自由演技)

※講義は適当な時期に集中講義となります。

〔履修のポイント・注意点〕

学生は先づ自分を主役と考えて、甘えを捨て自主的に授業展開して下さい。

技能修得の早道は、基本技能のアキない練習であることを理解して努めてください。

〔成績評価の方法〕

各期末に中間テストを行い、学期末に総合評価をします。※普段の出席率を重要視します。

〔使用テキスト〕

「杖道入門」神之田常盛著 日本杖道会出版部

定価2,000円

「トランポリン・テキスト(初級編)」

山田光明著 定価500円

〔指定参考図書〕

使用しません。

全	スポーツと健康	英	選通2単位	(実技) 齋藤一人
22	(実技を含む)	幼	必通2単位	(講義) 三宅綱子
英語科で教職取得希望者は必修				

〔(実技) 齋藤一人〕

〔講義目的・テーマ〕

スポーツとは、勝負を争い、激しい動きをとまなうものである。危険もあるが、スポーツを行うことの楽しさ、友人たちとの交流は、それ以上に自分の生活に豊かさ充実感をもたらしてくれる。このスポーツを人生の健康づくりの手段として用い、健康な生活を送るためには、3大要素である一運動(スポーツ)・栄養・睡眠のとりかたと、そのバランスが必要です。現代人は、特に不規則・不安定になっているので、学生のうちから少しでも理解度を高めることが必要だと思われます。

この実技は、運動(スポーツ)部分の特に集団(グループ・チーム)で行うボールゲームを中心に展開します。集団が協力して一つの目標を達成していく喜びや、スポーツそのもののもつ楽しさ・日常生活にない緊張感・汗をかくこちよさを、この授業の中で表現し、体験して、スポーツを通じての体づくり、健康づくりを覚えていくことを目的としたい。

主に、バスケットボール・バレーボールなどのボールゲーム中心に実技を行う。

〔授業計画と内容〕

第1～2週目にかけてガイダンスを行う。

(前期)バスケットボールとその他のボールゲーム

1. 班(チーム)分けおよび役割分担
2. ボールに慣れる(いろいろなゲーム)
3. 基本技術の練習(パス・ドリブル・シュート)
4. チーム練習
5. 3on3の説明～実戦
6. チーム練習～ゲーム(リーグ戦Ⅰ)
7. その他のボールゲーム

(後期)バレーボールとその他のボールゲーム

1. 班(チーム)分けおよび役割分担
2. ボールに慣れる(いろいろなゲーム)
3. 基本技術の練習(パス・トス・レシーブ)
4. 基本技術の練習(スパイク・ブロック・サーブ)
5. チーム練習～ゲーム(リーグ戦Ⅱ)
6. その他のボールゲーム

〔履修のポイント・注意点〕

1. 出席を重視します。(見学・遅刻・欠席等は正当な理由のない限り認めません。)実技習得だけでなく社会人としての常識も身につけてください。
2. 主に体育館での実技ですので、体育館用のシューズを必ず用意してください。また、汗をかきまますの

で、運動しやすい服装と汗をかいた後の着替えを準備してください。

3. 体力・集中力を必要とされる実技なので、前日の睡眠・食事に気を配り、ケガのないように注意してください。

〔成績評価の方法〕

単位取得には8割以上の出席が必要です。また、授業時間に行う簡単なスキルテストで、個人のがんばり度や技術を評価し、班（チーム）の勝敗・貢献度・協力性などの平常点により成績を評価します。

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

「(講義) 三宅 綱子」

〔講義目的・テーマ〕

実技でカバー出来ない点を知識として学習していただきます。

〔授業計画と内容〕

講義は適当な時期に集中講義となります。

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

出席率を重要視します。

〔使用テキスト〕

特にありません。

〔指定参考図書〕

使用しません。

全	英 語	経	必通2単位	塚 越 千 由
23				

〔講義目的・テーマ〕

現在わが国の国際環境はいやが上にも厳しさをましっており、言葉だけでなく本当の国際的な理解と協力を率先して実行することが要求されています。すなわち国際的な視野に立った社会人の養成です。このような状況にあつて国際語としての英語の言語的能力を身に付けることと、諸外国の事情に通じることの必要性が痛切に感じられます。

〔授業計画と内容〕

授業ではreading comprehension, listening comprehension, writing exercise等の練習を通じて、またビデオやテープを積極的に活用して読み、書き、聞く、話す、という4つの能力のバランスをとりながら、英語の読解力を伸ばすように行います。さらにテキストやビデオを利用して、国際ビジネスに直接・間接に関係する経済・ビジネス、政治、そして文化をめぐる領域をこなせる英語力を養成したいと思えます。

〔履修のポイント・注意点〕

語学の習得は、単に授業に出席して教わるという姿勢では上達しません。基本的英語の素養は中学校、高等学校6年間で身に付けていますから、それを教材を利用してながら運用できるように高めるのが授業の目的です。積極的な姿勢で授業に参加して、授業を運営する一員とならねばなりません。

〔成績評価の方法〕

- ①出席重視（無欠席）
- ②テスト
授業時適宜および学年末に実施

〔使用テキスト〕

「新アプローチによる国際ビジネス英語」
藤井章雄他編著 朝日出版社

全	英 語	経	必通2単位	星 法 子
23				

〔講義目的・テーマ〕

経済の国際化の進展に伴い国際交流が盛んになってきた。そのため異文化に対する知識と理解はますます必要となっている。その手掛かりとして英語の知識を深めることの重要性は論を待たない。時事英語や外国の産業や経済に関する情報を身近に理解できるような教材を用いて、講義をすすめる。

本年度のテキストは、日本の自動車産業の生産方式を論じた本を用いる。かつて日本の製造業は米国からノウハウを学んだ。80年代には、生産技術、品質で追い抜かれた米国自動車企業は必死で日本から学び返した。そして現在、日本式の開発・生産方式を吸収し、リストラを進めた米国BIG3はめざましい回復ぶりを見せた。では、米国の自動車企業がその競争力の逆転をささやかれるほど必死で学んだ日本の生産方式とは？英文を通してその内容を理解するとともに、英語力を深める。

また、ビデオやCD-ROMなどの教材を用いて視覚から聞く力、話す力をも身につけ総合的な英語力を深めたい。

〔授業計画と内容〕

90分の授業の最初の30分はビデオ・CD-ROMを用いて繰り返し学習する。60分はテキストを読み進んでいく。

〔履修のポイント・注意点〕

テキストの予習は必須。英和辞書を持参のこと。

〔成績評価の方法〕

出席重視。各学期末に行う筆記試験の成績により評価する。

〔使用テキスト〕

最初の授業時にプリントを配布する。

〔指定参考図書〕

全	英 語	経	必通2単位	鷹 野 宏 行
23				

〔講義目的・テーマ〕

本講義は、英語の「学び方を学ぶ」ことを主目的とする。英語を学ぶことに興味を持てるような最新の英語教材を紹介しながら、英語を用いない環境にいて、いかに自己を啓発して学んでいくかの方向性を見いだせるように配慮していく予定である。教材の一例を挙げると、洋画ビデオ、クローズドキャプション、マルチメディアCD-ROM、衛星放送「トゥデイズジャパン」、などである。

講義の詳細については、1回目の授業において説明する。

〔履修のポイント・注意点〕

英語の能力は、中学高校時代の努力の多寡が如実に反映すると考えられる。受講者の中には、英語を極めたいという人もいれば、英語はちょっとかんべんという人も当然いるはずである。要は、いかにして英語に興味をもつかである。興味さえもてば、その人の能力なりの学び方をもとに、さらにステップアップすることができるはずである。

〔成績評価の方法〕

出席重視。年4回テストを行う。

〔使用テキスト〕

『社会人のための英語の常識小百科』 大修館書店
『オックスフォード米語イラスト辞典』
オックスフォード大学出版局

全	英 語	経	必通2単位	藤 井 信 之
23				

〔講義目的・テーマ〕

この講座の目的は、経営の研究を始めるにあたり、基本的な用語とその意味を理解すること。そして英文を速読して大意を把握することである。英語力の有無は問いません。

〔授業計画と内容〕

企業のマーケティングや流通に関するケース・スタディを読む。とりあげる企業は以下の通り。

- 4月 Pepsi Cola (ペプシコーラ)
- 5月 Benetton (ベネトン)
- 6月 McDonald's (マクドナルド)
- 7月 Singapore Airlines (シンガポール航空)
- 9月 L.L. Bean, Inc. (L.L. ビーン)
- 10月 NIKE, Inc (ナイキ)
- 11月 Procter & Gamble (プロクター&ギャンブル)
- 12月 TOYS R US (トイザラス)

〔履修のポイント・注意点〕

積み重ねが大事です。予習は必ずしてくること。辞書は必ず持参すること。

〔成績評価の方法〕

出席、試験および提出物により総合的に評価する。

〔使用テキスト〕

最初の授業時にプリントを配布する。

〔指定参考図書〕

その都度指示する。

全	英 語	幼	必通2単位	青 葉 暢 子
23				

〔講義目的・テーマ〕

みなさんはアメリカの幼稚園ってどんなだと思いませんか？ 日本の幼児とアメリカの幼児は、どんなところが違うのでしょうか？ この講義では、幼児教育に関する英文の資料を読み、海外ではどんな幼児教育が行われているのかを一緒に調べます。

また、時には英語のクロスワードパズルなどもやってもらい、楽しく授業を進めて行きたいと思っています。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

英文の内容をつかみ、考えながら読む習慣を身につけましょう。

〔成績評価の方法〕

クロスワードパズルなどは提出してもらいます。また、前期は配布した資料に関するレポートを課します。後期はテーマを与えて筆記試験を行います。

〔使用テキスト〕

授業内に配布するプリントにしたがって授業を行います。

〔指定参考図書〕

全	英 語	幼二	必通2単位	石 和 義 之
23				

〔講義目的・テーマ〕

比較的易しい英語で書かれた、内容的に興味の持てやすい英文テキストを、正確に、かつ、それなりのスピードで読み進んでいくことによって、それなりの英語力を身につけることが、この授業の主な目的です。

〔授業計画と内容〕

障害を持つ少女とその家族の苦労と愛情の記録を、原文で読んでいくこととなりますが、意欲を持って参加できる授業となれば幸いです。

〔履修のポイント・注意点〕

- (1)予習を必ず行なう。
- (2)辞書を持参する。
- (3)授業に積極的に参加する。

〔成績評価の方法〕

評価は試験結果、出欠状況、授業への参加度などに基づき総合的に行なう。

〔使用テキスト〕

Marie Killilea著「Karen」 桐原書店

〔指定参考図書〕

特に指定しない。

全 24	ドイツ語	英・幼 経	選通2単位	的場哲朗
---------	------	----------	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

日常生活のなかで使うドイツ語を習得するのが本講の目的である。

ドイツ語は〈ヨーロッパの共通語〉であると言われる。実際、生活者の目でヨーロッパの町中を歩けば、このことは簡単に実感されるはずである。おそらくその理由として、ドイツ語圏のもつ経済や文化や政治の強さがあると考えられるが、本講ではこうした視点からではなく、あくまで生活者の目から見たドイツ語に力点をおくことにしたい。したがって、真剣に本講に取り組んだ学生は必ずや、ヨーロッパの町中を自分の足で歩き、自分の目で見るができる基礎をつくることができるはずである。またそうなるように授業は工夫したい。

そのためにまず最初は、文法事項の習得を図る。この段階で基本事項はしっかり暗記してもらいたい。次いで、文法の基本知識を使って、具体的な日常生活のなかで出会ってくるドイツ語を勉強することにした。ここでは特に、具体的な生活というコンテキストのなかから、何をどういう言葉で表現するのかということに力点を置く。本講では、言語をその言語のなかだけで解明し、言語を実際に使っているひとたちの生活にまったく触れない従来の言語教育とは根本的に違うものを目指したい。

〔授業計画と内容〕

ヨーロッパの町中を歩く際の具体的な生活状況をいくつか設定し、この生活状況のなかで使う重要なドイツ語表現を中心に勉強することになる。

〔履修のポイント・注意点〕

日常生活のドイツ語だからと安易に考えないで欲しい！むしろ逆に、週一回の授業で外国語が習得できる奇跡など存在しないこと、そして特定の年齢に達してからの外国語習得は並大抵の努力では及ばないことをしっかりと自覚してもらいたい。したがって、ドイツ語を習得したい聴講生は毎時間の勉強は当然として、特にテレビやラジオなどのメディアを使ってしっかり勉強してもらいたい。こうして、ひとつの言語に自信がもて、ヨーロッパの町中をひとりて歩ける喜びは何ものにも代えがたいものである。

〔成績評価の方法〕

試験

〔使用テキスト〕

テキストは〈Einfache Deutsche Grammatik〉（郁文堂）を用いる。

〔指定参考図書〕

関口存男著 初等ドイツ語講座 三修社

全 25	フランス語	英・幼 経	選通2単位	石田和子
---------	-------	----------	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

フランス語を読み書きし、話せるようになることだけでなく、広くフランス語圏の文化や生活に通じることも目的とします。さらに、きわめて論理的な言語として集大成されたフランス語を学ぶことによって日本語・日本文化を見直し、その理解を深めるきっかけとします。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 授業の進め方、家庭学習のポイントについて
フランス語の特質（名詞の性など）について
つづり字と発音の関係について、辞書紹介
- 第2週 発音上のきまりについて
文型、複数・冠詞の用法、女性名詞の作り方
- 第3週 Unité 1
- 第4週 ≪ 2
- 第5～7週 ≪ 3
- 第8週 ≪ 4
- 第9週 ≪ 5
- 第10～11週 ≪ 6
- 第12週 ≪ 7
- 第13週 ≪ 8
- 第14～16週 ≪ 9
- 第17週 ≪ 10
- 第18週 ≪ 11
- 第19～21週 ≪ 12
- 第22週 ≪ 13
- 第23週 ≪ 14
- 第24～25週 ≪ 15
- 第26週 直説法大過去、単純過去、前過去など
- 第27週 直接話法と間接話法、関係代名詞など
- 第28週 接続法の時制と用法など

〔履修のポイント・注意点〕

毎回予め辞書をひいて下調べをし、疑問点をチェックし授業に臨む。不明な点は必ず質問し、復習を行う。

〔成績評価の方法〕

毎回出席をとり、随時宿題を課して、前後期の試験結果と共に評価の対象とする。

〔使用テキスト〕

小倉博史、モーリス・ジャケ、舟杉真一共著1,800円
ESCALE 「エスカール」(株)駿河台出版社

〔指定参考図書〕

阿南婦美代、井上富江、コモン・ティエリ共著2,000円
SIMPLE COMME BONJOUR (株)白水社
③本書はフランス語の初級文法習得者を対象とする。

全 26	スペイン語	英・幼 経	選通2単位	Yakelin 矢野
---------	-------	----------	-------	------------

〔講義目的・テーマ〕

皆さんができるだけ早く文法の基礎を学び、一年の終わりにには会話ができるようにしていきたい。

最初はスペイン語の文字の発音を覚えてから、第一週は文法中心、第二、第三週は会話、第四週は復習中心とします。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

1. 遅刻はしない事。
2. 出席を取る時、大きな声で返事する事。
3. 授業中、飲食をしてはいけない。
4. 授業中のおしゃべりは退場です。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「Viaje en español」
Ines Sanniguely Felisa Rey 白水社

〔指定参考図書〕

「現代スペイン語辞典」白水社
「小学館西和中辞典」小学館

全 27	中国語	英・幼 経	選通2単位	平木真快
---------	-----	----------	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

本講は、①発音記号の修得②自力で中国語文を読解する能力を養う、を目的とする。

テキストの副題に「笑って学ぶ中国語」とあるが、本講のテーマは正にそのとおりで、楽しみながら学ぶというのが中心テーマである。笑話を通して、日中両国民のユーモア感覚の相違を理解したいと思う。

〔授業計画と内容〕

- 4月 : 発音記号及び四声に慣れる。
5月 : 原文の音読に慣れる。
6月 : 訳述の要領をつかむ。
7月以降 : 訳述と文法理解。

〔履修のポイント・注意点〕

(1)学習方法 :

- ①原文と発音記号をノートに丸写しする。
- ②辞典を頼りに、講義前日までに自力で和訳しておく。誤訳・迷訳を恐れてはいけない。分かっていても分からなくても、とにかく訳してみるという前向き姿勢が大事。
- ③授業中に、誤謬の訂正及び加筆をする。

(2)注意事項 :

- ①始業のベルと同時に授業をする。
- ②授業中の私語は許さない。

〔成績評価の方法〕

$$\left\{ \frac{\text{前期試験成績} + \text{後期試験成績}}{2} \right\} \times 0.7 = A$$

$$\text{出席点} + \text{ノート点} = B$$

$$A + B = \text{最終成績}$$

〔使用テキスト〕

「中国笑話・謎語50選」
鄧恩明編著 中華書店 定価1,200円

〔指定参考図書〕

簡約・現代中国語辞典
香坂順一編著 光生館 定価3,500円

全 28	日 本 語 (留学生対象)	英・幼 経	選通2単位	金 柿 玲 子
---------	------------------	----------	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

外国人留学生に対する日本語教育は、話す、聞く、読む、書くの四つの技能を同時に学習するよう進められる。入学時の学生は自国における学習度が著しく異なる場合が多いが、一般的に日本語能力は、初級、中級一前期、中級一後期、上級の四段階に分けられる。

本講は、学生と接する機会がないので学生のレベルが不明であるが、中級一前期の段階に相当するものと考えられる。したがって、学習内容は読む、書く、ことを中心に行うことになる。最終目的は学生が大学生活に不自由を感じない日本語能力を身につけること、即ち、日本語の講義が理解でき、試験の答案を日本語で書き、レポートが書けることである。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

履修のポイント

宿題、予習は直接平常点の評価につながる。

〔成績評価の方法〕

平常点による評価

内訳 毎時間の書きとり

語彙テスト

文法及び語の用法テスト

討論の時の表現力

講読

宿題 作文、練習問題、予習

〔使用テキスト〕

「中級から学ぶ日本語」荒井礼子他著 研究社
2,380円

〔指定参考図書〕

未定

95年度開講

英語科専門科目 目次

区分	英No	授業科目名
基礎専門科目	1	英文講読 I
	2	英文講読 II
	3	英文作法 I
	4	Oral English I
		Oral English II
		Oral English III
	5	英文法
6	英語音声学	
7	外国事情	
第1群	8	Reading I
	9	Reading II
	10	時事英語
	11	英文作法 II
	12	Creative Writing
	13	Oral English IV
	14	Oral English V
	15	Oral English VI
	16	Oral English VII
	17	Audio Visual Communication
18	Reading and Discussion	
第2群	19	英語学概論
	20	英語学演習
	21	言語学入門
	22	翻訳論
	23	英文学史
	24	米文学史
	25	英米文学演習 I
	26	英米文学演習 II
27	英米文学演習 III	

区分	英No	授業科目名
第3群	28	地域研究
	29	国際関係論
	30	現代英語演習
	31	商業英語概論
	32	商業英語演習
	33	英文ワープロ I
	34	英文ワープロ II
	35	ゼミナール
	36	早期英語教育
	37	秘書学
	38	コンピュータ概論
	39	企業と社会
	40	国語表現法

英 /	英文講読Ⅰ	英	必通2単位	向井千代子
--------	-------	---	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

ある程度まとまった文章の読解力をつけることを目的とする。今までの訳読方式に頼らず、ある程度の長さの文章を読み、全体を理解する力や、知らない単語の意味を推測する力をつける。

〔授業計画と内容〕

- | | |
|----|--|
| 前期 | 1. LIFESTYLE
2. TRAVEL
3. COMMUNICATION
4. EDUCATION |
| 後期 | 5. HEALTH
6. PRODUCTS
7. PEOPLE AT WORK
8. LITERATURE |

教材を読み、その内容や主要語彙の理解をチェックするような問題を解くという形で授業を進める。読解力をつけるには何といても多く読むことが大切であるので、教科書のほかに適宜課題を配るつもりである。リスニングやビデオ教材も時々使う予定である。

〔履修のポイント・注意点〕

英英辞典も極力利用するようにし、語彙力をつけてほしいので、学生諸君の努力を期待する。毎回の授業は自主的な作業が多いので、積極的に作業に参加しない者は力が付かないので注意する。

〔成績評価の方法〕

出席は当然重視する。前期後期の定期試験のほかに、小テストを何回か行い、平常点も加味して評価する。

〔使用テキスト〕

H. Suzuku/M. Rost/N. Baxer :
BASICS IN READING (Lingual House)

英 /	英文講読Ⅰ	英	必通2単位	渡部ちあき
--------	-------	---	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

学生・一般社会人が現実の生活場面で触れる英語を的確に読みこなすための、実用的・効率的・積極的な読解力を養成する。

英語を母国語としない日本人が英語を読む際には、語彙と文法力、速度にかなりの制約があるからこそ、それをふまえた上での読解方法を意識的にとる必要がある。その方法とは実は、英文自体がもともと持っている特質、読み手に要求している読み方、すなわち英語そのものの基本を、知ることにほかならない。

日本語と全く異なる発想・展開をもつ英文を読むのに、センテンスレベルの反復で、漫然と通読し和訳していくやり方では、理解は部分的・断片的・表面的なものにとどまり、かつ時間をいたずらに費してしまい、たとえ分量を読んでも内容が「読めた」という実感にはつながりにくい。

この授業では、まず英語の論理構造と文章構成法を講義し、パラグラフおよび英文全体の組み立てとデザインを見渡しつつ、重要度によって立体的に内容を把握する視点から読みどころをチェックしていく方法を訓練する。

これによって学生は、限られた語学力なりに、緩急自在に読みこんだり読み飛ばしたりする臨機応変な判断力、内容に対する推理力、書き手に対する批評力を獲得し、受け身から主体的な読み手への姿勢転換が可能となる。また自分の興味・目的、および文章の難度にあわせて細部を取捨選択し、能率的な情報処理ができるようになる。

さらに、文章のジャンル・特質に応じた要点の読みとり方の諸パターンを習得し、実際に出会うさまざまな英文に柔軟に対応できるようにする。特に後期には一般雑誌・総合雑誌の読み方に主眼を置く。

この授業で扱う各種の方法は、いずれも日本語訳のプロセスを最小限におさえ、かつ英語読解の深さ、分量、スピードを飛躍的に増す。こうして学生が自信をもって積極的に英語に向かう能力・姿勢・習慣を身につけることを、この授業の目的とする。

〔授業計画と内容〕

〈前期 : Basic Strategies〉

- | | | |
|-----|-----------------|------------------------------------|
| 第1週 | Orientation | |
| | | “Reading” : its purposes & methods |
| | | Paragraph : its notion & structure |
| 第2週 | Main Idea | |
| 第3週 | Keywords | |
| 第4週 | Guide | |
| 第5週 | Manual | 第6週 Human Story |
| 第7週 | Report | |
| 第8週 | Feature Article | |

英	英文講読Ⅰ	英	必通2単位	岡田 聡 宏
イ				

- 第9週 Interview
- 第10週 Literature
- 第11週 Review Workshop
- 〈後期：Magazine Reading〉
- 第12週 Page Design
- 第13週 Title Design
- 第14週 Interview Clusters
- 第15週 Catalogue
- 第16週 Book Review
- 第17週 True/False Quiz
- 第18週 Debate
- 第19週 Culture Comparison
- 第20週 Social Problem
- 第21週 Advertisement
- 第22週 Letters & Opinion

〔履修のポイント・注意点〕

毎回の授業で、読む英文の特質に対応した攻略法を伝授するとともに、実際のどんな出版物・頁・欄でそれが使えるかを具体的に提示するので、学生は手持ちの本や教科書、また図書館にある雑誌から、同種の文章をさがし、実際に練習を積んで、毎週ひとつずつ確実に技法をマスターすること。

〔成績評価の方法〕

- 〈試験〉 授業内・年数回
各種読解法の定着度と練習量、および各自の応用力と思考力を問う。
- 〈出席〉 全回出席を原則とする。

〔使用テキスト〕

- 〈前期〉 基礎技能訓練のために編集したプリントを毎回配布する。
- 〈後期〉 実際に出版している雑誌の最新号からその都度コピーを配布し、読解法のみならずそれを使って世界の最新の話題にも、通じるようにする。

〔指定参考図書〕

Mini-World
Cross Section
Seventeen
Vogue
Elle

〔講義目的・テーマ〕

テキストに Charles Dickens の *Selected Short Fiction* を使い、これを一年を通して精読する。この授業では和訳を中心に行なうが、特に表現の豊かさ美しさは問わない。むしろ文法事項が理解できているかどうかを問題とし、英文を正しく読むことを目的とする。

英語の読解力を身につけるためには、1つのテキストを時間をかけて熟読することも勿論大事であるが、英語を速く正確に読む練習をする必要もある。したがって授業では隔週毎に20分程度、新聞や雑誌を読む練習もあわせて行なうつもりである。

〔授業計画と内容〕

- 4月～5月 'The Story of the Goblins Who Stole a Sexton'
- 6月～7月 'The Baron of Grogzwing'
- 9月～12月 'The Signalman'
- 1月 何を読むかは授業にて指示する。

〔履修のポイント・注意点〕

語学に王道なし。語学力の修得にはかなり忍耐と努力を要するので、自らその自覚としっかりした目標をもって授業に臨むこと。また辞書は必ず持参すること。

〔成績評価の方法〕

試験結果のみならず、出席及び平常点も重視する。

〔使用テキスト〕

C. Dickens : *Selected Short Fiction* (Penguin)

〔指定参考図書〕

英 2	英文講読Ⅱ	英	必通2単位	石 黒 哲 三
--------	-------	---	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

ますます国際化の進んでいる昨今では、英語の重要性はどんなに強調しても強調しすぎることはないほどである。

英語教育の目標は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく身につけ、all-roundな英語力を習得しなければならない。

短大を卒業しても、満足に英語も読めず、満足に英語で手紙一本も書けないようでは残念である。英語科の学生なら、聖書やShakespeareも含めて、少なくとも英米の名作といわれるものは少しはカジって卒業して行って欲しいものだ。

文学作品、評論文、時事英語など、いろいろなジャンルの英文を正確に理解できる読解力、把握力をきちんと身につけることを目的としている。発音、アクセントの確認は勿論のこと、英文を読んだ順に理解する直読直解の習慣、速読・多読の習慣も是非身につけて欲しい。そんなことを目指している。

〔授業計画と内容〕

- 〔前期〕(1) Fear (短編推理小説)
(2) On reading (読書論)

〔後期〕プリントで多様なジャンルのものを読む予定。

〔履修のポイント・注意点〕

- (1) 授業には遅刻しないこと。
- (2) 授業は休まず出席すること。
- (3) 必ず予習してくること。
- (4) 積極的に学習活動に参加すること。
- (5) 授業中私語をしないこと。

〔成績評価の方法〕

- (1) 試験の成績50%
- (2) 平常点25%
- (3) 出席点25%

という目安で、総合的に判断して評価するが、日常の学習活動を重視する。

〔使用テキスト〕

- 〔前期〕Selected Short Stories(1)
〔後期〕プリント使用

〔指定参考図書〕

副教材としてNHKのラジオ英会話のテキストを毎時間併用するので、各自、毎月書店で購入すること。

英 2	英文講読Ⅱ	英	必通2単位	柳 田 恭 子
--------	-------	---	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

授業では、親日家で日本の大学でも英語、英文学を講じているイギリスの詩人のG. バントック氏の一種の旅行記で、氏がこれ迄に訪れたイタリア(ヴェニス)、トルコ(イスタンブール)、ソ連(クレムリン)、フランス(ルーヴル美術館)、ギリシャ(トロイ、エペソ、アテネ)、ノルウェー(ガイランゲル・フィヨルド)、西ドイツ(南部ドイツ、ドイツ東部)などで、出会った人々との種々の人間交流を巧みな筆致で描いたエッセイ集をテキストとする。そしてここには単なる旅行記で終わらぬ、歴史や文化や芸術的な話題も語られているので、テキストで紙上旅行を楽しんでいるうちに西洋の文化についての知識も少なからず得られる。そしていつの日か、自分もぜひ一度訪れてみたいと云う気にさせられる。文章は比較的平明であるが、語彙は豊富で、楽しく通読出来る。英文を日本語と同じように抵抗なく読む習慣が出来れば、後は出来るだけ多く、速く読む事が読解力を増進させる道であるが、その一助になればと願うのである。Listening ComprehensionやFast Readingの練習も授業の中で行う。

〔授業計画と内容〕

1. The Real Merchant of Venice
2. The Missing Tile
3. Lost in the Kremlin
4. Hidden Masterpieces
5. Magic Carpets
6. Tricked in Athens
7. The Bells of Geiranger
8. Castles in the Air

〔履修のポイント・注意点〕

1. 予習を必ずする。
2. 提出物は期限を厳守する。

〔成績評価の方法〕

1. 出席を重視する。
2. 中間・期末テストを行う。
3. レポートの課題がある。

〔使用テキスト〕

Gavin Bantock著「Other People, Other Places」成美堂

〔指定参考図書〕

英	英文講読Ⅱ	英	必通2単位	石和義之
2				

〔講義目的・テーマ〕

比較的、興味を持ってやすい英文テキストを、正確に、かつ、それなりのスピードで読み進んでいくことで、中級以上の英文読解力を養っていくことが、この授業の目的である。

〔授業計画と内容〕

テキストを1章から順に読んでいく予定だが、以下の点に、特に留意したい。

- (1)最低限の正確な発音、アクセントの確認。
- (2)重要単語、熟語の確認。
- (3)文法、語法上の重要な事項についての確認。

〔履修のポイント・注意点〕

- (1)予習を必ず行なう。
- (2)辞書を持参する。
- (3)授業に積極的に参加する。
- (4)対象を特定することはしないが、とにかく、日頃から知的好奇心をcultivateしておいてほしい。

〔成績評価の方法〕

評価は試験結果、出欠状況、授業への参加度などに基づき総合的に行なう。

〔使用テキスト〕

Alan Posener 著「The Beatles Story」
マクミラン ランゲージハウス

〔指定参考図書〕

これを読み、と特に指定はしないが、使用テキストはビートルズの文化的、思想的背景、またその情報戦略など、かなりつつこんだ内容を扱っているので、その方面に日頃から知的関心を向けておいてほしい。以下のものを参考までにあげておく。

- (1)ビートルズのCD、映画など。
- (2)「ロッキン・オン」、「ロッキンオン・ジャパン」、「カット」(株式会社ロッキンオン)
- (3)小林信彦のコラム。
- (4)情報社会を扱った社会学書の類(例えば、ボードリヤールなど)。
- (5)「ロッカーベスト・アルバム・セレクション」(渋谷陽一 新潮文庫)

英	英文作法Ⅰ	英	必通2単位	向井千代子
3				

〔講義目的・テーマ〕

今までの英作文の勉強というと、こま切りの文章を日本語で与えられ、それを英語に訳するという形が多かったと思う。大学のレベルではもう少し進んで、自分の考えをある程度の長さの文章にまとめるための勉強をする。そのためには文章構成力が重要になってくる。パラグラフごとにまとまりのある文章群を作り、いくつかのパラグラフから成る作文力をつけなければならぬ。もちろん文法力、語彙力も重要であるが、その上に文全体の論の進め方、構成の仕方も大切な要素である。

〔授業計画と内容〕

- | | |
|----|------------------|
| 前期 | 1. 自分の考えを整理すること。 |
| | 2. トピック・センテンスとは? |
| | 3. 情報を提供する。 |
| | 4. 自分の意見を述べる。 |
| | 5. 手順説明。 |
| | 6. 手紙の形式と書き方。 |
| 後期 | 7. 描写 |
| | 8. 報告書 |
| | 9. 比較対照。 |
| | 10. 分析。 |
| | 11. 予想。 |
| | 12. 要約。 |

〔履修のポイント・注意点〕

教科書以外にもプリントを使用し、様々なトピックについて書いてもらう。ノートを2冊用意し、一冊は普通の課題提出用とし、もう一冊は日記用とする。日記は最低4回提出する。英文俳句も教える予定。

〔成績評価の方法〕

原則として平常点による評価。ほとんど毎回の授業で課題が出るので、それを基準に評価する。

〔使用テキスト〕

K. Blanchard/C. Root: *READY TO WRITE* (Longman)

英	英文作法 I	英	必通 2 単位	渡 部 ち あ き
5				

〔 講義目的・テーマ 〕

This course, conducted mainly in English, aims to have students learn how to think and write in English without that process of translation from Japanese which is often unnecessary and even confusing.

Students will enjoy and master the way to develop and organize their own original ideas through conversation practice, free discussion and paragraph writing on a wide range of everyday topics. Various exercises will also be given to internalize basics in logic, style and fluency.

This course has three parts: diary(home-work), paragraph writing(class) and TWE in TOEFL(option), with the following objectives:

1. Diary: to acquire the habit of writing not fearing making mistakes and to enhance speed and fluency
2. Class: to write a well-organized paragraph with careful design, detail arrangement, and word choice
3. TWE(Test of Written English) in TOEFL: to learn what skills are needed practically in the real world and to know your level by the objective standard

〔 授業計画と内容 〕

〔 ANNUAL PLAN 〕

第 1 週	Orientation		
第 2 週	Introduction (pp.xv-xvii)		
	Structure Manual 1: Paragraph		
第 3 週	Unit 1 Instruction	C1	Meeting People
第 4 週		C2	Using Tools
第 5 週		C3	Going to Places
第 6 週	Summary & Further Activity 1: How to Do		
	Structure Manual 2: Process & Direction		
	Structure Manual 3: Space Order		
第 7 週	Unit 2 Reporting	C4	An Accident
第 8 週		C5	History
第 9 週		C6	Announcement
第 10 週	Summary & Further Activity 2: Drama		
	Structure Manual 4: Time Order		
第 11 週	Unit 3 Analyzing	C7	Why I Chose...
第 12 週		C8	Why ...is...
第 13 週		C9	Why...Happens
第 14 週	Summary & Further Activity 3: Problems		

	Structure Manual 5: Cause-Effect		
	Structure Manual 6: Facts & Examples		
第 15 週	Unit 4 Comparison	C10	People
第 16 週		C11	Purchase
第 17 週		C12	Culture
第 18 週	Summary & Further Activity 4: Lifestyle		
	Structure Manual 7: Comparison & Contrast		
第 19 週	Unit 5 Classification	C13	Foods
第 20 週		C14	Hobby
第 21 週		C15	People
第 22 週	Summary & Further Activity 5: Culture		
	Structure Manual 8 : Classification		
第 23 週	Unit 6 Description	C16	Machines
第 24 週		C17	Living Things
第 25 週		C18	Phenomena
第 26 週	Summary & Further Activity 6: Specialist		
	Structure Manual 9: Definition		

〔 PROCEDURE 〕

1. Diary: Write on every other line on A-lined loose leaves of B5 size. Every week, submit as many pages as possible. At least 2 pages are required.
The instructor will just check the level; no correction will be made.
2. Class:
 - <Textbook Week>
 - (1) As preparation for class, study the "Planning, Writing, Organization, Grammar and Punctuation" parts *beforehand*. Write your answers and ideas for all the exercises offered in the textbook.
 - (2) In class, first, we check whether you understand the basics mentioned above.
 - (3) Then we have conversation practice and other activities to train your skills in thinking and talking in English language and logic.
 - <Summary and Further Activity Week>
 - (1) You are given the "Structure Manual" sheet, which provides the basic way of organizing a paragraph with each kind of logic, like "cause-effect".
 - (2) Then you have free discussion on up-to-date topics, exchanging opinions

英 3	英文作法 I	英	必通 2 単位	James Chambers
--------	--------	---	---------	-------------------

with other students.

- (3) Based on the conversation and memo, plan and write a well-structured paragraph, making use of the "Structure Manual".
- (4) Turn in the composition.
- (5) Next week you receive your writing, corrected and sophisticated by the instructor. Review your punctuation, grammar and style. Following the direction and suggestion, rewrite the essay after class, at home. This is to be compiled in your file.

3. TWE

- (1) Obtain a TOEFL bulletin and apply by June/July/Sep.
- (2) Take TWE with TOEFL in Aug./Sep./Oct.
- (3) Turn in the copy of your score record by Sep./Oct./Dec.
- (※) Take as many times as possible.

〔履修のポイント・注意点〕

〔 REQUIREMENTS 〕

- (1) Turning in your diary every week
(As homework)
- (2) Preview of the assigned part of the textbook(See the annual plan.)
- (3) Active participation in class
(Attendance as a matter of course)
- (4) Turning in an essay you write
(As a part of activities in class)

〔成績評価の方法〕

〔 EVALUATION 〕

- (0) No test at the end of each term
- (1) Your diligence, improvement and level
- (2) The number of pages of your diary
- (3) TWE (option: experience and score)

〔使用テキスト〕

J. Huizenga, C. M. Snellings, & G. B. Francis,
Basic Composition for ESL: An Expository Workbook, Third Edition(Heinle & Heinle Publishers, 1990).

〔講義目的・テーマ〕

Purpose:

Students will practice writing paragraphs and short compositions about topics practiced in oral English class. Students will also be expected to write weekly journals. The class will learn correct English paragraph format and how to edit and rewrite their own compositions. Students will work in groups and pairs, correcting writing together. This class may be taught in the computer room. As a final project, students will write a long composition about their family history.

〔授業計画と内容〕

Contents:

The following topics will be covered: English paragraph format, self introduction, describing people, family, daily routines, describing a room, giving directions, telling about past experiences, job description, entertainment and hobbies, future plans, money and personal finances, personal feelings, and giving instructions. The final project will be a "Family History Project," a five page composition about a relative.

〔履修のポイント・注意点〕

Important Points:

Students will write a one or two page composition or diary every week, Students will also do some grammar practice and learn how to edit and rewrite. Students are strongly advised to take Typing (Word Processing). All students will be required to type their final report. Students must keep all of their writing in a special writing binder to be submitted at the end of each term.

〔成績評価の方法〕

Grading:

There will be no tests. In the first term, the emphasis will be on writing as much as possible. Grades will be according to how many pages students write. In the second term, grades will be according to the quality of writing, particularly the Family History Project. Students must submit a file of all their writing at the end of each term.

〔使用テキスト〕

Textbook:

Changing Times

英 3	英文作法 I	英	必通 2 単位	Michael Rees
--------	--------	---	---------	--------------

〔指定参考図書〕

Other Materials:

- loose leaf binder (size B5, 26 holes)
- loose leaf paper with left and right margins (Recommended: *Rakki Guroria riifu* [Gloria Leaf])
- midashiyoushi 5 dan* or *8 dan* B5 26 holes (Maruman); or *Takku indekusu*
- Maruman's *pocketto riifu*, one

〔講義目的・テーマ〕

The aim of this course is to introduce writing real English for real purposes in such a way that the meaning and intent is clear to a native speaker.

The course is based on 12, approximately 3 hour (2 classes), modules. In each module there will be:

- 1) An introduction to one or more features of language
- 2) Guided practice in the use of the language
- 3) Creative use of the features introduced in this and previous modules.

Two features of this course are important:

- (a) Before any writing takes place there will be some spoken practice of the structures which are being looked at and
- (b) This writing course will be linked to the Oral I, II and III classes so that students will have the chance to hear, speak, read and write the English which is used for a particular purpose.

The textbook for this course will be: "CHANGING TIMES" by Dale Fuller (published by Macmillan Language House).

In addition, students will need a 20 page "Clear file" in which to keep handouts and their compositions.

Each lesson builds on the previous lessons and attendance is therefore important. Students will be allowed a maximum of six absences during the year. Missing class more often than that will be grounds for failure of the course.

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

英	Oral English I	英	必通 2 単位	Matthew Shak Thomas J. Stearns David Bradley Doris 渡辺 James Chambers Michael Rees
	Oral English II	英	必通 2 単位	
4	Oral English III	英	必通 2 単位	

〔講義目的・テーマ〕

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

オーラル I・II・IIIの主眼は、英語を話し理解するコミュニケーション能力にある。授業は個別に行われるが、全体としてまとまったコースになるよう構成されており、それぞれのクラスが、他のクラスで扱った題材をその都度互いに増強・補強・復習するようになっている。ただしどのクラスでも、リスニングとスピーキングのバランスのとれた練習を学生がきちんとできるよう、配慮してある。

さまざまな話題を取り上げて、学生が自分について、日常生活、好き嫌い、買い物、過去や未来の出来事、余暇の過ごし方、娯楽などについて、話す能力を身につけるようにする。

この目標達成のため、英語でのペア学習やグループ学習を行ない、学生が実際に英語を理解し使う経験をする機会を与える。

教科書のほかにも、ビデオや音楽などをリスニング教材として用い、別の状況で広い範囲の自然な英語が使われる例に触れる。

授業はいずれも英語で行われるので、学生の積極的な参加が期待される。

〔成績評価の方法〕

評価に際しては以下の点を総合的に判断する。

1. 出席（欠席 7 回以上は失格となる）
2. 会話練習への、英語での参加の積極度
3. 英語の質問のうけこたえ
4. 宿題
5. 試験

〔使用テキスト〕

開講時に指示する。

〔指定参考図書〕

英	英文法	英	必通 2 単位	柳田 恭子
5				

〔講義目的・テーマ〕

高校までに学習した文法事項を復習、整理し乍ら、最近の新しい文法の知識も取り入れて、少しレベルの高い文法を理論的、系統的に学ぶことによって、より効率的に英語力を培う事を目的とする。そして文法の為の文法ではなく、生きた英語の実態により迫る、活用出来る英語の熟達为目标とされる。これ迄の英語教育への1つの反動として、文法の無用論も一部にはあるが、外国語を学習する場合には、特にその外国語のルールを学ぶ事が大切で、英文法はいわば、この様なルールの集合体である。これを無視しては正しい英語とはなり得ないのである。Listening Comprehensionの練習も授業の中で行う。

〔授業計画と内容〕

1. 文とは何か（文の要素・句と節）
2. 基本五文型とその展開
3. 名詞句の構造
4. 動詞句の構造（動詞型）
5. 冠詞
6. 修飾 I（形容詞的修飾）
7. 修飾 II（副詞的修飾）
8. 前置詞と前置詞句
9. 時制と相
10. 法と法助動詞
11. 話法
12. 文体と丁寧表現
13. さまざまな発話の機能
14. 英語特有の構文
15. 意味と文法
16. 情報構造
17. 語順
18. 前提の焦点
19. 代用と省略
20. 文の連結

〔履修のポイント・注意点〕

1. 予習は必ずする。2. 提出物は期限を厳守する。

〔成績評価の方法〕

1. 出席を重視する。
2. 年に数回のレポート提出も評価の一部とする。
3. 中間・期末テストを行う。

〔使用テキスト〕

石黒昭博、赤楚治之他著「English Grammar from a New Perspective」（新大学英文法）金星堂

〔指定参考図書〕

有村兼彬、天野政千代著

「英語の文法」（英語学入門講座第 8 巻）英潮社新社

英	英文法	英	必通2単位	岡田 聡 宏
5				

〔講義目的・テーマ〕

- (1) a. The man was drowning.
 b. The man drowned.
 (2) a. Have you visited the Gauguin exhibition?
 b. Did you visit the Gauguin exhibition?
 上記(1)、(2)のa、b間に存在する微妙な相違を説明することができるであろうか。

この授業では、高校までに学んだ英文法とは一味違った、大学ならではの英文法を学習する。つまり外国人、とりわけ日本人にとって問題となる時制、相、法等を中心に、(1)、(2)のような具体例を通して英語に存在する微妙な意味を理解することがねらいである。また英文のテキストを使用するので少々骨が折れるかもしれないが、時間をかけて丁寧に読んでゆくとつもりなので問題は無いはずである。

〔授業計画と内容〕

- (前期) SIMPLE PRESENT AND PAST TENSES
 1. SIMPLE PRESENT: UNRESTRICTIVE USE
 2. SIMPLE PRESENT: INSTANTANEOUS USES
 3. STATES AND EVENTS
 4. SIMPLE PRESENT: HABITUAL USE
 5. SIMPLE PRESENT REFERRING TO PAST AND FUTURE
 6. SIMPLE PAST: NORMAL USE
 7. OTHER USES OF THE SIMPLE PAST
 8. SIMPLE PRESENT: IMAGINARY USES
 (後期) PROGRESSIVE ASPECT
 1. PROGRESSIVE ASPECT REFERRING TO TEMPORARY HAPPENINGS
 2. GLASSES OF VERB WITH THE PROGRESSIVE ASPECT
 3. APPARENT EXCEPTIONS
 4. PROGRESSIVE ASPECT: OTHER USES

〔履修のポイント・注意点〕

自分の担当外の箇所でも必ず予習をしてくること。

〔成績評価の方法〕

試験結果のみならず、出席及び平常点も重視する。

〔使用テキスト〕

G. Leech: *Meaning and the English Verb*
 ひつじ書房

〔指定参考図書〕

英	英語音声学	英	必通4単位	岡田 聡 宏
6				

〔講義目的・テーマ〕

日本人は、とかく英語の聞き取りや発音が苦手だと言われるが、その主な原因は英語と日本語間に存在する音の体系の相違にある。したがってこの点を認識することが我々日本人が英語を話したり、聞いたりする時に感じる困難を克服する方法へとつながってゆく。この授業では、「英語と日本語間の音の体系の相違」という点に常に注意しながら、英語音声学を理論と実践の両方の面から学習する。特に実践面では、英語の発音とリズムを徹底的に練習してもらおう。

授業において効果的な英語学習の方法を指導することは可能であるが、やはり限られた授業間内のできることに限界がある。語学力習得には王道はないのである。各自、苦勞と努力を惜しまず、授業外でも積極的に練習に励んでもらいたい。

〔履修のポイント・注意点〕

- (前期)
 1. THE CONSONANTS OF ENGLISH
 2. CONSONANT SEQUENCES
 (後期)
 1. THE VOWELS OF ENGLISH
 2. WORDS IN COMPANY
 3. INTONATION

〔履修のポイント・注意点〕

授業の予習、復習は勿論、授業以外でもなるべく長い時間英語に接するよう努めてもらいたい。

〔成績評価の方法〕

試験結果のみならず、出席及び平常点も重視する。

〔講義目的・テーマ〕

J. O'Connor: *Better English Pronunciation*
 成美堂

〔指定参考図書〕

現代英語学辞典 成美堂
 英語学辞典 大修館

英 7	外国事情	英	必通4単位	上岡 條 二
--------	------	---	-------	--------

〔講義目的・テーマ〕

諸外国の事情について出来る限りゲストの人を招き、色々な角度から見てゆきたい。その上で、異文化間のコミュニケーションとは何か、又なぜ自分の経験や体験だけで外国の人を判断してしまうのか、と言う日本人的発想にまで触れられればと思う。

ントサービス部
佐々木成人氏

- 12) 日本のNGO活動について
ゲスト 白鷗大学 教授
福岡 政行先生 等

〔授業計画と内容〕

急激な変化をする国際情勢にあわせて、授業がスタートした時点の国際問題を取りあげてゆきたい。

参考として過年度に来ていただいたゲストの方々は以下の通りです。

- 1) 現代フランスの経済問題について
ゲスト 元フランス大使館経済担当官
ジャック エブラール氏
- 2) 今のアメリカ大学生は
ゲスト コロラド州 ノースイースタン短大
教授 ロナルド・ベイリー先生
- 3) アメリカの教育と日本の教育
ゲスト 子供の城 国際交流部
テリー・スザーン氏
- 4) ソ連崩壊と現代ロシア
ゲスト 日本テレビ 報道部
南 勝次郎氏
- 5) エリツイン ロシア大統領にインタビューを
して
ゲスト TBSテレビ 解説委員
堀 宏氏
- 6) 私のヨルダン ロシアそしてカンボジア
ー国際ボランティア活動を通してー
ゲスト 脚本家
小山内美江子先生
- 7) 海外ボランティア活動の体験談
ゲスト 白鷗大学、経営学部学生
宮田康則君、福田昌浩君
上野智也君、俣田直子さん
- 8) 日米大変革競争と日本人
ゲスト ニューヨーク市立大学教授
霍見芳浩先生
- 9) テレビメディアの虚像と実像
ゲスト ニュースキャスター
山本 厚太郎氏
- 10) 私の海外での異文化体験
ゲスト JAL国際線スチュワーデス
石山聖実さん(白鷗大卒)
- 11) ホテルマンが見た外国人
ゲスト ホテルニューオータニ、マネージメ

〔履修のポイント・注意点〕

必修科目なので履修上の注意はないが、毎日の新聞はよく読む事。

小学生や中学生の地理の授業ではないけれど、何も見ないで正確な世界地図がかけるレベルを期待します。実際昨年の大手旅行代理店の入社試験に「世界地図」を書かせる問題が出たとの事です。

〔成績評価の方法〕

授業出席80%以上の学生を評価する対象とします。

出席は毎回とりかた重視します。そしてテストは実施しないかわりに、レポートは何度が提出してもらおう事になります。来たる11月25日(土)の留学生シンポジウムには、ボランティア活動もふくんで、全員で参加する事を義務づけます。

前期 ノート提出あり。

〔使用テキスト〕

テキストとしては特にないが、NHKドキュメンタリー「アジアハイウエー」やCBSイブニングニュース、CNNニュース等をビデオで使用する。

又小山駅西口ロプレの映画館を利用しての映画鑑賞も予定。しかし外国事情専用のノートは必ずつくってほしい。出来れば、各国別の見出しをつけ毎回の授業のなかで整理して、そして5月の連休前後でノートをチェックします。

〔指定参考図書〕

テーマにあわせてその都度指示します。

英	♂	Reading I	英	選択必修通2単位	Matthew Shak
	♀	Reading II	英	選通2単位	

Reading I と Reading II は連続し全体で 2 年間にわたる一貫授業となっており、読解力の向上と速度の増進によって学習者がより効率的に読めるようにすることを目的としている。

Reading I は 1 年生、2 年生とも履修可能である。

Reading II は Reading I の単位取得者、および教師の許可を得た学生のみを対象とする。

[Reading I]

[講義目的・テーマ]

Do you love to read? Reading is an activity *best* learned by reading - and reading a lot - not through word-for-word translations into Japanese. Reading I emphasizes improving overall comprehension and reading speed.

[授業計画と内容]

To achieve these goals, we will focus on directed reading activities to better comprehension and increase reading speed, on reading strategies to understand how to read, and on extensive reading to gain a greater familiarity with the printed word in context.

Directed reading will be done in class every week and consists of providing students with reading materials at their current level of comprehension. This allows readers to improve their reading abilities at a natural pace. The readings will change weekly and as students show significant progress, their level and, likewise, their reading material change.

Work on various reading techniques will be done every week. We will learn the importance of the following ideas, then follow up with practice reading activities:

- previewing
- predicting
- guessing word meanings
- topics
- topics of paragraphs
- main ideas of paragraphs
- patterns of organization
- using reference words
- skimming
- scanning

Extensive reading, or outside reading, simply means reading a lot. Books will be provided from which students can choose what they find most enjoyable and interesting. This means that students will be expected not only to read in class but also to read books of their

choice and interest outside of class as part of the learning process to become better and more proficient readers.

[履修のポイント・注意点]

This class will be conducted in English and be limited to forty(40) students.

[成績評価の方法]

Final grades will be determined by attendance, attentiveness to reading in class, outside reading, and tests.

[使用テキスト]

Text: to be announced later

[Reading II]

[講義目的・テーマ]

Reading II, like Reading I, will maintain a fixed focus on overall comprehension first and reading speed second. However, Reading II will include a vocabulary building element. In addition, a greater emphasis will be placed on skimming, a reading skill used to find the main idea(s) of a reading and a few, but not all, of the details.

[授業計画と内容]

First and foremost, reading means comprehension of the printed word, not a translation of it. Directed reading will again be used to increase comprehension at the student's own pace. Materials appropriate to the individual student's reading level will be selected and as students show improvement and become more proficient readers, higher level reading materials will be introduced.

Extensive reading(outside reading) will be used to provide students with greater chances to read outside of class, on their own, books of fiction or non-fiction they find interesting and topical. After all, a person learns to read by reading and the more a person reads, the better a reader he or she will become.

Vocabulary building will concentrate on word building activities and exercises to widen the students' vocabulary range in order to make the act of reading flow more smoothly and to deepen the students' understanding of what she is reading.

英 10	時事英語	英	選択必修 通2単位	渡部 ちあき
---------	------	---	--------------	--------

〔履修のポイント・注意点〕

This class will be conducted in English.

Prerequisite: Reading I or approval by the instructor.

〔成績評価の方法〕

Final grades will be determined by attendance, attentiveness to reading in class, outside reading, and by tests.

〔使用テキスト〕

Text: to be announced later

〔講義目的・テーマ〕

英字新聞を日常生活の情報源として読みこなすための体系的知識と実践的能力を習得するとともに、国際的な視野から自分の生活、身の回りの出来事、国内外の事件・事象をとらえ、見つめる姿勢を身につける。

新聞によって自己の行動範囲を広げたり社会への理解を深めるのみならず、一生を通じて英語に親しみ社会に対して開かれた意識を持ち続けるための、基礎力養成と習慣形成をめざす授業である。

〔授業計画と内容〕

〈前期〉英字新聞の基礎知識、および身近な欄の多様な情報パターンを学ぶ。

第1週 英字新聞の概観（日・英・米・他、各国の事情と新聞の特徴・入手法）

第2週 新聞全体の構成（目次・特集）

第3週 天気予報・テレビ番組

第4週 求人広告・不動産広告・外貨レート

第5週 スポーツ・漫画

第6週 人生相談

第7週 投書

第8週 コラム

第9週 インタビュー

第10週 社説

第11週 一般記事の構成と諸要素（見出し、リード、本文、写真、キャプション、クレジット、通信社と記事の配信）

第12週 新聞英語特有の語法・用法① 見出し

第13週 新聞英語特有の語法・用法② リード・本文

〈後期〉本格的な記事の読解を学ぶ。各ジャンルの基本語彙を知り、最新の時事に通じる。あわせて follow-up（音声重ね読み）の訓練を行い、ニュース英語を直解するスピードを速めるとともに英語放送に慣れる。

第14週 国際政治

第15週 国内政治

第16週 国際経済

第17週 国内経済

第18週 軍事

第19週 環境

第20週 社会

第21週 犯罪

第22週 災害

第23週 人間の興味

第24週 文化

第25週 科学

英	英文作法Ⅱ	英	選択必修 通2単位	藤 森 吉 之
11				

〔履修のポイント・注意点〕

- 〈予習〉 毎回、次週の内容を予告するので、テキスト・プリントの指示された部分を読んでくること。
- 〈復習〉 その週に習った欄・ジャンルの記事を、実際の新聞から捜して読んでみる。自分で英字新聞を買うか、図書館で当該箇所をコピーするとよい。

〔成績評価の方法〕

- 〈出席〉 全回出席を原則とする。
- 〈試験〉 現実に新聞を読むのと同じ状況設定で行なう。授業で習った欄・ジャンルについて最新の記事を使って構成した模擬新聞を渡す。必要があれば辞書・教科書・プリント・ノートを見てかまわない。大量の情報を短時間で的確に処理する能力が問われるので、授業で学んだ知識・方法を十分に理解し習熟しておくことが重要となる。

〔使用テキスト〕

「英字新聞の読み方（第4版）」・木塚春夫著・北星堂書店
このほかプリントを多数配布する。

〔指定参考図書〕

「時事英語辞典」・研究社
「現代用語の基礎知識」・自由国民社
「ジャパン・アルマナック'95」・朝日新聞社
The Japan Times
Daily Yomiuri
Asahi Evening News
Mainichi Daily News
The Student Times
The Herald Tribune

〔講義目的・テーマ〕

〔授業計画と内容〕

FAX の普及に伴い理論的で効果的な英文を書く必要が増大している。又国際化の進展により簡単な英文を短時間で書ける能力が必要となって来ている。しかし英文を書けるだけでは不十分である。そこで本コースでは英語が読めて、書けて、話せて、聴ける学生の養成を目標とする。

また自分の英語力を客観的に測定するために必要な CELT, TOEFL, RET などの練習もする。

新聞、雑誌、テープ教材、ビデオ教材なども随時利用して、生の英語に接するチャンスをもく持てるようにする。

コース終了時には平易な英語でならスピーチの原稿を書いたり、人生相談に応じたり、使用説明や内容紹介等が出来、新聞記事を読んで論旨が明確で、あまり口語的でない英文を用いてコメント出来るような作文力を身につける。

英語的な発想で要を得た英文を短時間で書けるよう訓練すると同時に英語で考える習慣を身に付ける。

〔履修のポイント・注意点〕

予習・復習の励行、積極的な授業への参加、遅刻をしないの3つをモットーとする。

〔成績評価の方法〕

課題の提出、授業への準備と参加、試験結果、出席状況等を総合的に判断して評価する。

〔使用テキスト〕

開講時に指示する。

英 12	Creative Writing	英	選通2単位	Michael Rees
---------	------------------	---	-------	--------------

〔講義目的・テーマ〕

The purpose of this course is to allow students to develop their skills in written English through conversations about and preparing essays on a wide range of interesting topics.

〔授業計画と内容〕

The structure of the course is similar to that which was encountered by those students who, in their first year, used the "Crossroads" text. The text for the second year course is by the same author and the course will follow broadly the same lines i. e. initial discussions about a particular topic to introduce appropriate language items, followed by an initial essay on that topic. This will then be marked with editing symbols which show the student the *type* of error they have made. Students then re-write the essay, using the editing symbols as guides for corrections. This final essay is then graded.

〔履修のポイント・注意点〕

It is MOSTIMPORTANT that students intending to choose this course, realize that they will be required to *speak* English in addition to writing English. Verbal use of language items is considered to be an essential prerequisite of using those items for writing.

〔成績評価の方法〕

Grading will be by continuous assessment - there are no end of semester or end of year examinations. In each class, every student will be assessed on (a) participation, in English, in the preliminary discussions (b) attendance and (c) the quality of their final essay draft. Failure in any one these (for example poor attendance or not discussing the topic in English) may mean that a student cannot pass the course.

〔使用テキスト〕

The course textis, "Changing Times" by Dale Fuller. Published by MacMillan.

〔指定参考図書〕

英 13	Oral English IV	英	選通2単位	Matthew Shak
---------	-----------------	---	-------	--------------

〔講義目的・テーマ〕

Oral English IV continues the emphasis begun in first-year oral English classes on the use of English for interpersonal communication. This means that this class will focus on listening and speaking skills.

〔授業計画と内容〕

In order to improve listening and speaking skills, directed listening activities will be part of each lesson and English-speaking activities, such as pairwork, will be used each week on different topics and situations. Songs will be used to focus attention on reduced speech and "short" words that are so common in conversation and so difficult to hear and understand. The following is a typical lesson plan for one week:

- short discussion about a topic
- a listening activity about the same topic
- a conversation pairwork activity
- a model conversation based on the previous pairwork situation
- listening activities based on the model conversation

Various topics will be covered in Oral IV, some of which were also done in the students' first-year oral English classes. Oral English IV topics, however, will require the students to cover these topics in greater depth and in more detail. Each topic will take about two weeks and we will do the following topics:

- directions
- describing people and clothes
- making plans
- buying and selling things
- talking about your city and prefecture
- restaurant language
- hotels
- shopping
- apartments
- travel plans
- traveling
- talking about yourself and English

〔履修のポイント・注意点〕

Class size will be limited to twenty(20) students.

〔成績評価の方法〕

Final grades will be determined by attendance, active participation in pairwork in English, attentiveness and responsiveness in listening comprehension, and one test.

〔使用テキスト〕

Text: to be announced later

〔指定参考図書〕

英	Oral EnglishⅣ	英	選通 2 単位	Thomas J. Stearns
13				

〔講義目的・テーマ〕

Primarily, the focus of Oral Ⅳ will be for students to use English as a means of communicating with others in pairs and small groups to complete tasks and activities. There will be some listening activities as well, and some vocabulary enrichment exercises and pronunciation skill-building activities.

〔授業計画と内容〕

The nine topics we'll cover are:

- 1) meeting new people and making small talk
- 2) invitations and entertainment
- 3) restaurant orders, food, and dishes
- 4) jobs, interviewing for jobs, and evaluating candidates
- 5) meeting old friends and catching up on the news with them
- 6) asking for advice and talking about learning how to do things
- 7) public and private rules, social rules and customs
- 8) talking about local, national, and international news
- 9) planning parties: celebrations, holidays, and traditions

〔履修のポイント・注意点〕

Regular attendance is encouraged and expected. Three(3) consecutive unexcused absences and/or eight or more absences will be unacceptable if a student wishes to receive credit for this course.

Class size will be limited to twenty students.

〔成績評価の方法〕

Grading will be based chiefly on attitude, participation, and attendance, each of them being of about equal value to add up to 100 total points for the school year.

〔使用テキスト〕

The text we will use is called *Keynote Plus*, by McGannon, Chow, and Rost (Lingual House, 1994). The price is about ¥2,000. The listening element is perhaps a little more difficult than the speaking exercises. It covers the four basic skills: speaking, listening, writing, and reading.

〔指定参考図書〕

No reference books from the library will be necessary for this course.

英	Oral EnglishⅣ	英	選通 2 単位	David Bradley
13				

〔講義目的・テーマ〕

The aim of the course is to enable students to acquire communicative skills in English as a means of international communication. Oral Ⅳ is a continuation of Oral I – III and will follow a similar format with emphasis on listening and speaking.

〔授業計画と内容〕

Each week there will be speaking and listening activities following the topics presented in the textbook. The speaking activities will be done by students in pairs or small groups. The style of lesson will be similar to that of the first year oral classes. The course is based on a structural syllabus covering such grammar points as passives, perfect tenses, reported speech and conditionals. It also presents functional language such as advising and giving an opinion.

At the end of each term we will do some intensive listening activities on authentic interviews with people from various walks of life.

〔履修のポイント・注意点〕

Class size will be limited to twenty students.

There will be an extended listening assignment for homework.

〔成績評価の方法〕

Grades will be based on attendance, an end-of-term assignment and class participation, with particular emphasis on class participation.

〔使用テキスト〕

Meridian Plus 3. Jeremy Harmer and Steve Elsworth. Longman.

〔指定参考図書〕

Here and There. David Peaty and Bernard Susser. Heinemann.

Intermediate Listening. Simon Brewster. Nelson.

Building Skills for TOEIC. George W. Pifer. Lingual House.

The Heinemann TOEFL Preparation Course.

M. Kathleen Mahnke and Carolyn B. Duffy. Heinemann.

英 13	Oral EnglishⅣ	英	選通2単位	Doris 渡 辺
---------	---------------	---	-------	-----------

〔講義目的・テーマ〕

In this course we will build on the basic conversational skills acquired in first year Oral English. The goal is for students to become able to express themselves more completely and accurately, and to improve their comprehension of spoken English. We will do a variety of oral activities using listening tapes, videos, music and communication games to supplement the textbook. Class size will be limited to twenty (20) students.

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

Interchange 2

〔指定参考図書〕

英 14	Oral EnglishⅤ	英	選通2単位	James Chambers
---------	---------------	---	-------	-------------------

〔講義目的・テーマ〕

The purpose of this course is to prepare students for using English for work in the travel industry, including hotels and tourism. Students will practice listening, speaking, reading, and writing about travel and work. As the final project for the course, students will have to prepare tourist information about their home towns, and also present information orally about their home towns in a short in a short speech.

〔授業計画と内容〕

Job description, giving directions, explaining transportation making and cancelling room reservations, handling complaints, describing facilities and services, describing places, talking about travels and hobbies, planning a tour, and practicing interviews. In the course students will practice listening, reading, role play, and various communication games.

〔履修のポイント・注意点〕

Speaking actively in class, asking and answering questions will be the basis of grades. All students must gather information about their home towns, including geography, history, economics, transportation, sightseeing places, restaurants, and shopping. They will use this information to write a travel guide about their town and present a short speech to the class in the second term. The final report must be typed.

〔成績評価の方法〕

Students will be evaluated on classroom participation, short quizzes, and their final speech and home town travel guide. There will be no end of term or final examinations.

〔使用テキスト〕

First Class

〔指定参考図書〕

An American Sampler

英	Oral English VI	英	選通 2 単位	Michael Rees
15				

〔講義目的・テーマ〕

The purpose of this course is to allow students to develop their skills in spoken English through conversation and discussions covering quite a wide range of topics which should be of interest.

〔授業計画と内容〕

The text for the course, "Go Ahead-Talk" is divided into fourteen parts and each part will be covered in approximately two classes. There will be some pre-class preparation (homework) required so that students are familiar with the vocabulary and structures they will need in the following class. In addition, a music-based component (similar to "Whaddayasing" in year one) will be used to introduce students to a range of common and useful, natural English expressions.

〔履修のポイント・注意点〕

It is MOST IMPORTANT that students intending to choose this course, realize that they will be required to speak English extensively in every class, every week and that this use of English will form an important part of their assessment for the course.

〔成績評価の方法〕

Grading will be by continuous assessment-there are no end of semester or end of year examinations. In each class, every student will be assessed on (a) preparation (b) attendance (c) participation and (d) use of English. Failure in any one of these (for example poor attendance or not speaking English) may mean that a student cannot pass the course.

〔使用テキスト〕

The course text is, "Go Ahead-Talk" by Paul Gilbert. Published by MacMillan.

〔指定参考図書〕

英	Oral English VII	英	選通 2 単位	Teri Suzanne
16				

〔講義目的・テーマ〕

この講義は座講よりも実際の場面に則して、英語を学ぶ内容になっています。英語で詩を朗読し、劇を演じ、ディスカッションすることを通して英会話に自信をつけます。さらに、自分の意見や考え方を英語で表現できるようにします。

〔授業計画と内容〕

- ①英詩を朗読し、英語劇を演じ、英語の絵本を読み、英語の歌を歌います。
- ②自分で書いた短いお話しや詩、自分の意見を英語で表現します。(テープで録音したものを個別指導します。)
- ③自分の興味ある分野について、自分の意見を英語で述べる " シュートスピーチ " をします。
- ④ひとつのテーマについて英語でグループディスカッションを行ないます。

〔履修のポイント・注意点〕

この講義を受講する人は、積極的な姿勢で取り組んで欲しいと思います。自らが声を出し、動くことを通して英語表現を身につける心構えで参加して下さい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

特にありませんが、和英と英和の辞書を必ず持ってきて下さい。

〔指定参考図書〕

そのつど、教室で伝達します。

英	Audio Visual	英	選通 2 単位	Michael Rees
17	Communication			

〔講義目的・テーマ〕

The aim of this course is to allow student be being to understand the broader aspects of Communication as opposed to the narrower ideas of language.

〔授業計画と内容〕

The structure of the course is very intensive, with a wide spectrum of new concepts to be encountered. Broadly the outline of the core text "Beyond Language" will be followed, introducing students first to variations in language styles, then to the ideas of non-verbal communication, the deep structure of language uses and finally the notions of self-communication as being a vital prerequisite of attempting to communicate verbally with another.

〔履修のポイント・注意点〕

It is MOST IMPORTANT that students intending to choose this course, realize two things. Firstly that their own input is essential and that they must be prepared to express their ideas, feelings and viewpoints both in English and Japanese. Secondly, because of the extensive amount of material to be covered, students will need to do quite a lot of homework every week, preparing for the following weeks' lessons. *This is very, very important.* Students who do not prepare adequately find that they cannot understand the next lesson and quickly become confused. It is assumed that students who choose this course have a fairly good knowledge of spoken English and are prepared to use it in every lesson.

〔成績評価の方法〕

Grading will be by continuous assessment-there are no end of semester or end of year examinations. In each class, every student will be assessed on (a) how well they have prepared at home for the lesson (b) participation, in English, in the discussions and (c) attendance. Each lesson builds on earlier lessons and it will be necessary, as far as possible, for the student to attend *every* class. Poor attendance or not discussing the topic in English may mean that a student cannot pass the course.

〔使用テキスト〕

The course text is, "Beyond Language" by Levine and Adelman. Published by Prentice hall.

〔指定参考図書〕

英	Reading and	英	選択必修	David Bradley
18	Discussion		通 2 単位	

〔講義目的・テーマ〕

This course will aim to develop reading and speaking skills while pursuing the theme of intercultural communication. There will be a text on this theme plus supplementary handouts. There will also be a cross culture simulation to create a situation in which to explore the idea of culture.

〔授業計画と内容〕

April-July. We will follow a style of lesson similar to the oral class where students will do speaking activities in pairs. The input for this will be short reading passages and the lessons will cover topics of general interest such as shopping, travel, work, health, etc.

September-January. We will aim to continue the style of lesson established in the first term, this time using the textbook as a basis for discussion. Students will be expected to read a chapter at home before each class so that they can contribute with their own opinions.

In the last two weeks of December we will do a culture simulation game followed by a discussion on this.

〔履修のポイント・注意点〕

Class size will be limited to twenty students.
The course will be conducted in English.

〔成績評価の方法〕

Grades will be based on attendance, an end-of-term assignment and class participation.

〔使用テキスト〕

Polite Fictions. Nancy Sakamoto and Reiko Naotsuka. Kinseido.

〔指定参考図書〕

欧米人が沈黙するとき。 直塚玲子著。 大修館。
Mutual Understanding of Different Cultures. Reiko Naotsuka, Nancy Sakamoto, et al. Taishukan.

Public and Private Self in Japan and the United States. Dean C. Barnlund. Simul Press.

日本人の表現構造。 D. C. バーンランド著。
サイマル出版会。

The Silent Language. Edward T. Hall. Anchor Press.
The Hidden Dimension. Edward T. Hall. Anchor Press.
Beyond Culture. Edward T. Hall. Anchor Press.

The Dance of Life. Edward T. Hall. Anchor Press.
Hidden Differences. Edward T. Hall and Mildred Reed Hall. Anchor Press.

With Respect to The Japanese. John C. Condon. Intercultural Press.

英	英語学概論	英	選択必修 通4単位	柳田 恭子
19				

〔講義目的・テーマ〕

英語学のことを以前は English Philology といい、主に古文の文献的研究を意味したが、現在ではEnglish Linguistics と云って英語の構造、体系、つまり音素論、形態論、統語論の科学的記述や分析や意味論を含みます。

本講義では前期は English Linguistics の中の統語論（学校文法では普通は「英文法」と云う）に関して、三大文法—伝統文法、構造文法、変形文法—の歴史及びその特徴と形態論（語形論）を共時的観点で学びます。これによってこれまで学んできた学校文法の基礎になっている伝統文法の考え方を把握し、その長所と短所を客観的に理解すると共に、より専門的な文法理論である構造文法や更には最新の変形文法の理論に対しても初歩的な知識や理解を持つことが出来ると思われれます。そして今年度は更に比較的最近の学問領域である現代意味論も少し扱いますので、英語に関して一層理解が深まると思います。

後期は、English Philology の分野に属する英語の発達の歴史を概説します。OE（古英語）、ME（中世英語）、Mod. E.（近代英語）、但し本講義では Early Mod. E.（初期近代英語まで）の各々の時期の英語の特徴をその時代的背景を考慮しつつ学ぶことによって、英語への一層の関心と理解を深めることを目的とします。OE、MEIに関しては、現代英語との対比で綴り字、発音、主要な文法的な特徴やそれぞれの時期の代表的な作品を学びます。初期近代英語ではその時代の発音を英国のBBCのビデオのThe Story of English(3)—A Muse of Fire で紹介し、その代表的作品をとり上げます。いずれの時期の英語に関しても、現代英語との関連の中で、重要な事項を重点的にとり上げます。そして後期の授業では可能な範囲で、英書での英語発達史の学びも行ないます。1年間で English Linguistics と English Philology の2つの領域で英語を概観してゆくことは時間的に可成り大変ですが、担当者としては学生が英語に関して、それ程深くはなくても、広範囲にわたってある程度の専門的な知識を得て欲しいと願っています。

〔授業計画と内容〕

前期—英語学

1. 言語概観 ①言語とは何か、②言語学の分野
2. 文法とは何か、(1)記述文法と規範文法、(2)三大文法（伝統文法、構造文法、変形文法）
3. 形態論 ①形態素、②語形成過程
4. 統語論 ①伝統文法の歴史と特徴、(2)伝統文法の品詞の分類法

- ②構造文法の歴史と特徴、(2)語頻、
 - ③変形文法の歴史と特徴、(2)句構造規則、(3)深層構造と表層構造、(4)樹形図
5. 意味論 ①統語論と意味論、②現代的意味論（文の意味論）

後期—英語発達史

1. 古英語期（AD700年～1100年）
 1. ブリテン島と先住民、ローマ人の侵入
 2. アングロサクソン民族の侵攻
 3. 古英語の系譜（古英語の由来）、第一子音推移
 4. 古英語の発音、綴り字、統語法
 5. 古英語の方言と文学（ベオウルフ、主の祈り）
 6. デーン人の侵攻とデーン語の英語への影響
2. 中英語期（AD1100年～1500年）
 1. ノルマン人の征服とノルマンフレンチの英語への影響
 2. 中世英語の発音、綴り字、統語法
 3. 中世英語の方言と文学（カンタベリー物語）
 4. 中世英語の特徴
 5. 共通語の確立
3. 初期近代英語期（AD1500年～1700年）
 1. 発音（BBCのビデオ—英語の歴史—による）、大母音推移
 2. 綴り字と統語法
 3. 初期近代英語期の文学—シェイクスピア—（「ハムレット」と「ロメオとジュリエット」）、及び欽定訳聖書。

〔履修のポイント・注意点〕

1. 提出物は期限を厳守する。

〔成績評価の方法〕

1. 出席を重視する。2. 学年末にノートを提出する。
3. 年に数回のレポート提出がある。4. 中間・期末テストを行う。

〔使用テキスト〕

前期「英語学概論」松井千枝著 朝日出版社
後期 副読本「英語の歴史」中尾俊夫著 講談社

〔指定参考図書〕

安藤貞雄、小野捷著「英語学概論」英潮社

英 20	英語学演習	英	選通2単位	岡田 聡 宏
---------	-------	---	-------	--------

〔講義目的・テーマ〕

この授業ではレトリックについて学習する。レトリックの由来の意味は、その語源も示すように、古代ギリシアにおいては、相手を説得するための技術、つまり雄弁術であった。しかしここで取り扱うレトリックとは具体的には、直喩、隠喩、換喩、提喩、誇張法、列叙法、緩叙法等である。

レトリックは主に美的及び芸術的効果を与えようとする技術体系と考えられているが、我々の生活と密着して使われているという点も無視できない。いわゆる「ことばのあや」と呼ばれているもののなかには、シェイクスピアの作品に見られるように高度なものから日常使われる「あだ名」のように一般的なものまで様々である。このようにレトリックの多様性について、文学作品や新聞、雑誌等から実例を挙げながら考察してゆく。

〔授業計画と内容〕

(前期)

1. SIMILE
2. METAPHOR
3. METONYMY

(後期)

1. SYNECDOCHE
2. HYPERBOLE
3. ACCUMULATION
4. LITOTES

〔履修のポイント・注意点〕

授業は発表形式で行い、発表者にはハンドアウトを必ず作成してもらう。またテキストには「レトリック感覚」及びレトリックに関する英文のプリント（授業時に配布）を使用する。

実例を通してレトリックを学習するので、読書時には常にそこで使われているレトリックに注意し、例文を集めるよう努めてもらいたい。

〔成績評価の方法〕

試験よりもむしろ出席、課題の提出、発表内容、授業への準備と参加等を重視する。

〔使用テキスト〕

佐藤信雄著『レトリック感覚』 講談社学術文庫

〔指定参考図書〕

英 21	言語学入門	英	選通2単位	的 場 哲 朗
---------	-------	---	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

前期は、「言語とは何か」を基本テーマとしたい。代表的な言語論のいくつかを紹介するので、おおよその概要が可能となるはずである。

後期は、こうした言語論のなかから1-2冊選び、言語の問題をすこし深く掘り下げて見たいと考えている。目下のところ、モーリスの〈記号論〉かオースチンやサールの〈言語行為論〉かを考えているが、最終的には前期の進み具合と受講生との相談によって決めたい。

講義はゼミナール形式ですすめる。

つまり一各学期の最初の授業で代表的な言語論とテキストを紹介する。受講生はこのなかから、自分に関心のあるテキストのひとつを選び、これを授業中に発表してもらいたい。一回の授業の発表者は2-3人程度を考えているが、この発表をもとに質疑応答をおこなうことになる。もちろん、質疑応答がない場合も予想されるので、この点の工夫は追って説明したい。

〔授業計画と内容〕

前期：言語の思想

1. 大脳と言語
2. プラトンとアリストテレス
3. 聖書の言語論
4. ヘルダーとルソー
5. フンボルト
6. チョムスキー
7. サピアウオーフ
8. ソシュールの構造主義
9. 記号論

後期：言語の講義

― 〈記号論〉か 〈言語行為論〉

〔履修のポイント・注意点〕

毎時間みなさんと一緒に討議していくことになるが、その際とくに、次の点には留意してもらいたい。これは単位取得のための条件ともなる。

1. 授業中のレポート報告
2. 討議への積極参加

なお、単位は試験によって決定する。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

授業中に指示する。

〔指定参考図書〕

授業中に指示する。

英 22	翻訳論	英	選通4単位	David Bradley
---------	-----	---	-------	---------------

〔講義目的・テーマ〕

In this course we will discuss the subjects and problems that arise in translating, including the process of translation and translation methods. We will translate a selection of passages covering a wide variety of modern uses of English.

〔授業計画と内容〕

April-July. We will look at a selection of passages for translation at intermediate level and work through exercises on particularly difficult structures. The passages are of the kind found in examinations at this level, such as the Cambridge First Certificate in English. There will also be supplementary activities on vocabulary and reading.

September-January. We will translate short passages from Japanese into English. The articles will be of a general nature about language, culture and lifestyles.

〔履修のポイント・注意点〕

Most of the translation activities will involve translating Japanese into English. There will be homework every week. The course will be conducted in English.

〔成績評価の方法〕

Grades will be based on attendance, homework and end-of-term tests. Class size will be limited to thirty students.

〔使用テキスト〕

No textbook. I will distribute handouts for the various activities.

〔指定参考図書〕

日本語の翻訳。E. G. サイデンステッカー 安西徹雄。大修館書店。
現代用語を英語にする。石山広一。ジャパンタイムズ。
バイリンガル映画道場。西森マリー。ジャパンタイムズ。

英 23	英文学史	英	選択必修 通4単位	向井千代子
---------	------	---	--------------	-------

〔講義目的・テーマ〕

英文学史についての一般的な常識を与えることを目的とする。文学史には当然「文学」の部分と「歴史」の部分とがある。イギリスの歴史はもちろん一通り扱うが、それよりはそれぞれの作家に重点を置きたい。ビデオなども適宜用いて、わかりやすい講義を心がけるつもりである。聖書やギリシア神話などの基本的文献にも親しんでもらうつもりである。

〔授業計画と内容〕

- 前期
1. 中世『ベオウルフ』からチョーサー迄
 2. 16世紀―シェイクスピアを中心に
 3. 17世紀―ミルトンを中心に
 4. 18世紀―近代小説の誕生を中心に
 5. 18世紀後半～19世紀始め―ロマン主義
- 後期
1. 19世紀―ヴィクトリア朝詩
 2. 19世紀―ヴィクトリア朝小説
 3. 19世紀―ヴィクトリア朝批評
 4. 20世紀の小説
 5. 20世紀の詩
 6. 20世紀の演劇

〔履修のポイント・注意点〕

文学の理解においては何よりも作品にじかに触れることが必要である。そのため学生諸君にはなるべく多くの文学作品を読んでいただきたい。

〔成績評価の方法〕

前期、後期の試験期間の筆記試験のほかにも2回筆記試験がある。また夏休みと冬休みにはレポートの課題を出す。これらの結果と出席状況から総合的に評価。

〔使用テキスト〕

川崎寿彦著「イギリス文学史入門」 成美堂

〔指定参考図書〕

J. Kirkup 著
“Background to British Literature” 成美堂

英 24	米文学史	英	選択必修 通4単位	針 生 進
---------	------	---	--------------	-------

〔講義目的・テーマ〕

下記の英文の教科書を、17世紀後半から1930、40年代あたりまで読み進めていきます。「時代」という背景はもちろん、「場所」という文字通りの背景にも目を配らなければなりません。例えば、中西部の農作物の集積地として19世紀後半から急速に発展した都会シカゴは、大規模な食肉加工工場だけでなく、その工場の内実を描く小説も生み出したのです。文学用語（アレゴリー、ゴシック小説、象徴、ロマンス……）、文学思潮（写実主義、自然主義、モダニズム……）についての説明にも時間を割いていきます。詩の形式などにもふれるつもりです。

覚えることは数多くあります。しかし、この講義が君たちに最も期待しているのは、個々の作家の作品や、その発表年を覚えるようなことではありません。何よりも、少しでも多くの作品を君たちに自ら読んでもらいたいのです。教室では、とりあげる小説、詩、戯曲のそれぞれについて、読んで面白いかどうかという私の感想も付け加えさせて欲しい。「面白いかどうか」こそ、「文学」と堅苦しく呼ばれているものを測る尺度の一つだと思えるからです。そして本当に私の言う通りなのかを、君たち自身で確かめて欲しい。一人一人の感覚とそれを尊重することこそ、定説や公式には拒否反応を示す「文学」の核心にあると思えるからです。

くり返して言います。覚えることは数多くあります。けれど、それらは、君たちが実際に各作品の頁を聞くときの予備知識にすぎないと考えてください。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

私の本意ではなく残念ですが、試験はしなければなりません。前期と後期に1度ずつ、それに加えて、1～2回のテストも行うつもりです。出欠は毎回とり、評価の一部に加えます。

〔使用テキスト〕

John Dougill
The Writers of American Literature
(マクミラン・ランゲージハウス)

英 25	英米文学演習Ⅰ	英	選択必修 通2単位	石 和 義 之
---------	---------	---	--------------	---------

〔講義目的・テーマ〕

英国ミステリ界の女王、Agatha Christieの短編小説を、正確に、かつ、それなりのスピードで読み進んでいくことで、中級以上の英文読解力を養っていくことが、この授業の主な目的である。

〔授業計画と内容〕

テキストを最初の作品から順に読んでいく予定だが、以下の点に特に留意したい。

- (1)音声を重視。(きちんと英語を発音できること)
- (2)基本的な単語、熟語は絶対に知っておかなければならない。
- (3)フィーリングによる意味把握よりは、英語のロジックにそった英文理解を重視する。
- (4)また、文学作品に多少は親しんでもらいたいのので、授業で扱う作品とは別に、英米文学の中から1作品(翻訳)読んでもらい、夏期休暇中にレポート(5枚程度)を1通書いてもらう予定。

〔履修のポイント・注意点〕

- (1)予習を必ず行なう。
- (2)辞書を持参する。
- (3)授業に積極的に参加する。
- (4)向上心にあふれるやる気のある学生の参加を希望します。「楽しんで単位が取ればいいんだもん、ぶいがい」などと居直ってはばからないうつけ者にこの授業を受ける資格はありません。

〔成績評価の方法〕

成績は試験結果、出欠状況、授業への参加度などに基づき総合的に評価する。

〔使用テキスト〕

Agatha Christie著
「Selected Short Stories of Agatha Christie」金星堂

〔指定参考図書〕

特に指定しない。

英 26	英米文学演習Ⅱ	英	選通2単位	原 田 博
---------	---------	---	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

現代国語に漱石や鴎外や藤村や龍之介を欠かすことが出来ないように、現代英語を学ぶものにとっては、Maugham, Mansfield, Orwell, そしてFosterの作品は必須である。文章の名手による人情の機微を味わって欲しい。

〔授業計画と内容〕

モームの *The Romantic Young Lady*, マンスフィールドの *The Singing Lesson*, オーウエルの *Shooting an Elephant* そしてフォスターの *Ansell* を順次読み進める。

〔履修のポイント・注意点〕

本教科書には、日本における英文学教育の大家により詳注・詳解がテキストと同ページ数割りを与えられている。これを機会に英語の読解のコツをぜひ身につけて欲しい。またネイティブが吹き込んだ美しい朗読も大いに参考にしてもらいたい（英語らしい音読が出来ることを願う）。

なお、この教科書は11月頃には終了予定なので、その後は欧米で親しく口ずさまれている詩を何篇か取り上げるつもり（プリント配布）。

〔成績評価の方法〕

出席状況・授業態度及び年2回の筆記試験等を見て総合的に判断する。

〔使用テキスト〕

行方昭夫・上島建吉・柴田稔彦・川西進編注
『詳注・詳解 英語の読み方』（鶴見書店、1,250円）

〔指定参考図書〕

開講後順次指示・紹介する。

英 27	英米文学演習Ⅲ	英	選通2単位	柳 田 菫 子
---------	---------	---	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

今年度は *A Midsummer Night's Dream* を読みます。これは或る貴族の結婚の祝宴の場で演ずる為に書かれた劇と伝えられ、華やかで楽しく滑稽なおとぎ話のような劇です。又、イギリスの人々が楽しく祝う習慣のあった夏至の夜、つまりバプテスマのヨハネ祭の前夜の余興としての芝居とも考えられる。夏至の夜には妖精が森や野原に本当に現れると素朴な人々は信じていたし、又その夜は若い娘達が夢や予言によって恋人の心の誠実さを試したり、知つたりする事の出来る時でもあった。そしてこの芝居の中には五月祭や五月祭の余興の要素も入り混じっていて、楽しい祭りの雰囲気高めめる意図が十分にうかがえる。シェイクスピアの劇には大抵種本があるが、これは完全にシェイクスピアの独創と云える。筋は3つに分けられ、第1はアテネの大公シーシアスとヒポリタの結婚が大枠としてあり、それに2組の男女の恋物語があり、第2はアテネの職人達と彼等が婚宴の中で行う狂言の道化た笑劇、第3は妖精の王、オベロンの統治する超自然の夢幻の世界である。そしてこの妖精の超現実的な世界が第1、第2の現実的な世界と巧みに調和し、統合されていて、ロマンティックコメディを作り上げている。

アテネの大公シーシアスがヒポリタとの結婚を心待ちにしている所へ、ハーミアの父親が娘のハーミアが父親の決めたデメトリアスと結婚するか、又は死を選ぶようにシーシアスから命じて欲しいと嘆願する。そこでハーミアと恋人のライサンダーはアテネの森へがれる。そこへこれまたハーミアに恋しているデメトリアスが、彼を恋するヘレナから2人の恋の逃避行を聞き、2人を追いかけて森へ来る。ヘレナもデメトリアスを追って森へ行く。そして彼等が疲れて森で眠っている間に妖精の王オベロンの手下のパックがオベロンの命令で媚薬の相手を間違えてライサンダーにつけ、そして後にはデメトリアスもつけられた結果、2人ともがヘレナに恋してしまうが、ヘレナは自分が馬鹿にされていると思って嘆く。一方ハーミアは恋人だったライサンダーがヘレナに夢中になってしまったので、ヘレナに対し怒る。そしてライサンダーとデメトリアスはヘレナをめぐる剣を抜き争う。それを妖精の王オベロンが見てパックの失敗を知り、再びパックに2組の恋人達が誕生するように命じる。又、パックはオベロンの命令でオベロンと仲違いをしている妖精の女王タイターニアにも媚薬をつけた為、タイターニアは狂言の稽古に森へ来ていたアテネの職人で、パックから口バの頭を被せられた機屋のボトムに恋してしまうが、彼女もオベロンの命令で元に戻され、オベロンと仲直りをする。そこへシーシアス一行が狩りで森に来て、ライサンダーとハーミア、デメトリアスとヘレナのカップルを見て、彼等も一緒に結婚式をあげるように宣言する。やがて3組の男女の結婚式も終わり、婚宴用のアテネの職人達の狂言も終わると一同は退場し、

英	地域研究	英	選 2単位	上 岡 條 二
28				

後は夜の世界の支配者の妖精たちがオベロンの音頭で歌を歌い踊り乍ら、結婚を祝して幕となる。短い夏の夜の夢の様に幻想的で楽しく面白い劇で、喜劇の傑作の1つである。

「真夏の夜の夢」の中の異なったグループに属する登場人物達を結びつけているのが“愛”の主題で、シェイクスピアはそれを美しい抒情性で包んで彼の人間理解を表現している。そしてその“愛”の主題と深く関係するのが“森”で、森は妖精の支配する世界である。愛の主題を展開させるのは妖精の王オベロンであり、花の汁から出来た媚薬であるが、シェイクスピアは機屋のボトムと大公シーシアスには現実の世界からの認識を与えて、劇に写実的な現実性を与えている。そしてシェイクスピアは伝統的な宮廷愛やロマンスへの批判と風刺の中で、独自の喜劇の世界を作り上げているのである。「学生論集」への投稿は受講生との話し合いで決めます。

〔授業計画と内容〕

1. Introduction
2. The Characters of the Play
3. Dream and Reality
4. Fairy Love and Mortal Love
5. Comic Confusions
6. Awakenings
7. All is Mended
8. 「真夏の夜の夢」に関する評論
9. シェイクスピアの生涯について
10. シェイクスピアの劇の鑑賞（ビデオ）
「ロメオとジュリエット」、「ハムレット」

〔履修のポイント・注意点〕

1. 予習を必ずする。
2. 提出物の期限を厳守する。

〔成績評価の方法〕

1. 出席を重視する。
2. 成績評価はテストでなく、レポートとする。

〔使用テキスト〕

James. Kirkup著
A Midsummer Night's Dream (James Kirkup's Tales from Shakespeare) 朝日出版社

〔指定参考図書〕

W. Shakespeare *A Midsummer Night's Dream*
ed. by R. A. Foakes (The New Cambridge Shakespeare)
Cambridge, Univ, Press

〔講義目的・テーマ〕

世界の地域の政治・経済・外交・文化に関する問題を各国別にゲストの先生をむかえ、講義を進めてゆく授業。

海外に在住する日本人の数は年々増加している。その多くの人達は日本企業の駐在員である。特に円高の進展により日本企業の国際競争力の低下をまねき結果として労働力の安い地域に現地法人を設立し海外展開する企業が目立つ時代である。特にアジア地域ではその傾向が顕著であり、そして又、新しい中国の「経済特別地区」のめざましい発展やベトナムの復興とアジアの経済地図が大きく変わろうとしている。昨年の地域研究「英国」に続き今年は地理的には近い国々ではあるが、現実の情報は欧米にくらべるとぐんと少ない「アジア」にスポットを当てる。

〔授業計画と内容〕

昨年8月に広島で行なわれたアジア大会の参加国をみてわかるように、アジアとよばれる地域には数多くの国があります。すべての国々を研究する事はむずかしく、今回は、中国・台湾・香港・韓国・シンガポール・インドネシア・マレーシア・フィリピン・タイ・ベトナム等の国地域を主にとりあげる予定です。逆に南アジアのバングラデシュ・インド・ネパール・パキスタン・スリランカ等の国には時間的な制約でふれられないかもしれません。

予定として全16回の授業を、

- 1) 中国・台湾として6回
- 2) ホンコン・シンガポール・マレーシア・タイで4回
- 3) 韓国 2回
- 4) フィリピン・ベトナム・インドネシア 2回
- 5) その他の国で2回と考えています

〔履修のポイント・注意点〕

5つのカテゴリーにわかれているようにそれぞれに、ゲストの先生を予定しています。

現在授業をお願いして快諾をえている先生は、日本アジア航空顧問富永利男氏や日本旅行小寺研二氏等4名の方がいます。

〔成績評価の方法〕

授業出席率以上の学生を評価の対象とします。出席は毎回とりかた重視します。各カテゴリー別にレポートかノート提出をしてもらいます。

〔使用テキスト〕

未定

〔指定参考図書〕

テーマにあわせてその都度指示をします。

英	国際関係論	英	選択必修 通 4 単位	上 岡 條 二
29				

〔講義目的・テーマ〕

将来国際人として活躍する機会の多くなる学生諸君に国際関係についての必要な基礎的知識を自分の頭で理解し身につけてもらうのが、この講座の講義テーマです。

18才人口の急激な低下の中

今、日本の大学は、大きなまがり角にきています。大学審議会の答申を受けた文部省も、各大学に自己改革を要請しています。具体的には、本学でもカリキュラムのみなおしや、自己点検、評価といった事が盛んに論議されています。私は改革ではないが、やはり授業の形が、従来の「聞くだけの講義型授業」から学生が自ら考え、調べ、自分の言葉で発言する「対話ディベート型授業」へと転換してゆかなければならない時期に来ていると思います。その為にも学生の受講者の人数的な制約もありますが、テーマに即したゲストをまねき、新聞報道の中心となる西側の考え方とか南北問題の先進国の考え方等々、一元的な見方に陥りがちな国際問題を両サイドから見て、そして考える授業にしてゆきたい。と想っています。さらにそれが「対話ディベート型授業」となり、学生諸君の持つ考えて発言する事の潜在能力を引き出しそして伸ばせばとも思っています。

〔授業計画と内容〕

長びく不況の中でも、日本の経済が世界の中心的存在である事は変わりません。

従って日本の経済政治は勿論の事、日常生活においても諸外国と相互に影響し合う状態にあります。世界の中の日本を知り、諸外国の文化を理解し、その人達と円滑な交流を進める為には、まずその国の歴史、文化、民族、習慣を知る事が不可欠な重要課題と考えています。特に今年度は大きなテーマとしてアメリカをとりあげたい。米国の方にゲストとして登場してもらい、出来れば、英語で母国を紹介、そして米国についてディスカッションをする授業形態をとります。又白鷗大学で学んでいる各国の留学生にも教壇にたつてもらいたいと考えています。

〔履修のポイント・注意点〕

例年金曜日の2時限と比較的とりやすい時間帯なので受講生が多い。その為が大教室使用の講義型授業にならざるをえない事が残念。理想として出来れば少人数でのゼミナル形式で授業をしたいので積極的な授業参加意欲のある学生諸君の履修を期待します。

〔成績評価の方法〕

出席は毎回とり、かつ重視する。テストは実施しないかわりに、レポートは、何度か書いてもらいそれを評価します。尚、11月25日(出)に開催される予定の白鷗留学生シンポジウムには、各国の留学生との交流出来る意義を考えて全員で参加する事を義務づけます。

〔使用テキスト〕

特になし。

〔指定参考図書〕

テーマにあわせてその都度指示をします。
U.S. HISTORY -A JAPANESE VIEW-
(MARUZEN)

英 30	現代英語演習	英	選択必修 通2単位	石黒哲三
---------	--------	---	--------------	------

〔講義目的・テーマ〕

今日アメリカが抱える問題は驚くほど多岐にわたる。所得の格差と機会の不均等の拡大、都市極貧層の増大、人種間不平等の拡大、重工業や半導体産業の衰退と経済の景気後退、教育水準の低下、環境汚染と自然破壊、基幹施設の老朽化、大都市の荒廃、医療保険問題、官民双方での負債の増加、家庭の崩壊、児童虐待、麻薬、犯罪、暴力の蔓延……など枚挙にいとまがない。重大な危機に直面し、深刻な試練に立つアメリカの苦悩が痛いほどわかる。建国の理念であり、民主主義・自由・平等・機会の均等等などアメリカ社会の基盤をなす理念を意味する『アメリカの夢』の行方を学び、ひるがえって「日本はどうなのか」もあわせて考えてみたい。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 Birth of an Economic Giant
- 第2週 The American Work Ethic
- 第3週 The Greed of the Eighties
- 第4週 American Has host Faith
- 第5週 The City : A World of Extremes
- 第6週 Out of Control
- 第7週 Urban Youth
- 第8週 Can America's Cities Be Saved?
- 第9週 Education : The Frontier of Opportunity
- 第10週 The Legacy of the Sixties
- 第11週 The Myth of Multiculturalism
- 第12週 The Closing of the Frontier of Opportunity
- 第13週 Isolation versus Internationalism
- 第14週 The Collapse of Communism
- 第15週 "Yankee, Go Home !"
- 第16週 The Ugly Americans
- 第17週 The Rise and Fall of Great Empires
- 第18週 Does History Repeat Itself?
- 第19週 Visions of History
- 第20週 Will the American Dream Survive?

〔履修のポイント・注意点〕

必ず予習し、積極的に学習活動に参加すること。

〔成績評価の方法〕

試験の成績、平素の学習活動、出席状況等を総合的に判断して評価する。

〔使用テキスト〕

- 「Understanding the United States」 Joan McConnell著
金星堂 定価1,650円
- 「A Checkbook for Living in Britain」
Nicholas Halewood著 南雲堂 定価1,200円

英 31	商業英語概論	英	選 2単位	塚越千由
---------	--------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

英語を専攻する学生のほとんどは、英語の使える仕事につきたい、英語を生かせる会社に就職したいと望んでいるようです。したがってこのような学生には、まず総合的な英語力を身につけるよう求められます。

しかし、ここでもうひとつ期待されるものがあります。わが国の企業はいまや国際社会の重要な一員として、単に一般的な英語のみを理解できるだけでなく、実際の「ビジネスの場」で英語を使いこなせる素養のある人材を求めているのです。

ではビジネスの場とは具体的にどこにあるのでしょうか。その原点にあるのが「国際取引」です。「ビジネス英語」（商業英語）はこの国際取引という場で使われている英語を指します。国際取引の場におけるレター、テレックス、電報による通信文をはじめとし、広告・宣伝、法律文書、技術文書、貿易関係書類などの一切の文書・口頭によるコミュニケーションを研究範囲とします。

ビジネス英語といっても、英語には変わりありません。中学校、高等学校で学んだ英語で十分にやっています。ただ、ビジネス英語は国際取引の場で使われる英語ですから、最小限度のビジネスの知識と、それにかからむ専門用語が登場してきます。したがって、このような実務知識を理解し、どのように表現するかを習得する必要があります。

〔授業計画と内容〕

授業では時間的な制約から外国貿易の場に限定した英語通信文の研究を主とします。

- 4月 ビジネス英語の内容・特徴、貿易取引の概要
- 5月 輸出入取引先の選定、取引の申込み、取引条件の提示、成約
- 6月 信用状の開設、輸出契約の履行、輸出手続実務
- 7月 輸入取引先の選定、輸入契約の締結・履行

〔履修のポイント・注意点〕

毎年6月と11月にある日本商工会議所商業英語検定試験Cクラス、Dクラスの受験を希望します。

〔成績評価の方法〕

テストまたはレポート。

〔使用テキスト〕

- 「やさしい貿易実務と英語」箕輪京四郎他著 南雲堂

〔指定参考図書〕

- 「貿易の実務」石田貞夫著 日本経済新聞社

英	商業英語演習	英	選通2単位	塚越千由
32				

〔講義目的・テーマ〕

商業英語研究の目的および研究範囲については商業英語概論を参照して下さい。

現在のビジネスは「文書主義」を原則としています。情報はすべて文書化され、仕事は記録に残された情報に基づいて進められていきます。口頭でも意志の伝達はできますがそれだけで仕事を進めていくというわけには行きません。ビジネスでは、口頭で伝えたあるいは受けた情報はあくまでも非公式なものに過ぎません。なぜなら、口頭で伝えたあるいは受けた情報は記録に残らず、したがって後からその内容を確認することができないからです。

ビジネス上のやりとりを記録した文書のうち、最も重要なのは何といってもビジネス・レターです。ビジネスレターは国際ビジネスにおける基本的なコミュニケーション手段であり、ビジネスはレターで始まりレターで終わるといわれているように、その役割は大変大きなものがあります。

〔授業計画と内容〕

授業は、下記の内容について、ビジネス文書の表現の研究、ケース・スタディー（レターの起案）を中心にを行います。

- 4月 商業英語の特徴、貿易実務とビジネス用語
- 5月 貿易取引の流れ、海外取引先の発見、取引の申込み、引合い、引合いへの対応
- 6・7月 取引条件の提示、取引条件の受諾、取引条件の反対申込み
- 9・10月 注文、注文の受諾と謝絶、成約、信用状の開設と訂正
- 11月 契約履行（船積）、代金決済、苦情の処理
- 12・1月 テレックス、ファクシミリ、国際電報、ビジネスレターの体裁

〔履修のポイント・注意点〕

ゼミナール形式でじっくりと行い、ビジネス英語のエキスパートと認められる商業英語検定試験Bクラス合格の実力を養成したいと思いますので、意欲のある学生の受講を希望します。

〔成績評価の方法〕

平常点および学年末のテスト

〔使用テキスト〕

「国際貿易英語（改訂版）」鳥谷剛三著 成美堂

〔指定参考図書〕

授業中に紹介します。

英	英文ワープロⅠ	英	選 2単位	川口桂子
33				

〔講義目的・テーマ〕

- ・実務的な文書の作成
- ・検定の対策

英文ワープロⅡでは、英文ワープロⅠで学んだ基礎に基づいて、様々な応用練習を試みます。タッチメソッドが身についた学生を対象に、実務的な内容（文書のレイアウトの仕方、作表、レターの作成）を、英文ワープロと日本語ワープロで比較しながら、学びます。

更に、資格を取得しやすいように、「現在学んでいる内容で、どのような検定試験が受験可能であるのか」検定の内容にも触れながら、授業を進めます。

スピードの目標は、一分間30語（150タッチ・日本商工会議所英文タイプライティング検定C級程度）です。

以前に、高校などでワープロ・パソコンの経験があり、一分間に15語程度のスピードで正確に打てる人は、英文ワープロⅠを受講しなくても、英文ワープロⅡを受講することが可能です。（この場合、英文ワープロⅡの講義で使用するソフトの操作方法についての説明が必要不可欠なので、早めに申し出て下さい。）

〔授業計画と内容〕

- ・スピードテストの復習
- ・タッチメソッドの上達のためのソフト紹介
- ・レターの基礎の説明
- ・レタースタイルに応じたレターの打ち方について
- ・表の基礎の説明
- ・表の作成
- ・英文ワープロソフトの特徴について
- ・検定について

〔履修のポイント・注意点〕

打つスピードと正確さは、練習量に比例します。英文ワープロⅠに続いて、自分の生活の中にワープロやパソコンに触れる機会を、自分で作るように工夫をしてください。

〔成績評価の方法〕

出席・提出物・授業中に行うスピードテスト・学期末の筆記試験の総合で、評価をします。

〔使用テキスト〕

「Typewriting for Student (ADVANCE)」
萩野嘉香著 はぎのOA教育研究所 定価1,400円

〔指定参考図書〕

「The Blind Touch」 萩野嘉香著
はぎのOA教育研究所
英文タイプライティング技能検定試験問題集 CDE
監修 日本商工会議所 日本商工出版株式会社
「キータッチ2000」練習ソフト 日本商工会議所

英	英文ワープロⅡ	英	選 2単位	川 口 桂 子
54				

〔講義目的・テーマ〕

- ・タッチメソッドの習得
- ・パソコンの基本的操作についての学習
- ・ワープロソフトについての基礎的な学習

英文ワープロⅠでは、英文ワープロの基礎と、タッチメソッドの習得について学びます。タッチメソッドの練習には、比較的国内のシェアの高いNECのPC-9801シリーズのパソコンと、日米で現在ポピュラーなワープロのソフト（一太郎・Wordstar）を使用します。

〔授業計画と内容〕

講義は、初めてパソコンを触った人を対象に、終了時には1分間に15単語（75タッチ）打てること、簡単な日本語・英語の文章を一定の速さで正確に打てることを、目指します。パソコンと聞いただけで不安を感じる人に、「パソコンはお友達」と思えるように、授業を進めていきたいと考えています。

タッチメソッドは将来、パソコンやワープロを、より楽しく、より速く、より正確に、使いこなすために、必要不可欠な技術です。これを学生時代に身につけることは、皆さんにとって、大きな財産になると思います。

〔履修のポイント・注意点〕

打つスピードと正確さは、練習量に比例します。タッチメソッドは、指が長くなくても、運動神経が特別良くなくても、練習さえすれば、誰もが身につけられる技術です。現在パソコンやワープロが自分の家にあっても、一本指で打っている人は、ぜひ生活の中に練習を取り入れて下さい。大好きな歌の歌詞を打つなど、自分の生活の中にキーボードに触れる機会を作れば作るほど、取扱いはスムーズになり、スピードもアップするはずですよ。

最初の一ヶ月は、日本語のワープロソフトを使い、ローマ字入力を学びます。ローマ字入力とは、かな入力に比べ、速く覚えられ、異なったキーボードにも対応しやすい入力方法です。ローマ字入力に慣れてから、段階的に英文入力の練習をします。

授業はゆつくりと、着実に技術が身につくように構成してありますので、お休みをせずに、目標を高く持って、練習をしてみましょう。

英文ワープロⅠと英文ワープロⅡは、内容的に連続していますので、いままでにワープロの経験がなく、英文ワープロⅡを受講する予定のある学生は、必ず英文ワープロⅠを最初に受講して下さい。

〔成績評価の方法〕

出席・提出物・授業中で行うスピードテスト・学期末の筆記試験の総合で、評価します。

〔使用テキスト〕

「Typewriting for Student (BASIC)」
萩野嘉香著 はぎのOA教育研究所 定価1,400円

〔指定参考図書〕

「The Blind Touch」
萩野嘉香著 はぎのOA教育研究所
「キータッチ2000」練習ソフト 日本商工会議所

送 ↗

英	ゼミナール	英	選通4単位	向井千代子
35				

〔講義目的・テーマ〕

今年は新しい試みとして、児童文学と心理学とを結びつけたアプローチをしてみる。例えばミヒヤエル・エンデの『ネバーエンディング・ストーリー』を考えると、ファンタジーの国が滅びの危機に瀕しており、それを現実の世界から訪れた少年が救う。これは何を意味しているのだろうか。

人間には現実の世界のほかにファンタジーの世界が必要である。それがなければ、この世界は、ぎすぎすとした住みにくい世界となってしまうだろう。20世紀になって、機械文明の発達一方で私たちの周りの自然破壊が進み、私たちの心の中の自然というもののまで侵食され始めるに至って、初めて私たちはそのことに気づき始めた。

私は決して心理学の専門家ではないが、文学そして人間を理解するためには、ある程度の心理学の知識は必須である。そこで基礎的な心理学の知識を持った上で児童文学と一緒に読んでみようと考えている。

〔授業計画と内容〕

テキストとしては良く知られた『秘密の花園』を使う。この作品にファンタジーの要素は少ないが、自然がファンタジーの代わりの役割を演じている。主人公の少年少女は自然の力によって生命力を回復し、成長し、幸せになる。授業の前半は章ごとに作品そのものを読み進めて行くことに使われ、後半は指定参考書を中心にした講論や発表に使われる。

夏休みには合宿を行い、様々な児童文学を手分けして読む。読む本としてはイギリスの作家のものほか日本その他の国の作品を考えている。(例えばフィリップ・ピアス、宮澤賢治、エンデ、ル＝グウィン、アンデルセンなど。)

後期は「学生論集」への論文作成に向けて各自のテーマを明確にし、12月迄には論文を完成させる。

〔履修のポイント・注意点〕

25名までの小人数制とする。ゼミナールは学生の自主的学習を中心とするものであるので、やる気のある学生、児童文学や心理学に興味のある学生の参加を望む。全員が論集に論文を発表することを目標に頑張ってもらいたい。

〔成績評価の方法〕

平常点、夏休みのレポート、最後の論文を中心に総合的に評価する。平常点は出席率とクラスでの議論への参加ぶりを見て評価する。

〔使用テキスト〕

F. H. Burnett: *The Secret Garden* (Puffin Classics)

〔指定参考図書〕

- 岸田 秀著 「ものぐさ精神分析」(中公文庫)
- 岸田 秀著 「続ものぐさ精神分析」(中公文庫)
- 河合隼雄著 「こどもの本を読む」(楡出版)
- 河合隼雄著 「昔話の深層」(福音館書店)
- 河合隼雄著 「ファンタジーを読む」(楡出版)
- 河合隼雄著 「無意識の構造」(中央公論社)
- 河合隼雄著 「子どもの宇宙」(岩波新書)
- 秋山さと子著 「ユングの心理学」(講談社現代新書)
- 秋山さと子著 「子どもの深層」(海鳴社)
- 秋山さと子著 「永遠の子供たち」(法蔵館)
- 松井 友著 「昔話と心の自立」(宝島社)
- ハビエル・ガラルダ「自己愛とエゴイズム」
(講談社現代新書)
- 〇〇・メイ著 「自分さがしの神話」(読売新聞社)

英 35	ゼミナール	英	選通4単位	的 場 哲 朗
---------	-------	---	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

哲学者の著作をゆつくりと深く読んでみたいと考えている。とはいえ、特別な予備知識など必要としないので安心して参加して欲しい。

本年は、欧米をはじめ日本においても決定的な影響をあたえ続けているハイデッガーの『存在と時間』を読みたい。

本書は、1927年に公刊されて以来、ドイツ、フランスをはじめ世界中に影響を与えたが、この影響は哲学だけでなく、文学、心理学、科学、言語学などといった広い分野に及んでいる。すでに日本においては九鬼周造や田辺元といった哲学者が有名であるが、近年はとくにアメリカにおいてローティなどがハイデッガーの思想を独自の形で展開しようとしている。こうした哲学者の著作や思想は授業中に紹介するつもりだが、ゼミではとくに『存在と時間』に絞り、コツコツと読み進めたいと思っている。テキストは英訳を使うが、関心のある学生は独自のテキストも準備したい。邦訳はすでに数種類公刊されているので、この点での心配は一切無用である。

わたしの研究テーマは、フッサールの影響下に立ちながら、こうした哲学者たちとは一線を画してまったく独自の〈言語の現象学〉を打ち出したハンス・リップスの評価にある。かれについては『現象学事典』に寄稿したわたしの文章などを読んでもらいたい。ゼミでは特にハンス・リップスとハイデッガーの関係などにも言及する予定である。かれによると、結局は「人間とは何か」という問題に帰着するという。ともあれ、言語論や人間論に関心のある学生は特に歓迎したい。

〔授業計画と内容〕

言語と人間

〔履修のポイント・注意点〕

ゼミのやり方については、最初の授業時間に説明する予定であるが、すくなくとも次の点は留意してもらいたい。（これは単位取得の前提である。）

1. ゼミに出席、討議への積極的な参加。
2. 「学生論集」への論文投稿。そのための論文作成の努力。

また、夏休みには他大学との合同合宿を戸隠の山小屋で行う予定で、これにも参加してもらいたい。意欲ある学生の参加を希望するが、同時に、意欲ある学生には十分応えるゼミにする予定である。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

Martin Heidegger, 〈Being and Time〉（配布予定）

〔指定参考図書〕

大橋良介編『ハイデッガーを学ぶ人のために』
（世界思想社）

英	早期英語教育	英	選通2単位	Teri Suzanna
36				

〔講義目的・テーマ〕

この講義は、英語を幼児に教えるためのいろいろな方法について学びます。また、バイリンガルの子どもへの英語教授法も学びます。具体的には、幼児が英語を学びたいという興味を起こし、あわせて情操教育にも役立つ英語教授法を学ぶことを目的とします。そのひとつの方法として“Fine Motor Skills”と“Gross Motor Skills”について、ゲーム・音楽・演劇・ムーブメント・スポーツ・造形活動を通して学びます。

〔授業計画と内容〕

- ①音楽・造形・演劇活動を通して、自分自身の英語教授法を学びます。
- ②新しいユニークなハサミ活用法とデモンストレーション方法を学びます。
- ③日本文化を基本にした英語教授法を学びます。
- ④バイリンガルの子どもへの英語教授法を学びます。
- ⑤歌やお話しや紙芝居をどのように英語教授法に役立てることができるか議論します。

〔履修のポイント・注意点〕

この講義を受講する人は必要に応じて、ハサミや色マーカーや色紙を用意します。また、自らが声を出し、動くことを通して英語表現を身につける心構えで参加して下さい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

- ①シャイニイとスパークルの大冒険
(The Adventures of Shiny and Sparkle) アルク出版
- ②I CAN Series Song Album と Cassette
日本ブリタニカ

〔指定参考図書〕

そのつど、教室で伝達します。

英	秘書学	英	選2単位	深見栄一
37				

〔講義目的・テーマ〕

一口に「秘書」と言ってもいろいろな種類があります。例えば企業のマネジメントに携わる人の秘書、団体の役員につく秘書、政治家の秘書、学者・研究者の秘書、弁護士などの個人的な職業の人の秘書等々があげられます。要は秘書の機能は「重責を持つ人物を補佐し、その業務を円滑化する」ことにあります。

こうした職業としてのいわゆる「秘書」を目指すか否かは別として、みなさんが卒業後にどんなところに就職して、どんな仕事を与えられても、また将来結婚して家庭に入ったとしても、社会人としてあらゆる立場で「秘書的知識」「秘書的要素」は常に要求されることになる筈です。

社会人として必要不可欠な常識、正しいマナー、正しい言葉づかい、正しい敬語、来客や電話の対応、慶弔の知識と作法、手紙の書き方等々、今まで家庭や学校でも習わなかった大人としての知識を身につけて卒業したいものです。

こうしたことを知らないままに社会に出た場合、思わぬ失敗をしたり、恥をかいったりするだけでなく、そのことが勤務先の企業そのものの評価を低落させることもあるのです。

本講では秘書になるための、あるいは秘書検定の資格を取得するための知識のほかに、より良い社会人、ナイスレディーになるための巾広い基礎的な常識や、更には当面必要な就職試験の受け方等も含めて、秘書検定3級～2級程度の内容を中心にビデオを見ながら解りやすく解説します。

講義テーマは「ナイスレディーになろう！」

〔授業計画と内容〕

講義はビデオなどを使用しながら、次のような項目と内容で、ほぼ下記の通りのスケジュールで進める予定です。スケジュールは都合によって多少変更になることもあります。

第1回 全般的な講義の概要

秘書学に関する一般的な知識
組織の中での秘書

第2回 秘書の資質Ⅰ

秘書の心構え 補佐の範囲 信頼関係
周囲との協調 自己啓発 保守義務

第3回 秘書の資質Ⅱ

秘書に求められる能力 処理能力
判断力 積極性 コミュニケーション

第4回 秘書の資質Ⅲ

身だしなみと人柄 良識と感性

英	コンピュータ概論	英	選	1単位	星	法	子
38							

- 第5回 (特)就職試験の受け方
希望職種・業種の選び方 企業の将来性
の見方 面接試験の基本知識と礼儀
- 第6回 職務知識Ⅰ
秘書の機能と役割
- 第7回 職務知識Ⅱ
秘書の業務 定型的業務と非定型的業務
- 第8回 マナーと待遇Ⅰ
人間関係 基本マナー アポイント
受付 取次ぎ 案内 接待 見送り
- 第9回 マナーと待遇Ⅱ
慶弔の知識 冠婚葬祭 贈答 食事作法
- 第10回 マナーと待遇Ⅲ
話し方・聞き方の基本 敬語の種類
- 第11回 正しい敬語の使い方
尊敬語と謙譲語の使い分け 敬語使用上
の注意 接遇用語 面接会話
- 第12回 秘書の技能Ⅰ
文書の作成・取扱い 会議の準備・開催
- 第13回 秘書の技能Ⅱ
日程作成と管理 ファイリング 資料管
理 環境整備
- 第14回 一般知識
一般常識 業界知識 組織の知識等

〔履修のポイント・注意点〕

1. 秘書あるいは社会人としての基本的な知識やマナーを身につけられるよう学習して下さい。
2. 「学生言葉」からの脱却。出るところに出たらきちんとした言葉使いや礼儀が出来るよう努力して下さい。
3. 人数の多い講義なので、授業中の私語や、他の人の迷惑になるような行動は慎んで下さい。

〔成績評価の方法〕

期末のテストを基本としますが、出席点も重視。

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

テキストは不要です。参考図書も特に定めませんが、秘書検定を受験する人は問題集や参考書により授業以外の勉強もした方が良いでしょう。

〔講義目的・テーマ〕

今日コンピュータのハードとソフトの目覚ましい発達、OA化やFA化が進展し企業をはじめとして家庭にも急速に及んでいる。このような高度情報化社会の到来に、主体的に対応するためには、コンピュータの知識は不可欠である。こういった視点にたつて本講義では、コンピュータとその利用に関する知識を学習しコンピュータの役割を理解するとともに、基礎的な操作方法を表計算ソフトLotus1-2-3、図形ソフト花子、日本語ワープロソフト太郎の利用により学ぶ。

〔授業計画と内容〕

- 9・10月 コンピュータの基本構成
表計算ソフト (Lotus1-2-3)
・ワークシート作成
・グラフの作成
・情報の検索
- 11・12月 図形ソフト (花子)
・図形の描き方
・文字の入力
- 1月 日本語ワープロソフト (一太郎)
・表計算または図形ソフトとの結合

〔履修のポイント・注意点〕

各自フロッピー・ディスクを1枚用意すること。

〔成績評価の方法〕

各テーマごとに課題を課す。その成績により評価する。

〔使用テキスト〕

名取龍彦他著「はじめてのLotus1-2-3 R2. 4J」
秀和システムトレーニング

〔指定参考図書〕

英	企業と社会	英	選 2単位	黒 田 勉
39				

〔講義目的・テーマ〕

今日、わたしたちの生活は企業をめきにしては考えられないほど、企業に依存し、そして企業から影響を受けています。また程度の問題はありますが、わたしたちも企業に対して何らかの影響を及ぼしています。この授業では、このような「企業と社会」との関係について考えてみようと思います。企業をできるだけ具体的にとらえた授業展開を行っていきますので、企業への就職を希望している人や企業をじっくり考えてみたいと思っている人には、より多くの知識が得られるのではないのでしょうか。授業ではまず初めに、企業とはいったい何なのかという点から出発して、少しずつわたしたちの生活を振り返ってみることにします。

〔授業計画と内容〕

1. 企業の性格；企業概念規定、企業目的、企業の経営理念
2. 企業人；就職活動の心得、就職ということ、労働者の2側面
3. 雇用；新規学卒者の雇用を含めた雇用慣行の変化
4. 社会対応経営；企業の利害関係者の中核である顧客と公衆との関連性

〔履修のポイント・注意点〕

受講生と教員との会話方式で授業を進めていきますので、恥ずかしがらずに会話を交わして下さい。また、授業中であっても、就職に関する質問を受け付けますので、遠慮せずに申し述べて下さい。特に留意してほしいのは、日本をはじめ世界における最近の社会や経済、そして企業が大きく変化してきていますから、毎日必ず新聞を読んだり、あるいは学校に新聞を持参して、様々な情報をキャッチするように常に心がけて下さい。

〔成績評価の方法〕

出欠確認方法；任意の日に任意の学生に質問をしていきますので、その時点に不在であればその学生は欠席となり、それ以外の学生は出席扱いになります。

試験；期末定期試験期間中に、授業終了時点までの全範囲について、持ち込み不可の方法で試験は1回実施します。

〔使用テキスト〕

裴 富吉著「経営学講義」 白桃書房

〔指定参考図書〕

「朝日新聞」・「日本経済新聞」
 森本三男著「経営学入門」 同文館
 東京都消費者センター（監）
 「消費者教育キーワード269」 (株)たいせい

英	国語表現法	英	選 2単位	粒 来 哲 蔵
40				

〔講義目的・テーマ〕

国語による表現の方法を探る道は2本あります。1つは文字通り表現の仕方そのものに則して自ら作文してそれを確認する学び方、もう1つは表現の実作を基にしてそれを分析し批評しながら方法を探る道です。

この講義では後者の道を選びとり、井上靖の自伝小説といわれる「しろばんば」にたいまつ光を当ててみることにしました。

この小説の作者は、少年時両親と離れ、血のつながらない老婆と田舎の土蔵の中で数年を過ごすという不思議な生活体験を持っています。後年歴史小説家として名を成す作者の作品の根底には、この時のやさしい感受が生き続けており、それが詩情となって作品の清澄性を生み出しているといわれているのも当然のことと思われる。

名作「しろばんば」の主人公、少年「洪ちや」の情感を自らのものとして感受しながらその成長の軌跡をたどり、あわせて国語による表現の方法のいくつかを考えていきたいと思います。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 講義内容と受講の仕方の説明
- 第2週 「しろばんば」講読と表現法（第1章）
- 第3週 「しろばんば」講読と表現法（第1章）
- 第4週 「しろばんば」講読と表現法（詩的表現）
- 第5週 作文創作
- 第6週 作文批評と表現について
- 第7週 「しろばんば」講読と表現法（第2章）
- 第8週 「しろばんば」講読と表現法（第2章）
- 第9週 井上靖講演「詩と小説」（CD）を聴く
- 第10週 「しろばんば」講読と表現法（第3章）
- 第11週 作文創作
- 第12週 「しろばんば」登場人物論
- 第13週 「しろばんば」表現法のまとめ

〔履修のポイント・注意点〕

講義の進行と同時に自力で第4章の読みにかかり、講義終了時までに前編第8章までを読み終えてください。

〔成績評価の方法〕

毎週出席票を書きこみ提出します。出席回数を調べ成績評価の1助とします。

学期末試験は講義内容と自主読解（第4章以降）の両方から等分に出題、講義内容分についてはその概要を予告します。作文は試験と同等の位置で評価します。

〔使用テキスト〕

「しろばんば」井上靖著 新潮文庫版 860円

〔指定参考図書〕

「あすなろ物語」井上靖著 新潮文庫版 560円

「幼き日のこと、青春放浪」井上靖 新潮文庫版
560円

95年度開講

英語科教職に関する科目 目次

区分	教No	授 業 科 目 名
①	1	教 育 原 理
②	2	教 育 心 理 学
	3	青 年 心 理 学
③	4	学 級 経 営 論
	5	教 育 社 会 学
④	6	視 聴 覚 教 育
⑤	7	英 語 科 教 育 法
⑥	8	道 徳 教 育 の 研 究
⑦	9	特 別 活 動 の 研 究
⑧ ⑨	10	学 校 生 活 指 導 法
⑩	11	教 育 実 習 (事 前 ・ 事 後 含) 教 育 実 習 の 研 究

教 1	教育原理	英教	必 2単位	黒 澤 正 和
--------	------	----	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

教育職員免許（教員免許）を取得するには、教科に関する科目と教職に関する科目について一定の単位を修得する必要があり、この『教育原理』はその教職に関する科目の中の「教育の本質及び目標に関する科目」に当てる。

従ってこの『教育原理』は、教育という営みがどういふ本質のものなのか、人間にとってどういふ意義をもつのか、またその目的や目標はなにかなどを明確にすることが中心眼目である。

そのために、講義では、今日叫ばれている生涯学習や生涯教育という観点に立って、教育全般に関する原理原則的な考え方や基礎的・基本的な概念等を正しく理解しきちんと把握できるようにすることを目指していく。

〔授業計画と内容〕

- (1) 教育の本質、意義、目的
- (2) 生涯教育・生涯学習
- (3) 教育制度・学校制度
- (4) 社会教育
- (5) 教育行政とその課題
- (6) 教育内容、教育課程と学習指導要領
- (7) 教育方法に関する諸問題、新しい学力観・指導技術・教育評価等
- (8) 教師に期待されること

〔履修のポイント・注意点〕

講義には、休まず、遅刻せずきちんと出席し、講義に集中し、ポイントを聞き漏らさないことが大切。教育についての考え方の特徴、教育に関する用語・ことば・概念の正確な把握に留意すること。

〔成績評価の方法〕

期末に試験を行ない、その成績によって評価する。講義の途中でレポートの提出等を求めた場合には、それを評価に加味する。一定の出席時数が不可欠なのはいうまでもない。

〔使用テキスト〕

『教育原理』六訂版 教師養成研究会 学芸図書
『中学校 学習指導要領』文部省 大蔵省印刷局

〔指定参考図書〕

『ラッセル 教育論』 岩波文庫
『福沢諭吉 教育論集』 岩波文庫

教 2	教育心理学	英教	必 2単位	神 戸 文 朗
--------	-------	----	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

この授業では「適応」とは何かという問題を中心のテーマとして考えていきたいと思います。

私たちは適応という言葉から、幼稚園や保育園の中で「大人しい」、「手のかからない」、「他の子とうまくやっていける」子供というイメージを抱きがちではないでしょうか。しかしこうした「適応した」子供は保育者にとっては扱い易く都合のよい子どもではあるかもしれませんが、その子供自身の発達から見るならば必ずしも最適な状態を示している訳ではありません。そこでこの講義ではその様な一般的な用語法を避け、生物学的用語法である「特定環境の中である種が繁殖しているときその種はその環境に適応している」という意味でこの言葉を使用します。そしてこの適応状態に達するための方略として高等な動物では各個体において発達という現象を生じさせます。つまり個体は発達することによって環境条件の様々な変化に耐え次の世代を残すことができ、結果として適応状態に達することができるわけです。とするならば、私たちは子供の適応を考える際に発達現象についての知識をもつことが不可欠といえましょう。しかしよく言われている育児法や教育観には発達現象や心理学への知識の欠如に基づく誤解が見受けられます。そこでここでは理論（特に、比較心理学、愛着理論、コンピテンス論、認知的発達論）と応用（保育の現場で子供の内的状態を適切に理解し対処すること）を密接に関連づけて講義をすすめたいと思います。

保育や教育の現場でいわゆる「障害児」や「問題児」に出会ったときに必ず直面しなければならない混乱と当惑の中で、この講義の観点が役にたつことを願っています。

〔授業計画と内容〕

1. 理論編
 - ①発達の目的（個体の維持、種の保存）
 - ②システムとしての動物の発達（システムとは何か、システムの複雑化、環境への抵抗性）
 - ③環境からの取り入れ／システムの発展（探索行動、認知的同化・調節作用、能力感）
 - ④取り入れの制限／システムの防護及び安定化（愛着行動、自己刺激的行動、自我防衛、他者への非関与・受動性）
2. 応用編
 - ①防護的サイン（表情、視線、特異的行動）
 - ②いわゆる「問題行動」とその対処（攻撃行動、養護行動、常同行動、積極性の欠如）
 - ③「障害児」への関与（何のための介入か？）それ

教	青年心理学	英教	選 2単位	芳野紀子
3				

は効果をもたらすのか？

〔履修のポイント・注意点〕

特に理論編は難しく感ずるかもしれませんが我慢して聞いて下さい。応用編において示される対処法がどうして必要なかを説明する根拠をなすものですから。耳新しい学術用語にあまりこだわらず話の筋道を理解するように心がけてください。

〔成績評価の方法〕

試験の答案内容による評価とします。

〔使用テキスト〕

辰見他 要説教育心理学 実務教育出版

〔指定参考図書〕

なし。

〔講義目的・テーマ〕

人間は、一生人格を形成し変容させていく。この過程は途切れることなく続くのであるが、便宜的に年令を区切り、青年期を中心として、人格形成全般について概説する。青年期は、児童期後の成人に至るまでの時期を指し、第二の人格形成期と言われる非常に重要な時期である。青年期の心理を、身体的成長や青年をとりまく人々（親、友人、教師など）とのかかわりを中心として概説する。受講者も青年期の渦中にいるので、自己の成長過程を振り返り、現在の自分の心理的状况を心理学的にはどう説明されるかを理解し、これからの自己形成への方向づけを考える機会として役立てて欲しい。講義は、青年期を前期、中期、後期と分け順に発達について考察を進める。その過程で自分自身の思い出や、その時の感情等を記述してもらい、最終的に自分の青年期の簡単な記録が出来るようにしたいと考えている。

〔授業計画と内容〕

- 4月 前青年期の特徴
青年期以前の児童期後半の子どもの発達の様相について調べる。
- 5月 青年期前期の特徴
主として中学生時代の子どもの身体的成長、親とのかかわりの変化、友人関係の意味、問題点などについて述べる。
- 6月 青年期中期の特徴
主として高校生時代の子どもの身体的成長、親とのかかわりの変化、友人関係、異性関係、自己意識、問題点などについて述べる。
- 7月 青年期後期の特徴
高校卒業してから経済的社会的に独立して生活を営むまでお隣の青年について考察する。特に自己確立の問題に焦点をあてる。

〔履修のポイント・注意点〕

自己を振り返ることは、辛いこともあるが、真剣に自己理解に取り組んで欲しい。

〔成績評価の方法〕

時に応じて自分の思い出を記述し、最終的にそれらをまとめて青年期の自分史を作り、青年期の意味を探る。

〔使用テキスト〕

なし。必要に応じてプリント配布。

〔指定参考図書〕

- 「青年期の深層」 馬場謙一著 有斐閣 1,800円
- 「青年期の心」 福島章著 講談社現代新書 650円

教 4	学級経営論	英教	選択必修 2単位	飯田昌己
「学級経営論」・「教育社会学」のどちらか教職選択必修				

〔講義目的・テーマ〕

学級は、学校内であらゆる領域とかかわりを持つ単位である。各教科・特別活動等の二領域に関係し、時間的には、生徒が登校してから下校するまでに及ぶのである。

ことを換えていうと、学級は、生徒が広く学習するための集団で、一人一人の生徒が、人間的により望ましい成長を遂げるための機能を持っている。

生徒が、それぞれ知識・技能・体力・情操等の面において、各自の可能性を最大限に開花させてくれる存在であるといえよう。

ここでは、集団活動の実際と環境づくりの両面から学級経営とは何かを考察してみたい。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 学級経営の意義と内容
- 第2週 〃
- 第3週 学級担任
- 第4週 〃
- 第5週 学級と教科指導
- 第6週 学級経営と「学級活動」
- 第7週 〃
- 第8週 学級づくり
- 第9週 教室経営
- 第10週 〃
- 第11週 学級事務
- 第12週 学級と家庭・社会との連携
- 第13週 まとめ

〔履修のポイント・注意点〕

新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等にとりあげられている身近な問題に関心を持って、考える

〔成績評価の方法〕

毎回出席を確認し、評価の際の参考にする。期末にテーマを与えて筆記試験を実施する。

〔使用テキスト〕

プリントによる。

〔指定参考図書〕

- | | |
|----------------------|-----|
| 「中学校学習指導要領」 | 文部省 |
| 「中学校指導書 教育課程一般篇」 | 文部省 |
| 「中学校指導書 特別活動篇」 | 文部省 |
| 「中学校における基本的な生活習慣の指導」 | 文部省 |
| 「学級担任の教師による生徒指導」 | 文部省 |
| 「生徒指導の実践上の諸問題とその解明」 | 文部省 |

教 5	教育社会学	英教	選択必修 2単位	三枝孝弘
「教育社会学」・「学級経営論」のどちらか教職選択必修				

〔講義目的・テーマ〕

教育社会学という学問は、教育という社会現象を対象としてとりあげます。

学校教育を直接、対象としてとりあげるものは、一般に「教育学」といわれますが、社会現象として教育をとりあげることは、「学校」を、単に学校内部の事としてではなくて、それをとりまいて、さまざまな要因との関係において、考察しようとするものです。

このさまざまな要因としては、例えば家庭、社会、国、世界の風土ないしは文化的事情、あるいは政治的、経済的諸条件、体制などが考えられます。

伝統的には、「教育学」は、子どもを導くという教育的行為を対象とするものですが、これに対して、上記のさまざまな要因との関係で教育を考えていこうとするものは、「教育科学」といわれています。

教育社会学は、この「教育科学」の有力な一分野となっています。「教育科学」の他の分野としては、教育制度論、教育行財政学、教育経営学、教育工学、教育法学、教育経済学などがあげられます。

したがって、教育社会学を学ぶ目的は、今日、社会問題として、しばしばとりあげられる教育問題に対して、一定の知見を身につけるところにあります。

〔授業計画と内容〕

1. 学校と社会体制
学校制度と社会の仕組みとの関係の比較。
2. 成長・発達と人間関係
生涯学習社会の到来と人間の成長可能性。
3. 社会変化と教育との対応
高齢化・国際化・情報化時代と教育の可変性。
4. 職業と教育
企業社会・職業指導（進路指導）と教育との関係。

〔履修のポイント・注意点〕

日常的事例をとりあげてその背後にあるものへの考察、という気配りが必要（抽象と具体の往還）。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

とくに指定しない。資料はそのつど配布。

〔指定参考図書〕

とくに指定しない。参考図書に相当するものは、内容との関連で、そのつど示します。

教 6	視聴覚教育	英教	必 2単位	岡部万里子
--------	-------	----	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

視聴覚教育とは、学習者の視覚（見る感覚）、聴覚（聴く感覚）を学習活動を進める上で活用し、そのために必要な教材・教具を用いることによって、教育上の効果と効率を高めるための理論と実践のことをいいます。

幼児や生徒にとってよりわかりやすく、楽しく、印象的な授業をするための視聴覚教育の考え方に基づいた教育方法は、さまざまなかたちで実際の教育現場で利用されています。

たとえば、教室で黒板・地図・絵・表・グラフ・模型・紙芝居・絵本を用いることや、教室外で遠足・修学旅行・工場見学・音楽鑑賞会を催して自然や歴史的遺跡・社会・芸術などに実際にふれる機会を与えることなどは、伝統的に教育現場でより採り入れられている視聴覚教育の実践例です。

また、科学技術の進歩によって、今日では、映画・パソコン・VTR・スライド・OHP・テープレコーダー・パソコン・ワープロ・LLなどといった多種多様な便利な教育機器が開発されるにいたりしました。

〔授業計画と内容〕

本講義では、視聴覚教育の歴史的背景や理論を学び幼児教育・学校教育の現場などでよく用いられている視聴覚教材・教具を取り上げ、その長所・利点を考えます。また、それらのごく初歩的な操作方法や教材づくりを取り上げていきたいと思えます。

1. 視聴覚教育の歴史的背景
2. 視聴覚教育の理論
3. マスコミと教育
4. 実習（都合により変更することもあります。）

- ①OHP
- ②16ミリ映写機
- ③音楽教材ソフト（譜面美人）

①は必修。②・③は、人数が多い場合、変更もあります。

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

教 7	英語科教育法	英教	必 2単位	石黒哲三
--------	--------	----	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

英語を教える教師は専門職である。そのためには、これまでのいろいろな教授法（Traslation Merhod, Oral Merhodなど）を研究し、現在の日本における英語教育の問題点をみつけ、これからの英語教育はどうあるべきかを考えて、その最善の教育法を身につけなければならない。

英語科教育の目的は、文部省の定める学習指導要領と教育基本法との規制を受けている。すなわち、中学校の場合について言えば、中学校学習指導要領「外国語（英語）科」編に規定された「外国語を理解し表現する能力の基礎を養い、言語に対する意識を深めるとともに、国際理解の基礎をつちかう……」という《目標》、ならびに「身近なことについて、最も初歩的な英語を用いて、聞くこと、話すことができるようにさせる」に始まる〈各学年の目標〉を達成しつつ、また他の諸教科とも協力しつつ、究極的には教育基本法第1条に規定された「教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として…」という《教育の目的》を達成すること、と言えるだろう。

従って、この英語科教育法では、以上のような教育目標を達成しうる能力や技術をもった教師になれるように、半期ではあるが、毎時間ビデオ教材を併用して、最大の教育効果をあげられるよう工夫しつつ、優秀な英語教師を養成することを目指している。

〔授業計画と内容〕

- 第1章 英語学習指導の目標と在り方
- 第2章 言語材料の指導
- 第3章 言語活動の指導
- 第4章 指導過程
- 第5章 視聴覚教具利用の実際
- 第6章 指導にあたって留意すべき基本事項

〔履修のポイント・注意点〕

情熱をもって中学校の英語教育に従事する覚悟の出来ている者へのみこの科目をとってもらいたいと思っている。ただ中学校教諭の免許状でもとっておこうかという軽い気持ちではとって欲しくない。

〔成績評価の方法〕

レポート、模擬授業、日常の学習活動等を総合的に判断して評価する。

〔使用テキスト〕

「英語の新しい学習指導」 伊藤健三ほか著
リーベル出版 定価2,678円

教 8	道徳教育の研究	英教	必 2単位	黒 澤 正 和
--------	---------	----	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

この科目は、教育職員免許法等でいう教職に関する科目の「道徳教育に関する科目」に当たる。

学校はもちろん、家庭でも、また社会でも、今、教育という面で最も重要なこと、最も心をもちいなければならないことの一つは道徳に関する教育の充実である。だが、現実には、家庭、地域社会、また小学校・中学校・高等学校でも、道徳教育は必ずしも十分とはいえない。

学習指導要領も改正になり学校における道徳教育の充実が真剣に求められているが、それには教師の一人一人がもっと自信を持って道徳教育に打ち込めるようになること、そして学校全体が真剣に道徳教育に取り組むようになることが望まれる。

そのためにも、この科目では、学校教育の実際において道徳指導をきちんと行える教員を養成するという観点に立って講義を進めていきたい。

〔授業計画と内容〕

- (1) 教育と道徳教育、道徳教育の歴史
- (2) 道徳教育の課題と目標
- (3) 道徳教育の内容、道徳的価値
- (4) 指導方法・評価・指導計画の作成
- (5) 指導者としての心構え

〔履修のポイント・注意点〕

人間としての在り方生き方の教育に関する科目であることに留意し、他人事としてでなく、いつも自分のこと、自分の人間としての在り方生き方の自覚の問題としてとらえ、真剣に講義に集中することが必要。

〔成績評価の方法〕

期末に試験を行ない、その成績によって評価する。講義の途中でレポートの提出等を求めた場合には、それを評価に加味する。

〔使用テキスト〕

『道徳教育の研究』 編著 村田 昇・押谷由夫
三晃書房 定価1,800円
『中学校指導書 道徳編』 文部省 大蔵省印刷局

〔指定参考図書〕

『ソクラテスの弁明・クリトン』 岩波文庫
『メノン』 岩波文庫

教 9	特別活動の研究	英教	必 1単位	黒 澤 正 和
--------	---------	----	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

この『特別活動の研究』という科目も、『教育原理』や『道徳教育の研究』の場合と同様に、教育職員免許法等にいう教職に関する科目の一つで、その「特別活動に関する科目」に当たる。

しかしこの科目は本学で1単位の科目として設けられているという点で他の科目と扱いが違っており、それで講義の期間が他の半分、具体的には5月から7月の始めまでとなっている。

特別活動は、いうまでもなく学級活動（高校でのホームルーム活動）、生徒会活動（小学校では児童会活動）、クラブ活動及び学校行事を包括して呼ぶことばで、皆さんはそれらのいずれもすでに十分経験済みであり、そしてよく考えてみると、学校時代の楽しい思い出は、特別活動の中でのことが多い。また、人間としての在り方生き方に関して多くのことを学んだのも特別活動においてということが少なくない。

だが、一方には、特別活動を教科中心の学習活動の添え物、あるいは気晴らしの時間などとし、学校教育における副次的活動とするらえ方がある。あるいはむしろ残念ながらこちらの方が一般的な考え方もしれない。

それで、特別活動とは何か、その本質・意義、その在り方などについて再検討し、特別活動にあるべき正当な地位を与えるのが、この講義の課題である。

〔授業計画と内容〕

- (1) 学校教育における特別活動の位置
- (2) 特別活動の性格、意義、目的
- (3) 内容
- (4) 指導計画・指導方法

〔履修のポイント・注意点〕

体験を踏まえ、講義に集中する。特別活動の性格、意義、目標、内容、活動形態等を明確に把握し、教師として適切な指導が行えるようになる。

〔成績評価の方法〕

期末に試験を行ない、その成績によって評価する。講義の途中でレポートの提出等を求めた場合には、それを評価に加味する。

〔使用テキスト〕

『中学校指導書 特別活動編』 文部省 ぎょうせい

教	学校生活指導法	英教	必 2単位	飯 田 昌 己
10				

〔講義目的・テーマ〕

学校には、日常きわめて広範囲な業務があり、したがってそれに伴う多様な問題が存在し、日々の検討と対応とが必要とされる。

なかでも、生徒一人一人の人格の育成と学校生活の充実および進路の適正化を図ることは、学校の教育目標達成のための重要な領域であるといえよう。

この点について、現在学校が抱えている課題を吟味し、それにどのように対応していくか、どう達成していくかを、できるかぎり実情を踏まえつつ考察・検討し、理解を深めていきたい。

〔授業計画と内容〕

1. 生徒指導の意義
2. 生徒指導と各教科・科目
3. 生徒指導と道徳教育・特別活動・教育課程外の活動
4. 生徒指導の組織と計画
5. 生徒指導と学級担任
6. 学校と家庭との連絡
7. 教育相談の進め方
8. 教育相談と関係機関との連絡
9. 教育相談と事例会議
10. 非行防止
校内暴力・いじめ・飲酒喫煙・登校拒否等
11. 校則および髪型
12. 進路指導の理念と性格
13. 進路指導の可能性と限界

〔履修のポイント・注意点〕

ジャーナリズムをにぎわすような事項が多いから、報ぜられる内容に関心を持ち、身近な問題として考えること。

〔成績評価の方法〕

毎回出席を確認し、評価の際の参考にする。期末にはテーマを与えて筆記試験を実施する。

〔使用テキスト〕

プリントによる。

〔指定参考図書〕

- | | |
|---------------------------|-----|
| 「中学校学習指導要領」 | 文部省 |
| 「生徒指導の手引き」 | 文部省 |
| 「学級担任の教師による生徒指導」 | 文部省 |
| 「中学校におけるカウンセリングの進め方」 | 文部省 |
| 「中学校・高等学校進路指導の手引中学校学級担任編」 | 文部省 |
| 「生徒指導の実践上の諸問題とその解明」 | 文部省 |

教	教育実習(輔・観察C)	英教	必 3単位	石 黒 哲 三
11	教育実習の研究			

「教育実習」は別に指示する。

「教育実習の研究」

〔講義目的・テーマ〕

教育実習とは狭い意味では、教員志望の学生が配当された学校で、教科及び特別教育活動の学習指導に一定期間連続して従事することであるが、広い意味では、毎時の学習指導のほか、生徒一人一人や学級全体の学習過程、それに教師と生徒との間の人間関係、さらには、学校経営についての観察や参加など、教職に関する実践経験のすべてを意味するのである。その間、実習生は指導教師の指導のもとにあることは言うまでもないが、単に学習指導ばかりでなく、一人一人の生徒の人間育成に直接関わるのであって、事の重大さに常に思いを致さなければならない。

教育実習の目標は、

- (1) 教育事象を教育現場において実証的に研究する。
- (2) 教育実践を通し教師としての資質、適性を考える。

の2点に要約できよう。

〔授業計画と内容〕

1. 教育実習とその目標
2. 教育実習の実際
3. 教育実習にあたっての諸注意
4. 観察および自己評価の視点

〔履修のポイント・注意点〕

教育実習の心得として特に留意して欲しいことは

- (1) 実習校の教育方針に従い、実習生としての責務を果たすように、鋭意努力すること。
- (2) 教育者としての自覚を持ち、言動に細心の注意を払うこと。言葉使いや動作は一朝一夕には変えられないので、平素から正しい言葉使いと落ち着いたある態度を身につけること。

である。その他、音声の鍛練も日頃から心がけ、教壇に立つときは、清楚な服装で、明るく親しみのある態度を持することも必要であって、実習校で接するいろいろな人々に対する礼儀作法もきちんと守って欲しいものだ。

〔成績評価の方法〕

レポート、模擬授業、実習校での評価、日常の学習活動等を総合的に判断して評価する。

〔使用テキスト〕

- 「実践英語科教育法」 伊藤健三ほか著
リーベル出版 定価2,369円

95年度開講

幼児教育科・幼児教育科第二部専門科目 目次

区分	幼No	授業科目名
音楽	1	音楽Ⅰ (ソルフェージュ)
	2	音楽Ⅱ (器楽)
	3	音楽ⅢA (総合実技)
	4	音楽ⅢB (総合実技)
	5	リトミック
図画工作	6	造形Ⅰ
	7	造形Ⅱ
	8	美術史
体育	9	体育学
	休講	保健衛生学
国語	11	児童文学 (書写を含む)
	12	国語表現法 (書写を含む)
A	13	教育原理
B	14	発達心理学Ⅰ
	15	◆教育心理学
C	16	幼児保育思想概説
	17	児童文化
D	18	教育社会学
	19	視聴覚教育
E	20	保育方法研究
	21	保育課程総論
F		保育内容研究Ⅰ (子供と環境)
	22	人間関係
	23	環境
		保育内容研究Ⅱ (子供の生活と遊び)
	24	健康
	25	言葉
		保育内容研究Ⅲ (子供の文化)
26	表現 (音楽指導)	
27	表現 (美術指導)	
G	28	保育内容指導法
H	29	教育実習 (事前・事後含)
	30	教育実習の研究

区分	幼No	授業科目名
福祉	31	◆社会福祉Ⅰ
	32	◆社会福祉Ⅱ
	33	児童福祉Ⅰ
	34	保育原理Ⅰ
	35	◆養護原理Ⅰ
	36	保育原理Ⅱ
	休講	養護原理Ⅱ
	休講	児童福祉Ⅱ
	39	小児保健ⅠA
	40	◆小児保健ⅠB
	41	◆小児保健 (実習)
	42	◆小児栄養
	43	◆小児栄養 (実習)
	44	◆精神保健
	休講	発達心理学Ⅱ
	46	青年心理学・発達心理学Ⅲ
	47	臨床心理学
	休講	小児保健Ⅱ
	49	◆乳児保育Ⅰ
	休講	乳児保育Ⅱ
保育	51	養護内容
	52	障害児保育
	休講	家庭管理
	54	保育実習Ⅰ (事前・事後含)
	55	保育実習の研究
	56	保育実習Ⅱ (保育所)
		保育実習Ⅲ (施設)
休講	心身障害者福祉	
休講	高齢者福祉	
その他	57	早朝英語教育学
	58	秘書学
	59	コンピュータ概論
	60	企業と社会

幼 1	音楽Ⅰ(ソルフェージュ)	幼 幼二	必修2単位 必修2単位	荒井 弘 高 今 田 政 成
--------	--------------	---------	----------------	-------------------

〔講義目的・テーマ〕

ソルフェージュとは、フランス語で音楽の基礎教育全般を指す言葉である。

授業は、幼児教育者になるために必要な音楽の総合的な力を養うための第一歩として、特に基礎づくりに重点を置いて指導する。

幼児教育を学ぶ者にとってピアノの演奏技術を修得する事は勿論であるが、同時に音楽の仕組みや流れを正しく理解する事が非常に大切である。また音楽は楽器の音や人間の歌声によって美しさや感情を表現するものであるから、音楽を理論的に理解すると同時に、実際に「うたったり」「ひいたり」「きく」ことにより身体で実感し、感覚的にこれらを理解できるようになることが必要とされる。

〔授業計画と内容〕

次の事からを順次組み合わせる授業を行なう。

1. 発声法の訓練
2. 歌唱訓練
3. 楽典の理解
4. 音楽的聴覚訓練
5. ハーモニー感覚の訓練

〔履修のポイント・注意点〕

この授業は二年時履修の音楽ⅢAにつづいて行く大切な授業であるので、全員がしっかりと内容を習得してほしい。

〔成績評価の方法〕

各内容ごとに課題が出される。この消化度として出席で評価を出す。

〔使用テキスト〕

- 「保育音楽のための歌唱教本」
保育音楽研究会編著 共同音楽出版社
- 「音楽リズム」
(幼児のうた楽譜集) 小林美実編 東京書籍
- 「音楽理論」
五十嵐忠・重田恒雄著 圭文社

〔指定参考図書〕

幼 2	音楽Ⅱ(器楽)	幼・幼二	必修2単位	※参照
※	富田 英也 谷 久子 福田 紀代 亀田 由美	小倉 睦美 福田由紀子 今田 政成	森谷 和子 益子州出男 藤井 千春	小池 雅代 石橋 友子 大和田すが子

〔講義目的・テーマ〕

本学における器楽とは、ピアノの個人レッスンである。レッスンでは、将来現場での音楽指導に役立つような基礎となる技術と知識を修得する。なかでも、童謡の弾き歌い・行進曲・童歌等が指導できるよう重点を置いている。そのためには、毎日の技術の習練と研究を決して怠らず、音楽本来の意味(人間の感情を音によって表現する)をわすれることなく、さまざまな経験を生かし、敏感な感性と創造性を養ってほしい。

本学では、初めてピアノを習う者でもある程度心得がある者でも各々の進度に応じた指導をしているが、特に試験時には未修得者でも不利にならないように、それぞれの進度に応じた課題を与えている。

しかし、いかに優れた技術や知識をもっていても現場の幼稚園や保育園で生かされなければ何もならない。簡単で基礎的なものや逆に難しい曲等進度にこだわることなく充実した研修をして欲しい。

又、幼児期の音楽は、感性がつかわれる大切な時であるから、教材は注意深く研究し、個性のある幼児教育者になるよう努力して下さい。

〔授業計画と内容〕

[一年] 左右の手・指のほぐし、平行進行、逆進行、音階、和音進行、分散和音等バイエル・メトードローズ程度の基礎修得。オリジナルの幼児曲が弾けることはもちろんであるが、スムーズな簡易伴奏が可能であることが目標となる。

- 前期試験 音階とマーチ
後期試験 基礎的練習曲や小品(テキストから抜粋)と幼児曲の弾き歌い

[二年] 基礎的修得に続きさらにソナチネ程度のテクニクを修得目標としている。この段階では色々な叙情的作品をたくさん学んで豊かな感性を身につけて欲しい。

- 前期・後期試験 ソナチネや叙情的小品と幼児曲の弾き歌い

〔履修のポイント・注意点〕

1. 教材については、全員同じ初心者用から始めるがすでに修得者や終了後は指導教官の指示にしたがうこと。
2. 初心者用テキストは、各自の努力によって短期間で終了できるが、進度のおそい者でも卒業までに終了しなければ、単位取得が保留される。

幼	音楽ⅢA(総合実技)	幼	必 1単位	荒井弘高
3		幼二	必 1単位	益子州出男 今田政成

3. 応用教材（童謡等）については、進度のいかんにかかわらず一年の後期より実施するが、卒業時までに最低30曲の必修曲を終了しなければならない。（別に配布するピアノレッスンカード参照）
4. 練習は学校のピアノだけでは不十分なので、自宅に鍵盤楽器を持つのが望ましい。

〔成績評価の方法〕

各学年前期後期とも幾つかの会場に別れ実技試験を行い、会場ごとの平均点と平常の態度や出席状況を加味し評価する。さらに成績は前期・後期の平均である。

〔使用テキスト〕

- 「新ピアノ教本」
河崎光子編著 音楽之友社2,060円
- 「行進リズム曲集」
保育音楽研究会編著 共同音楽出版社
- 「音楽リズム・幼児のうた楽譜集・みんなであたおう」
小林美実編 東京書籍

〔指定参考図書〕

- 「ブルグミュラー25の練習曲」
全音楽譜出版社 音楽之友社その他等
- 「ソナチネ・アルバム1・2」
全音楽譜出版社 音楽之友社その他等
- 「ユーゲントルスト」 ドイツロマン派の23人
田中英夫・富田英也・松永晴紀共編
全音楽譜出版社
- その他

〔講義目的・テーマ〕

一年時履修の音楽Ⅰ（ソルフェージュ）で修得した基礎能力をステップに、いよいよ幼児教育に必要な音楽の総合的な能力を養う事を目的とする。

現場でのピアノを使用しての音楽指導においてもっとも大切な事は、保育者が子どもに背を向け、ひたすらピアノを弾いているのではなく、子どもたちと楽しくうたいあいができることである。

ベートーベンやショパンの曲を丹念に仕上げる事もピアノの技術及び音楽性を向上させる事に於いては大切な勉強である事は言うまでもないが、当授業は「子どもたちが喜んで歌える」ような、また自分自身いきいきと「うたって」「弾ける」ような、技術を持った保育者づくりをめざしたい。

また現場での音楽遊びに用いられている打楽器、リード楽器などの奏法も学習し、色々な楽器を用いてのアンサンブルなども行ってみたい。

〔講義のテーマ〕

- 4月 コードネームの理解（初歩的な和声学の研究）
- 5月 伴奏付けの研究
- 6月 こどもの歌の作曲
- 7月 器楽合奏

〔履修のポイント・注意点〕

伴奏付けをマスターするにはたいへん努力が必要である。理論的に理解できてもスムーズに音楽として表現する事は決して易しい事ではないが、技術を一度身につけてしまえば、幼児曲のほとんどに簡単に伴奏付けができるようになる。頑張ってチャレンジしよう。

〔成績評価の方法〕

出席と課題消化度で評価する。

〔使用テキスト〕

- 「うたって ひこう」
フォーラム・こどもと音楽編著 音楽之友社
- 「音楽リズム」
（幼児のうた楽譜集） 小林美実編 東京書籍

〔指定参考図書〕

- 「ひと目でわかるピアノコードの押さえ方」
平野章子編著 ドレミ楽譜出版社

幼	音楽ⅢB(総合実技)	幼	選	1単位	益子州出男
4		幼二	選	1単位	今田政成

〔講義目的・テーマ〕

今まで学んだ音楽理論を実際の現場において、即時対応できる様にする。

- ・ソルフェージュの和声とコードによる和音を一致させ、色々な伴奏型や和声進行を学ぶ。又、幼児曲の全てにコードネームが書かれている訳ではなく旋律にコードを付けるにあたり、和声音からはずれている非和声音を見付け出す事も必要である。
- ・幼児の音域というのは狭く、市販されている楽譜では声の出ない曲（特に高音）も少なくない。そこで、幼児でも歌える調に移調する事が出来なければならぬ。
- ・旋律から二声・三声に編曲したり、器楽合奏の編曲法も学ぶ。

〔授業計画と内容〕

- 9月 和声の基礎の復習 非和声音の説明
- 10月 上記に移調奏を加える 編曲する曲を決めて和音を付ける
- 11月 幼児曲等にコードをつける 曲を二声・三声に編曲し、又、リズムを加える
- 12月 全体のまとめ 編曲した曲を音出しする
- 1月 編曲の手直し 清書

〔履修のポイント・注意点〕

毎日次の授業で習ったコード、伴奏法を繰り返し復習する事。又、いろいろな曲を二声や三声にし、編曲法にも慣れる事。五線紙を忘れぬ様にする。

〔成績評価の方法〕

毎回授業次の伴奏付け、移調奏等の平常点
編曲のレポート

〔使用テキスト〕

- ・ひと目でわかるピアノコードの押さえ方
（ドレミ楽譜出版社）
- ・音楽リズム 幼児のうた楽譜集
（東京書籍）

〔指定参考図書〕

幼	リトミック	幼・妊	選	1単位	吉田裕昭
5					

〔講義目的・テーマ〕

リトミックは、スイスの作曲家・教育者E・J＝ダルクローズにより創始されたユニークな音楽教育法である。しかし、その目的は「感性を磨き、肉体と精神の一致・調和のとれた人格形成を目指す」ことにある。すべての可能性・能力発展の源泉を身体行動の中に求め、それを通じて諸感覚機能の発展を促し、想像性・創造性の上にたった教育活動の中に、人間としての芸術性の高まりを求めていこうとするものである。すなわち、人間教育こそがリトミックの目指すところであり、領域“表現”のねらいと合致するところでもある。従ってこの教育法は、音楽教育の分野のみならず、ダンス・演劇・体育・造形・障害者教育などの諸分野にも影響を与えている。

〔授業計画と内容〕

この講義では、将来幼児教育の現場に立った時、戸惑わないよう各々の技術の向上をめざし、また、実際に指導する時に指導案のヒントとなることをできるだけ多く経験できるように進めていく。

〔履修のポイント・注意点〕

受講の際は、動きやすく、体育館の床に直接座つても差し障りのない服装で参加すること。また、リトミックの授業は、知識を得ることが目的ではなく、自分自身で経験をつむことが何よりも大切なことなので、積極的に参加し、自分自身の感覚を研ぎ澄まし、想像力や創造力を十分に発揮し、かつ楽しく受講することを望む。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

- 「保育園・幼稚園のためのリトミック 4才児用」
岩崎光弘 他 ビクターリトミック研究室

〔指定参考図書〕

幼 6	造形Ⅰ	幼 幼二	必通2単位 必通2単位	粕谷圭司 小久保裕
--------	-----	---------	----------------	--------------

〔講義目的・テーマ〕

子供は1、2才の乳幼児になると、あたり構わず、グルグル描き（なぐり描き）を始める。

最初は、クレヨンを持つ手の動きや、そこに現われた痕跡への興味に過ぎなかったものが、嬉々として繰り返す動作の中から、3才前後になると自己主張が強くなり、イメージーションの働きによって、そこに意味を与え、目的意識を持って描くようになる。

人間らしい創造の芽吹きの時である。

幼児の造形表現活動は言葉の獲得などと連動して発展するもので、ゆたかな人間性を養う為に、必要不可欠の活動である。

幼児の創造の芽に、肥やしを与え、すこやかに成長させることが親と幼児教育者の仕事といえるだろう。

造形〔Ⅰ〕では、この分野における、基礎技能の習得に重点を置き、過去において習得した知識を、様々な角度から検討、研究を加え、幼児教育者として、実践に役立つ力を養成することを目的とする。

指導内容としては、初歩的課題を与え、実践を通して、現実の「もの」を正しく表現し、認識する力の養成をめざし、ものを創る楽しさ、創造する喜びを味わうことのできるものになりたい。

〔授業計画と内容〕

前期においては、出来るだけ技術的修得に重点を置き豊富な項目を用意し柔軟性あるカリキュラムとする。陶芸、ガラス絵、紙版画、彫刻、構成、テッサン等。

後期には、各自の自発性を重んじ十分時間をとり水彩画を通じて、創造的な作品を創る内容としたい。

〔履修のポイント・注意点〕

幼児教育として、子供達が何を考え、ものを創っているかを把握出来る人材となるべく、各テーマにおいて作るだけでなく、子供達にどう接するかを考えながら進める。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。
各テーマごとに作品提出によって評価する。

〔使用テキスト〕

なし

〔指定参考図書〕

「造形の基礎技法」
宮脇 理 共編 建帛社2,100円

幼 7	造形Ⅱ	幼・妊	選通2単位	小久保裕
--------	-----	-----	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

人類を定義づけて、ホモ・ファールベル（工人）と呼ぶことがある。ものを作る、絵を描く、といった創造的造形活動は、ヒトを人間たらしめる重要な活動であり、その喜びは、強い生命力の源泉でもある。

これは単に幼児に限らず、大人にとっても、人間が生きていく上での基礎的な諸能力を培い、幼児指導者にとって必要不可欠の創造力や指導力を養うものである。

造形〔Ⅱ〕では、造形〔Ⅰ〕で習得した造形的表現能力と知識を土台に、より自由な場で自発性と創造性に富んだ実践活動を行う。

水彩、油絵具、アクリル絵具などを軸にした制作と、その素材研究を通して、より高い専門的技術を習得する。

また美術館見学も含め、画集、スライド等による美術鑑賞を重視する。

〔授業計画と内容〕

〈前期〉テッサン（各種素材の試み）

手作り粘土による造形

油絵 「構想画」

画集などによる鑑賞

〈後期〉石膏による造形

草木あそび

油絵又はアクリル画

幼児の表現と造形能力の発達

美術館見学

〔履修のポイント・注意点〕

問題意識を持って取り組んでほしい。自己の興味と能力に合った研究課題を持てるよう指導する。

〔成績評価の方法〕

提出作品の質と完成度によって判定する。

〔使用テキスト〕

テキストは使用せず、適宜プリントを配布する

〔指定参考図書〕

指定図書は必要に応じて指示する。

幼 8	美術史	幼・妊	※参照	飯田昌平
※幼免選 2単位 ・ 保母選 △2単位				

〔講義目的・テーマ〕

美術作品を歴史や民族、風土等にわたる系統的で幅広い観点から味わうことができるようになることを主な目的とする。そのために、美術から見た時代の特徴、民族、風土等の特質を知り、表現の方法、材料、形式等の相違や相似および変遷等の関連を考察し、人々が美術に託した願いや憧れを知ると共に、それぞれの時代の人々の生き方と美術の関わりについて検討して行く。

時代、民族、風土などの相違による美術の良さや美しさ。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

日頃から美術館や美術展に行く習慣を身に付け、精神生活をより豊かに築くことの重要性を理解し、歴史、民族、風土、文化等について関心を持ち、尊重すること。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「西洋美術史」 嘉門安雄監修 美術出版社980円

〔指定参考図書〕

幼 9	体育	幼二	必 2単位	三宅綱子
--------	----	----	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

〔実技〕 幼児の健康運動と日本人の動き

テーマは、「幼児の野性育成」です。幼い個体は、ドーンとぶつかってみたいのです。思い切り躍んでもみたいのです。ゴロゴロ転がってみたいのです。けれども、何処か離れたところから、アブナイ！ 駄目！ とりモコン、プレーキがかかります。これら動物本来の健やかな要求は満たされないまま成人すると、昨今大きな社会問題になっている「イジメ」の温床づくりに、少なからず手を貸している事になります。どうか、彼等の要求を十分に受けとめて満たして上げられる、強く、温かい指導者になって欲しいとおもいます。授業は、「楽しいケンカの仕方」を展開していきます。

併せて踊る！ という表現を究っていきたいと思います。動き特に踊りの表現には、多分に民族性が含まれているものです。先づ日本人の動きの素を探ってみる事にしましょう。伝統古曲の「桃太郎」を教材に、美しい日本語の再発見と動きの素を探求してみたいと思います。

〔授業計画と内容〕

前半期

4月～7月

一連形式なので前回は復習しながら進行する。

〔履修のポイント・注意点〕

夜間は疲労度が高く注意力も衰えています。極空腹状態をさける工夫に心がけ参加して下さい。

全員協力して、用具の準備等をし、時間を有効に費よう努めて下さい。

〔成績評価の方法〕

普段の出席状況と、最終授業時に実技テストを行います。

〔使用テキスト〕

使用しません

〔指定参考図書〕

使用しません

幼	体 育	幼	必 2 単位	齋 藤 一 人
9				

〔講義目的・テーマ〕

子供たちは、個人や集団の色々な「遊び」の中で、喜怒哀楽・安全性・危険性を体得していきます。またその中で、約束（ルール）・仲間づくり（コミュニケーション）・人間関係・リーダーシップなど様々なことを体験し、学習していきます。

社会や生活環境が多種多様に変化し、子供たちにも様々な社会問題（いじめ等）が起こっている中で、これから指導者としてこの変化に対応していく決断力、判断力、体力が必要です。道具や環境が新しくなっても、「遊び」を通して、また「遊び」に置き換えて、子供たちに経験させることをグループ活動（学習）により展開していきたい。

〔授業計画と内容〕

1. 自分達で色々な道具を使って運動を行う。
（体力や運動の習慣性を養う）
2. 班単位で毎週、実戦にて授業を展開していく。
 - ①ガイダンス
 - ②班（フループ）に分けおよび役割分担
 - ③ボールゲームで遊ぶ
 - ④様々なゲーム遊び
 - ⑤グループ学習

〔履修のポイント・注意点〕

1. 出席を重視します。（見学・遅刻・欠席等は正当な理由のない限り認めません。）実技習得だけでなく社会人としての常識も身につけてください。
2. 主に体育館での実技ですので、体育館用のシューズを必ず用意してください。また、汗をかきますので、運動しやすい服装と汗をかいた後の着替えを準備してください。
3. 体力・集中力を必要とされる実技なので、前日の睡眠・食事に気を配り、ケガのないように注意してください。

〔成績評価の方法〕

単位取得には8割以上の出席が必要です。また、グループ学習、発表の成果・貢献度・協力性などの平常点により成績を評価します。

〔使用テキスト〕

〔参考資料図書〕

幼	児童文学(書写を含む) // (※①)	幼・幼	選択必修 2 単位	飯 田 昌 己
「児童文学」・「国語表現法」のどちらか選択必修				

〔講義目的・テーマ〕

わが国の児童文学について、それぞれの作家ならびに作品を理解し、鑑賞する。なお、学習したことを基盤にして、将来にわたって関心を持ち続けるよう意欲を喚起したい。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 児童文学とは何か
- 第2週 わが国の児童文学の変遷
- 第3週 小川未明と「赤い蠟燭と人魚」
- 第4週 浜田広介と「泣いた赤鬼」
- 第5週 坪田譲治と「魔法」
- 第6週 有島武郎と「一房の葡萄」
- 第7週 宮沢賢治と「セロ弾きのゴーシュ」
- 第8週 新美南吉と「ごんぎつね」
- 第9週 千葉省三と「鷹の巣とり」
山本有りと吉屋信子
- 第10週 岡本良雄と「ラクダイ横町」
- 第11週 絵本について
- 第12週 昔話・民話・童謡について
- 第13週 まとめ

〔履修のポイント・注意点〕

作品の下読みをして出席すること。それぞれの作家ならびに作品についての履修が終わったら、テキスト以外の作品も読むように心がける。

〔成績評価の方法〕

毎回出席を確認し、評価の際の参考にする。期末にはテーマを与えて筆記試験を実施する。

〔使用テキスト〕

岡本光弘著 「児童文学選」 おうふう（桜楓社）

〔指定参考図書〕

日本児童文学学会編 「日本児童文学概説」東京書籍

幼	国語表現法(書写を含む)	幼	選択必修 2単位	粒 来 哲 蔵
12	(※①)			
「国語表現法」・「児童文学」のどちらか選択必修				

〔講義目的・テーマ〕

国語による表現の方法を探る道は2本あります。1つは文字通り表現の仕方そのものに則して自ら作文してそれを確認する学び方。もう1つは表現の実作を基にしてそれを分析し批評しながら方法を探る道です。

この講義では後者の道を選びとり、井上靖の自伝小説といわれる「しろばんば」にたいまつを当ててみることにしました。

この小説の作者は、少年時両親と離れ、血のつながらない老婆と田舎の土蔵の中で数年を過ごすという不思議な生活体験を持っています。後年歴史小説家として名を成す作者の作品の根底には、この時のやさしい感受が生きており、それが詩情となって作品の清澄性を生み出しているといわれているのも当然のことと思われまます。

名作「しろばんば」の主人公、少年「洪ちや」の情感を自らのものとして感受しながらその成長の軌跡をたどり、あわせて国語による表現の方法のいくつかを考えていきたいと思います。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 講義内容と受講の仕方の説明
- 第2週 「しろばんば」講読と表現法（第1章）
- 第3週 「しろばんば」講読と表現法（第1章）
- 第4週 「しろばんば」講読と表現法（詩的表現）
- 第5週 作文創作
- 第6週 作文批評と表現について
- 第7週 「しろばんば」講読と表現法（第2章）
- 第8週 「しろばんば」講読と表現法（第2章）
- 第9週 井上靖講演「詩と小説」（CD）を聴く
- 第10週 「しろばんば」講読と表現法（第3章）
- 第11週 作文創作
- 第12週 「しろばんば」登場人物編
- 第13週 「しろばんば」表現法のまとめ

〔履修のポイント・注意点〕

講義の進行と動じに自力で第4章の読みにかかり、講義終了時まで前編第8章までを読み終えてください。

〔成績評価の方法〕

毎週出席票を書きこみ提出します。出席回数を調べ成績評価の1助とします。

学期末試験は講義内容と自主読解（第4章以降）の両方から等分に出題、講義内容分についてはその概要を予告します。作文は試験と同等の位置で評価します。

〔使用テキスト〕

「しろばんば」
井上 靖著 新潮文庫版 860円

〔指定参考図書〕

「あすなる物語」
井上 靖著 新潮文庫版 560円
「幼き日のこと 青春放浪」
井上 靖著 新潮文庫版 560円

幼	国語表現法(書写を含む)	幼二	選択必修 2単位	飯田昌己
12	(※①)			
「国語表現法」・「児童文学」のどちらか選択必修				

〔講義目的・テーマ〕

国語表現について学ぶべき領域は広いが、短期間の学習であるから当然基本的な事項をとりあげることになる。

ここでは、ことばの機能および話しことばと書きことば、表記の基本的な事項、特に文章表現に重点を置いて学習する。実用的な面にも配慮したい。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 ことばの機能
- 第2週 話すこと
- 第3週 文と文章
- 第4週 文章の書き方
- 第5週 〃
- 第6週 〃
- 第7週 〃
- 第8週 用語と表記
- 第9週 〃
- 第10週 〃
- 第11週 〃
- 第12週 手紙 基本型(封書とはがき)
- 第13週 まとめ

〔履修のポイント・注意点〕

履修しつつ国語・国字問題への関心を高め、同時に書くためには読むことが必要だということを知って、読書に心がける。

〔成績評価の方法〕

毎回出席を確認し、評価の際の参考にする。期末にはテーマを与えて筆記試験を実施する。

〔使用テキスト〕

松村 明著 「国語表現法」 おうふう(桜楓社)

〔指定参考図書〕

金田一春彦著 「日本語」(上・下) 岩波新書

幼	教育原理	幼	必 2単位	萩原元昭
13				

〔講義目的・テーマ〕

幼稚園教育要領、保育所指針の改訂や小学校以降の学習指導要領の全面改訂という現代日本の教育変革期にあたり、自己の教育力形成を主眼とする、教育の目的、内容、方法のあり方に関して以下のように多角的に考察する。

〔授業計画と内容〕

- 1) 学習とは何か
- 2) 家庭教育
- 3) 遊び仲間と近所遊び
- 4) カリキュラム・指導の考え方
- 5) 保育施設と学校
- 6) 生涯学習の過程
- 7) 保育者・教育者の資質と課題

〔履修のポイント・注意点〕

4～5回程度、レポートの提出を課すので、欠席しないように留意されたい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「幼児教育」

萩原元昭・高橋恵子著 放送大学教育振興会

〔指定参考図書〕

「現代教育の社会学」

萩原元昭 他編 文教書院

「変革期の人間形成」

柴野昌山 他編 アカデミア出版

「教育伝達の社会学」

バーンステイン・萩原元昭編訳 明治図書

「新版教育学用語辞典」

萩原元昭 他編 学文社

幼 13	教育原理	幼二	必 2単位	岡部万里子
---------	------	----	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

教育原理とは、教育学のあらゆる分野においてその本質となる基礎的な教育理論のことをいいます。

1. 教育原理とは何か
「教育原理」の教育学における位置づけ
2. 教育の本質
教育とは何か
3. 教育の目的
何のために教育するのか
4. 教育の方法
どのように教育するのか
5. 教育の可能性と限界
どこまで教育することができるのか
特に、この講義では、
「教育の目的」

を中心課題とし、テューイの教育目標を現在の教育の在り方の中で考えてみたいと思います。

また、近年その必要性が増大してきたといわれる「生涯学習」

について、その概略にふれたいと思います。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

どれも身近な問題に引きつけて考えるように希望します。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

幼 14	発達心理学Ⅰ	幼・幼二	必 2単位	神戸文朗
---------	--------	------	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

この講義では新生児期から幼児期に至る間の認知能力と人格特性がどのように発達するかを統合的に捉えることを目的とします。認知的発達に関しては主としてピアジェの理論に従い、性格発達に関しては主としてエリクソンの人生周期説に従って説明します。またピアジェの認知的発達段階説における感覚運動期を理解するためには新生児期・乳児期における感覚能力や運動能力についても知っている必要があるものでこれについても簡単に触れておくつもりです。ピアジェ流の実験心理学とエリクソンに代表される精神分析学とでは理論的背景は非常に異なっていますが、またそれらは互いに補いあつて初期の発達現象を説明していると本講では考えています。

〔授業計画と内容〕

新生児期・乳児期の能力

- ①感覚能力
- ②運動能力／原始反射

ピアジェの認知的発達段階説

- ①感覚運動期
- ②前操作期
- ③具体的操作期
- ④形式的操作期

エリクソンの人生周期説

- ①人生周期の図式
- ②乳幼児期日
- ③青年期

〔履修のポイント・注意点〕

特にピアジェの理論ではある段階において獲得された能力が次の認知的発達の基盤となっていくという極めて精密な議論が展開されます。内容の理解に努めつつ受講してください。

〔成績評価の方法〕

試験の答案の内容による評価とします

〔使用テキスト〕

なし

〔指定参考図書〕

なし

幼 15	◆教育心理学	幼・妊	※参照	神戸文朗
※幼免選 2単位・保母必 2単位				

〔講義目的・テーマ〕

この授業では「適応」とは何かという問題を中心のテーマとして考えていきたいと思います。

私たちは適応という言葉から、幼稚園や保育園の中で「大人しい」、「手のかからない」、「他の子とうまくやっていける」子供というイメージを抱きがちではないでしょうか。しかしこうした「適応した」子供は保育者にとっては扱い易く都合のよい子どもではあるかもしれませんが、その子供自身の発達から見るならば必ずしも最適な状態を示している訳ではありません。そこでこの講義ではその様な一般的な用語法を避け、生物学的用語法である「特定環境の中である種が繁殖しているときその種はその環境に適応している」という意味でこの言葉を使用します。そしてこの適応状態に達するための方略として高等な動物では各個体において発達という現象を生じさせます。つまり個体は発達することによって環境条件の様々な変化に耐え次の世代を残すことができ、結果として適応状態に達することができるわけです。とするならば、私たちは子供の適応を考える際に発達現象についての知識をもつことが不可欠といえましょう。しかし世間でよく言われている育児法や教育観には発達現象や心理学への知識の欠如に基づく誤解が見受けられます。そこでここでは理論（特に、比較心理学、愛着理論、コンピテンス論、認知的発達論）と応用（保育の現場で子供の内的状態を適切に理解すること）を密接に関連づけて講義をすすめたいと思います。

保育や教育の現場でいわゆる「障害児」や「問題児」に出会ったときに必ず直面しなければならない混乱と当惑の中で、この講義の観点が役にたつことを願っています。

〔授業計画と内容〕

1. 理論編

- ①発達の目的（個体の維持、種の保存）
- ②システムとしての動物の発達（システムとは何か、システムの複雑化、環境への抵抗性）
- ③環境からの取り入れ／システムの発展（探索行動、認知的同化・調節作用、能力感）
- ④取り入れの制限／システムの防護及び安定化（愛着行動、自己刺激的行動、自我防衛、他者への非関与・受動性）

2. 応用編

- ①防護的サイン（表現、視線、特異的行動）
- ②いわゆる「問題行動」とその対処（攻撃行動、養護行動、常同行動、積極性の欠如）

- ③「障害児」への関与（何のための介入か？ それは効果をもたらすか？）

〔履修ポイント・注意点〕

特に理論編は難しく感ずるかもしれませんが我慢して聞いて下さい。応用編において示される対処法がどうして必要なのかを説明する根拠をなすものですから。耳新しい学術用語にあまりこだわらず話の筋道を理解するよう心がけてください。

〔成績評価の方法〕

試験の答案内容による評価とします。

〔使用テキスト〕

辰見他 要説教育心理学 実務教育出版

〔指定参考図書〕

なし

幼 16	幼児保育思想概説	幼	必 2単位	萩原元昭
---------	----------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

幼児教育思想の歴史的展開を、コメニウス、ルソー、ペスタロッチ、オーベルリン、フレーベル、モンテッソーリやオーエンなどの人物像とその思想をたどり、考察していくと同時に、現代のシュタイナー、倉橋惣三、パーンステインの思想ないし保育理論についても、考察を加えていく。

資料として、ビデオ、スライド、訳書などを活用の予定。

〔授業計画と内容〕

前半は、歴史上の幼児教育思想家（コメニウス、ルソー、フレーベル、モンテッソーリ）の思想を、後半は、現代のシュタイナーやパーンステインなどの幼児教育についての考え方を学ぶ。

〔履修のポイント・注意点〕

一人の思想家を選び、その思想を徹底的に学習し、レポートにまとめてみよう。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「幼児教育」 萩原元昭・高橋恵子著
包装大学教育振興会

〔指定参考図書〕

幼 16	幼児保育思想概説	幼二	必 2単位	岡部万里子
---------	----------	----	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

今日の幼児保育の基礎となり、大きな影響を与えてきた代表的な教育思想家について学びます。

〔授業計画と内容〕

講義前半では、以下の教育者の思想を主に取り扱う予定です。

1. デューイ
2. コメニウス
3. ルソー

講義後半では、コメニウスやデールによって提唱された、教育の方法である視聴覚教育を考え、幼児教育の現場で用いられている機器をいくつか取り上げたいと思います。時間があれば、実習を考えています。

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

幼 17	児童文化	幼二	選 2単位	荒井 洌
---------	------	----	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

いろいろな民族の、それぞれの歴史の中で、子どもを育てあげる人びとの心、あるいは知恵といったものは、どのようなストーリーとして語り伝えられてきたのだろうか。このことをテーマにして、東洋と西洋のさまざまなタイプの民話を味わってみる。そして、それぞれの民話の中に共通して存在する子育てをめぐる文化、あるいはニュアンスの違いなども理解したい。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 ミャンマー、中国の民話から
- 第2週 インド、イランの民話から
- 第3週 シベリア、モンゴルの民話から
- 第4週 タイ、チベットの民話から
- 第5週 中国、朝鮮の民話から
- 第6週 日本の各地の民話から
- 第7週 フランス、スペインの民話から
- 第8週 デンマーク、ノルウェーの民話から
- 第9週 ドイツ、ロシアの民話から
- 第10週 イタリア、ギリシアの民話から
- 第11週 アメリカ大陸の民話から
- 第12週 ケルトの民話から
- 第13週 民話から学び取ることの意義について

〔履修のポイント・注意点〕

民話そのものを味わいながら、子どもの生活や子どもを育てる人びとの心というものを学び取るよう、民話に慣れ親しみ、楽しんでもらいたい。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。期末試験を行う。

〔使用テキスト〕

- 荒井 洌著『民話に学ぶ生き方・東洋編』
あすなる書房
- 荒井 洌著『民話に学ぶ生き方・西洋編』
あすなる書房

〔指定参考図書〕

荒井 洌他著『保育者のための幼児文化論』 学文社

幼 17	児童文化	幼	選 2単位	木村 寿子
---------	------	---	-------	-------

〔講義目的・テーマ〕

児童文化というと、絵本や玩具などの児童文化財を主な内容として連想されることが多い。しかも、児童文化財を捉える私たちの視点は、その教育性に傾きがちである。すなわち、子どもにどのような文化財を用意すればよいか、これは子どもに良い、あれは悪いといった教育的判断や配慮を行うことが、保育者や親など、おとなの児童文化に対する態度と捉えられる。しかし、こうした態度は、ともすると、児童文化の魅力を半減させるばかりでなく、教育という名のもとに子どもの主体性を隅に追いやる結果を引き起こすこともある。

本講でもむろん、さまざまな児童文化財を取り上げていくが、その際、教育性云々を問う前に、その文化財はどのような子ども観を反映したものなのか、また、そこから子どもとおとなのいかなる関係が浮かび上がるかなどを重要な視点として見ていきたいと思う。

すなわち、この講義の目的は、児童文化を通して、子どもについて、子どもをめぐる基本的な問題について捉えていくことにある。児童文化の歴史を辿る際も、児童文化の現状を語る際も、子どもを捉えようとする視点を中心に据えて考察していくこととする。

〔授業計画と内容〕

1. 児童文化の様相（9月10日前半）
 - ①子ども文化とお子様文化②子どもの文化とおとなの文化③子どもの“時間”と生活圏
2. 児童文化の歴史を辿る（10月後半11月前半）
 - ①「児童文化」の名称誕生②「児童文化」以前
 - ③「児童文化」以後
3. 子どもの文化へのかかわり方（11月後半）
 - ①うけとる・うけつぐ②うばいとる③うみだす等
4. 児童文化の課題と可能性（12月1月）
 - ①表現メディアの多様化と問題点②少年文化と少女文化③児童文化とタブー

〔履修のポイント・注意点〕

自らの可能性を信じて、学生自身が児童文化の創造者である、創造者になるといった心意気をもってほしい。グループでの活動も計画していきたいと思う。

〔成績評価の方法〕

学期末にレポート提出を求める。これに出欠及び学習意欲・態度を勘案して評価する。

〔使用テキスト〕

テキストは指定しない。資料プリント配布。

〔指定参考図書〕

随時、参考となる本やイベントなどを紹介する。

幼	教育社会学	幼	※参照	三枝孝弘
18	※幼免選 2単位・保母選 △2単位			

〔講義目的・テーマ〕

教育社会学という学問は、教育という社会現象を対象としてとりあげます。

学校教育を直接、対象としてとりあげるものは、一般に「教育学」といわれますが、社会現象として教育をとりあげることは、「学校」を単に学校内部の事としてではなくて、それをとりまいてのさまざまな要因との関係において、考察しようとするものです。

このさまざまな要因としては、例えば家庭、社会、国、世界の風土ないしは文化的事情、あるいは政治的、経済的諸条件、体制などが考えられます。

伝統的には、「教育学」は、子どもを導くという教育的行為を対象とするものですが、これに対して、上記のさまざまな要因との関係で教育を考えていこうとするものは、「教育科学」といわれています。

教育社会学は、この「教育科学」の有力な一分野となっています。「教育科学」の他の分野としては、教育制度論、教育行財政学、教育経営学、教育工学、教育法学、教育経済学などがあげられます。

したがって、教育社会学を学ぶ目的は、今日、社会問題として、しばしばとりあげられる教育問題に対して、一定の知見を身につけるところにあります。

〔授業計画と内容〕

- 学校と社会体制
学校制度と社会の仕組みとの関係の比較。
- 成長・発達と人間関係
生涯学習社会の到来と人間の成長可能性。
- 社会変化と教育との対応
高齢化・国際化・情報化時代と教育の可変性。
- 職業と教育
企業社会・職業指導（進路指導）と教育との関係。

〔履修のポイント・注意点〕

日常的事例のとりあげとその背後にあるものへの考察、という気配りが必要（抽象と具体の往還）。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

とくに指定しない。資料はそのつど配布。

〔指定参考図書〕

とくに指定しない。参考図書に相当するものは内容との関連で、そのつど示します。

幼	視聴覚教育	幼	選択必修 2単位	岡部万里子
19	(※②)	「視聴覚教育」・「保育方法研究」のどちらか選択必修		

〔講義目的・テーマ〕

視聴覚教育とは、学習者の視覚（見る感覚）、聴覚（聴く感覚）を学習活動を進める上で活用し、そのために必要な教材・教具を用いることによって、教育上の効果と効率を高めるための理論と実践のことをいいます。

幼児や生徒にとってよりわかりやすく、楽しく、印象的な授業にするために視聴覚教育の考え方に基づいた教育の方法は、さまざまなかたちで実際の教育現場で利用されています。

たとえば、教室で黒板・地図・絵・表・グラフ・模型・紙芝居・絵本を用いることや、教室外で遠足・修学旅行・工場見学・音楽鑑賞会を催して自然や歴史的遺跡・社会・芸術などに実際にふれる機会を与えることなどは、伝統的に教育現場でよく採り入れられている視聴覚教育の実践例です。

また、科学技術の進歩によって、今日では、映画・テレビ・VTR・スライド・OHP・テープレコーダー・パソコン・ワープロ・LLなどといった多種多様の便利な教育機器が開発されるにいたりました。

〔授業計画と内容〕

本講義では、視聴覚教育の歴史的背景や理論を学び幼児教育・学校教育の現場などでよく用いられている視聴覚教材・教具を取り上げ、その長所・利点を考えます。また、それらのごく初歩的な操作方法や教材づくりを取り上げていきたいと思えます。

1. 視聴覚教育の歴史的背景
2. 視聴覚教育の理論
3. マスコミと教育
4. 実習（都合により変更することもあります）

- ①OHP
- ②16ミリ映写機
- ③音楽教材ソフト（譜面美人）

①は必修。②・③は、人数が多い場合、課外実習とする場合もあります。

〔履修のポイント・注意点〕

特に実習は、出席し、積極的に取り組むようして下さい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

幼 20 (※②)	保育方法研究	幼	選択必修 2単位	萩原元昭
「保育方法研究」・「視聴覚教育」のどちらか選択必修				

〔講義目的・テーマ〕

幼稚園教育要領ならびに保育所指針における保育の方法について総括すると共に、実践的事例に基づいて、実践に役立つ方法を究明する。

〔授業計画と内容〕

1. 保育の方法の概念
2. 家庭における保育の方法
3. 園保育の方法
4. さまざまな保育方法の考え方
5. 実践事例についての研究
6. 保育者による研究の方法

〔履修のポイント・注意点〕

4～5回程度、課題についてレポートを課すので、欠席しないように留意して下さい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「文部省・幼稚園教育指導資料第2集」

〔指定参考図書〕

「幼児教育」

萩原元昭・高橋恵子著
放送大学教育振興会

幼 20 (※②)	保育方法研究	幼二	選択必修 2単位	木村寿子
-----------------	--------	----	-------------	------

〔講義目的・テーマ〕

1989年に『幼稚園教育要領』が、翌年には『保育所保育指針』が改正された。今回の改正とともに、保育の現場では、従来“指導”と言っていたところを“援助”と言い換えるなど、“援助”という言葉が多用されるようになった。

しかし、この動きを、幼稚園教育要領等において鮮明にされた子どもの主体性を重視する保育観に共鳴しての変化と、一概に評価することはできないようだ。保育関係誌や各種の研修会等で、“指導”と“援助”について、未だに混乱や戸惑いを見せる保育者の姿や声が報告されている。ここからも、子ども観や保育観を基に、より心に叶う表現として、自発的に“援助”という言葉を選び取ったとは言い難い現場の姿が浮かび上がる。

『保育方法の研究』では、こうした現場の状況を踏まえ、“指導”と“援助”の問題をはじめ、“環境を通しての保育”や“遊びを通しての総合的指導”などについて、それらの背景となる子ども観や発達観などから考察し、実践例をもとに述べていく。

また、保育方法というと、保育形態の問題と捉えられることが多く、現場での関心も高い。そこで、対立する保育形態と思われがちな自由保育と課題設定保育を中心に、保育形態についての理解を図っていく。

〔授業計画と内容〕

1. 幼児理解の重要性（9月）
2. “援助”と“指導”（9月10月上旬）
3. 保育方法としての“環境”（10月下旬）
4. 遊びについて（11月上旬）
5. 保育の方法と形態（11月下旬）
6. 保育素材の研究（12月）
7. クラス運営の実際（1月）
8. 保育者の“生活性”（1月）

〔履修のポイント・注意点〕

保育室の環境構成について、グループ製作の時間を取り入れる。また、小グループでのディスカッションの時間も持ちたいと思う。学生の主体性に期待する。

〔成績評価の方法〕

学期末にレポート提出を求める。これに出欠及び学習意欲・態度を勘案して評価する。

〔使用テキスト〕

テキストは指定しない。資料プリントを配布。

〔指定参考図書〕

随時、参考となる本を紹介する。

幼	保育課程総論	幼	必 2単位	萩原元昭
21				

〔講義目的・テーマ〕

保育のカリキュラムについて、5領域を中心に、考察し、特に、子どもの主体性を育成する環境と保育との関連を究明する。

〔授業計画と内容〕

1. 保育課程とはなにか
2. 領域の概念
3. 「表現」
4. 「人間関係」
5. 「言葉」
6. 「健康」
7. 「環境」
8. 収集型カリキュラム VS 統合型カリキュラム
9. 「表現」と「生活科」との関連
10. 保育の内容と方法・計画との関連

〔履修のポイント・注意点〕

4～5回程度レポートを提出させるので、欠席しないように留意する。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「文部省・幼稚園教育指導資料第1集」

〔指定参考図書〕

「幼児教育」

萩原元昭・高橋恵子著 放送大学教育振興会

幼	保育課程総論	幼二	必 2単位	木村寿子
21				

〔講義目的・テーマ〕

倉橋惣三によれば、カリキュラムは時代によって変化するという。そこでまず、カリキュラム論の変遷を概観することで、カリキュラムに対する理解を促す。例えば、ここには、いわゆるノーカリキュラム論も含まれるが、いま改めてその理念を辿り真意を汲みとることは、これからのカリキュラム（論）を創造する上で、大きな示唆を与えてくれると思う。

さらに、保育現場の問題だけでなく、子どもに関わりのあると思われる現実の事件事象を取り上げることで、変化の激しい時代に生きる子どもを視座に納めたカリキュラムのあり方を考察していく。

これらの試みを通して、保育における計画と実践と評価の関係性も明らかになり、カリキュラムの作成と展開の原理や方法を具体的に述べることができるのではないかと思う。

〔授業計画と内容〕

1. カリキュラム論の変遷
 - (1)様々なカリキュラム論
 - (2)保育雑誌にみる指導計画の変遷
2. カリキュラム編成の実際
 - (1)基本的事項と留意点
 - (2)保育計画（教育課程）と指導計画
 - (3)指導計画作成の実際
 - (4)保育における実践・計画・評価の関係

〔履修のポイント・注意点〕

指導計画は、保育現場ですぐに作成を求められるものである。この点から、指導計画を実際に立てる時間を盛り込んでいく。

〔成績評価の方法〕

学期末試験を実施する。これに学習意欲・態度を勘案して評価する。

〔使用テキスト〕

特にテキストは指定しない。資料プリントを配布。講義中、随時、参考となる本などの紹介を行う。

〔指定参考図書〕

「幼稚園教育要領、保育所保育指針」 チャイルド社

幼	保育内容研究Ⅰ(子供と環境)	幼	必 1単位	中山昌樹
22	人間関係			

〔講義目的・テーマ〕

幼稚園、保育園において、「人間関係」は基本的な領域である。それは、幼稚園・保育園が、子どもたちの集団の見られる数少ない場の1つであるからだ。今日、家族の中で、兄弟の数が減り、その家族も地域の中で孤立化し、子どもは生まれてからというもの、大人の中でのみ生活している。

さらに、子どもたちは塾やスポーツクラブなど、様々な習い事に通うのに忙しい。このことが、地域での子ども同士の遊びをむすかしくしている。もちろん、塾などにもある種の子どもの“群れ”は見られる。しかし、幼児期の子どもにとって重要であり、かつ、今一番欠けているものが「遊びを中心にした生活」であることからすると、塾やスポーツクラブにおける子どもたちの集まりが、必ずしも健全なものであるとは限らない。

遊びを中心にした生活の中で、子どもたちは、仲間とのつきあい方を学び、様々な自然や文化と出会い、感じる心を育て、イメージをふくらませ、探求する心を刺激し、誰かに伝えたり、表現しなくなったりする。要するに、遊びを中心にした生活は、この時期の子どもにとって、育ちの原動力であると同時に、源でもあるといえる。

本講義では、「人間関係」を、遊びを中心にした生活という文脈において考えていきたい。そこにおける、保育者、大人のかかわりも重要な課題であることは言うまでもない。

〔授業計画と内容〕

幼稚園での子どもたちの生活も変わることから、前期と後期とでこの授業の内容も少し変えるが、おおよそは次の通りである。

1. 3回から4回かけて、ある幼稚園の子どもたちの生活を、年少・年中・年長と、それぞれについてビデオでみる。それぞれ質疑に答えたりしながら、「遊びを中心にした生活」のイメージを共通なものにした上で、幼稚園（あるいは保育園）は何のためにあるのかを考える。
2. 幼稚園は何のためにあるのか、を考えるために、いくつかの文化の異なる園について試みる。これは、子育てと文化とのかかわりという、人間関係についてのマクロな視点である。
3. 2回から3回にかけて、キーワードである“遊び”を考える。遊びそのものをとらえるとともに、そこでの人間関係を特に重視したい。
4. 保育者と子どもとのかかわりを細かく記録したビデオを使い、指導のあり方を探る。(2回)

5. その他、音楽や祭りといった、根源的な人と人とのコミュニケーションがみられるテーマや、モノを介在させた人と人との関係、例えばドク粘土、焼きもの、といったテーマをいくつか紹介したい。(2回から3回)

〔履修のポイント・注意点〕

既存の幼稚園、保育園に対するイメージを一度捨てて、人間対人間の関係で、子どものことを考えてみよう。

〔成績評価の方法〕

簡単なテストを行う。

〔使用テキスト〕

なし

〔指定参考図書〕

なし

幼 22	保育内容研究Ⅰ(子供と職種) 人間関係	幼二	必 1単位	力 富 敬 子
---------	------------------------	----	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

保育内容の「人間関係」は、人とのかかわりの育ちに関する分野である。人とのかかわりは、母子関係に始まって、父親、きょうだい、近所の友達、そして園での教師や友達との関係へと拡大し、複雑化していく。

子どもは、そのような人間関係をどのように経験していくのか、望ましい人間関係とはなにか、そしてその発達を、保育者が、保育の現場においてどのように援助できるのかを考えていく。

そうした学習によって、近い将来、保育の現場に立つ人達の保育への基本的姿勢と、たえず立ち戻るべき視点を提供出来たらと思う。

〔授業計画と内容〕

以下の二点を中心のテーマとする。

1. 「人とのかかわりの育ち」(人間関係の発達)の理解のための理論的枠組みについて
2. 保育の現場での保育者と子どもとのかかわりについて—よりよい関係をつくるには—

〔履修のポイント・注意点〕

保育者自身が、子どもとの関係によって成長していく時、そこによい関係があるといつてよい。そうしたことから、子どもの人間関係について学ぶだけでなく、自分自身の人間関係を考え、洞察していく手がかりとしてもこの授業を活用してほしいと思う。

また、常日頃から、身近な子どもや大人の具体的な対人行動を観察するように心がけてほしい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「人間関係」 大場牧夫 ひかりのくに

〔指定参考図書〕

授業の中で紹介する。

幼 23	保育内容研究Ⅰ(子供と職種) 環境	幼・幼二	必 1単位	細 野 英 夫
---------	----------------------	------	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

保育内容「環境」のねらいは、人間の生きる場である環境を生活に正しく取り入れる態度・心情・意欲を養うことにある。

具体的には、身近な環境をもとに、幼児とともに自然のなかで遊びながら環境に親しみ、理解することのできるような保育者を目標に考察をすすめる。

また、ここでの視点は、これまで経験的に唱えられてきた「待つ保育」、「一人ひとりを大切に保育」などに理論的根拠を見いだそうとする立場である。

〔授業計画と内容〕

1. 環境のねらいと内容
2. 幼児にとって自然環境とは何か
3. 保育者にとって自然環境とは何か
4. 幼児にとって園内環境とは何か
5. 幼児にとって社会環境とは何か
6. 動物にかかわる活動
7. 植物にかかわる活動
8. 自然事象に関する活動
9. 数と量に関する活動
10. 園外環境の活動

〔履修のポイント・注意点〕

野外集中授業について

生きる場である環境を生活に正しく取り入れる態度・心情・意欲を養うために幼児に豊富な原体験が必要である。

幼児の原体験には、保育者の指導が必要である。そのために、保育者自身の原体験こそ必要である。この視点をもとに、原体験を目的とした野外集中授業を実施する。

実施の場は、県立南那須少年自然の家。

期日は、夏期休業中(8月)。

計画の詳細は、入学時のオリエンテーションにおいて示す。

〔成績評価の方法〕

期末テスト及び野外実習レポートを総合して行う。

〔使用テキスト〕

保育内容「環境」 中沢和子・細野英夫 建帛社
「環境」ノート 細野英夫 白鷺女子短大

〔指定参考図書〕

「教育的環境学」 山下俊郎 岩波書店
「子どもの遊び場」 草森伸一 晶文社
「自然と人間—学習と教育の原理—」
石原 保 法政大学出版局
「環境教育論—人間と自然とのかかわり—」
沼田 真 東海大学出版局

幼	保育内容研究Ⅱ(子供の生活と遊び)	幼・幼	必 1単位	岩城 淳子
24	健康			

〔講義目的・テーマ〕

人生80年時代となった今、健康はそれ自体、人生の目標の一つでもあり、豊かな人生の大きな手段でもある。とりわけ幼児期は、生涯の健康と人格を形成する基礎が培われる重要な時期であるといわれている。幼児とじかに接する母親や保育者の健康観が、幼児に与える影響は大きい。この講義では、子どもたちが自ら身体を動かし、意欲的に活動に取り組み、心身ともに健康で安全な生活を営む力を獲得していくためには、保育者のどのような指導や援助が必要なのかを考えていきたいと思っている。

〔授業計画と内容〕

まず受講生自身が健康を自分の問題として認識できるように、自分の成長、心身の健康を省みることから始める。次に心身の発育発達の実態を学ぶ。さらに、幼稚園教育要領を明治時代にまでさかのぼり、その中の健康に関する記述を追うことにより、保育内容、健康観の変遷を概観する。また現代社会が、人間の成長に与える影響をプラスマイナス両面から考察することにより、現代およびこれからの健康とは何かを考える。

〔履修のポイント・注意点〕

大人を頂点とし、それに至る過程を子どもの発達とみなすならば、保育は子どもを心身ともに調和のとれた健康な人間にするべく、大人側からの指導や教育となる。しかし、人間は一生で成長し続けるものである。子どもであっても大人であっても、それぞれの発達の過程にふさわしい生き方や学び方がある。幼児が自分らしさを発揮し、友達や保育者と共感し、充実した生活を送り発達していけるよう配慮することから保育が始まるのではないだろうか。ある意味で子どもと同じく成長途中にある自分の健康も見つめ直し、将来の保育者としての姿勢を考え、「健康」に関し考えを深める。この授業が互いに学び合う場となることを願っている。

〔成績評価の方法〕

毎回出席票を配布し、出席を重視する。
学期中と期末に2回筆記試験を行なう。

〔使用テキスト〕

未定

〔指定参考図書〕

未定

幼	保育内容研究Ⅱ(子供の生活と遊び)	幼・幼	必 1単位	木村 寿子
25	言葉			

〔講義目的・テーマ〕

“世界を知りたい欲求”をもって生まれてくるヒトの子にとって、言葉は、生きるためのかけがえのない道具であり、成長を約束してくれる“恩物”とも言えよう。言葉のもつあらゆる機能（伝達・表現・思考・認識・想像・創造）を自由に駆使することで、人間は高められていくわけだが、こうした人間の片鱗は、幼児期においてすでに観察されるのである。

この点からも、保育内容としての“言葉”の指導は、単に言葉のための教育に終始するのではなく、人間成長に深く根ざした教育として考えられていくべきだろう。すなわち、思考力を育てる・創造性を豊かにする・人間関係を築いていくなど、より深く幅広い視野にたつて言葉の教育を捉え、講義を行っていく。

子どもの言葉の発達を、周囲の人間とのかかわりや環境の重要性とともに辿っていく。また、子どもの言葉の不思議と魅力を感じることを心掛けつつ、言葉の上にあらわれた（また内に秘められた）子どものものの考え方・世界の捉え方・心持ちのあり方などを探って、幼児理解を深めていく。その上で、保育の現場における“言葉”指導の実際を、様々な側面から具体的に述べる。

〔授業計画と内容〕

1. 子どもの言葉の姿
 - ①言葉から見た子どもの発達（4月5月上旬）
 - ②園生活と子どもの言葉（5月下旬）
2. “言葉”指導の実際
 - ①保育者のことば・話し方（5月下旬6月上旬）
 - ②様々な言葉教材（6月）
 - ③語彙を育てる（7月）
 - ④発表と話し合い（7月）
 - ⑤言葉に“障害”を持つ子ども（7月）

〔履修のポイント・注意点〕

何げなく聞き逃していた子どもの言葉に耳を傾けるとともに、自分自身の言葉にも注意を払ってほしい。
絵本作り等の実習を行う。

〔成績評価の方法〕

言葉の発達についての筆記テストを学期中に、また、学期末にレポート課題を出す予定。これに出欠および学習意欲等を勘案して評価。

〔使用テキスト〕

村山貞雄監修・松山聡子編「幼児の言葉」不味堂出版

〔指定参考図書〕

岡本夏木「こどもとことば」 岩波新書

幼	保育内容研究Ⅲ(子供の文化)	幼・幼二	必通2単位	富田英也
26	表現(音楽指導)			

〔講義目的・テーマ〕

自然な幼児のあそびの中には、音楽ばかりでなく造形や言語、身体運動等の要素がからまり合い総合されたものとして考えられる。領域表現(音楽)では、子どもの心身の発達を理解しそれぞれの発達段階に応じ、音楽的要素を通して表現する喜びを味わい意欲を持たせようとするものである。さらに教育要領や保育指針を参考とし、さまざまな観点から美的感覚を養い、子どもばかりでなく保育者自身の感性を豊かにする。そして、子どもといっしょに音楽することを楽しみ、個性を生かした創造的な音楽あそびの企画ができる保育者を目標とし、子どもの生活における文化とは何かを模索する。

〔授業計画と内容〕

前期○テキストにそって春・夏の季節に行なわれる歌や楽器あそび、手あそび、おゆうぎ等の音楽的表現あそびについて。

- 幼児の心身の発達と表現のかかわり。
- 指導要領、保育指針の理解と指導計画。

後期○前期同様秋・冬の音楽的表現あそびについて。

- さまざまな表現活動の試みとして、音楽を聞いて身体のシズム表現、音楽を聞いてお伽話を作り、最後に総合する意味で劇あそびオペレッタを行う。

〔履修のポイント・注意点〕

子どもの立場になり、子どもだったらどう感じ、どう表現するだろうと常に考え、恥ずかしさもあろうが重心になり、音楽的要素を通し喜びを味わうことである。

〔成績評価の方法〕

前期のペーパー試験の結果と年間を通したさまざまな表現の試みをいかに取り組もうとしたかを評価する。

〔使用テキスト〕

幼児のための表現指導

「うたって、つくって、あそぼう」

幼児表現教育研究会 音楽友社3,090円

〔指定参考図書〕

「表現」幼児音楽1・2

監修小林美実 編著高野雅子 保育出版社
2,500円(2分冊)

幼	保育内容研究Ⅲ(子供の文化)	幼	必通2単位	塚原哲夫
27	表現(美術指導)	幼二	必通2単位	小久保裕

〔講義目的・テーマ〕

幼児の日常生活は、新鮮な発見と驚きの連続であり、美しいもの、優れたもの、心に残るような出来事に出会う、などして人間的感性が培われていく。それを励まし、表現する意欲へと高め、実践を通して創造力豊かな人間を育成することは、幼児指導者に課せられた義務である。

幼児の表現手段は多種であり、初期の身体的表現から、造形的、音楽的表現、さらに言語的表現に至る表現過程は、あたかも類人猿から人間への長い進化の道程を、集約して見るかのとき、驚きと感動を覚える。

この講座の「表現」とは、幼児の造形的表現を指すが、加えて「美術指導」とあるように、この講座では幼児の成長段階に応じた理解と指導力、さらに自らが高い造形的表現能力を持った幼児指導者としてのセンスと技能の習得をめざす。

その為に、ここでは画一的カリキュラムを排除し、出来る限り個性と自発性を重視した柔軟性ある授業をめざしたい。

〔授業計画と内容〕

〈前期〉基礎デッサン(人物・石膏など)

色紙による造形

油絵 「自画像」

〈後期〉色彩の体系(理論と実習)

廃物利用のおもちゃ作り

立体カード作り

油絵 「静物」

鑑賞

〔履修のポイント・注意点〕

提出期限までに自ら課題を完成させること。

〔成績評価の方法〕

提出作品の質と完成度によって判定する。

〔使用テキスト〕

テキストは使用せず、適宜プリントを配布する。

〔指定参考図書〕

「図画工作」 建帛社

幼	保育内容指導法	幼	必通2単位	粕谷圭司
28				

〔講義目的・テーマ〕

幼児の造形教育は新芽を育てるように、自由にゆつくりやるべきものです。正しい形のとり方、正しい工具の使い方等の指導は、必要なことは確かではありますが、それはそれにふさわしい年齢と能力に達した時に、行われても決して遅くはありません。時期を間違えば、かえって、絵を描くことが嫌いな子、ものを造ることが苦手な子をつくることになりかねません。美術や芸術による教育には考え方の種々あります。子供らしいものがないと云う人、完成された一流のものをたくさん観せるべきだ。写生をおおいにさせたほうがいいのか、写生は時期を見て模索にやるべきだとか様々です。しかしながら、芸術による教育の出発点は、子供の表現活動それ自身から始めるべきなのです。幼児の生活は遊びそのものです。遊びの中にこそ、すべての発展がひそんでいるのです。手と目と心を通して、そして友人関係のなかで、いろいろ体験し、学び、将来への下地をつくり出しているのです。これは遊びであると同時に学習であり、生活そのものなのです。当講座では、無限の可能性を秘め、偽りのない素直な表現方法で語りかけてくる、幼児の声が聞こえる、それを聞いてみたいと思う人材を育てる講座としたい。

〔授業計画と内容〕

4月5月技術造形について歴史的観点から講義を進め、現代社会の中に美術がどのような役割を果たしているかを考える。6月7月平面研究と立体研究の2分野より各自研究テーマに添って選択し、その技術的修得と材料の研究をする。9月～1月前期のテーマに基づき、作品を創作する。通年、美術館・博物館廻りを実施しすぐれた作品を鑑賞する。

〔履修のポイント・注意点〕

社会生活の中で注意深くものを観る力を養うとともに講座の中で各自の美術に対する思いを積極的に発言出来る場とした。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。
期末にはテーマに添った作品提出によって評価する。

〔使用テキスト〕

なし

〔指定参考図書〕

なし

幼	保育内容指導法	幼	必通2単位	荒井 冽
28				

〔講義目的・テーマ〕

子どもをめぐる文化的な環境について、できる限り多角的な視点から考えていくことができるよう、ゼミナールのスタイルを生かし、教材も多方面から採用して学習を進めていきたい。

子どもの生活や子どもを育てることをモチーフにした文学作品、および、子どもの成長に関することわざ等を素材にして、その内容を味わったり、討論し合っていくようにする。

〔授業計画と内容〕

- 第1～2週 イソップ、グリムの作品から
- 第3～4週 アンデルセン、シュピリの作品から
- 第5～6週 トルストイ、トウエインの作品から
- 第7～8週 ウィーダ、ドーデの作品から
- 第9～10週 バーネット、ワイルダーの作品から
- 第11～12週 メーテルリンク、ワイルドの作品から
- 第13～14週 サッポー、ダスの作品から
- 第15～16週 ワーズワース、ハイネの作品から
- 第17～18週 ルイスキャロル、ランボーの作品から
- 第19～20週 ビョルソン、リルケの作品から
- 第21～22週 友だちについての「ことわざ」から
- 第23～24週 チャンスについての「ことわざ」から
- 第25～26週 心についての「ことわざ」から

〔履修のポイント・注意点〕

教材として使用する作品等をステップにして、いろいろなものを積極的に読んでいってほしい。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。テーマごとに、随時レポートを提出する。

〔使用テキスト〕

- 荒井 冽著『名作に学ぶ生き方』 あすなる書房
- 荒井 冽著『名詩に学ぶ生き方』 あすなる書房
- 荒井 冽著『ことわざに学ぶ生き方』 あすなる書房

〔指定参考図書〕

幼	保育内容指導法	幼	必通2単位	粒 来 哲 蔵
28				

〔講義目的・テーマ〕

母親の背中で赤ん坊がことばにならないことばをつぶやいている時、赤ん坊は会話をしているのだ — とよくいわれます。会話の相手はもちろん赤ん坊自身、そして母親でしょう。もしかするとその時赤ん坊は、歌っているのかも知れません。だとするとそれは母親へのささやきかけ、ふわふわしたメロディの海に浮かぶことばの小さな泡粒 — を投げかけているのです。

赤ん坊のことばが、やがてことばの本性をあらかたは備えるようになり、いわゆる幼児期のつぶやきをつぶやくようになった時、はたして全ての母親に、そのつぶやきという会話のお相手が務まるでしょうか。

確かに母親は子供と手をつなぎ、道を行きながら歌うのですが、その意識はメロディの共有へのみかたよって、ことばの意図性を失いがちです。教師は子供のことばを記憶の中にとどめますが、それを文字言語に定着させ、明日という時間の抽出しの中から再び自由に取り出してみる — という操作はわりあい苦手です。

子供達の歌のことば、詩のことばを確かめ、未来の保育者として子供達の心のささやきを聴きとっていきたいものです。

〔指定参考図書〕

- 「きりんの本 Ⅰ」 理論社1,500円
- 「きりんの本 Ⅱ」 理論社1,500円
- 「きりんの本 Ⅲ」 理論社1,500円

〔授業計画と内容〕

- 第1週 ゼミの計画と自主研究テーマの選択
- 第2週 グループ別研究（こどものうた 1）
- 第3週 〃 （こどものうた 2）
- 第4週 〃 （こどものうた 3）
- 第5週 こどものうた研究発表
- 第6週 グループ別研究（こどもの詩 1）
- 第7週 〃 （こどもの詩 2）
- 第8週 〃 （こどもの詩 3）
- 第9週 〃 （こどもの詩 4）
- 第10週 こどもの詩研究発表
- 第11週 野口雨情のうた研究
- 第12週 北原白秋のうた研究
- 第13週 現行幼稚園保育所のうた研究

〔履修のポイント・注意点〕

1年を通して研究テーマに打ち込んでいける情熱がほしいと思います。

〔成績評価の方法〕

研究発表の内容を評価の対象とします。

〔使用テキスト〕

特に使用しない（自主資料を主に用いる）

幼	保育内容指導法	幼	必通2単位	芳野紀子
---	---------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

幼児の人格形成をめぐる心理的問題を研究する。幼児は、親、きょうだい、友人、先生など周囲の人々と関係を持つことによって成長して行く。その過程を子どもが示す行動、感情表現、言葉、身体反応などを手掛かりとして把えて行きたい。さらに、子どもに対するかかわり方について研究が進められることが望ましい。受講生の関心に従って個々のテーマを選び、自主的に研究を進めていく。研究の進め方としては、実際に保育園や幼稚園などで子どもの様子を観察したり、親や先生に質問調査をするなどである。また子どもへのかかわり方の研究では、おもちゃや遊びなどを工夫したり作成して子どもの反応を観察する方法もある。

子どもの内的世界を探求するものであれば、いかなるテーマでも自主的に考えて進めることができる。

〔授業計画と内容〕

全体的に子どもの内的世界を探求するのだが、前期では、主として文献講読をし、その中で出て来た様々の問題について、後期では、各人の興味に応じて個別の研究テーマで研究を進める。

前期	文献講読
後期第1週	研究の進め方
第2週	研究計画の立案
第3週より	個別研究
第9・10週	研究のまとめ
第11・12週	研究発表
第13週	まとめ

〔履修のポイント・注意点〕

自主的に積極的に研究を進めること。

〔成績評価の方法〕

文献講読の発表、発言及び研究内容について評価する。

〔使用テキスト〕

「赤ちゃんはなぜ遊ぶの」ウィニコット著 星和書房
1,442円

〔指定参考図書〕

各々のテーマに応じて必要な文献を紹介する。

幼 28	保育内容指導法	幼	必通2単位	神戸文朗
---------	---------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

本ゼミナールでは皆さんが自発性と積極性を最大限に発揮することが必要です。皆さんは自分で研究テーマを選び、研究を行い、そして研究活動の報告をすることが求められています。指導教員（神戸）としては学生の研究活動が失敗に終わらないようになるべく丁寧な指導や助言を行うつもりです。

研究テーマは心理学に関するものであれば何でも自由ですが、なるべく指導教員の指導可能なものであることが望ましいのでテーマを選択する前によく相談すること。またテーマ選択にあたっては本学で研究が可能でありかつゼミナールの実質的活動期間である5、6カ月で一応完了できるようなものであることを考慮すること。

参考までに今までのゼミナールで参加者が取り上げたテーマの幾つかを紹介しておきます。

幼稚園・保育園での子供の行動観察及び分析；夜尿症；子供の遊び；精神分析学とは何か；夢；恋愛；家庭環境が性格に及ぼす影響；自閉症；音楽が乳児の情動に及ぼす影響。

〔授業計画と内容〕

以下に標準的なスケジュールを挙げておきますがテーマ等によってはこれに必ずしも従う必要はありません。

- 4月／5月 テーマの選択
- 6月／7月 関連文献の把握、実験・観察計画の作成
- 8月 実験・観察研究の実施
- 9月～12月 文献の整理、データの整理、レポートの作成

〔履修のポイント・注意点〕

参加者は自分の選んだテーマに最大限の関心を持ち続けて下さい。

〔成績評価の方法〕

提出されたレポート、論文の内容によって評価します。

〔使用テキスト〕

なし

〔指定参考図書〕

なし

幼 28	保育内容指導法	幼	必通2単位	富田英也
---------	---------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

各自の幼児期のさまざまな体験や幼稚園や保育実習の経験等を通し幼児観を掘り下げ、子どもの夢や色々なあそびの事象にふさわしいテーマを持って、音楽あそびの研究と創作をする。

〔授業計画と内容〕

前期○実際にからだを使って童歌あそびを行う。

○オリジナルな手あそび・指あそび作り。

後期○オリジナルな幼児の歌（童謡・童歌）作り。

○子どものあそびや動きに合う環境音楽の研究。

○学生論集に投稿を目標とし、各グループのテーマの研究を深める。

〔履修のポイント・注意点〕

子ども気持ちになり自分があそんでいる立場であったらどんな音楽的体験を求めるか、どんなあそび方をするか、子どもの夢や心象を常に考えた視点を持って望むこと。又、自分がその気持ちになり実際にあそんでみる事が非常に大切である。

人数が多い場合グループ制にしテーマを決め、特に後期はそれぞれのグループで研究を進める。

〔成績評価の方法〕

どのようなテーマであっても努力を惜しまず、いかに意欲を持って取り組んだかを評価する。

〔使用テキスト〕

なし、必要であればこちらでプリント等を準備する。

〔指定参考図書〕

「日本わらべ歌全集」監修浅野建二、平井康三郎、後藤捷一 柳原書店
その他

幼	保育内容指導法	幼	必通2単位	荒井弘高
28				

〔講義目的・テーマ〕

日本には、昔からうたわれてきた素晴らしい子供のための「うた」が数多くある。親から子へ、子から孫へと歌いつがれてきた数々の「うた」。それらの「うた」はいったい“いつ” “どこで” “どのようにして” 生まれてきたのであろうか。

当授業は、以上の事がらに対し調査、研究を行い、その結果を基に子供たちと「うたあそび」するための表現活動を考察してみたい。

〔授業計画と内容〕

1. 童謡、童歌のふる里をたずねて
2. 童謡、童歌、手あそびうたの身体表現及びうたい方研究
3. 手作り楽器の製作
4. オペレッタ制作（せりふ・うたの研究）
5. 「うたあそび」の実習（幼稚園を訪問し）

〔履修のポイント・注意点〕

それぞれテーマを持って意欲的に取り組むこと。

〔成績評価の方法〕

いかに意欲的に取り組んだかを評価する。

〔使用テキスト〕

「音楽リズム」 小林美実編
 （幼児のうた楽譜集） 東京書籍

〔指定参考図書〕

「うたのふるさと紀行」喜早 哲 日本放送出版協会
 「歌をたずねて」毎日新聞学芸部著 音楽之友社

幼	保育内容指導法	幼	必通2単位	川瀬善美
28				

〔講義目的・テーマ〕

社会福祉は、現代社会に創出される社会的諸問題に対応し、国民の生存権を保障するための社会的施策と活動であるという。とすれば、社会福祉に対する認識を深め、その内容を正しく理解し、より良い方向へ発展させていくことは、権利主体としての国民の責務であろう。

1990年代に入り我国の社会福祉は大きくその姿性格を変化させようとしているように見える。

それは、大きな政府型を選択するか、小さな政府型を選択するかとの結論を迫られた時、後者を選択したことから来る帰結のように見える。

そして、それは日本型福祉論に正当性を与えたかのように見える。

ところで、社会福祉は講壇科学ではなく、勝れて実践科学であるという。

だとすれば、変換期に在る社会福祉を実践的視点で分析してみることも必要であろう。

〔授業計画と内容〕

- 4月～5月 我国の社会福祉体系についての検討
- 6月～9月 社会福祉の現状についての検討
- 10月～11月 社会福祉の課題と方向性についての検討
- 12月～1月 研究論文作成

〔履修のポイント・注意点〕

1. 履修の学生はそれぞれテーマを持って臨むこと。
2. 積極的に、自主性を持って研究にあたること。
3. 施設見学、実習、ボランティア活動などフィールドワーク的研究を行なうので留意すること。

〔成績評価の方法〕

期末にそれぞれの研究の成果を発表（論文作成を含む）を課し評価を行なう。

〔使用テキスト〕

必要に応じて適時指示する。

〔指定参考図書〕

必要に応じて適時指示する。

幼	保育内容指導法	幼	必通2単位	中谷陽子
28				

〔講義目的・テーマ〕

目的：

学生の自主的研究を尊重した、ゼミナール形式で行う。従って、自ら掲げたテーマにむかって、積極的に研究することを期待する。

テーマ：

遊びにおける“競うこと”は、大きなエネルギーとなって、子どもの創意工夫、練習、知的探求心、忍耐、仲間との連携やルールなど、心身の発達を大いに進めるものであることを知る。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

実践。つまり遊びを集中体験し、必要に応じて遊び材を自分でつくったり、手直し出来る思考力を持つ。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

多くの関連文献を皆で輪読し、伝統技の知識の面でも、力をつけて欲しい。

幼	保育内容指導法	幼二	必通2単位	富田英也 荒井弘高
28				

〔講義目的・テーマ〕

前半（担当荒井）は9月に集中講義として行い、主として、おそらく今までに体験したことのない音楽の指導法を紹介し、新しい指導法を模索する。

後期（担当富田）は12月に集中講義として行い、保育内容指導法・表現（音楽）ではできないものを主として行う。目的は様々な体験を生かして保育者自身の感性と表現力を高めることにある。

〔授業計画と内容〕

前半、未体験の音楽にチャレンジする。又、クワイアーチャームを用いてのリズムあそび、及び合奏を行う。

後半、音楽劇（人形劇・影絵等も含む）、創作オペレッタ（ミュージカル）を行う。

〔履修のポイント・注意点〕

集中講義形式で行うので、欠席をすると進度が遅れ分からなくなってしまうのと同時に、グループ制なので一人欠けてもできなくなり他の人にもめいわくをかけるので注意すること。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

なし。こちらでプリント等を準備する。

〔指定参考図書〕

「赤い風船とんだ」 東京書籍 湯山 昭
「歩いてゆこう」 玉川大学出版部 小宮路敏

幼	教育実習 (事前・事後含)	幼・妊	※参照	
29	※「教育実習の研究」を含んで 必 5単位			

※幼稚園実習…別に指導・指示する。

幼	教育実習の研究	幼	※参照	芳野紀子 中山昌樹
30	※「教育実習」を含んで 必 5単位			

〔講義目的・テーマ〕

保育という営みは、子どもが幼稚園にいる時間中、その時々瞬間が問われるものである。加えて、その瞬間が、保育時間中継続しているという点で、見通しをもった保育者の姿勢が求められる。

それ故に、保育者を目指すためには、遊びについての理論的な考察など専門的で思想的な探求ということに加えて、実際に子どもたちと関わってみることが必要となる。

教育実習（幼稚園実習）では、保育時間中にひとつのクラスを、保育者というスペシャリストとして、運営することを学ぶ。そのために、実際の幼稚園で、現役の保育者による保育を観察することや、その保育者の指導のもとに一定時間子どもと直接関わることが大きな柱となる。

「教育実習の研究」では、そのような教育実習を、少しでも有効なものにするために、いくつかのことがらを考えることが目的である。

〔授業計画と内容〕

1. 一年生での主な研究内容
 - ①幼稚園に子どもは何をしに来るのか
 - ②子どもの遊びとは何か
 - ③保育のおもしろさを考える
2. 二年生での主な研究内容
 - ①保育の「ねらい」とは何か
 - ②「活動」の構成について
 - ③保育の楽しみ方

〔履修のポイント・注意点〕

欠席者は実習できなくなるので注意すること。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

なし

〔指定参考図書〕

小川博久（代表） 教育実践研究会編
「〈子ども不在〉の教育論批判」
大和書房 1990

幼 30	教育実習の研究	幼二	※参照	芳野紀子 木村寿子
※「教育実習」を含んで 必 5単位				

〔講義目的・テーマ〕

教育実習（幼稚園教育実習）は、さまざまな教育的価値を持つばかりでなく、学生の卒業後の方向決定にも大きく影響する。このことから、幼稚園教育実習が、学生にとって、より意味深い体験学習となるように講義を進めていく。

すなわち、かつて“実習生であった私”と“実習生を受け入れる側であった私”という、異なった2つの立場から語ることによって、実習の現実をリアルな形で伝えていく。“保育者であった私”の立場からは、現実の子どもに纏わるいくつかのエピソードを取り上げることで、保育の場面が、身近に感じられるように図りたいと思う。

本講は、実習のための事前指導の役割を担うものである。そこで、実習の目的や方法をはじめ、実習園とのオリエンテーションの持ち方や実習ノートの記入上の留意点など具体的な問題についても触れていくこととする。また、ほとんどの園で求められる日案の作成についても述べる。

〔授業計画と内容〕

1. 幼稚園実習の目的
(保育の現場・幼児理解と保育者など)
2. 実習の形式と内容
(事前訪問・見学・観察実習・参加観察実習・責任実習)
3. 実習生の1日
(園生活1日の流れにそって)
4. 実習における日案作成の留意点および作成の手順
5. 実習ノート記入上の留意点

〔履修のポイント・注意点〕

数回の講義で上記内容を述べていくことになる。学生の主体的学習態度を期待する。

〔成績評価の方法〕

本講の出欠は、実習の資格発生に大きく関わるものである。また、講義終了後レポートの提出を求める。あわせて注意してほしい。

〔使用テキスト〕

特にテキストは使用しない。資料プリントを配布。講義中、随時、参考図書を示す。

〔指定参考図書〕

「指導計画の作成と保育の展開」 文部省

幼 31	◆社会福祉Ⅰ	幼・妊	※参照	川瀬善美
※幼免選 2単位・保母必 2単位				

〔講義目的・テーマ〕

1970年代以降、我国の社会福祉は大きな変化を遂げてきた。特にここ数年新保守主義の浸透、社会主義体制の崩壊に見られるような外部環境の変化、行財政改革や福祉改革の推進という内部環境の変化が社会福祉の政策、制度、援助について、さらには社会福祉そのものを含む論理状況を混沌としたものとしてきた。

また、歴史的にみて福祉元年に始まりバラマキ福祉、高福祉高負担、日本型福祉論とその時々社会・経済状況によって空虚な言葉が先行し、本質とは無関係に現象的に高揚したり停滞したりさらには後退しているように見える。

そこで社会福祉とは何か今一度考えてみたい。

〔授業計画と内容〕

- 4月 社会福祉の理念、目的、主体、対象
- 5月中旬 社会福祉の歴史
- 5月下旬 社会福祉の実際
福祉6法を中心とした法体系
施設、住宅、地域等の福祉サービス
- 9月中旬 以上について学習する。

〔履修のポイント・注意点〕

他人ごとではなく自分自身の問題として学習する。

〔成績評価の方法〕

期末に筆記試験を行ないその成績によって評価する。

〔使用テキスト〕

- 「新・社会福祉とは何か」
一番力瀬 康子編著 ミネルヴァ書房
- 「これからの社会福祉」
一番力瀬 康子編著 ミネルヴァ書房
- 「社会福祉小六法」 1995平成6年度版
ミネルヴァ書房編集部編
ミネルヴァ書房

〔指定参考図書〕

幼	◆社会福祉Ⅱ	幼・妊	※参照	川 瀬 善 美
32	※幼免選 2単位 ・ 保母必 2単位			

〔講義目的・テーマ〕

現代社会の生活問題のある部分は、家族・親族関係・友人関係・地域関係、さらには学校や職場における人間関係の孤立化・希薄化から現われてくることが多くなってきているといわれます。

そのため、個人とそれらのまわりの人間関係の調整が大きな問題となっており、そのための専門的実践活動の重要性がクローズアップしてきています。

また、生活問題を解決し、より充実した社会生活を回復・維持・向上していくために問題を抱えた人々のおかれている個別な状況に即して適切に援助していく実践活動が不可欠になってきます。

そこで、生活問題の所在を探り、解決の為の調整を行ない、社会資源を活用するための援助実践技術の習得が必要となります。

本講義では身体的な事例をもとにそれらについて学習していきたい。

〔授業計画と内容〕

- 4月5月 ケースワークについて
 - 6月 グループワークについて
 - 7月 コミュニティ・ワークについて
 - 9月 方法の統合化等について
- 以上について学習する。

〔履修のポイント・注意点〕

実習体験等をベースにより現実に即した学習を心がける。

〔成績評価の方法〕

期末にテーマを与えて筆記試験またはレポートを課し評価する。

〔使用テキスト〕

「現代の保育学2 社会福祉の方法と実際」
大塚達雄、沢田健次郎、小田兼三編
ミネルヴァ書房

〔指定参考図書〕

幼	児童福祉Ⅰ	幼・妊	必 2単位	川 瀬 善 美
33				

〔講義目的・テーマ〕

子どもを育てることは、人類の永遠の課題である。そして、それは人類の将来にかかわる、人間そのものの本質的な問題である。

しかしながら本質的な問題であるにもかかわらず、それを放棄したかのように少子化が確実に進行している。それは、将来的に社会の活力が確実に低下することを意味する。

また、環境的に社会全体が非常に複雑化するなかで子どもがその犠牲となり、本来持っているはずの全方位的に育つ能力が阻害されている状況が顕在化し同様の結末を予測させる。

また、子どもにとってきわめて大切な役割を持つ家庭も大量・前倒消費の浸透により家庭生活そのものを脆弱なものとしている。にもかかわらず、家庭養育機能の必要性が低下するところかその必要性は増大してきている。

一方、家庭養育だけでは不十分となり家庭養育の不十分さをおぎなう社会的な養育援助システムの必要性も社会的共通認識となっている。こうした、家庭養育の重要性と児童養護の必要性とのパラドックスが存在する。

このような問題意識に基づいて、子どもの健やかな成長発達を保障していく上での、家族、地域社会、行政など、子どもを取り巻く環境・社会の実態と今後のあり方を考えてみたい。

〔授業計画と内容〕

- 1～2回 現代社会の子ども
- 3～4回 児童福祉の史的展開
- 5～7回 児童福祉における行財政
- 8～10回 児童福祉施設
- 11回 人的資源
- 12～13回 保育・養護・非行・障害児問題等

〔履修のポイント・注意点〕

新聞、雑誌、テレビ等にとりあげられる様々な子どもに対して注目すること。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「これからの児童福祉」
福田志津枝編著 ミネルヴァ書房

〔指定参考図書〕

幼	保育原理Ⅰ	幼	必通4単位	荒井 洌
34				

〔講義目的・テーマ〕

成人男女の社会的な活動への参加、および乳幼児の成長にとっての社会的な場の必要、などについての認識の深まりから、家庭での育児に加えて、保育施設での保育が共に必要なものとされるようになってきた。この両者のコンビネーションをより円滑なものとするため、保育環境のデザイン、保育内容についての考え方、子どものグルーピングや保育者の配置などの検討が求められている。保育を学ぶ者にとってのキー・ポイントを押さえていくようにしたい。

〔授業計画と内容〕

- 第1～2週 ロック、ルソーの考え方
- 第3～4週 オーエン、フレーベルの考え方
- 第5～6週 エレン・ケイ、デューイの考え方
- 第7～8週 貝原益軒、大原幽学の考え方
- 第9～10週 保育内容としての生活文化
- 第11～12週 音、色、形、素材等から見た保育環境
- 第13～14週 遊びの場としての自然環境
- 第15～16週 会話をベースにした保育のあり方
- 第17～18週 保育計画および保育の記録のあり方
- 第19～20週 地域に開かれた保育施設のあり方
- 第21～22週 幼児保育におけるローカリゼーション
- 第23～24週 家庭福祉としての保育政策
- 第25～26週 乳幼児保育についての経済学的な見方

〔履修のポイント・注意点〕

保育の哲学と実際の内容とを、共に学習してほしい。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。前期末と後期末とに試験をする。

〔使用テキスト〕

- 荒井 洌著『名言に学ぶ生き方』あすなる書房
- 荒井 洌著『広がる保育園への道しるべ』明治図書

〔指定参考図書〕

- 荒井 洌著『すてきな保育園の環境づくり』明治図書

幼	保育原理Ⅰ	幼二	必通4単位	木村 寿子
34				

〔講義目的・テーマ〕

無意味に見えること・意味不明なこと、そうしたことの中に、子ども世界の真実は垣間見られることが多い。

では、一見理解不可能なことをどのようにして理解したらよいか。その具体的方法は、あるいは、心の構えはいかなるものか。さらに、理解できぬ時、どう対処したらよいのだろう。これらの問いは、保育という生命的な営みに携わる者にとっては、とりわけ重要であり、繰り返し考察していかなばならない問題であると思う。

本講では、実在の子どもはもちろん、児童文学や映画などの登場者も話題として取り上げ、先の問題について考え、保育の原理を引き出していく。

また、保育史の流れや、幼稚園教育要領及び保育所保育指針の改訂経過、社会変動を背景とした子どもや家庭をとりまく環境の変化など多角的な観点から、保育の現状を捉えていく。これらを通して、保育の意義や本質、保育内容や方法等についての基本的理解を求める。

〔授業計画と内容〕

1. 成長の様相（4月5月）
 - ①信頼 ②安定感 ③“停滞”と成長など
2. 保育の実際（6月） スライド及びビデオ利用
3. 子育て環境の変化と問題（6月下旬7月）
4. 現代子育て事情（7月）
5. 保育史のながれ（9月）
6. 幼稚園教育要項について（10月上旬）
7. 保育所保育指針について（10月下旬、11月上旬）
8. 保育制度の現状と課題（11月下旬）
9. 『子どもの権利に関する条約』について（12月）
10. 保育者（1月）
11. まとめ（1月）

〔履修のポイント・注意点〕

日常生活の中で出会う子どもの姿や、マスメディアを通して流れてくる子どもや子育てに関する情報に関心をもってほしい。そうすることが幼児理解のさいしょの一歩である。

〔成績評価の方法〕

前期…レポート、後期…筆記試験の予定。これに出欠および学習意欲態度を勘案して評価する。

〔使用テキスト〕

- 糸 幸男・渡辺真一編『保育原理』 福村出版
- 「幼稚園教育要項、保育所保育指針」チャイルド社

〔指定参考図書〕

参考図書については、講義中随時示す。

幼 35	◆養護原理Ⅰ	幼・妊 ※参照	川 瀬 善 美
※幼免選 2単位 ・ 保母必 2単位			

〔講義目的・テーマ〕

高齢化社会の到来は少子化社会の到来を意味している。少子化社会は、私たちにあらためて子育てとは何かを問直させる。そこで、たちのこれまでの養育観を含め、養育についての諸価値の再吟味をしてみたい。

養育とは何か、そして、保育所や児童入所施設が家庭養育を社会的に援助したり代替したりする際、どのようなあり方が望ましいのかを考えてみる。

さらに、児童養護の機能が家庭養育の補完なのか代替なのかという基本的な問題をはじめ、家庭養育とそれとは異なる原理で成り立つ児童養護との連続性と非連続性と言うような問題についても検討してみたい。

〔授業計画と内容〕

- 1～3回 養護問題とはなにか
- 4～5回 児童養護の歴史的考察
- 6～8回 現代養護問題の実態
- 9～11回 養護問題の対策と養護の基本
- 12～13回 養護の課題、「子どもの権利条約」

〔履修のポイント・注意点〕

観念論に陥らないように実習時の体験等によって理論強化してほしい。

〔成績評価の方法〕

期末にテーマを与えてレポート提出を課し評価を行なう。

〔使用テキスト〕

「現代の保育学5 養護原理」
小田兼三、石井 勲編 ミネルヴァ書房

〔指定参考図書〕

幼 36	保育原理Ⅱ	幼・妊 選 2単位	木 村 寿 子
---------	-------	-----------	---------

〔講義目的・テーマ〕

保育の場面は、種々の様相を呈しつつ展開していく。そこに生起するさまざまな現象は、その時間を保育者として幼児とともにじっくり過ごす時、私たちに、幼児の自然のありようを豊かに語り継ぎ、保育についての思索を深めてくれる。

保育場面を彩るとりどりの現象には、保育の本質に迫る重要な鍵が確かに潜んでいる。もし、保育の場面に現れる現象の示唆するところを読み解くことができるなら、私たちは、現象のうちに隠された真実に触れ、保育の原理のいかなるかを見いだせるだろう。

保育原理Ⅱにおいて、私は、下記に示すテーマにそつて、保育現場のさまざまな事例等から原理を読み取っていくという方法を試みたいと思う。むろん、客観的に事実のみを列記しても、目に見えぬ人の心に深く関わる保育という行為の本質にたどり着けるはずはない。現象の表層に注意を払いつつ、その内側（幼児、保育者双方の内面や背景など）へ分け入り、思索を重ねて、保育の原理を求めていく。

〔授業計画と内容〕

1. 内面化を図る保育とは（9月）
2. “攻撃性を育てる”とは（10月前半）
3. “依存性を育てる”とは（10月後半）
4. 見えにくさ・わかりにくさ（11月前半）
5. 幼児画を通して幼児理解を図る（11月後半）
6. 保育素材の研究（12月）
7. 『児童の権利に関する条約』について（1月）
8. まとめ（1月）

〔履修のポイント・注意点〕

保育実習等を通じて出会った子どもの姿だけでなく“かつて子どもであった自分”の姿を記憶の中から思い起こしつつ、講義に望んでほしい。また、グループ研究の時間を計画している。

〔成績評価の方法〕

学期末にレポートの提出を求める。出欠及び学習意欲態度を勘案して評価する。

〔使用テキスト〕

特にテキストは使用しない。必要な図書は随時示す。資料プリントを配布する。

〔指定参考資料〕

『コルチャック先生』 近藤次郎 朝日新聞
『児童の権利に関する条約』 ユニセフ
ユニセフ駐日代表事務所

幼	小児保健ⅠA	幼	必 2単位	浦 瀬 篤
39				

〔講義目的・テーマ〕

幼児教育の本質的な目的は単に身体的な面ばかりではなく、精神的にも社会的にも健全な人間を造り上げることであることはいままでのない。

健康な身体および精神的活動を具へるためには、遺伝子、受精、妊娠の持続、分娩前後（周生期）、乳幼児期そのすべてが順調に経過することが必要である。

身体的には小児の成人に比し異なる生理学的な特徴を把握し、又病的状態に陥った場合は小児特有の病態生理学な変化を理解し、又精神的には驚異的に発達する神経学的な進歩を理解し、社会活動も出生直後からすでに発達を始める特異性を把握する必要がある。

小児も立派な人格をそなえたヒトである。優れた面は伸ばし、病的な点は未然に防ぐ。生涯を通じて一番激変する時期の教育である幼児教育は甚だ責任の重大な教課であると考えられる。

小児保健ⅠAでは身体的にも精神的にも激変するこの時期の身体生理学的、病態生理学な特徴を理解するとともに精神構造学的なおよび社会的精神活動の特徴も理解し、その指導法、対処法を学ばんとするものである。

〔授業計画と内容〕

主として小児の生理学的変化、特徴を学習する。

〔履修のポイント・注意点〕

筆記試験

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「新育児学」 井上義朗 他 南山堂

〔指定参考資料〕

幼	小児保健ⅠA	幼二	必 2単位	高 岩 謙 之
39				

〔講義目的・テーマ〕

最近の我が国における国民保健衛生の面での進歩は非常にめざましいもので、特に平均余命では世界一ともいわれています。平均余命は、御存知の通り0才児のこれから何年生きられるかということであり、小児の死亡率の低下が大きな影響を持っております。このことから小児保健の重要なことがはつきりします。

小児保健に関しては母子保健、それに関する遺伝、胎生期、出生後の発達成長、疾病、それに影響をおよぼす、環境、栄養、医療等について話していく。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「小児保健」（現代幼児教育シリーズ）
平山宗宏 他編 東京書籍

〔指定参考図書〕

「国民衛生の動向」 厚生統計協会

幼 40	◆小児保健ⅠB	幼	※参照	浦 瀬 篤
※幼免選 2単位 ・ 保母必 2単位				

〔講義目的・テーマ〕

小児期は未熟より成熟への発育過程の時期であり、単に成人を小型化したものではない。小児は代謝が活発であると同時に、幼若な程環境により影響され、障害も受けやすいが、反面回復力も大きい。

ここ数十年来の自然科学の発達は驚異の目を眩るものがあり、当然診断学、治療法も飛躍的な進歩をとげている。今まで原因不明と思われていた疾患の原因が究明され、同一疾患と思われていたものが全く別の疾患であるというようなことは日常茶飯事である。

一方では文明の利器が発達したことと逆比例するかのように自然破壊、大気汚染、生物系における諸化学物質の使用などヒトにとっては負の要素が加わったことも事実である。これらにより小児の疾患も修飾され、古典的な診断、治療法では歯が立たぬことも認められる。

日進月歩する医学的な進歩の中より正しい知識を身につけ、最適な対処の方法を構することが出来るよう小児保健ⅠBで学んでゆく。

〔授業計画と内容〕

主として児童の病変、予防、治療法を学習する。

〔履修のポイント・注意点〕

筆記試験

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「新育児学」 井上義朗 他 南山堂

〔指定参考図書〕

幼 40	◆小児保健ⅠB	幼二	※参照	高 岩 謙 之
※幼免選 2単位 ・ 保母必 2単位				

〔講義目的・テーマ〕

近年の医学の進歩は日進月歩であり、各疾患についての研究等も目ざましいものがあり、治療法の進歩により難治とされて来た疾病にも光が見えて来た状態があります。小児保健のⅠAでは総論的なものについて説明して来ましたが、小児保健ⅠBでは小児保健に基づき、慢性疾患と発達障害など心身に様々なハンディキャップをもつ子供の心身のメカニズムとその特徴を理解し、病気や障害を克服していく方法について講義して行く。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「小児保健（現代幼児教育シリーズ）」
平山宗宏 他緒 東京書籍

〔指定参考図書〕

「厚生指標 国民衛の動向」
厚生統計協会

幼	◆小児保健(実習)	幼・妊	※参照	松澤栄子
41	※幼免選 1単位・保母必 1単位			

〔講義目的・テーマ〕

小児保健で習得した知識に基づいて、小児の心身を疾病や事故から守り、健康な成長発達を促すための看護技術を習得し、保育の現場で、保健衛生に関する実践が行えるよう実習を通して学ぶ。

〔授業計画と内容〕

- ・心身の健康状態を把握するための観察の視点
- ・子どもの心と体の発育発達と、判定に必要な測定法とその評価
- ・生活習慣の形成と養育技術
- ・疾病の予防と健康管理、健康教育
- ・子どもによく見られる病気の特徴と看護法
- ・おこりやすい事故の実態と事故防止のための安全教育、安全管理
- ・不慮の事故と応急手当
- ・緊急時の救急処置
- ・集団保育における健康教育と健康管理・安全管理などに重点をおいて、ビデオや教材人形を使用して実習を行う。

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「小児保健実習」 松島富之助著 同文書院

〔指定参考図書〕

「保育のための救急傷病看護ハンドブック」
巷野悟郎 他著 同文書院

幼	◆小児栄養	幼・妊	※参照	松澤栄子
42	※幼免選 2単位・保母必 2単位			

〔講義目的・テーマ〕

子どもたちの食生活の周辺は健康をさまたげる多くの問題が山積し、正しい食生活を営むことが困難な時代である。しかし心身の発育発達に著しい乳幼児期の栄養の良否は、生涯の健康を左右する大切な営みである。しかもこの時期の食物摂取のすべては、母親や保育者に依存しており、保育者の栄養知識の如何にかかっている。従って保育に携わる保母も食生活にかかわる深い知識を備え、実践することが求められている。小児のすこやかな成長をめざす栄養法について、その原理とあり方、援助の仕方について学ぶ。

まず、子どもの特殊性を理解し、栄養生理、代謝、食品に関する基礎的知識について解説し、つぎに子どもの発達段階への理解を基本にして、栄養や食品の基礎知識を応用しながら、実際の栄養法、即ち何を、どれだけ、どのようにして食べるかという食事のさせ方について述べる。

とくに保育所給食、児童収容施設などの集団給食に重点をおき、適正な給食を行うことにより、心身の健全な成長に寄与するのみでなく、給食を通して望ましい食生活習慣を養い、保育者として正しい食事指導、健康指導が可能になるよう講述する。

〔授業計画と内容〕

1. 小児栄養の意義と重要性
2. 胎児期栄養
3. 乳幼児の発育・発達
4. 発育・発達の原動力としての栄養素
5. 食品と栄養
6. 乳汁期栄養
7. 離乳期栄養
8. 幼児期栄養
9. 調理の基本
10. しつけと食習慣
11. 乳幼児の病気と食事
12. 保育所の給食

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「小児栄養」 山口和子 他著 ミネルヴァ書房

〔指定参考図書〕

「健康づくりのための食生活指針」 第一出版
「四訂食品成分表」
科学技術庁資源調査会編 一橋出版

幼 43	◆小児栄養(実習)	幼・妊	※参照	松澤栄子 寺井久子
※幼免選 1単位・保母必 1単位				

〔講義目的・テーマ〕

保育従事者にとって栄養に対する認識は、間接的になりがちであるが、食物、栄養の問題は健康管理の重要な柱であり、保育の場における保育業務と栄養、給食業務はつねに一体となって進むべきものである。その意味で小児栄養実習は保母にとって大切な領域であるといえる。

小児栄養実習は、小児栄養の講義によって得た基礎的知識をふまえて、保母として必要な小児栄養の実際にとまなう知識および技能を、実習を通して習得することにある。

特に実習の重点を保育所給食、児童福祉施設給食などの小児集団給食におき、栄養所要量にもとづく食品構成、献立作成、調理、食事指導、給食管理の実際を実習する。

〔授業計画と内容〕

1. 食品構成表 献立計画表 献立表作成
2. 調理実習：調乳 離乳食 3歳未満児給食、3歳以上児給食 おやつ 弁当などの調理、盛付配膳、試食、評価
3. 食事調査：家庭の食事、子どもの食生活の実態把握
4. 栄養指導：望ましい食生活習慣指導のための指導媒体作成と研究発表

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「小児栄養実習」 藤沢良知著 同文書院
「四訂食品成分表」
科学技術庁資源調査会編 一橋出版

〔指定参考図書〕

幼 44	◆精神保健	幼・妊	※参照	芳野紀子
※幼免選 2単位・保母必 2単位				

〔講義目的・テーマ〕

われわれの生活している現代社会は、環境の変化が激しく、適応して生きることがなかなか難しくなっている。本講は、このような社会の中で生活する幼児、児童が示す様々のストレスのサインを取り上げ、精神的により健康で適応した、かつ人間的に豊かな成長を遂げるために、われわれは、どのような援助が出来るかを考えるものである。具体的事例を示しながら、子どもの問題とその背景（人間関係や環境など）を考察する。また、このような子どもの問題を発見したり、適切な援助の出来る人材として保育者の役割は非常に大きいものである。そこで将来保育者となる受講生自身が、自己の健康状態に気付き柔軟な人間関係を持つような体験のセッションを設けたいと考えている。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 精神保健の概念について
- 第2週 自己の適応状態について
- 第3週 胎児の成長と母親との問題
- 第4週 新生児期の特徴と問題
- 第5週 愛着の形成に関する問題
- 第6週 乳児期の特徴と対人的問題
- 第7週 幼児期前期の特徴と問題
- 第8週 幼児期後期の特徴と問題
- 第9週 知的能力に関する問題と関わり方
- 第10週 社会的行動に関する問題と関わり方 a
- 第11週 社会的行動に関する問題と関わり方 b
- 第12週 情緒性に関する問題と関わり方
- 第13週 その他幼児期に見られる問題行動と関わり方
- 第14週 まとめ

〔履修のポイント・注意点〕

時々体験セッションを導入するが、自己理解の目的があることを認識して真面目に取り組むこと。

〔成績評価の方法〕

時々行なう体験セッションの感想と、期末テスト

〔使用テキスト〕

特になし

〔指定参考図書〕

保育講座「精神保健」
若林健一郎編 ミネルヴァ書房2,200円

幼 46	青年心理学	幼	選 2単位	芳野紀子
---------	-------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

人間は、一生人格を形成し変容させていく。この過程は途切れることなく続くのであるが、便宜的に年齢を区切り、青年期を中心として、人格形成全般について概説する。青年期は、児童期後の成人に至るまでの時期を指し、第二の人格形成期と云われる非常に重要な時期である。青年期の心理を、身体的成長や青年をとりまく人々（親、友人、教師など）とのかかわりを中心として概説する。受講生も青年期の渦中にあるので、自己の成長過程を振り返り、現在の自分の心理的状况を心理学的にはどう説明されるかを理解し、これからの自己形成への方向づけを考える機会として役立てて欲しい。講義は、青年期を前期、中期、後期と分け順に発達について考察を進める。その過程で自分自身の思い出や、その時の感情等を記述してもらい、最終的に自分の青年期の簡単な記録が出来るようにしたいと考えている。

〔授業計画と内容〕

- 4月 前青年期の特徴
青年期以前の児童期後半の子どもの発達の様相について述べる。
- 5月 青年期前期の特徴
主として中学生時代の子どもの身体的成長、親とのかかわりの変化、友人関係の意味、問題点などについて述べる。
- 6月 青年期中期の特徴
主として高校生時代の子どもの身体的成長、親とのかかわりの変化、友人関係、異性関係、自己意識、問題点などについて述べる。
- 7月 青年期後期の特徴
高校卒業してから経済的社会的に独立して生活を営むまでの間の青年について考察する。特に自己確立の問題に焦点をあてる。

〔履修のポイント・注意点〕

自己を振り返ることは、辛いこともあるが、真剣に自己理解に取り組んでほしい。

〔成績評価の方法〕

時に応じて自分の思い出を記述し、最終的にそれらをまとめて青年期の自分史を作り、青年期の意味を探る。

〔使用テキスト〕

なし。必要に応じてプリント配布

〔指定参考図書〕

- 「青年期の深層」 馬場謙一著 有斐閣1,800円
- 「青年期の心」 福島章著 講談社現代新書650円

幼 46	発達心理学Ⅲ	幼二	選 2単位	力富敬子
---------	--------	----	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

発達心理学Ⅲでは、青年心理学がとりあげられる。

青年心理学というと、青年期の人達を対象とする調査研究をふまえて、青年期が発達的にどんな時期かをみていくというものが一般的である。

それと別な視点からの青年心理学もある。それは、教育現場や、問題行動の相談にあたる心理臨床現場での直接的、個別的なかわりのなかから、その個人にとって青年期という時期がどんな意味をもつかを見ていくものである。

この講義は、後者の立場から青年心理学を取り上げたいと思う。つまり、現場の事例を取り上げながら受講者とともに、それぞれの青年期を考えていきたい。

〔授業計画と内容〕

以下の二つのテーマを中心に授業を進めていく予定である。

1. 青年期を理解するための理論的枠組みについて
2. 青年期における心の問題と、その心の成長について

〔履修のポイント・注意点〕

受講者は一般心理学と発達についての基礎知識を学習してきていることが望ましい。

本講義は選択なので、受講者の人数によって授業方法等、変わってくるので、あらかじめ御了承いただきたい。

いずれにしても、本講義が受講者にとって収穫のあるものになるかどうかは受講者の学習意欲によるところが大きい。主体的参加を期待したい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「ケース 青年心理学」 長尾 博 有斐閣

〔指定参考図書〕

一般心理学、発達心理学等、これまで使った心理学のテキスト

幼	養護内容	幼・妊	選 2単位	落合 崇志
51				

〔講義目的・テーマ〕

21世紀にむけて、社会システムおよびパラダイムが大きく展開しようとしている。そうしたなか、福祉への考え方やとらえ方も変化しており、福祉ニーズの多様化についても同様である。

これら、社会の急激な変化は、直接に児童を取りまく環境にも影響を与えている。特に、要養護児童のおかれる環境変化も大きく、従来の養護実践の見直しも迫られている現状といえよう。

したがって、本講では養護問題および実践の現状を踏まえつつ、そこに求められる養護の内容方法を分析と今日的課題を明らかにしたい。

〔授業計画と内容〕

- I ・はじめに
 - ・本講のねらいと授業の展開について
- II ・児童を取りまく状況と養護内容
 - ・問題の変化と対応の変遷
- III ・養護内容の現状と課題
 - ・現状分析
 - ・問題点の抽出
 - ・課題の設定
- IV ・今、養護内容に求められているものは
 - ・視点
 - ・方法・対応
- V ・まとめ
 - ・養護実践の今日的課題としての養護内容
 - ・実践者に求められている課題は何か

〔履修のポイント・注意点〕

養護実践者としての視点に近づけるよう、実習やボランティア等での経験を各自でまとめ、実践イメージをもちながら授業に参加することを希望する。

〔成績評価の方法〕

授業への参加・ミニッツペーパーおよび課題レポートにより評価する。なお、詳細については開講時に伝える。

〔使用テキスト〕

開講時に指示紹介する。

〔指定参考図書〕

幼	障害児保育	幼	選 2単位	中谷 陽子
52				

〔講義目的・テーマ〕

〔授業計画と内容〕

学生は、次の項目の内容を理解して授業の概要を知り、選択の手引きにしてほしい。

1. 障害児を育てることに深い関心を抱く学生に選択してもらいたい。
2. 障害の意味をよく理解するために、障害児の特徴的発達の様子を紹介し、関わり方の基本を学ぶ。
3. 障害の早期発見とそれに対する早期対応という原則を、障害例を参考にしながら学ぶ。
4. 1対1あるいは少人数の障害児のあそび（保育）の計画のたて方、あそび材の準備などを学ぶ。
5. できる限り視覚教材を利用して、学生の障害の理解をたやすくしたい。

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

なし

〔指定参考図書〕

参考資料は、授業中に提示する。

幼	保育実習Ⅰ (事前・事後含)	幼・幼二	※参照	
54	※「保育実習の研究」を含んで 保母必 5単位			

※保育所（園）実習及び施設実習…別に指導・指示する。

幼	保育実習の研究	幼・幼二	※参照	(保育所)荒井 洌 (施設)川瀬善美
55	※「保育実習Ⅰ」を含んで 保母必 5単位			

「保育実習の研究（保育所）」 荒井 洌

〔講義目的・テーマ〕

保育所における実習は、乳幼児保育の実際の場面に参加する、きわめて貴重なチャンスである。このチャンスをでき得る限り有効に生かすには、事前のポイントを押さえた学習が是非とも必要である。

保育所における人間生活は、保育者、子ども、保護者によって成り立っている。それぞれの立場に立って、現実感を持った学習を進めていきたい。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 園庭のデザインと園庭での遊び
保育室のデザインと使い方
保育室のインテリアと雰囲気
- 第2週 保育内容のモデルと実習
保育方法の理念と現実
園生活における会話のあり方
- 第3週 園生活におけるグルーピング
保育者の仕事と配置
低年齢児保育の意味とあり方
- 第4週 保育についての記録のあり方
保護者との協力関係
地域との関連について
- 第5週 事後の学習 実習記録の点検
学習したこと整理

〔履修のポイント・注意点〕

この科目は、保育実習の中の一つの課程であるので、現場での実習と同様、欠席や遅刻はゆるされない。

〔成績評価の方法〕

現場での実習と合わせて、総合的に評価する。

〔使用テキスト〕

- 荒井 洌著『愛される保育園生活をつくるために』
ひかりのくに
- 荒井 洌編著『乳児保育のたのしみ方』明治図書

〔指定参考図書〕

幼	保育実習Ⅱ(保育所)	幼・幼二	保育選 実習2単位	
56	保育実習Ⅲ(施設)			

「保育実習の研究(施設)」 川瀬善美

※履修する場合は、どちらか一方とする。
 ※履修者には、別に指導、指示する。

〔講義目的・テーマ〕

児童施設実習は児童福祉施設の実態に直接ふれ、処遇、アフターケア、社会参加、社会的位置づけ、そして職員の構成や勤務、姿勢等について理解を深めることを目的とする。

特に観念的となりがちな各人の「児童福祉知識」を修正し、生身の子どもたちに接することで感動し、共感する「心」を体験することも目的とする。

〔授業計画と内容〕

- 1～3回 施設実習とは何か
- 4～6回 施設実習の目的と課題
- 7～10回 児童福祉施設とは
- 11～13回 実習中の態度と実習後の学習と課題

〔履修のポイント・注意点〕

経済学者マーシャルの言葉であるが
 「冷たき頭と熱き胸」を実感として理解し、会得して欲しい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

「社会福祉施設実習」
 大塚達雄、安田井進ほか編

幼 57	早期英語教育	幼	※参照	Teri Suzanne
※幼免選通 2 単位 ・ 保母選△通 2 単位				

〔講義目的・テーマ〕

この講義は、幼児にとって“英語は音であり、楽しみである”という体験を通して、英語の基本的な理解力を身につけさせることを学ぶコースです。具体的には、英語を話す先生とふれあい、文化や習慣の異なる祭日（例：バレンタインデー、イースターなど）を楽しむことを通して英語を教える方法を学びます。あわせて、子どもの発達重要な要素である“Fine Motor Skills（手わざ）”と“Gross Motor Skills（身体動作）”を学びます。

〔授業計画と内容〕

1. “Fine Motor Skills”を身につけるためのユニークなハサミの活用法を通して、器用さ・創造力・自信を身につける英語学習法を学びます。
2. “Gross Motor Skills”を身につけるための“Body Docking 英語指導法”（具体的に英語と動きをミックスしたユニークな英語学習法）を学びます。
3. 動き、言葉、歌劇を通して英語を学ぶ。バイオリンガール指導の学習法を学びます。

〔履修のポイント・注意点〕

この講義を受講する人は必要に応じて、ハサミや、色マーカー、色紙を用意します。また、自らが声を出し、動くことを通して英語表現を身につける心構えで参加して下さい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

- ①シャイニイとスパークルの大冒険
（The Adventures of Shiny and Sparkle）アルク出版
- ②I CAN Series Song AlbumとCassette
日本ブリタニカ

〔指定参考図書〕

そのつど、教室で伝達します。

幼 58	秘書学	幼	※参照	深見栄一
※幼免選 2 単位 ・ 保母選 △ 2 単位				

〔講義目的・テーマ〕

一口に「秘書」と言ってもいろいろな種類があります。例えば企業のマネジメントに携わる人の秘書、団体の役員につく秘書、政治家の秘書、学者・研究者の秘書、弁護士などの個人的な職業の人の秘書等々があげられます。要は秘書の機能は「重責を持つ人物を補佐し、その業務を円滑化する」ことにあります。

こうした職業としてのいわゆる「秘書」を目指すか否かは別として、みなさんが卒業後にどんなところに就職して、どんな仕事を与えられても、また将来結婚して家庭に入ったとしても、社会人としてあらゆる立場で「秘書的知識」「秘書的要素」は常に要求されることになる筈です。

社会人として必要不可欠な常識、正しいマナー、正しい言葉づかい、正しい敬語、来客や電話の対応、慶弔の知識と作法、手紙の書き方等々、今まで家庭や学校でも習わなかった大人としての知識を身につけて卒業したいものです。

こうしたことを知らないままに社会に出た場合、思わぬ失敗をしたり、恥をかいたりするだけでなく、そのことが勤務先の企業そのものの評価を下落させることもあるのです。

本講では秘書になるための、あるいは秘書検定の資格を取得するための知識のほかに、より良い社会人、ナイスレディーになるための幅広い基礎的な常識や、更には当面必要な就職試験の受け方等も含めて、秘書検定 3 級～2 級程度の内容を中心にビデオを見ながら解りやすく解説します。

講義テーマは「ナイスレディーになろう！」。

〔授業計画と内容〕

講義はビデオなどを使用しながら、次のような項目と内容で、ほぼ下記の通りのスケジュールで進める予定です。スケジュールは都合によって多少変更になることもあります。

- 第 1 回 一般的な講義概要について
秘書学に関する一般的な知識
組織の中での秘書
- 第 2 回 秘書の資質Ⅰ
秘書の心構え 補佐の範囲 信頼関係
周囲との協調 自己啓発 秘守義務
- 第 3 回 秘書の資質Ⅱ
秘書に求められる能力 処理能力
判断力 積極性 コミュニケーション
- 第 4 回 秘書の資質Ⅲ
身だしなみと人柄 良識と感性

幼 59	コンピュータ概論	幼	※参照	星 法 子
※幼免選 1単位 ・ 保母選 △1単位				

- 第5回 (特) 就職試験の受け方
希望職種・業種の選び方 企業の将来性の見方 面接試験の基本知識と礼儀
- 第6回 職務知識Ⅰ
秘書の機能と役割
- 第7回 職務知識Ⅱ
秘書の業務 定型的業務と非定型的業務
- 第8回 マナーと接遇Ⅰ
人間関係 基本マナー アポイント 受付 取次ぎ 案内 接待 見送り
- 第9回 マナーと接遇Ⅱ
慶弔の知識 冠婚葬祭 贈答 食事作法
- 第10回 マナーと接遇Ⅲ
話し方・聞き方の基本 敬語の種類
- 第11回 正しい敬語の使い方
尊敬語と謙譲語の使い分け 敬語使用上の注意 接遇用語 面接会話
- 第12回 秘書の技能Ⅰ
文書の作成・取扱い 会議の準備・開催
- 第13回 秘書の技能Ⅱ
日程作成と管理 ファイリング 資料管理 環境整備
- 第14回 一般知識
一般常識 業界知識 組織の知識等

〔履修のポイント・注意点〕

1. 秘書あるいは社会人としての基本的な知識やマナーを身につけられるよう学習して下さい。
2. 「学生言葉」からの脱却。出るところに出たらきちんとした言葉使いや礼儀が出来るよう努力して下さい。
3. 人数の多い講義なので、授業中の私語や、他の人の迷惑になるような行動は慎んで下さい。

〔成績評価の方法〕

期末のテストを基本としますが、出席点も重視。

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

テキストは不要です。参考図書も特に定めませんが、秘書検定を受ける人はそれぞれの級に応じた参考書を購入して授業以外の勉強もした方が良いでしょう。

〔講義目的・テーマ〕

今日コンピュータのハードとソフトの目覚ましい発達、OA化やFA化が進展し企業をはじめとして家庭にも急速に及んでいる。このような高度情報化社会の到来に、主体的に対応するためには、コンピュータの知識は不可欠である。こういった視点にたつて本講義では、コンピュータとその利用に関する知識を学習しコンピュータの役割を理解するとともに、基礎的な操作方法を表計算ソフトLotus1-2-3、図形ソフト花子、日本語ワープロソフト一太郎の利用によって学ぶ。

〔授業計画と内容〕

- 10月 コンピュータの基本構成
表計算ソフト (Lotus1-2-3)
・ワークシートの作成
・グラフの作成
・情報の検索
- 11・12月 図形ソフト (花子)
・図形の描き方
・文字の入力
- 1月 日本語ワープロ (一太郎)
・表計算または図形ソフトとの結合

〔履修のポイント・注意点〕

各自フロッピー・ディスクを1枚用意すること。

〔成績評価の方法〕

各テーマごとに課題を課す。その成績により評価する。

〔使用テキスト〕

名取龍彦他著「はじめてのLotus1-2-3 R2. 4J」
秀和システムトレーニング

〔指定参考図書〕

幼 60	企業と社会	幼	※参照	黒田 勉
※幼免選 2単位 ・ 保母選 △2単位				

〔講義目的・テーマ〕

今日、わたしたちの生活は企業をぬきにしては考えられないほど、企業に依存し、そして企業から影響を受けています。また程度の問題はありますが、わたしたちも企業に対して何らかの影響を及ぼしています。この授業では、このような「企業と社会」との関係について考えてみようと思います。企業をできるだけ具体的にとらえた授業展開を行っていきますので、企業への就職を希望している人や企業をじっくり考えてみたいと思っている人には、より多くの知識が得られるのではないのでしょうか。授業ではまず初めに、企業とはいったい何なのかという点から出発して、少しずつわたしたちの生活を振り返ってみることにします。

〔授業計画と内容〕

1. 企業の性格；企業の概念規定、企業目的、企業の経営理念
2. 企業人；就職活動の心得、就職ということ、労働者の2側面
3. 雇用；新規卒卒者の雇用を含めた雇用慣行の変化
4. 社会対応経営；企業の利害関係者の中核である顧客と公衆との関連性

〔履修のポイント・注意点〕

受講生と教員との会話方式で授業を進めて行きますので、恥ずかしがらずに会話を交して下さい。また、授業中であつても、就職に関する質問を受け付けますので、遠慮せずに申し述べて下さい。特に留意してほしいのは、日本をはじめ世界における最近の社会や経済、そして企業が大きく変化してきていますから、毎日必ず新聞を読んだり、あるいは学校に新聞を持参して、様々な情報をキャッチするように常に心がけて下さい。

〔成績評価の方法〕

出欠確認方法；任意の日に任意の学生に質問をして行きますので、その時点に不在であればその学生は欠席となり、それ以外の学生は出席扱いになります。

試験；期末定期試験期間中に、授業終了時点までの全範囲について、持ち込み不可の方法で試験は1回実施します。

〔使用テキスト〕

斐 富吉著「経済学講義」白桃書房

〔指定参考図書〕

「朝日新聞」

「日本経済新聞」

森本三男著「経営学入門」同文館

東京都消費者センター（監）「消費者教育キーワード269」(株)たいせい

経営科専門科目 目次

区分	経No	授業科目名	
基礎専門科目	1	経営学原理	
	2	簿記原理	
	3	経済学原論	
	4	商学総論	
専門科目Ⅰ(経営)	5	経営管理論	
	6	経営組織論	
	7	経営分析論	
	8	経営戦略論	
	9	経営史論	
	10	中小企業論	
	11	中小企業経営論	
	12	中小企業高度化論	
	13	企業形態論	
	14	労務管理論	
	15	財務管理論	
	16	生産管理論	
	17	マーケティング管理論	
	18	資金管理論	
	19	事務管理論	
	休講		品質管理論
	専門科目Ⅱ(会計)	21	会计学
		22	財務会計論
		23	原価計算論
24		工業簿記論	
25		管理会計論	
26		簿記各論	
27		税務会計論	
28		統計学概論	
休講			統計学各論
30		コンピュータ概論	
31		コンピュータ応用論	
32		コンピュータ会計論	
休講			情報管理論
34		経営数学	
35	管理工学		

区分	経No	授業科目名	
専門科目Ⅲ(商経)	36	マーケティング論	
	37	国際取引論	
	38	保険論	
	39	証券市場論	
	40	流通経済論	
	41	ビジネス・コミュニケーション論	
	42	金融論	
	43	財政学	
	休講		経済統計
	45	商法	
	46	民法	
	47	商業英語	
	48	時事英語	
	49	英会話	
	50	英文ワープロ	
	51	秘書学	
	52	国語表現法	
	53	ゼミナール	

経 1	経営学原理	経	必通4単位	鈴木恒男
--------	-------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

経営学原理は、企業と経営について、その仕組みや活動に関する基本的プリンシプルを学ぶと共に、現代の経済社会に占めるその役割の重要性と、あるべき方向性を学ぶ科目である。

学問としての特徴は、

1. 科学性と実践性

現実（企業と経営）の観察の中から、共通する原理を学ぶと共に、現実への批判と改革への助言を学ぶ。

2. 学際性

企業経営は、人間の組織によって、その運営は経営者の意思決定に基づいて行われる。しかもそれを取り巻く環境の変化は目まぐるしい。こうした企業と経営を対象とする経営学の内容は多面的であり、関連する学問との繋がりは広く、また深い。

3. 国際性

現代の企業経営には国境はなく、国際的環境の中で活動している。その経営に助言を与える経営学は、広く国際的な経験対象から、原理原則を引き出す学問である。

・経営者の組織と機能—米独との比較

5. 現代の経営組織（10～12月）

経営組織論が独立しているので、全体との関連で、特に次のテーマについて学ぶ。

・人間観と組織論の変遷

・経営組織の形成と構造の基本

6. 経営戦略（12～1月）

現代の企業をめぐる環境変化は大きく、その変化に、企業はどう対応するのか、またしているのかを学ぶ。

・環境変化と企業 ・経営戦略とは何か

・基本的経営戦略とその事例

〔履修のポイント・注意点〕

- 第1点 事前に、次にやることを読んでおくこと。
- 第2点 事後に、もう一度読み直し、新しく学んだところをよく理解しておくこと。
- 第3点 新聞やテレビで、企業経営に関するニュース、用語に注意し、メモをとり、調べてみる。

〔成績評価の方法〕

出席は学習の基本であり、出席しなければ学習効果は期待出来ない。出席を評価の基本に考える。

成績は、夏休みのレポートと、学年末試験によっておこなう。

〔使用テキスト〕

鈴木恒男著「ビジュアル経営教科書」マネジメント社
鈴木恒男著「株式会社と利潤」マネジメント社

〔指定参考図書〕

岡部 博編著「経営学総論」建帛社
佐野雄一郎ほか著「経営管理総論」同文書院

〔授業計画と内容〕

年間の講義は、次のような柱を立てて進める。

1. 経営学と隣接科学（4月）

経営学を学ぶにあたって、

・経営学とは何か ・学ぶ意義 ・その隣接科学などについて概説する。

2. 企業の目的と利潤（4～6月）

現代社会において、最も重要な役割を持つ経済単位としての企業の性格と、その行動を、次のようなテーマで学ぶ。

・現代社会と企業 ・企業の目的
・企業目的と利潤 ・利潤の考え方と内容
・経営理念と目標 ・企業の社会的責任

3. 企業形態（6～7月）

人類の英知が生み出した、企業形態の歴史を辿り、現代の株式会社の実態と変貌、併せて他の企業形態を学ぶ。

・企業形態の展開 ・株式会社の発生史
・株式会社の特質 ・日本の株式会社
・株式会社と有限会社 ・公企業と協同組合
・株式会社の変貌

4. 現代企業と経営者（9～10月）

企業経営に最高責任を持つトップ・マネジメントの組織や機能について学ぶ。

・所有と経営の分離 ・専門経営者

経	簿記原理	経	必通4単位	鈴木 嘉
2				

〔講義目的・テーマ〕

複式簿記の“仕組み”を理解し、その技法を修得します。

常識として知られているように、現代の企業の会計は複式簿記で行われていますが、それは、簿記を形づくっている資本計算と損益計算のやり方が、企業経営の中核的思考にもとづいているからです。この複式簿記の基本部分を、入門的に、履修します。

企業会計は体系的な理論と技法を持っており、しかも幾つかの分野に分かれています。簿記原理はその広い領域への入口となります。確実にマスターしなければなりません。

〔授業計画と内容〕

授業内容は、原理的に単純化されています。

最も一般的な売買業における

1. 記録計算の基本
2. ごく普通の取引の処理
3. 決算の概要
4. 帳簿の体系の基本

が中心となります。

〔履修のポイント・注意点〕

簿記には、それなりの思考形式があり、その考え方を身につけるのが先ず第一ですが、簡単明瞭で難しいものではありません。また、考え方の問題が主ですから、計算の上手、下手を余り意識する必要はありません。誤った先入観を持たないで素直に取り組めば、すぐ自分のものにすることができます。

ただし、簿記は技法の体系でもあるので、りくつだけでなく、最低限に自分の手で——つまり、ペンと計算器を持って——取り組まなければなりません。それを嫌がって怠けたり、手抜きをして中途を欠落したりすると、その先の理解に支障が生じて、不完全なままになります。

素直に、しかも甘く考えないで、チャレンジして下さい。複式簿記の基本の理解をもとにして、経営の理念の把握と、関連する諸教科への発展が期待されています。

〔使用テキスト〕

「商業簿記」練習帳付

黒沢 清著 一橋出版2,200円
(他に練習帳1,500円)

〔指定参考図書〕

経	簿記原理	経	必通4単位	小谷利一
2				

〔講義目的・テーマ〕

簿記は、現金預金などの収入の明細、商品の仕入や販売の記録、製品の製造原価の計算、さらには債権・債務の発生や決算など企業の内外における活動を正確に記録し、計算し、整理して、企業内外の利害関係者に対して、その経営成績や財政状態を報告する知識および技術である。従って、簿記は、今日の企業経営においては欠くことのできない計算制度であり、会計学・原価計算・経営分析など会計学関係諸科学の基礎となるだけでなく、他の経営関係の諸科学にも関連するものである。

本講義では、簿記のこのような重要性から考え、簿記の基礎的な理論と計算方法を完全に習得することを目的とする。

〔授業計画と内容〕

4月～5月：簿記の基本原則について…簿記の目的・意義ならびに取引発生から決算手続きに至るまでの一連の計算処理方法

6月～7月：現金・預金・有価証券の処理
商品売買取引の処理
債権・債務の処理
手形取引の処理

9月～10月：固定資産の処理
経過勘定の処理
資本取引の処理

11月～1月：試算表・精算表の作成
決算手続
財務諸表の作成

〔履修のポイント・注意点〕

授業中に計算練習を行うため、受講者は、電卓などの計算器具を必ず持参すること。

また、簿記を完全に理解するためには、計算の反復練習が不可欠であるから、必ず、復習すること。

〔成績評価の方法〕

出席を重視するとともに、前期・後期の定期試験の結果によって評価する。

〔使用テキスト〕

「最新 簿記論（改訂版）」

新井清光著 中央経済社

「段階式新ワークブック 3級商業簿記」

新井清光監修 税務経理協会

〔指定参考図書〕

「体系簿記論（2訂版）1・2」

飯野利夫監修 税務経理協会

経 2	簿記原理	経	必通4単位	塚原英二
--------	------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

簿記についての基本原理を理解させ、日商簿記検定3級の資格を取得できるようにする。

〔使用テキスト〕

「商業簿記」(記帳練習帳付)
黒沢 清著 一橋出版

〔授業計画と内容〕

- 第1週 簿記とは
- 第2週 簿記のしくみ(1)
- 第3週 〃
- 第4週 簿記のしくみ(2)
- 第5週 〃
- 第6週 決算
- 第7週 記帳練習問題(1)
- 第8週 現金取引の記帳
- 第9週 有価証券取引の記帳
- 第10週 〃
- 第11週 〃
- 第12週 商品売買取引の記帳
- 第13週 信用取引の記帳
- 第14週 記帳練習問題(2)
- 第15週 〃
- 第16週 〃
- 第17週 手形取引の記帳
- 第18週 固定資産取引の記帳
- 第19週 個人企業の資本の記帳
- 第20週 〃
- 第21週 決算整理
- 第22週 〃
- 第23週 〃
- 第24週 精算表の作成
- 第25週 記帳練習問題(3)
- 第26週 特殊な商品売買取引の記帳
- 第27週 〃
- 第28週 〃
- 第29週 帳簿組織

〔指定参考図書〕

「入門簿記会計」 松尾・赤間著 森山書店
「簿記学入門」 木村・小島著 森山書店
これ以外でも必要に応じて指示す。

〔履修のポイント・注意点〕

1. 簿記はたいへん簡単な原理によって作られている。しかし最初に馬鹿にしてつかみ損なうと、最後まで分からなくなる。最初の講義をよく聞くこと。
2. 簿記は自転車や水泳と同じで、頭でなく身体で(ペンと計算機)で覚えるものである。そのためには記帳練習が大事で、一にも練習、二にも練習。そのための骨折りを惜しまないこと。

〔成績評価の方法〕

成績は前期、後期の定期試験及び随時行う小テスト、提出課題によって判定する。再試験を行なう。

経	簿記原理	経	必通4単位	鷹野宏行
2				

〔講義目的・テーマ〕

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。

企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

企業会計のしくみを究明する上で、簿記は第一段階であるから、その習得を心がけて欲しい。簿記は、一方的に講義を聞くだけでは、容易にマスターすることはできない。とにかく、そのはきだしである練習が必要である。したがって、演習中心の講義を行う予定である。

〔授業計画と内容〕

- 4月～7月中旬 「簿記の基礎概念」
サービス業を題材にとり、簿記一巡を検討する。
- 9月中旬～11月 「商品販売業の期中取引」
個別的な仕訳を検討する。
- 12月～1月中旬 「商品販売業の決算処理」
8桁精算表の作成方法を検討する。

〔履修のポイント・注意点〕

簿記は、好き嫌いが分かれる科目であるといわれる。簿記が嫌いにならないようにするには、最初の1ヶ月が肝心である。この1ヶ月間は特に気合いを入れて欲しい。また、この1ヶ月をクリアすることができれば、秋の日商簿記検定3級試験にも難無く合格することができるであろう。

〔成績評価の方法〕

出席重視。年2回のテスト。

〔使用テキスト〕

「簿記原理の展開」 守永誠治編著 税務経理協会
「簿記原理ワークブック」 静岡学園経営研究所編

経	簿記原理	経	必通4単位	小林秀行
2				

〔講義目的・テーマ〕

簿記（Bookkeeping）とは、企業など特定の経済主体の経済活動事象を計数により記録・計算・整理して、当該主体の経済活動の状況・結果を明らかにするための資料を提供する記録システムです。本講義では、この簿記のうち、特定の理論的裏付けと体系的技術を備えた複式簿記の原理と手続体系の修得を課題とします。

複式簿記の基本的約束はきわめて単純明快でありながら、その応用・展開はきわめて深く多岐にわたります。ドイツの生んだ偉大な哲学者・文学者であり、詩人であるゲーテも「複式簿記は、人間が発明したものの中で最も素晴らしいものの一つである」と述べているように、ゲーテの時代には、複式簿記は印刷機械、蒸気機関車とならんで、人類が生んだ三大発明の一つに数えられている。複式簿記が複雑な事業の活動を簡潔明快に描写する記録システムとして経済社会に果たす役割の大きさに着目してのことと思われる。また、複式簿記がもつシステム思考は、簿記・会計を離れた領域でも無限の広がりをもって展開されるものです。

授業は、テキストを中心にした講義と毎回テキスト中の練習問題または随時授業で配るプリントによる練習を併行して行います。練習用プリントは、自宅学習での記帳練習にも繰り返し使用してください。また、2～3回の講義に対して1回の割合で講義の最初に15～20分位の小テストを行います。簿記の実力の養成には、一步一步の知識の累積が必要であるからです。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「現代簿記原理」 内山 力 中央経済社

〔指定参考図書〕

〔準備すべき用具〕

電卓（あるものでよい。ただし、新規に購入するばあいは、四則演算ができる安いものでよいが、できるだけボタン式で八ガキ大以上のものが望ましい。カード式は、計算の遅延・打ち誤りが多く、あまりすすめられません。）

経	経済原論	経	必通4単位	沖津直
3				

〔講義目的・テーマ〕

経済の考え方・見方を修得するために経済の原理・原則を学習する。このような原理・原則や法則を束ねた経済理論を一通り学ぶことによって、現実の経済の動きや見方がわかっていくと思われます。学生の時に、重要な理論に接し、形をつくっておくことが大切です。テレビの報道、新聞の経済記事に接して、内容が理解できるようになることを目的とする。

〔授業計画と内容〕

前期に、ミクロ経済学（価格理論）を学習します。効用・無差別曲線を用いて需要曲線を導き、他方で企業における費用の概念を用いて供給曲線を導きます。そして、市場における需要曲線と供給曲線の交点において価格が決定されることを説明します。

後期では、マクロ経済学を学習します。ここでは国民所得決定の理論が中心となっています。現在、経済規模の大きさはGNP（あるいはGDP）の大きさで測定され、世界の経済順位がランクづけされています。マクロ経済において、国民所得の大きさを決める方式が1936年に初めてJ. M. ケインズによって明らかにされました。それは、「有効需要の原理」と呼ばれています。

必要に応じて、新聞やテレビで報道される現実の内外の経済状況を紹介します。経済の考え方や見方を理解できるように配慮します。講義の内容は主に次のようなものになります。

1. 効用・無差別曲線の概念
2. 需要曲線
3. 費用の概念
4. 供給曲線
5. 完全競争市場における価格決定
6. 独占・寡占
7. GNP、国民所得の諸概念
8. 消費需要
9. 消費と貯蓄
10. 均衡国民所得決定の理論
11. 投資需要
12. 投資の限界効率と投資の決定
13. 乗数理論
14. 貯蓄のパラドックス
15. インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ
16. 政府の財政
17. 外国貿易と国民所得
18. 政府、外国貿易と国民所得
19. 金融
20. 流動性利子論

21. IS-LM分析
22. 経済政策と国民所得
23. 景気循環と経済成長
24. インフレーションとデフレーション

〔履修のポイント・注意点〕

内容が積みあげ方式になっているので、授業を休まないこと。学んだ事を自分の頭で考える。毎回の授業を大切にすること。

〔成績評価の方法〕

基本的には年2回の定期試験の結果。学習態度や出席状況も加味する。

〔使用テキスト〕

「経済学のエッセンス」
小川哲夫編著 八千代出版

〔指定参考図書〕

「ケインズ」 伊東光晴著 岩波新書
「マクロ経済学とミクロ経済学」
長谷川啓之編著 八千代出版

経 4	商学総論	経	必通4単位	藤井信之
--------	------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

本講座では、商業に関連する領域、特に流通に焦点を絞って話をすすめる。

1年間の講義では、流通機能と流通活動、流通機関、流通機構、流行政について、最近のトピックにふれつつ話を進めていく。

〔授業計画と内容〕

前期：(1)流通とは

(2)現代の流通

(3)流行政

(4)卸売業

(5)小売業

(6)商品別流通

後期：(7)マーチャндаイジング

(8)価格

(9)販売促進

(10)物の流通

(11)情報の流通

〔履修のポイント・注意点〕

1時限分の内容がかなりのボリュームである。休まないように。

〔成績評価の方法〕

出席、試験および提出物により評価。

〔使用テキスト〕

田島義博『流通機構の話』 日経文庫

〔指定参考図書〕

後日指示する。

経 5	経営管理論	経	選択必修 通4単位	高橋浩夫
--------	-------	---	--------------	------

〔講義目的・テーマ〕

経営科に入学した学生の選択必修科目の一つが本科目の「経営学管理論」です。経営管理論は経営学とは何か、あるいは経営学とはどのようなことを勉強するのかという、2年間の経営科の学生としての基本の科目です。

経営管理論はやがて本科を卒業して大方の学生が就職するであろう企業（会社）についての様々な仕組みやそれをさらに成長・発展させるためにはどのような施策が必要なのか等について勉強します。企業は経営の仕方によっては成長もしますし、失敗もします。これは企業は生きているからです。企業は変容する環境に対して適応しなければならないし、またその環境を予見して企業自身を変革していかなければなりません。経営学のルーツを歴史的に辿れば、それはアメリカで生まれたものです。それが戦後日本に紹介されて、日本の企業の発展に大きく貢献し、今日では日本の経営について世界中から注目されています。本講義ではその発祥の地であるアメリカの経営と日本の経営のちがいなどについても学んでいきます。

〔授業計画と内容〕

第一章 経営学と経営管理

第二章 企業と理念

第三章 企業形態

第四章 企業組織

第五章 経営者と管理者

第六章 経営戦略

第七章 国際経営

第八章 日本の経営

〔履修のポイント・注意点〕

テキストにそって講義やケース・スタディーを行い、経営に関する用語はしっかりとノートをとること。

〔成績評価の方法〕

通常の出席点の他に用語のテスト、学年末試験を総合して評価。

〔使用テキスト〕

高橋浩夫、大山泰一郎著『現代企業経営学』同文館
¥2,800（予定）

〔指定参考図書〕

野中郁次郎著『経営管理』日経文庫
他はその都度指示する。

経 6	経営組織論	経	選択必修 2単位	高橋浩夫
--------	-------	---	-------------	------

〔講義目的・テーマ〕

経営学の主要な研究対象は企業です。企業は人間一人ひとりが職務という仕事を通して、組織的に成り立っている生き物です。従って、企業組織をどう考えるかは企業の成長や発展、失敗に大きな影響を及ぼします。このことは経営学と同じように経営組織論は、企業を組織論的な視点から考察しようとするものです。組織は責任・権限や命令、規則によって成り立っているような非常に堅いイメージがありますが、それは決して機械的なものではなく、人間の営みの体系なのです。人間には一人一人が異なった夢や希望、意欲がある個人の部分とそれらの人々がいつしよになって企業目的を達成する組織に貢献しなければならない部分があります。経営組織論では、このような私の部分と公の部分をもとに現代の企業組織では考えなければならないのかについて勉強します。

〔授業計画と内容〕

1. 組織とは何か
2. 組織の原型モデル～伝統的組織論の考え方～
3. 伝統的組織論への批判～人間関係論の登場～
4. 企業目的と企業組織の体系
5. 企業組織におけるラインとスタッフ
6. 企業組織における機能別組織と事業部制組織
7. 企業の国際化・多角化に伴う組織の再編成
8. 経営戦略と組織との関連性
9. 組織論の課題と展望

〔履修のポイント・注意点〕

出席を重視する。

〔成績評価の方法〕

前期だけの課目なので、授業中に一度経営組織関係の用語のテストを行う。最後にレポート提出やテストを行って評価を行う。

〔使用テキスト〕

高橋浩夫、大山泰一郎著『現代企業経営学』同文館
 予定価格¥2,800

〔指定参考図書〕

岡本康雄『経営組織』日経文庫
 今西伸二『事業部制の解明』マネジメント社

経 7	経営分析論	経	選通4単位	青山米蔵
--------	-------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

経営分析は、その発達の過程から健全性（安全性）分析、流動性分析、収益性分析を主な対象としているが、比較的新しい分野であるため、その理論構造、分析の技法などについて不明確な点が少なくない、本講義ではいたずらに新奇を追うことなく、経営分析の一般的常識として認められているものを把握できるようにした。

〔授業計画と内容〕

- 第1週
- 第2週 経営分析の意義・目的
- 第3週
- 第4週 経営分析の種類・方法
- 第5週 経営分析の発展過程
- 第6週
- 第7週 貸借対照表と損益計算書の構造
- 第8週
- 第9週 基礎的な財務分析Ⅰ健全性の分析
- 第10週
- 第11週 基礎的な財務分析Ⅱ流動性の分析
- 第12週 基礎的な財務分析Ⅲ収益性の分析
- 第13週 単一指数法・練習問題
- 第14週
- 第15週 趨勢法分析・練習問題
- 第16週
- 第17週 損益分岐点分析・練習問題
- 第18週 限界利益分析・練習問題
- 第19週
- 第20週 資金運用表分析・練習問題
- 第21週
- 第22週 キャッシュフロー分析・練習問題
- 第23週
- 第24週 動態的方法による支払能力の分析・練習問題
- 第25週
- 第26週 生産性の分析・練習問題
- 第27週
- 第28週 成長性の分析・練習問題
- 第29週
- 第30週 利益計画と資金計画・練習問題

〔履修のポイント・注意点〕

経営分析は講義だけでは、理解し自分の知識とするには十分でないので、できるだけ多くの練習問題を与え、レポートさせる。

経 8	経営戦略論	経 選 2単位	高橋浩夫
--------	-------	------------	------

〔成績評価の方法〕

レポートによって採点し評価する予定。

〔使用テキスト〕

市販のテキストは使用しない。

〔指定参考図書〕

「経営分析入門」 阪本安一著 中央経済社
「経営分析概説」 阪本安一著 税務経理協会
「経営計画と経営分析」 後藤幸男著 税務経理協会

〔講義目的・テーマ〕

経営戦略は現代の経営学の中で最も重要でしかも面しろみがあります。企業は環境に対応して自らが変身していかなければなりません。今日の経営環境は、従来とは異なった形でドラスチックに変わっています。経営戦略は、このような環境変化を予め予見して、経営資源を重点配分していくことです。経営戦略は今日や明日の問題よりも明後日、さらに遠い将来の企業の成長・発展を考えることです。このような環境変化の時に、経営戦略を良く考えて策定することは企業経営にとって将来の発展を左右する極めて重要なことなのです。本講座の内容は、今なぜ経営戦略が問われ、その中で何が今問題なのかについて、日本の経営の特徴との関連で考えていきます。

〔授業計画と内容〕

1. 経営戦略とは何か
2. 現代の経営環境と経営戦略
3. 経営戦略、事業戦略、機能戦略の関連性
4. 経営戦略と組織構造
5. 経営戦略と企業文化
6. 経営戦略と人的資源
7. 経営戦略としての国際事業
8. 経営戦略と企業家精神
～特に国際事業との関連性で～
9. 経営戦略の今後の課題

〔履修のポイント・注意点〕

半期の課目なので出席を重視します。授業中に一回、ビデオとケース・スタディーを行った内容についてのテストを行います。

〔成績評価の方法〕

授業中でのテストと学期末のテストとの総合で評価を行う。

〔使用テキスト〕

高橋浩夫、大山泰一郎『現代の経営学』 同文館
¥2,800

〔指定参考図書〕

奥村昭博『経営戦略』 日経文庫

経 9	経営史	経	選通4単位	片岡豊
--------	-----	---	-------	-----

〔講義目的・テーマ〕

「企業」、あるいは「経営」という言葉は現代社会において、何の違和感もなく使われている。しかしながら、これらの言葉、と言うよりはこれらの概念が一般化したのは比較的新しいことである。

「経営」が、与えられた経済的状况に対する合理的な対応であるとするなら、その実質的な意味内容は近代経済社会が成立して初めて与えられる。例えて言えば、18世紀イギリスの産業革命がもたらした工場制生産は、それ以前には考えられなかった企業経営と企業家を生み出し、それが今度は逆に経済社会を変革していった。また日本においても、江戸時代には近代的な経済システムと、それに対応する合理的な経営組織が形作られ、近代における経済成長の基礎となった。

このような意味で、「近代的」社会の成立と「近代的」経営の出現は切り離せない関係にある。

本講義では、近代経済社会の成立がどのような過程で経営の独立性をもたらしたのか、さらには逆に、企業の経営それ自身が、いかに経済そのものを変革していったのかを考える。

〔授業計画と内容〕

講義の内容は以下の通りである。前期は欧米中心、後期は日本を中心に進める予定である。

1. イギリス産業革命と経済
2. 株式会社形態の成立
3. アメリカの大衆生産システム
4. 江戸時代の経済と社会
5. 江戸時代の商家経営
6. 明治期の経済と社会

〔履修のポイント・注意点〕

気楽に聞いてください。

〔成績評価の方法〕

試験年2回

〔使用テキスト〕

「経営史」 鈴木良隆・安部悦生・米倉誠一郎著
有斐閣

〔指定参考図書〕

「日本の経営発展」
由井常彦・J. ヒルシュマイヤー著
東洋経済新報社
「アメリカ経営史」A. D. チャンドラー 亜紀書房
「最初の工業国家」P. マサイアス著 日本評論社
「概説日本経済史」正田健一郎・作道洋太郎編
有斐閣選書

経 10	中小企業論	経	選択必修 2単位	工藤幸一
---------	-------	---	-------------	------

〔講義目的・テーマ〕

今、世界的に「中小企業新時代」といわれている。高度情報化社会、高度技術化社会、高齢化社会、経済のソフト化・サービス化などの国際的社會經濟環境の変化のなかで産業構造にも大きな変化があらわれている。

大企業の「下請け制・系列化」に代表される特異な形態で日本の経済発展を支えてきた中小企業にもかつてない急激な構造的な変化がみられる。

近年、日本の中小企業は国際経済社会においてその先進性を高く評価されており「活力ある日本の中小企業」というべきである。技術革新に適応し、絶えず経営体制を革新しながら企業進化を遂げ「中小企業＝下請け制」から「大企業の協力者」としての評価がなされるようになってきている。

また、バブル経済においては企業本来のありかたを見失った企業経営がなされたために、再度「企業とは何か」を考えなくてはならないと同時に「系列」に代表される中小企業のあり方も考えなくてはならない経済社会の転換期でもある。

本講義においては日本の中小企業の基礎理論、中小企業の発生と歴史的変遷を理解し日本の中小企業の特異性と、今後の中小企業の方向性について考えていくものである。

〔授業計画と内容〕

1. ガイダンス
2. 企業階層図の解説
3. 中小企業・小企業・零細企業の範囲の定義
4. 中小企業の相対的・量的概念
5. 中小企業の規模構造
(1)中小企業事業所数・従業者数
6. 欧米における中小企業の基準
(1)アメリカにおける中小企業の基準
(2)ヨーロッパにおける中小企業の基準
7. 中小企業の存立形態
(1)独立形態
(2)従属形態
8. 日本中小企業の歴史的展開
(1)中小企業の発生
(2)中小企業の歴史的変遷
9. 中小企業の現代的課題
10. 「中小企業新時代」の展望

経	中小企業経営論	経	選 2単位	工 藤 幸 一
17				

〔履修のポイント・注意点〕

講義の進め方、単位認定試験に関してはガイダンスにおいて詳しく説明するが、半期の講義で短期間に中小企業の(1)基礎理論＝中小企業概念、(2)歴史の変遷＝日本の中小企業の形成過程、(3)新たな展開＝中小企業の社会経済的役割の重要性の解説をするため毎回の講義の出席が絶対条件となる。

例年、試験時に図書館から中小企業関連の図書の貸し出しを受けて論述する傾向がみられるが、これまでの「中小企業問題＝下請け制問題」を中心課題とした中小企業の旧理論を記述しても本講義のねらいとする「中小企業新時代」の新しい中小企業を理解したとはいえないのであり、解説の主要項目を板書しケース・スタディーを中心とした解説をおこなうので、毎回講義に出席しこれを理解し試験に対応してほしい。

選択科目であるから意欲ある学生が受講するものとして講義を進める。私語は厳禁である。

〔成績評価の方法〕

毎回出席をとり3分の2以上の出席を満たした者に期末試験の受験資格を与える。期末試験は論述形式の筆記試験を行う。

〔使用テキスト〕

半期科目であることから経済的負担となる教科書は特に指定しないので指定参考図書のなかから必ず1冊は読んでほしい。

〔指定参考図書〕

- 「新中小企業論を学ぶ」 巽 信晴・佐藤芳雄編
有斐選書
- 「中小企業ルネッサンス」 清成忠男著 有斐閣
- 「岩波新書213 21世紀型中小企業」
中村秀一郎著 岩波書店
- 「挑戦する中小企業」 中小企業金融公庫調査部
中央経済社

〔講義目的・テーマ〕

中小企業の研究には産業論・個別経済論などのいろいろな研究があるが、本講義においては企業経営論、とくに中小企業経営論を中心として講義する。

「異質多元」「過少過多」「従属性＝下請け制・企業系列化」などが特色と指摘される日本の中小企業とはどのような企業群であるのかを理解したうえで、どのような経営行動・経営体制の確立が必要であるかを考えなくてはならない。

中小企業は大企業と比較して単に経営規模が小さな経営体ではないのであり、大企業の経営とは違った中小企業の経営を学ばなければならない。

中小企業経営論では技術革新に適応し、絶えず経営体制を革新しながら企業進化を遂げている「活力ある日本の中小企業」という理解のもとに中小企業経営者、管理者として責任のある活動をする立場にある者の実践経営学を考えていく。

〔授業計画と内容〕

1. ガイダンス
2. 中小企業とは何か
3. 経営とは何か
4. 中小企業論と中小企業経営論
5. 中小企業と大企業の経営の違い
6. 中小企業経営の特色
中小企業経営＝実践論＝経営者論＝マネジメント論
7. 中小企業階層図の解説
8. 中小企業に対する小零細企業の特徴
9. 中小企業の相対的・量的概念
10. 中小企業の規模構造
(1)中小企業事業所数
(2)中小企業従業者数
11. 欧米における中小企業の基準
(1)アメリカにおける中小企業の基準
(2)ヨーロッパにおける中小企業の基準
12. 中小企業の存立形態
(1)独立形態
(2)従属形態
13. 中小企業の類型化
14. 中小企業の倒産・廃業要因
15. 技術革新と中小企業経営
16. 中小企業経営の今後の課題

経	中小企業高度化論	経	選 2単位	黒 瀬 直 宏
12				

〔履修のポイント・注意点〕

講義の進め方、単位認定試験に関してはガイダンスにおいて詳しく説明するが、半期の講義で短期間に中小企業経営の(1)基礎理論、(2)新たな展開までの解説をするために毎回の講義の出席が絶対条件となる。

大学に入学して半年ということでの他の経営学関連の講義も同時進行であり、企業経営に関して十分に理解しているとはいえないことから、中小企業とは何か、経営学とは何か、中小企業と大企業の経営の違いについて2年次の就職活動にも生かすことができるようにわかりやすく解説していく。

中小企業経営の特色を理解し中小企業経営＝実践論＝経営者論＝マネジメント論を理解することを目標とするため主要項目を板書しケース・スタディーを中心とした解説をおこなうので、これを毎回講義に出席し理解し試験に対応してほしい。

他の経営学関連の講義の十分な理解が必要である。

選択科目であるから意欲ある学生が受講するものとして講義を進める。私語は厳禁である。

〔成績評価の方法〕

毎回出席をとり3分の2以上の出席を満たした者に期末試験の受験資格を与える。期末試験は論述形式の筆記試験を行う。

〔使用テキスト〕

半期科目であることから特に経済的負担となる教科書は指定しないので指定参考図書のなかから1冊は必ず読んでほしい。

〔指定参考図書〕

- 「読本シリーズ 中小企業読本（第2版）」
清成忠男著 東洋経済新報社
- 「日経文庫452 現代の中小企業経営」
小川英次著 日本経済新聞社
- 「岩波新書213 21世紀型中小企業」
中村秀一郎著 岩波書店
- 「挑戦する中小企業」
中小企業金融公庫調査部 中央経済社

〔講義目的・テーマ〕

中小企業は日本経済の中で次のような重要な役割を果たしている。第一に多くの人々に勤労の場を提供している。日本人の80%は中小企業で働いているのである。また、中小企業経営者は自己実現のできる魅力的な職業という認識も高まっている。第二に大企業と並んで独自の分野で社会的分業を担っている。日本の自動車産業や電機産業も優れた中小企業が部品分野を担っているからこそ強い国際競争力を誇ることができる。また、ベンチャービジネスに代表されるように、大企業が開拓できないような新事業を創造している。第三は経済民主主義に関する役割である。独立の中小企業の増加は経済力の分散を進めることより大企業への経済力の集中を相対化し、自由対等な市場経済を推進する。

しかし、中小企業がこういう重要な役割を果たすには、経済構造の変化と共に中小企業も経営を高度化させなくてはならない。本講義では、中小企業の高度化を「中小企業が経済構造の変化と共に、経営体質と経済上の地位に関しより高度の段階に進むこと」と定義し、現在の中小企業の高度化の方向とそれが日本経済にどのような可能性をもたらすかを考える。

〔授業計画と内容〕

1. 序論
日本経済の歴史的転換と中小企業
2. 現在の中小企業の高度化の方向
(1)中小企業の成長条件
(2)成長中小企業の特徴 — 市場と技術
(3)成長中小企業の特徴 — 組織運営
3. 成長中小企業の類型変化 — 「高度化」の歴史
4. 中小企業の可能性と問題性
5. 中小企業を中核とする日本産業の再生を目指して — オーダーメイド型産業の形成を

〔履修のポイント・注意点〕

中小企業だけでなく、日本経済にも関心を払うこと。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

- 拙稿『今日の成長中小企業の特徴』
白鷗大学論集 Vol. 7 No.2
中小企業総合研究機構編『中小企業家精神』
中央経済社 1995

〔指定参考図書〕

経	企業形態論	経	選 2単位	高橋浩夫
13				

〔講義目的・テーマ〕

以前の社会主義国、ソ連や東欧諸国の崩壊は企業形態のあり方に様々な問題を提起しました。つまり、それらの国々では企業は国有であり、全てが公企業の形態なのです。国有企業は国家が所有し、経営者も国家公務員で、企業が倒産するなど考えられない、至って安定した企業だったので。その反面、従業員はただ命令されたことをやるだけの受け身の姿勢で、勤労意欲は低下し、非効率な経営を強いられていたのです。これに対して、日本やアメリカのような自由経済諸国の企業は、私企業ですから、もし経営のやり方で失敗すると国家はそれを償ってくれません。従って、企業はどのような経営形態を採ったら、一番それがうまくいくかが一国の社会体制のあり方とも深くかかわってきます。社会主義国がうまくいかなかったことは、日本やアメリカの私企業形態を見習う良い契機になったわけです。

今、わが国企業の企業形態は株式会社を代表とする私企業だけではありません。未だ政府（国家）が所有する公企業形態もいくつかあります。企業形態論では先ずこの問題についてどこが、どのようにちがい、どうしてそのような形態をとっているのかについて勉強します。また、この他に大企業と中小企業のちがい、国内志向型企业と国際志向型企业の特徴についても考えていきます。

〔授業計画と内容〕

1. 企業の特徴と形態
2. 私企業形態
 - ・個人企業（個人商人）
 - ・合名会社
 - ・合資会社
 - ・有限会社
 - ・株式会社
 - ・協同組合
3. 公企業
 - ・公企業の特徴
 - ・行政企業
 - ・公私合同企業
4. 企業集中
 - ・企業集中とは
 - ・カルテル
 - ・企業合同
 - ・コンツェルン
5. ケース・スタディー

〔履修のポイント・注意点〕

最初の2～3回は講義を行ないます。その後は、受講生自身の積極的な発表形式をとります。企業形態に関するケース・スタディーをこちらから指示します。それを、予め勉強し資料化して発表します。

〔成績評価の方法〕

各人の発表とレポート提出の総合評価。

〔使用テキスト〕

高橋浩夫・大山泰一郎著『現代企業経営学』同文館
 ただ、ケース・スタディーについての文献はその都度指示します。

〔指定参考図書〕

占都都美『企業形態編』 白桃書房

経 14	労務管理論	経	選 2単位	黒田 勉
---------	-------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

労務管理は場合によっては人事管理とも言われ、協働体（企業、役所、公共機関、学校など）のなかにいる人々を対象にして実施されているので、労務管理はその協働体の存在が前提にされています。そのために、協働体の持つ性質が労務管理に極めて大きな影響を及ぼし、そして就業者にも影響を与えているのです。その協働体の代表的なものが民間の企業です。したがって、労務管理を理解しようと思うのであれば、第一に協働体とくに企業の基本性質を知らなくてはならないことになるわけです。そこで授業では、協働体の代表としてなぜ企業を扱う必要があり、企業はどのような状況のなかに置かれ、そしてどのような特徴的性質を持っているのかという基本問題を念頭に入れながら、現代の労務管理の理解とその本質の把握とを探究して行きます。

〔授業計画と内容〕

はじめに；なぜ学び、なぜ考える必要があるのか

1. 協働体と企業、市場経済体制と企業、企業の基本性質
2. 就業者の性質
3. 労務管理の体系
4. 雇用
5. 労働時間
6. 職場の小集団活動

〔履修のポイント・注意点〕

特に留意してほしいのは、日本をはじめ世界における最近の社会や経済、そして企業が大きく変化してきていますし、また就職は企業などにとっては採用を意味する労務管理の領域でもありますから、授業中にこれらの情報を任意に尋ねたりしますので、毎日必ず新聞を読んで新鮮な情報をキャッチするように心がけて下さい。

〔成績評価の方法〕

出欠確認方法；任意の日に任意の学生に質問して行きますので、その時点に不在であればその学生は欠席となり、それ以外の学生は出席扱いになります。

試験；期末定期試験期間中に、授業終了時点までの全範囲について、持ち込み不可の方法で試験は1回実施します。

〔使用テキスト〕

テキストは夏頃に出版される予定ですので、出版され次第お知らせします。

〔指定参考図書〕

- 裴 富吉著 「経営学講義」 白桃書房
 長谷川 広著 「現代の労務管理」 中央経済社
 熊沢 誠著 「働き者たち泣き笑顔」 有斐閣
 野村正實著 「終身雇用」 岩波書店
 東京管理職ユニオン・日本労働弁護団編
 「会社をやめる父から会社に入る息子・娘たちへ」
 教育史料出版会

経	財務管理論	経	選通4単位	小 柏 喜 久 夫
15				

〔講義目的・テーマ〕

企業財務の役割は時代とともに変わり、今日では、財務的意思決定のプロセスに焦点が当てられている。トップマネジメントや財務管理担当者の下す財務的意思決定が、企業の価値に多大な影響を与える事実を認識するに至った結果である。本講義でも、そのプロセスに焦点を当て、財務管理論学習の基礎として必要な事項を取上げ解説していく。

〔授業計画と内容〕

1. 財務管理の基本的課題
2. 資本の運用
3. 資本の調達
4. 財務分析
5. 利益計算と損益分岐点分析
6. 財務計画と予算管理
7. 原価管理
8. 資金管理

〔履修のポイント・注意点〕

数字も、ただ単に計算問題を解けるということだけでなく、現実の企業財務現象を分析・理解するという角度から捉えられるよう学習されたい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「財務管理入門」 村松司叙著 同文館
を予定している。

〔指定参考図書〕

経	生産管理論	経	選通4単位	三 浦 達 司
16				

〔講義目的・テーマ〕

この講義は、主として生産管理の概念と範囲並びにそれに関連する理論と技法の理解を目的とする。従って、生産管理の概要と最適日程計画のためのスケジューリング理論や技法をも学ぼうとするものである。

講義の内容は、経営システムにおける工場管理システムの関係、工場管理システムにおける生産管理システムの位置づけ、生産管理と生産形態、生産管理の業務、生産計画と生産統制、生産管理各論、生産管理の事務制度、日程計画モデル等である。

また、現実の社会における事務業務のO A (Office Automation) 化やF A (Factory Automation) 化された工場における生産管理の実態についても、ビデオやフィルム等を活用して解説する。

〔授業計画と内容〕

生産管理論

・関連科目

経営工学 (I. E)

経営管理論

経営組織論

情報処理 等

・授業内容とすすめ方

1. ガイダンス (生産管理論の概要、授業のすすめ方)
2. 経営と管理の関連における生産管理システムの位置づけ
3. 工場管理システムにおける生産管理システムについて
4. 生産管理の機能
5. 生産計画の機能と生産計画の立て方
6. 生産統制の機能とその管理方式
7. 生産形態と生産システムとの関係
8. 日程計画の技法 (スケジューリング技法) の体系的解説
9. 個々の技法の習得
Johnsonの技法、Jacksonの技法、優先規則法
P E R T 等
10. 生産管理システムとG T方式 (Group Technology)
11. システムの設計 (改善)
・ Industrial Approach, Methods Design
・ Work System Design

前期においては主として、経営における生産管理システムの位置づけと内容を階層構造的に理解してもらい、後期においては、生産管理で用いられる種々の技法を習得するよう心掛けている。

経 17	マーケティング管理論	経	選 2単位	原 田 俊 夫
---------	------------	---	-------	---------

〔履修のポイント・注意点〕

出来る限り出席し、授業中に話したこと、板書したことをノートを用意して記録し、復習しておくこと。

〔成績評価の方法〕

- ・「テスト」……年2回（定期試験期間中）
- ・「レポート」……年2～3回

を総合的に判定する。

〔使用テキスト〕

「あたらしいワークスタディ」

〔指定参考図書〕

- 「生産管理の基礎」 村松林太郎著 国元書房
- 「生産工学」 古川 光著 森北出版
- 「インダストリアル・エンジニアリング」
秋庭雅夫著 日科技連出版社
- 「Work Design」 G.Nadler 著
R. D. IRWIN Inc.

〔講義目的・テーマ〕

企業が流通活動を円滑に進める為に必要なマーケティング管理の考え方、進め方や、それを計画的に運用して行く色々なテクニクスを分かり易く、実際の事例を含めながら効率良い講義を展開したい、と思っている。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 企業経営に何故マーケティングが必要か
- 第2週 経営管理にマーケティングが果たす役割
- 第3週 マーケティング計画の樹て方・考え方
- 第4週 マーケティング予算編成の基本
- 第5週 事例による予算の組み方・纏め方
- 第6週 システム予算の作成
- 第7週 販売割当・運用に関する諸検討課題
- 第8週 広告および販売促進に関する諸問題
- 第9週 仕入政策と商品管理
- 第10週 マーチャンダイジングと製品計画
- 第11週 色々な売価政策
- 第12週 売買契約締結に当たっての留意点
- 第13週 契約締結に際して起こり易い問題点
- 第14週 人的販売およびサービス政策の進め方

〔履修のポイント・注意点〕

- ①前期だけの2単位講座なので、効率的に勉強すること。
- ②教科書を利用するが、関連した様々な話もするので、静かに傾聴し、ノート等もよくとること。
- ③止むを得ない場合以外遅刻、中途退席は禁止。

〔成績評価の方法〕

期末試験と平常の出席状況により判定する。就職試験、病気等により受験出来ない人には追試験、期末試験不合格者には1回のみ再試験を行なう。

〔使用テキスト〕

「マーケティング計画」 原田俊夫著 前野書店

〔指定参考図書〕

「戦略的マーケティングの管理」
原田一郎著 東海大学出版会

経	資金管理論	経	選 2単位	渡 邊 金 愛
18				

〔講義目的・テーマ〕

資金管理の概要について説明することを目的とする。
 企業は、最小のインプット（投入）から、最大のアウトプット（成果）を産み出すための絶ゆみない繰りかえしであり、その継続過程における資金の調達と運用が資金管理である。いわば、資金管理とは、企業が必要とする資金をもっとも合理的に調達し、これをもっとも効果的に運用することである。

〔授業計画と内容〕

資金管理論の主な項目を示すとつぎのとおりであるが、当講義においては、抽象的理論を避けて、できるだけ実務的にアプローチすることとし、とくに企業の資金繰りに重点を置くものとする。

- 第1月 資金管理の意義
 資金管理と経営管理
 資金計画と利益計画
- 第2月 資金の調達
 株式 社債 借入金
 自己金融
- 第3月 資金の運用
 利益と現金 資金の源泉と使途
 資金運用表 資金移動表
 資金計画表と資金繰り表
 企業財務の健全性
- 第4月 財務分析
 財務分析の意義 財務分析と財務諸表
 財務分析の方法 流動性の分析
 収益性の分析 原価分析と生産性分析
- 第5月 資金繰りの実際
 資金繰りと経営 資金繰りの実際

〔履修のポイント・注意点〕

1. 授業に真面目に出席し、ポイントをつかむ。
2. 教科書をよく読み、意味内容を理解する。
3. 資金管理を身近な事項として考え、学ぶ。

〔成績評価の方法〕

基本的には、定期に行われる筆記試験の結果による。
 ただし、出席率の良い者、悪い者については、一定の基準を設け、プラス評価あるいはマイナス評価を行う。

〔使用テキスト〕

「資金繰りのノウハウ」
 柴野直一 経営実務出版

〔指定参考図書〕

渡邊金愛の著書・論文等を適宜使用する。

経	事務管理論	経	選 2単位	鈴 木 友 吉
19				

〔講義目的・テーマ〕

事務管理は、経営活動を管理対象とした学問分野で、その将来目標は「必要な情報を、必要なときに、必要な人に提供する事務システムをつくり、効率的に運用すること」、つまり経営情報システム（MIS）を実現することを目的としています。

この経営情報システムの実現は、経営情報管理の目標とも一致することから、事務管理は経営情報管理の技術的、実践的な側面を担当する管理分野であるともいえます。

事務管理論の本質は、情報の生産から情報の収集、加工、検索、保管、保存等を、OA機器を活用しながら体系的にシステム的に、正確、迅速に、目的を達成する手段方法を学びます。いわゆる経営情報管理の根幹を構築するものが、新時代における事務管理論であります。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 新時代の事務管理と、その意義
 第2週 経営情報管理と事務管理との関係
 第3週 事務管理の背景と、その歴史
 第4週 現代事務の特徴的な基礎理論
 第5週 情報処理の為の事務基本計画
 第6週 事務システム設定と標準化
 第7週 事務工程管理の基本
 第8週 事務工程管理の応用
 第9週 事務工程管理の演習
 第10週 事務の品質管理
 第11週 コンピュータと事務作業
 第12週 事務処理にかかる原価計算
 第13週 事務環境分析と改善

〔履修のポイント・注意点〕

事務といえば、昔からヨミ・カキ・ソロバンがその仕事の中心でした。また、一般的に事務員は、事務をとるとというのが仕事だと考えておりました。

然し、ここ20年来、加速的なコンピュータの発達によって、すべての情報処理が機械化されて、経営管理者が高度な意志決定を、正確かつ迅速に行うようになりました。従って、新時代の事務管理論は、意志決定者に如何して、正しい情報を早く、提供するかを学ばなくてはなりません。従って、単なるヨミ・カキ・ソロバンの事務ではなく、情報の処理を機械化や管理技術によって行うことを意味しています。

本講義は以上のような、今日の事務管理をめぐる環境、学問的な認識およびアプローチの考え方にもとづいて、事務の意義、事務の基本から解説し、その応用

経	会 計 学	経 選 2単位	鈴 木 嘉
21			

まで実例をあげて学び、その内容は、第1部は新時代の事務管理の総論、第2部は新時代の事務管理の各論にわかれ、第1部・新時代の事務管理総論は理論編で、ここでは新時代の事務管理を正しく理解するための基礎理論を勉強します。また第2部・新時代の事務管理各論は、実践編で、ここでは第1部・新時代の事務管理総論の理論を具体的に実践するための勉強をします。

〔成績評価の方法〕

1. 毎回の出席票（出席簿）により第一次評価をいたします。
2. 第7週目より9週目まで宿題を出し、提出をもつて、期末試験の成績に補点をいたします。
3. 期末試験は筆記と作図で実施します。

〔使用テキスト〕

「新時代の事務管理論」

村越郭人・赤池隆雄共著 学文社発行2,300円

〔指定参考図書〕

「事務管理論」 高原 真編著 建帛社発行1,800円

〔講義目的・テーマ〕

企業の活動を貨幣額で計測して、その企業の経済性、収益力、財政状態を把握し、情報として利害関係者に提供するのが企業会計の役割である。

現代の企業会計は複式簿記を用いて測定、記録、計算を行うが、理論と実践の両側面を持ち、また幾つかに分かれた広い分野を包括している。しかも、企業そのものは私経済であるにもかかわらず、その会計は社会性を帯びて、普遍性を持つことを要求されている。

このような企業会計について、入門的、序論的な手引きをするのが本講の目的である。つまり、1年次の前期（またはそれ以前）までに、複式簿記の基礎的な理解がなされているはずであるが、そのうえに立って、企業会計の本質についての的確な理解と、全体の骨組みの把握のための手助けをし、さらに企業会計諸分野への案内をして、2年次に履修する諸科目への橋渡しとしての役割をも果たす。

〔授業計画と内容〕

授業は、

1. 企業会計とは
 2. 企業会計のしくみ
 3. 経営管理と会計
 4. 会計に関する制度と財務諸表（企業会計の開示）
 5. 企業会計の諸相
- などについて序論的、総論的に講義される。

〔履修のポイント・注意点〕

枝葉末節の事に惑わされることなく、すなおな思考にもとづいて、本質的な理解に達するよう努力を積み重ねて欲しい。

〔成績評価の方法〕

定期試験を重視する。

〔使用テキスト〕

「会計学を学ぶ」 新井清光他編 有斐閣1,854円

〔指定参考図書〕

経	財務会計論	経	選択必修 通4単位	小 谷 利 一
22				

〔講義目的・テーマ〕

企業会計は、企業の経済活動を測定し、各種利害関係者に対して必要な情報を提供するシステムであり、財務会計と管理会計に区分される。

前者の財務会計は、株主・債権者・課税当局・従業員・消費者など、企業外部の利害関係者に対して企業経営の実態を明らかにする外部報告会計であり、社会的な性格を強くもっている。

そのため、一定の社会的規範や法律制度によって規制を受けている。

本講義は、この一定の社会的規範である「企業会計原則」や会計法令を中心に、財務会計を総合的・体系的に理解することを目的としている。

〔授業計画と内容〕

- 4月～5月：会計の意義と役割
会計の理論的構造
企業会計制度
- 6月～7月：資産会計
- 9月～10月：負債会計
資本会計
- 11月～1月：損益会計
連結財務諸表
財務諸表分析

〔履修のポイント・注意点〕

本講義は、計算事例をとりあげながら行うため、受講者は、必ず、「簿記各論（中級）」および「工業簿記」もしくは「原価計算」を履修すること。

〔成績評価の方法〕

出席を重視するとともに期末試験の結果によって評価する。

〔使用テキスト〕

「現代会計学（第三版）」
新井清光著 中央経済社

〔指定参考図書〕

「新版 財務会計論」
新井清光著 中央経済社
「新訂 現代会計学」
中村 忠著 白桃書房

経	原価計算論	経	選択必修 通4単位	山 田 寛
23				

〔講義目的・テーマ〕

原価計算は、企業における財・用役の生産的消費のプロセスを、原価の流れとして価値的に把握し、与えられた目的に応えるかたちで、原価を組織的かつ継続的に分類・測定・集計・分析し、その結果を報告する一連の手続体系である。

本講の目的は、製造企業で採用される原価計算が、どのような構造をもち、いかなる機能を遂行しているかについて、体系的に認識することにある。

原価計算は、今日の経済社会において、さまざまな目的に応える計数的手段として広範囲な適用領域を示している。ここではそれらの目的のうち、財務会計と経営管理目的とに注目し、それぞれ固有な原価計算の諸方法の特徴を浮き彫りにしていきたい。

〔授業計画と内容〕

- 一前期一
 1. 原価計算の課題
 2. 原価の費目別計算
 - (1)材料費の計算
 - (2)労務費の計算
 - (3)経費の計算
 3. 原価の部門別計算
- 一後期一
 4. 個別原価計算
 5. 総合原価計算
 6. 標準原価計算
 7. 直接原価計算
 8. 意思決定のための原価計算

〔履修のポイント・注意点〕

教科書は指定するが、教科書だけを教えるつもりはないから、積極的に講義に参加すること。

〔成績評価の方法〕

- ・テスト 年2回（定期試験期間中）
- ・講義への取り組み姿勢

〔使用テキスト〕

「原価計算・工業簿記の基礎」
小川 洵・小澤康人編著 創成社
「原価計算・工業簿記の基礎・問題集」
小川 洵・小澤康人編著 創成社

〔指定参考図書〕

「経営原価計算論」 櫻井通晴著 中央経済社
「管理会計要説」 武田安弘編著 創成社

経	工業簿記	経	選通4単位	小谷利一
24				

〔講義目的・テーマ〕

工業経営の諸活動は工業固有の製造活動と商業経営と共通する購買・販売・財務活動の2つに分けられる。この2つの活動のうち、前者を内部活動（内部取引）といい、後者を外部活動（外部取引）というが、工業簿記はこれら内・外両活動を同時に計算・記録する複式簿記体系であり、ここに工業簿記の特徴がある。

また、工業簿記は、製品の製造活動すなわち内部活動に要した費用である製品の製造原価の計算制度としての原価計算制度をとり入れた完全工業簿記ととり入れていない不完全工業簿記（商的工業簿記）に分けられる。

本講義では、原価計算の基礎的な計算技法を習得するとともに、原価計算制度がいかに複式簿記に組み込まれ完全工業簿記を構成し、会計本来の情報提供機能を遂行しているかを理解することを目的としている。

〔授業計画と内容〕

- 4月～5月：原価と工業簿記の勘定組織
 材料費の計算と記帳
 労務費の計算と記帳
- 6月～7月：経費の計算と記帳
 製造間接費の計算と記帳
 部門別計算と記帳
- 9月～10月：個別原価計算と記帳
 総合原価計算と記帳
 製品の受払と販売費および一般管理費の計算と記帳
- 11月～1月：工場会計の独立
 標準原価計算と記帳
 直接原価計算と記帳
 決算手続

〔履修のポイント・注意点〕

授業中に計算練習を行うため受講者は電卓などの計算器具を必ず持参すること。また、受講者は、「原価計算論」を履修すること。

〔成績評価の方法〕

出席を重視し、前期・後期の定期試験の結果によって評価する。

〔使用テキスト〕

「段階式新ワークブック 2級工業簿記」
 岡本 清監修 税務経理協会

〔指定参考図書〕

「現代工業簿記」 小川 洌、渋谷武夫共著
 税務経理協会

経	管理会計論	経	選通4単位	小谷利一
25				

〔講義目的・テーマ〕

企業会計は、財務会計と管理会計の2つの領域に区分されるが、後者の管理会計は、企業の経営管理を有効かつ能率的に遂行するために、必要な会計情報を経営者・管理者に伝達する機能的側面を言う。

この管理会計的な機能なくして、経営者等が、適切な意思決定を下し、適切な経営計画を立案し、遂行して行くことは不可能と言える。言い換えれば、この機能なくして、企業経営は成り立たないと言っても、決して過言ではない。

本講義は、管理会計を体系的に理解するとともに、計数面から企業経営を考えることを目的としている。

〔授業計画と内容〕

本講義は、次に示すとおり、管理会計を基礎概念、利用領域、そして技法の3つの分野に区分して行っていく。

- 4月～5月：管理会計の基礎概念…管理会計の本質・目的・体系について
- 6月～7月 管理会計の利用領域…利益計画・予算管理・原価管理・資金管理について
- 9月～10月 管理会計の技法(1)…予算会計・標準原価計算・直接原価計算について
- 11月～1月 管理会計の技法(2)…CVP分析・特殊原価調査・経営分析について

〔履修のポイント・注意点〕

本講義の受講者は、「財務会計論」および「工業簿記」もしくは「原価計算論」を履修することを必要とする。

〔成績評価の方法〕

出席を重視するとともに、期末試験の結果によって評価する。

〔使用テキスト〕

「現代管理会計論（改訂版）」
 吉田弥雄著 同文館 （予定）

〔指定参考図書〕

「会計学基礎講座4 管理会計の基礎知識」
 岡本 清編著 中央経済社

「現代管理会計論」
 青木茂男著 国元書房

経	簿記各論	経	選通4単位	青山米蔵
26				

〔講義目的・テーマ〕

簿記各論中級簿記は、一年次に履修する簿記原理において、一応日商検定3級程度の実力を有する者を対象として、日商簿記検定2級の資格を取得させることを目的とする。

〔授業計画と内容〕

- 第1週
- 第2週
- 第3週 会社会計、株式会社の資本金、決定準備金、剰余金、社債など
- 第4週 有価証券取引
- 第5週
- 第6週 棚卸減耗と商品評価損
- 第7週 繰延資産取引
- 第8週
- 第9週 引当金
- 第10週
- 第11週 収益・費用の繰延と見越
- 第12週
- 第13週
- 第14週 精算表の作成・練習問題
- 第15週
- 第16週 固定資産取引
- 第17週 偶発債務
- 第18週
- 第19週 手形取引
- 第20週
- 第21週
- 第22週 本支店会計
- 第23週
- 第24週
- 第25週 本支店合併財務諸表の作成
- 第26週
- 第27週
- 第28週
- 第29週 帳簿組織

〔履修のポイント・注意点〕

簿記各論中級簿記の履修者は、日商検定2級の受験準備として、工業簿記（原価計算）もあわせて履修すること。

〔成績評価の方法〕

成績は前期・後期の定期試験によって判定する。再試験も行なう。

〔使用テキスト〕

「講座中級商業簿記」
富岡幸雄著 税務経理協会

〔指定参考図書〕

「簿記概論」 井上 清著 有斐閣
「最新簿記講説」 染谷恭次郎著 成文堂

経	税務会計 (法人税法)	経	選 2単位	小 柏 喜 久 夫
27				

〔講義目的・テーマ〕

納付税額を算定するためには、企業会計によって計算された利益を、税法の規定に従って調整し、所得金額を計算しなおさなければならない。この立場から行われる調整を税務調整という。本講義では、特に法人企業の税務調整を中心に、税制の公平・公正なあり方という視点から講述し、日常の取引から申告までの手続きを、具体的な実例による申告書の書き方をも含めて解説する。

〔授業計画と内容〕

1. 税と税法
2. 法人税法の概要
3. 益金の額の計算
4. 損金の額の計算
5. 税額の計算
6. 申告と納税

〔履修のポイント・注意点〕

授業の中で紹介する事例等から、学習する計算技術が現実の制度としてどう生かされているのかを考えながら受講されたい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「基本法人税法」 渡辺淑夫著 税務経理協会
を予定している。

〔指定参考図書〕

経	統計学概論	経	選通4単位	沖 津 直
28				

〔講義目的・テーマ〕

現代は情報化社会です。政治、経済、経営その他あらゆる分野の多くの情報が、マスコミを通じて毎日、社会に報道されています。また、政府、官庁、企業、研究所などでも、多くの業務統計や実験データが収集され、それらをもとに、政策、意志決定、予測がおこなわれている。この情報化の傾向は、今後ますます拡大化され、精密化されて普及していくものと思われる。たとえば、東京はいまニューヨークと並んで世界の情報センターの拠点になりつつあります。世界的な金融、証券、法人企業などが、東京に事務所を確保し、各国からの情報を集めています。

情報化社会とは、いうまでもなく情報そのものが最も重要な役割をはたし、かつ価値をもつ社会なのです。情報を征する者が世界を征すると言っても過言ではありません。現代に生きるわれわれとしては、情報の読み方・考え方を修得し、コンピュータと関連させて情報処理の技術を習得しておきたいところであります。

〔授業計画と内容〕

この授業では、まず収集されたデータをどういうふうに整理し、生かしていくかを学んでいきます。特に経済や経営を学ぶ学生にとって、統計的考え方や統計的手法は、経済や経営データを生かすためにも、不可欠なものとなっています。具体的な内容は、次のようになります。

1. 資料の整理
2. 平均、散らばりの概念
3. 確率
4. 確率分布
5. 標本分布
6. 統計的推定
7. 統計的検定
8. 回帰、相関分析

〔履修のポイント・注意点〕

内容は積みあけになっています。毎回、コンスタントに学習することが重要です。そのため、毎週宿題や練習問題を解いて、正確に理解することが大切です。したがって、欠席をせずコンスタントに学んでいく気持ちが要求されます。

〔成績評価の方法〕

基本的には年2回の定期試験の結果。学習態度や出席状況も加味する。

〔使用テキスト〕

開講時に指示します。

〔指定参考図書〕

「統計学」 山根太郎著 東洋経済新報社
「初等統計学」 P. G. ホーエル 村上・浅井訳 培風館

経	コンピュータ概論	経	選通4単位	星 法 子
30				

〔講義目的・テーマ〕

今日コンピュータのハードとソフトの目覚ましい発達、OA化やFA化が進展し企業をはじめとして家庭にも急速に及んでいる。このような高度情報化社会の到来に、主体的に対応するためには、コンピュータの知識は不可欠である。こういった視点にたつて本講義では、コンピュータとその利用に関する知識を学習しコンピュータの役割を理解するとともに、積極的な態度で利用する技術を身につけるための基礎的なプログラミングを行う。さらに企業における具体的な電子計算機の利用方法についても言及する予定である。

〔授業計画と内容〕

- 前期 コンピュータの基本構成
プログラミング（BASIC）
- ・データの入出力と繰り返し
 - ・四則演算
 - ・条件の判断
 - ・データの集計と平均
 - ・最大値と最小値
 - ・回数判定
- 後期 表計算ソフト（Lotus 1-2-3）
- ・ワークシートの作成
 - ・グラフの作成
 - ・情報の検索
- 図形ソフト（花子）
- ・図形の描き方
 - ・文字の入力

〔履修のポイント・注意点〕

各自フロッピー・ディスクを1枚用意すること。

〔成績評価の方法〕

出席重視。各期末試験および課題の成績により評価する。

- 前期 筆記試験
後期 実技試験

〔使用テキスト〕

名取龍彦他著 「はじめてのLotus 1-2-3 R2. 4J」
秀和システムトレーニング
他にプリントを配布する。

〔指定参考図書〕

経	コンピュータ概論	経	選通4単位	波 川 美 紀
30				

〔講義目的・テーマ〕

現代の情報化社会においては、いかにして情報をたくみに処理して行くべきかという事が必然的な課題となつて来ました。そのためのコンピュータの利用方法が、重要視されるのは当然のことと云えましょう。

そこで本講義では、まず「事務処理におけるコンピュータの活用」を中心に表計算ソフト Lotus 1-2-3を学習し、次にBASICのプログラミングを学習したいと思います。

〔授業計画と内容〕

Lotus 1-2-3については

1. 合計と平均の計算
2. 並べかえ
3. 関数
4. グラフ
5. 表の併合
6. データベース

BASICについては

1. 四則演算
 2. 繰り返し処理
 3. 印刷
 4. 関数
 5. 配列
- 等を学習します。

〔履修のポイント・注意点〕

「ファイルとは？」ということ念頭において取り組んでみて下さい。

〔成績評価の方法〕

課題に対しての取りくみ方・出席率・きめられた提出物・学年末試験等により評価します。

〔使用テキスト〕

テキスト等に関しては授業開始時に指示します。

〔指定参考図書〕

経	コンピュータ応用論 (BASIC)	経	選通4単位	紙 屋 英 男
37				

〔講義目的・テーマ〕

コンピュータ応用論 (BASIC) では、1年次に習得したBASICの知識やプログラミングをさらに深く追求します。BASICのプログラミングをとおしてフローチャート (流れ図) の描き方、アルゴリズムの考え方やシステム設計の手法などを学びます。

プログラミングは、①問題を明確にする②フローチャートを描く③プログラムの作成④プログラムのテスト⑤プログラムのデバッグ、を行うことです。できるだけ簡単なBASICのプログラムを数多く組んでプログラミングの考え方を身につけるようにしましょう。

〔授業計画と内容〕

1. 1年次の復習
2. ループ変数
3. 一次元配列
4. データを読む (READ~DATA)
5. メニューの作成
6. データの並べ替え (ソート)
7. サブルーチンの使い方
8. 二重ループ
9. 二次元配列
10. 二次元配列の応用
11. シーケンシャルファイルⅠ
12. シーケンシャルファイルⅡ
13. ランダムファイルⅠ
14. ランダムファイルⅡ

〔履修のポイント・注意点〕

BASICは毎回毎回の積み重ねだから、欠席するとわからなくなってしまうので休まないこと。授業が終わったら復習をして欲しい。

〔成績評価の方法〕

成績は前期、後期の2回のテストと出席、課題の結果から総合的に判断します。

〔使用テキスト〕

開講時に指示します。

〔指定参考図書〕

「BASICプログラミング入門」
日本DEC教育部編 共立出版

経	コンピュータ応用論 (FORTRAN)	経	選通4単位	紙 屋 英 男
37				

〔講義目的・テーマ〕

コンピュータ応用論 (FORTRAN) では、FORTRANの初歩から始めます。数多くの簡単なプログラムを組むことによりFORTRANをマスターできるようにします。FORTRANは科学技術計算用に開発された言語であり、BASICに近い言語です。コンピュータ概論を受講された諸君はとつきやすい言語だと思います。私たちが日常使用している数式にできるだけ近づけようという目的で使われています。FORTRANはソース (原始) プログラムを入力したのち、オブジェクト (目的) プログラムにコンパイル (翻訳) しなければならないので、最初戸惑うかもしれませんが、慣れればやさしいことに気づくでしょう。

〔授業計画と内容〕

1. FORTRANとは
2. 四則演算、判断と分岐
3. 繰り返し文の使い方
4. 配列
5. 文字処理
6. サブルーチン処理
7. 関数
8. 2次元配列
9. 応用プログラム

〔履修のポイント・注意点〕

初歩から応用まで積み重ねの連続だから欠席しないこと。授業で習ったことは復習をして欲しい。

〔成績評価の方法〕

成績は前・後期の2回のテストと出席、課題の結果から総合的に判断します。

〔使用テキスト〕

「学生のためのFORTRAN JIS上位水準による」
東京電機大学出版局

〔指定参考図書〕

「MS-FORTRAN Ver.5.1 入門」
黒瀬能幸著 啓学出版

経	コンピュータ応用論 (BASIC)	経	選通4単位	樋口和彦
31				

〔講義目的・テーマ〕

コンピュータをある程度自由に活用できるようにすることも本講義の目的ではあるが、より大きな目的は、意思決定のプロセス、決定のアルゴリズムをコンピュータを利用した意思決定を通して理解することである。

〔授業計画と内容〕

1. 1年次で修得した、コンピュータに関する知識・技術（プログラミング）を確認し、体系的に見直してみる。
2. データのコンピュータによる蓄積の方法を考えてみる。ファイル・ベースとはどういうことなのか？データ・ベースとはどういうことなのか？
3. データを情報に変換するにはどうしたら良いのか？情報処理の手順とは？
4. 意思決定のプロセスとは？

〔履修のポイント・注意点〕

知的好奇心をおおいにもって、積極的に取り組んでほしい。関連科目として、情報処理論、情報科学、経営数学、統計学などが考えられるので、それらと合わせて学習していくと効果的である。

皆さんと相談の上決定するが、BASIC/98PRO, Visual Basicと簡易言語のコンピュータ言語を中心にすることを予定している。

〔成績評価の方法〕

継続的かつ積極的な学習への取り組み姿勢を中心にみていく。情報処理関連の各種の資格取得に向けてのチャレンジにも期待する。

〔使用テキスト〕

テキスト等に関しては、授業開始時に指示する。

〔指定参考図書〕

各テーマの学習にとって、効果的と思われる文献、資料はその都度指示していく。

経	コンピュータ応用論 (BASIC)	経	選通4単位	渋川美紀
31				

〔講義目的・テーマ〕

本講義では、概論で学んだ事柄をもとにして、コンピュータを実社会・実生活で活用していくために事務処理を中心としたプログラミングの学習をします。例題をもとにプログラムを作成する演習形式中心で行いますが、演習問題を数多く解くことによってプログラミングのノウハウを身につけて下さい。また、それに加えて、グラフィックや簡単なゲームの作成も学習したいと思います。

〔授業計画と内容〕

1. 配列
2. 関数
3. サブルーチン
4. ファイル
5. グラフィック

〔履修のポイント・注意点〕

例題のプログラムをよく理解し、各自のプログラム作成時に応用できるようにする。

〔成績評価の方法〕

課題に対しての取りくみ方・出席率・きめられた提出物・学年末試験等によって評価します。

〔使用テキスト〕

テキスト等に関しては、授業開始時に指示します。

〔指定参考図書〕

経	コンピュータ応用論 (COBOL)	経	選通4単位	渋川美紀
31				

〔講義目的・テーマ〕

COBOLは、事務処理用の言語として開発されたプログラミング言語です。コンピュータによる事務処理を構築するために広く利用されています。以前は汎用コンピュータやオフィスコンピュータなどでのみ使用されてきましたが、最近ではパソコンでも利用できるようになりました。

本講義では、パソコンを使って、例題を参考にしながらプログラムを作成する形で行っていきます。

〔授業計画と内容〕

1. 基礎知識
2. 改ページ処理
3. グループ別集計処理
4. テーブル処理
5. マッチング処理

〔履修のポイント・注意点〕

例題のプログラムを模倣するだけでなく、よく理解して、自分のプログラムを作成できるようにして下さい。

〔成績評価の方法〕

課題に対しての取りくみ方・出席率・きめられた提出物・学年末試験等により評価します。

〔使用テキスト〕

テキスト等に関しては授業開始時に指示します。

〔指定参考図書〕

経	コンピュータ会計	経	選通4単位	星法子
32				

〔講義目的・テーマ〕

企業会計は、情報利用者が会計情報をリアルタイムに入手し迅速な意思決定が経営戦略として重要な要素となる。本講義においては、プログラミングの構築をとおして会計システムのなかで帳簿組織とコンピュータ利用とがどのように関係しているのかを学習し、併せて経営活動に関する会計情報を合理的に処理する能力の育成の視点にたった展開を試みる

〔授業計画と内容〕

- 4月 仕訳の処理
 - ・全体のシステム設計
 - ・仕訳帳のプログラムの設計
 - ・期首試算表の作成
- 5月 期中仕訳表の作成
- 6月 仕訳データの修正
- 7月 期首仕訳表の作成
- 9月 期末試算表の作成
- 10月 決算手続
- 11月 元帳の作成
- 12月 会計ソフトの基礎
- 1月 会計ソフトの応用

〔履修のポイント・注意点〕

各自フロッピー・ディスクを1枚用意すること。

〔成績評価の方法〕

自作のプログラムの提出と筆記試験の成績により評価する。

〔使用テキスト〕

プリントを配布する。

〔指定参考図書〕

経	経営数学	経	選通4単位	奈良治郎
34				

〔講義目的・テーマ〕

現代のように、変化とスピードそして豊かな創造性が要求される時代では、仕事全体の見通しをあまりなくとらえ、諸々の活動を合理的かつ敏速に調整することが必要である。したがって、この時代の経営学部の学生は、経営学の基礎知識と共に経営科学に関する知識を習得せねばならない。しかし経営科学と言っても、線形計画法、ゲームの理論、待ち行列の理論、意志決定論など膨大な内容を含んでいるので、これら全部を対象に講義することはできない。

本講義は、むずかしい数学を使用せずに、経営科学に含まれる重要な科学的手法で、多くの要因が複雑に影響する問題の管理と決定の両面について述べる。

〔授業計画と内容〕

管理の問題に関する講義は、日程を時間軸に合わせて管理する強力な手法であるPERT(パート:Program Evaluation and Review Technique)を取り上げる。

決定に関する講義は、情報を有効に活用して、科学的に意志決定する主な手法を対象に、必要最小限の数学的な知識を用いて行う。

講義内容については、使用するテキストの目次から推定して欲しい。

「PERTのはなし」

効率のよい日程の計画と管理

目次

1. カント氏の日程管理
2. PERTを使うためのお膳立て
3. ○と→を使って絵をかこう
4. たし算とひき算で計算しよう
5. 絵と計算結果を使いこなそう
6. 3つの数値を全部使おう
7. 山があつたらくすしていこう
8. PERTにお金をからめてみよう
9. 安い費用で短縮しよう
10. PERTを楽しく使ってみよう

情報化時代の意志決定

「決定のはなし」

目次

基礎編

プロローグ

1. 決定とは
2. 決定の機構
3. 決定の道筋の整理
4. 確率の基本的な考え方

5. 効用を決める標準賭

6. 決定の樹

7. 情報の値段

8. 決定の基準

9. 基礎編のまとめ

実用編

10. 決定に数学モデルを使ってみる

11. 戦略的な決定(ゲームの理論入門)

12. あいまいさを含んだ決定

13. 決定のやり方を身につける

〔履修のポイント・注意点〕

1. 私語をしないこと
2. 復習を十分にすること

〔成績評価の方法〕

前、後期の期末試験と前、後期の中間試験(予定)の全体の結果を用いて、総合評価する。

〔使用テキスト〕

「PERTのはなし」

柳沢 滋著 日科技連1,450円

「決定のはなし」

斉藤嘉博著 日科技連1,450円

〔指定参考図書〕

「PERT・CPM(ライブラリー11)」

関根智明著 日科技連3,000円

「計画の科学(BLUE/BACKS)」

加藤昭吉著 講談社560円

「意志決定論入門」

木下栄蔵著 啓学出版2,700円

「グラフィック意志決定法」

大前義次著 日科技連3,500円

経	管理工学	経	選 2 単位	栗田健太郎
35	—技術産業論—			

〔講義目的・テーマ〕

日本が第二次世界対戦の敗戦から立ち直り昨今の産業社会の発展を遂げたことは素晴らしいものである。これはわが国の官民協力、そして経営者と労働者の協力で成し遂げられた経済成長の賜物である。しかしいま日本産業社会はいざなぎ景気と平成景気のアトそのバブル経済の破綻により未曾有の厳しい状況下におかれており、これからの脱却を目指して懸命の努力がおこなわれている。

そもそも我々が生きている現在の社会は産業活動をその基盤としており、またそれは科学・技術に支えられた生産活動に依存している。近年産業技術の進歩、発展は急速で且つ目覚ましいものがあり、その為、産業形態も時々刻々変わってゆくものである。

経済、経営を学びこれからの産業社会で活躍せんとする若い人は、時代を動かし地球社会を変える可能性のある産業技術についてマクロの理解を深め、その変化の動向についての洞察力を身につけることは大変重要なことである。

本講義においては産業技術が政治、経済、社会とどのように関わり、そして新しい技術が産業社会に及ぼす影響、実態などについて解説を行い、産業社会で活躍するための基礎知識を身につけることを目指すものである。

〔授業計画と内容〕

- 1：技術と経済の関連概要
- 2：企業経営の基本
- 3：日本の産業社会概要
- 4：日本経済の成長
- 5：米国、アジア、E C 諸国との経済協調
- 6：地球環境問題
- 7：エネルギー問題
- 8：基幹産業（鉄鋼・自動車・情報など）の発展経緯および今後の推移
- 9：企業経営問題（経営者の責任、品質管理、研究開発、OR など）
- 10：新しい産業展望

〔履修のポイント・注意点〕

- 1) 指示した事項・内容の予習
- 2) 講義内容をキーワードで整理し記録をとる
- 3) 教科書への書き込み
……教科書は汚されるためにある
- 4) 色鉛筆などで教科書・配布資料の重要項目・事項をマークする。
- 5) 礼節の順守……居眠り・私語は厳禁
- 6) 新聞・テレビなどの関連情報を積極的に活用する
- 7) 数字の加算・乗除の計算能力向上

〔成績評価の方法〕

期末に行う筆記試験の成績により評価する。

〔使用テキスト〕

「全予測 日本1995」

三菱総合研究所編 ダイアモンド社1,700円

〔指定参考図書〕

「日本産業 21世紀へのトレンドを読む」

竹内 宏・嶋村浩二編 有斐閣3,296円

「2000年への技術戦略」 野村総合研究所編

NR I 野村総合研究所2,000円

「新・技術経営論」

山之内昭夫著 日本経済新聞社2,000円

「日本産業 21世紀の主役」

日本興業銀行産業調査部編 日本経済新聞社
2,400円

経	マーケティング論	経	選択必修 通4単位	藤井信之
36				

〔講義目的・テーマ〕

企業経営には、生産、研究開発、マーケティング、財務、労務、その他の機能があるが、意思決定においては、そのいずれかに重点がおかれる。いずれに重点をおくかは企業をとりまく環境条件やトップマネジメントの考えにより決定される。マーケティング重視への傾向が顕著な近年では、消費者志向によるマーケティングを意思決定の基礎として、企業の存続と成長を図ろうとするマーケティング理念が定着しつつある。

本講座では、この理念に基づくマーケティング戦略について講義していく。

〔授業計画と内容〕

予定している内容は以下の通り。

前期：(1)マーケティングの概念

(2)マーケティング理念と戦略

(3)マーケティングと消費者

(4)製品の計画

(5)価格の決定

後期：(6)販売経路の設定

(7)物的流通システム

(8)マーケティング・コミュニケーションと広告

(9)販売員活動

(10)マーケティングと社会

〔履修のポイント・注意点〕

1 時限分の内容が多いので、欠席をしないように。

〔成績評価の方法〕

出席、試験および提出物により評価する。

〔使用テキスト〕

授業時にプリントを配布する予定。

〔指定参考図書〕

後日指示する。

経	国際取引論	経	選択必修 通4単位	塚越千由
37				

〔講義目的・テーマ〕

1980年代以降のわが国の貿易は対外黒字が顕著となり、諸外国に対し著しい貿易不均衡を呈するまでに成長してきました。政府は厳しい対外的な国際批判を受けて、それまでの輸出奨励策から、一転して内需拡大、産業構造の調整等の政策を打ち出し、それに伴いわが国の国際ビジネスの方向にも急激な変化が生じてきました。しかし、貿易摩擦緩和のため輸入を拡大することになっても、輸入のための外貨は輸出によってしか得ていかざるをえません。天然資源の乏しいわが国にとっては、やはり貿易立国の道を歩むほかに術はないのです。

また世界経済の中で、日本の果たす役割はますます大きくなってきました。先進自由主義7か国の中でも、日本の役割はアメリカについて大きいといえます。さらに、旧ソ連や東欧諸国の自由主義経済化によって、日本の世界経済に及ぼす影響力は今後ますます大きくなっていきます。

現在のビジネス社会では国際的な取引関係を考えることなしに、国内取引を独立して行うことは現実にはありうることではないといつていいでしょう。

国際取引はいわゆる貿易商社によってのみ行われるのではなく、メーカー、銀行、保険会社、運送会社等すべての業種に関係しています。現在ではメーカー直接による輸出取引額は輸出総額の50%以上になっていますし、海外直接投資も円高を反映して、大企業、中小企業を問わず飛躍的に増大しています。このような状況にあつて今後ビジネスの社会に出て行こうとする者は、国際取引に関する知識を有していることが望まれています。

〔授業計画と内容〕

国際取引を行う場合に基本的に考えなければならない企業理念と、その具体的な展開である国際マーケティングについて検討し、国際取引を正しく軌道に乗せるための基本的な指針を示します。

さらに、海外参入市場の選定や取引先の開拓と流通活動の活性化を中心として、どうすれば国際取引をより発展させ、企業を繁栄に導くことができるかについて具体的な事例をあげて詳述したいと思います。

国際取引の業務を中心として、輸出や輸入を実際に行うためには、どのような過程をふみ、どのような実務をすれば良いのかについて、わかり易く解説します。

複雑で多岐にわたる国際取引のすべてについて、その初めから、極めて奥深いところまで、一体何が問題となっているのか、またそれを解決するためにはどうすればよいのかという具体的な問題意識をもって取り

経	保 險 論	経	選 2 単位	棚 田 良 平
38				

組んでいきたいと思っています。

講義内容は下記の通りです。

4 月 国際取引の基礎概論

- (1) 国際取引および国際的企業活動の態様
- (2) 国際収支の推移
- (3) わが国国際取引の現状と課題

5 月、6 月 外国為替

- (1) 外国為替の定義、特質、種類
- (2) 外国為替市場、外国為替取引
- (3) 外国為替相場、為替相場決定理論
為替相場変動要因、為替相場変動の影響

7 月、9 月、10 月 国際マーケティング

- (1) 輸出マーケティング計画
輸出マーケティング調査、目標市場の選定
- (2) 輸入マーケティング計画
輸入マーケティング調査、輸入チャネル、輸入品の流通
- (3) 中小企業の国際取引戦略、地場産業と貿易

11 月、12 月、1 月 国際取引の実務

- (1) 貿易条件 (CIF, FOB 他)
- (2) 売買条件 (品質、数量、価格、船積、保険、決済、クレーム)
- (3) 国際貨物運送、海上保険
- (4) 貿易保険、貿易金融
- (5) 輸出入取引手続

〔履修のポイント・注意点〕

テレビ、新聞などを通じ、国際社会と日本との関係、特に日本のビジネスの国際社会における活動に注意を払い、どのような現状を呈し、問題点が生じているかを常に考えて欲しい。

授業中の私語を厳禁します。

〔成績評価の方法〕

前期レポート

後期テストまたはレポート

〔使用テキスト〕

使用しない。

〔指定参考図書〕

「テキストブック貿易実務」 来住哲二編 有斐閣

「貿易の実務」 石田貞夫著 日本経済新聞社

「外国為替の知識」

東京銀行調査部編 日本経済新聞社

〔講義目的・テーマ〕

保険は、大別して非定額保険（損害保険）と定額保険（生命保険等）に分かれる。両者はさまざまな点で異なるので、それぞれ別個に概説する。

〔授業計画と内容〕

(1) 保険の仕組

(2) 損害保険

① 損害保険金が支払われるための諸条件

(イ) 保険事故 (ロ) 損害 (ハ) 事故と損害の因果関係

(ニ) 保険の目的 (ホ) 被保険利益 (ヘ) 保険期間

(ト) 諸義務（告知義務、通知義務、損害防止義務等）

(チ) 免責事由

② 損害保険金はだれに、いくら支払われるか

(イ) 一部保険 (ロ) 超過保険 (ハ) 重複保険

(ニ) 全部保険

(3) 生命保険

① 生命保険金（生存保険金・死亡保険金）が支払われるための諸条件

② 生命保険金（生存保険金・死亡保険金）はだれに、いくら支払われるか

(イ) 保険金受取人指定 (ロ) 相続

〔履修のポイント・注意点〕

(1) 毎回出席をとる。

(2) オシャベリを禁止する。

〔成績評価の方法〕

(1) 試験はノート・テキスト・参考書等すべて持込可。

(2) 出席を重視する。

〔使用テキスト〕

棚田良平著「保険契約法入門」 保険毎日社

〔指定参考図書〕

指定しない。

経	証券市場論	経	選 2単位	本 荘 康 生
39				

〔講義目的・テーマ〕

証券市場とは、企業、家計、政府といった経済主体が活動に必要な資金を調達したり、手持ちの資金を運用したりする場であり、広義の金融市場の一環をなすものである。したがって、証券市場についての理解を深めるためには、金融に関する知識、さらには経済全般に関する知識の修得を必要とする。

本講座では、まず、「証券」について詳しく説明する。次に、証券が取引される場である証券市場を、広義の金融市場のなかで機能しているものとしてとらえ、その役割、特徴について論じる。特に証券市場で、その中心として活動している証券取引所および証券会社に関して十分な説明を行う。

また、近年、経済が急速に国際化を進めるなかで、金融、証券といった分野も、その影響を強く受けるようになってきている。金融、証券の国際化の問題は、今後ますます重要性を増すものであり、これについても論じる予定である。

〔授業計画と内容〕

- 第 1 週 証券市場とは何か
- 第 2 週 証券発行市場〔1〕（国債の発行）
- 第3・4週 証券発行市場〔2〕（社債、株式の発行）
- 第 5 週 証券流通市場〔1〕（市場に関係する機関）
- 第6・7週 証券流通市場〔2〕（株式流通市場）
- 第8・9週 証券流通市場〔3〕（株式の指標について）
- 第10・11週 証券会社について
- 第 12 週 証券市場の国際化

〔履修のポイント・注意点〕

証券市場を理解するには現実の金融、経済の知識が不可欠です。日本経済新聞を読む習慣をつけて下さい。

〔成績評価の方法〕

最終の授業で試験を行います。出席と試験により成績を評価します。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

大蔵省証券局総務課長編『日本の証券市場』
財経詳報社

経	流通経済論	経	選 2単位	藤 井 信 之
40				

〔講義目的・テーマ〕

我が国の流通は90年代に入り、急激な構造変化を遂げつつある。この背景には、日米構造協議を契機とする市場開放要求、若年層の価値観の変化や女性の社会進出などを要因とする消費の多様化、マーケティングの進歩などがある。これらの要因が複雑にからみあって、流通業界において競争の激化、それに伴う構造変化が起こっている。

本講座では、我が国の最近の流通実態を分析しつつ、流通企業、政策当局や自治体の持つ問題について論じていく。

〔授業計画と内容〕

予定している内容は以下の通り。

- 前期：(1)経済における流通のもつ意義
- (2)流通機構の構造変化
- (3)流通業の日本的特徴
- (4)流通革命
- 後期：(5)流通業における経営革新
- (6)流通業と価格
- (7)流通業と流通政策

〔履修のポイント・注意点〕

対象は日々変化している。講義ではその一部をカバーするにすぎない。新聞・雑誌等の記事に注意すること。

〔成績評価の方法〕

出席、試験および提出物により総合的に評価する。

〔使用テキスト〕

授業時にプリントを配布する予定。

〔指定参考図書〕

後日指示する。

経	ビジネス・コミュニケーション論	経	選 2単位	塚 越 千 由
41				

〔講義目的・テーマ〕

「書きことば」と「話しことば」によるビジネス・コミュニケーションのための文章構成法の原理、理論を研究します。同時にこの原理、理論をさまざまな実際のビジネス交渉にいかにも効果的に適応させていくかを、ケーススタディ等を通じ検討します。

ビジネスの場の文章は、客観的事実に基づく情報の伝達を目的としたものが中心です。事実に基づいて交渉説得し、対立する利害を合意させたり、一定のビジネス目標を達成させるためにコミュニケーションするのです。このようなビジネス・コミュニケーションのための文章は必ずしも個性的である必要はなく、情報が正確に盛り込まれていることが第一の条件となります。そのためにビジネス・コミュニケーションには一定の型（原則）があります。その型に事実についての情報をのせると、ビジネス・コミュニケーションのための文章となるわけです。ビジネス社会に出ていくためにはこの型の研究・習得が是非とも必要であると考えられます。

〔授業計画と内容〕

- 9月 ビジネス・コミュニケーションの原理
文章のリズム、読み易さ
- 10月 語の選択、文の組み立て
- 11月 文章の構成
- 12月 ビジネス交渉力の基礎理論、交渉戦略
- 1月 ケーススタディ

〔履修のポイント・注意点〕

授業は毎回例題を提示しそれを改作する練習を通じて効果的なビジネス文章の研究をするので、毎回出席できる学生の受講を希望します。

〔成績評価の方法〕

テスト

〔使用テキスト〕

ハンドアウトした教材を使用します。

〔指定参考図書〕

- 「考える技術・書く技術」
- 「続・考える技術・書く技術」
板坂 元著 講談社現代新書
- 「現代文の書き方」扇谷正造著 講談社現代新書
- 「文章工学―表現の科学―」樺島忠夫著 三省堂新書
- 「文章構成法」樺島忠夫著 講談社現代新書
- 「理科系の作文技術」木下是雄著 中公新書

経	金融論	経	選通4単位	本 荘 康 生
42				

〔講義目的・テーマ〕

今日の経済は、貨幣経済といわれている。我々が生活し、企業が事業を進めていく際に、俗に「お金」と呼ばれている貨幣が重要な役割を担っているからである。家計や企業といった経済主体の円滑な運営には十分な貨幣が必要なのである。しかしながら、すべての家計や企業がいつも十分なお金を持っているとはかぎらず、不足しているところもある。そのようなお金の不足しているところへ余裕のあるところから融通することが金融なのである。したがって、金融について深く理解するには、貨幣（お金）と融通という二つの側面からの研究が必要になる。

本講座では、まず貨幣について、その概念や性格およびそれが経済に与える影響等を究明する。次に、金融を制度面から理解するために、金融機関、金融市場について論じる。また、最近急速に進展している経済・金融の国際化を考慮して、国際金融の理論や制度についても説明する予定である。

〔授業計画と内容〕

1. 金融とは何か
2. 貨幣について
3. 貨幣の供給
4. 貨幣の需要
5. 貨幣的経済理論
6. 企業の資金調達
7. わが国の金融制度
8. 欧米諸国の金融制度
9. 中央銀行と金融政策
10. 金融の自由化
11. 金融の国際化

〔履修のポイント・注意点〕

金融について理解を深めるには経済学の基礎的な知識が必要です。初級の経済学のテキストを一読しておいて下さい。

〔成績評価の方法〕

最終の授業で試験を行います。また、夏期休暇明けにレポートを提出してもらいます。試験とレポートで成績を評価します。

〔使用テキスト〕

矢島保男・市川千秋・本荘康生著『金融と経済』
成文堂

〔指定参考図書〕

授業で指示する。

経	財 政 学	経	選 2単位	青 葉 暢 子
43				

〔講義目的・テーマ〕

みなさんは、「財政学」と聞くとどんなことを思い浮かべますか？ 財政学は、少し乱暴な言い方をすると、国や地方の政府の支出と収入について考えるものです。したがって、本講では、政府はどのようなモノとサービスを供給すればよいのか、また、政府がモノとサービスを供給するのに必要な財源をどのように調達すればよいのか、という問題を分かりやすく、そして面白く講義します。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 財政と財政学
- 第2週 公共財の供給
- 第3週 市場の失敗
- 第4週 所得再分配政策
- 第5週 所得税
- 第6週 法人税
- 第7週 消費税
- 第8週 税負担の公平性
- 第9週 効率的な税
- 第10週 税の転嫁と帰着
- 第11週 税制改革理論
- 第12週 公債

〔履修のポイント・注意点〕

興味を持てるテーマを最低1つは見つけて、それについて理解を深めるように努力して下さい。

〔成績評価の方法〕

期末に筆記試験を行い、各自の選んだテーマについて書いてもらいます。

〔使用テキスト〕

「リーディング・やさしい財政学」
古田精司著 中央経済社1,500円

〔指定参考図書〕

「図説 日本の財政平成6年度版」
東洋経済新報社2,000円

経	商 法	経	選択必修 2単位	棚 田 良 平
45				

〔講義目的・テーマ〕

民法は一般人に適用され、商法は企業に適用される。すなわち、商法は企業主体と企業活動に関する法である。これについて概説する。

〔授業計画と内容〕

- (1)企業主体
 - (イ)個人企業
 - (ロ)会社企業（株式会社、有限会社、合名会社、合資会社）
- (2)企業活動
 - 商事債権の特色、商事担保の特色、商事契約の特色等。

〔履修のポイント・注意点〕

- (1)毎回出席をとる。
- (2)オシャベリを禁止する。

〔成績評価の方法〕

- (1)試験はノート・テキスト・参考書等すべて持込可。
- (2)出席を重視する。

〔使用テキスト〕

未定

〔指定参考図書〕

指定しない。

経	民法	経	選 2単位	岡本幹輝
46				

〔講義目的・テーマ〕

日常生活の中では、毎日の買い物を始めとして隣近所とのつき合いのような些細なできごとから、家を建てたりそのための銀行からの借金や、さらには結婚や相続など個人の一生のうちでも滅多に起こらないことながらに至るまで、法律問題は常に発生しています。これら市民生活のトラブルの解決をとりしめるのが民法です。身近な事象からのアプローチで問題意識を持ちながら、法律を勉強していきます。

〔授業計画と内容〕

オーバー・ヘッド・プロジェクター（OHP）を用いた講義をします。席の前の方に着席するように心がけてください。

具体的には講義項目と内容は以下を予定しています。

- ・民法の位置づけ
- ・権利の主体（人）
- ・法律行為
- ・物権（占有権、所有権）
- ・担保物権（質権、抵当権）
- ・債権
- ・契約（売買、賃貸借、請負、委任）
- ・借地借家
- ・不法行為、製造物責任（PL）
- ・親族（婚姻、離婚、子）
- ・相続

〔履修のポイント・注意点〕

講義に出席することが理解への必要条件です。ぜひ、講義に出席してください。

日頃から問題意識を持って新聞を読むように心がけてください。読書する習慣も身につけることが必要です。

また、積極的に発言、議論することは自分の論理思考を高める重要な手段となることに留意してください。六法全書は携帯してください。

〔成績評価の方法〕

期末試験の成績。丸暗記では答えられないような問題の出しかたをします。判例にあたり、読書し、自分の考えをまとめて文章を構成する力を養ってください。

〔使用テキスト〕

特に指定しません。

〔指定参考図書〕

特に指定しません。市販の民法の解説書なんでも結構です。

経	商業英語	経	選通 4単位	塚越千由
47				

〔講義目的・テーマ〕

わが国をめぐる国際環境は大きく変化し、わが国の国際社会の一員としての果たすべき役割は増大しています。特に企業は国際化が要請され、グローバルな企業活動（商品貿易、サービス貿易、海外直接投資等）を展開しなければならなくなっています。現在のビジネス社会では国際的な取引関係と無関係に企業活動を行うことなど考えられなくなっています。

このような国際ビジネス社会においてコミュニケーションを図るためにはなんといつても英語を使用するのが一番でつとり早いといえます。現在国際ビジネスで用いられる言語は英語が最も多いからです。このような国際ビジネスの場における英語を学習します。

ビジネスの場における通信文はもとより、広告・宣伝、法律文書、技術文書、貿易関係書類などの、一切の文書・口頭によるコミュニケーションを英語を使って行うことを研究対象とします。

〔授業計画と内容〕

授業では時間的な制約から、一連の貿易取引に関するビジネス・レター（関係商用書類を含む）の内容の理解とビジネスの対応、ビジネス・センスの養成に重点をおいて行います。

- 4月 商業英語の特徴、貿易実務とビジネス用語
- 5月 貿易取引の流れ、海外取引先の発見、取引の申込み、引合い、引合いへの対応
- 6月、7月 取引条件の提示、取引条件の受諾、取引条件の反対申込み
- 9月、10月 注文、注文の受諾と謝絶、成約、信用状の開設と訂正
- 11月 契約履行（船積）、代金決済、苦情の処理
- 12月、1月 テレックス、ファクシミリ、国際電報、ビジネスレターの体裁

英語が必ずしも得意ではない学生にとつても、十分商業英語が上達するようになりやすく授業するつもりです。

〔履修のポイント・注意点〕

日本商工会議所商業英語検定Dクラス、Cクラスの合格を目標として下さい。

〔成績評価の方法〕

平常点および学年末のテスト

〔使用テキスト〕

「商業英語の構文」長野 格編著 南雲堂

〔指定参考図書〕

「貿易の実務」石田貞夫著 日本経済新聞社

経	時事英語	経	選通4単位	中村研二
48				

〔講義目的・テーマ〕

1. 新聞記事を読ませることによりcurrent Englishとの接触を保ち、比較文化的論評を加えることにより、彼我の文化の相違ならびにその理解を促す。
2. 語学的には、発想および表現の違いに重点をおきtranslationもいわゆる逐語約直訳を排して、原意をしっかりと把えること。また、何を訴えようとしているかを把握することに重点をおき、意味上・表現上最も近い日本語の発見に集中させ彼我双方のvocabularyの増大を期する。
3. 音読させることにより、耳から入る音声のみで話または文章の内容をそのまま扱えられるようPunctuationを中心とした読み方を指導し、聞き取りと話し方の能力増強へと導く。
4. 要約すれば、新聞記事を教材としてPractical Englishの習得の助成を行うことを眼目とする。“使える英語”の習得を目指すものである。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「週刊STJ」

但し、CopyをとりHand-outにして学生に配る。

〔指定参考図書〕

経	英会話	経	選通2単位	Thomas J. Stearns
49				

〔講義目的・テーマ〕

In this course, the focus will be on students communicating with each other to share ideas, experiences, and information in pairs or small groups. There will also be some listening activities and some short in-class writing activities. Hopefully, students will leave this course with the confidence and fluency to communicate with other speakers of English somewhat more freely than when they entered the course.

〔授業計画と内容〕

Examples of topics we may talk about and functions we may do are : Getting to know each other, sharing personal information

Describing other people like family, friends, and famous people

Describing places and things, like our homes, cities, and everyday objects Talking about likes and dislikes, and giving opinions

Making plans, inviting people to do things and to go places

Explaining locations and giving directions

Talking about our daily routines

Talking about the present, future, and past

Build dialogues around topics like shopping, restaurants, and telephoning

〔履修のポイント・注意点〕

Regular attendance is encouraged and expected. Three (3) consecutive unexcused absences and/or eight (8) or more absences will be unacceptable if a student wishes to receive credit for this course.

〔成績評価の方法〕

Grading will be based chiefly on attitude, participation, and attendance, each of them being of about equal value. We will probably have a final exam if there are more than twenty-five(25) students in the course.

〔使用テキスト〕

It will depend on how many students sign up for this course before I decide which textbook we will use.

Possibilities include : Firsthand Success (Helgeson, Brown, and Venning ; Lingual House), Team Up (Carrington ; Nacmillan language House), and Fifty-Fifty Book One (Wilson and Barnard ; Regents / Prentice Hall). Whichever book I use, it should cost between ¥1,500 and ¥2,000.

〔指定参考図書〕

No reference books from the library will be necessary for this course.

経 50	英文ワープロ	経	選 2単位	石 田 和 子
---------	--------	---	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

ワードスター（WordStar）7.0を使用し、その機能をマスターすることにより、より効率的な入力作業を学びます。授業の前半は、アルファベット・数字・主な記号を手元を見ずに入力できるよう、キーボード練習に重点を置きながら、ワードスターの初歩的機能練習を行います。後半はワードスターのより高度な機能学習を行いながら、より速くより正確な入力の修得を旨とします。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 ワードスターと「恵子先生」の操作
フロッピーディスクの初期化、連続紙印刷
- 第2週 指練習① 修正問題
- 第3週 ② レイアウト修正練習
- 第4週 ③ Dot Commandsによるレイアウト変更
- 第5週 ④ ブロック編集・ファイル操作等
- 第6週 ⑤ 検索置換
スプリングチェック、速度測定
- 第7週 ハイフン機能、表示の切り換え等
- 第8週 タブ機能、表の作成、単票印刷
- 第9週 レター基本形式・Style・Form・Paragraph margin
- 第10週 カラム（置換）モード、ソート、罫線
- 第11週 マクロ機能、ヘディング・フットイング等
- 第12週 Two-Page Letterの作成、差し込み印刷①
- 第13週 差し込み印刷②
- 第14週 パラグラフ・スタイル

〔履修のポイント・注意点〕

学習進度表に授業内容の詳細を記してあるので、予め読んで内容を理解しておくこと。毎時間の課題で授業中やり残したものは宿題として次の時限までに仕上げ、担当者より認印を得ること。年2回の日本商工会議所検定試験等の受験指導も行いますので、受験希望者は必ず早めに申し出ること。

〔成績評価の方法〕

毎回必ず出席をとり、試験結果と同様評価の対象とします。試験として、英文入力スピードの測定、作表、レター作成の実技を課します。

〔使用テキスト〕

担当者作成によるプリント集を使用します。

〔指定参考図書〕

松尾健著「新英文タイパー初歩から応用まで」

北星堂書店1,900円

（注）本書は昨年度まで補助教材として使用してきた。

経 51	秘書学	経	選 2単位	深 見 栄 一
---------	-----	---	-------	---------

〔講義目的・テーマ〕

一口に「秘書」と言ってもいろいろな種類があります。例えば企業のマネジメントに携わる人の秘書、団体の役員につく秘書、政治家の秘書、学者・研究者の秘書、弁護士などの個人的な職業の人の秘書等々があげられます。要は秘書の機能は「重責を持つ人物を補佐し、その業務を円滑化する」ことにあります。

こうした職業としてのいわゆる「秘書」を目指すか否かは別として、みなさんが卒業後にどんなところに就職して、どんな仕事を与えられても、また将来結婚して家庭に入ったとしても、社会人としてあらゆる立場で「秘書的知識」「秘書的要素」は常に要求されることになる筈です。

社会人として必要不可欠な常識、正しいマナー、正しい言葉づかい、正しい敬語、来客や電話の対応、慶弔の知識と作法、手紙の書き方等等、今まで家庭や学校でも習わなかった大人としての知識を身につけて卒業したいものです。

こうしたことを知らないままに社会に出た場合、思わぬ失敗をしたり、恥をかいったりするだけでなく、そのことが勤務先の企業そのものの評価を低落させることもあるのです。

本講では秘書になるための、あるいは秘書検定の資格を取得するための知識のほかに、より良い社会人、ナイスレディーになるための幅広い基礎的な常識や、更には当面必要な就職試験の受け方等も含めて、秘書検定3級～2級程度の内容を中心にビデオを見ながら解りやすく解説します。

講義テーマは「ナイスレディーになろう！」。

〔授業計画と内容〕

講義はビデオなどを使用しながら、次のような項目と内容で、ほぼ下記の通りのスケジュールで進める予定です。スケジュールは都合によって多少変更になることもあります。

第1回 全般的な講義の概要

秘書学に関する一般的な知識

組織の中での秘書

第2回 秘書の資質Ⅰ

秘書の心構え 補佐の範囲 信頼関係

周囲との協調 自己啓発 秘守義務

第3回 秘書の資質Ⅱ

秘書に求められる能力 処理能力

判断力 積極性 コミュニケーション

第4回 秘書の資質Ⅲ

身だしなみと人柄 良識と感性

経	国語表現法	経	選 2単位	粒 来 哲 蔵
52				

- 第5回 (特)就職試験の受け方
希望職種・業種の選び方 企業の将来性の
見方 面接試験の基本知識と礼儀
- 第6回 職務知識Ⅰ
秘書の機能と役割
- 第7回 職務知識Ⅱ
秘書の業務 定型的業務と非定型的業務
- 第8回 マナーと接遇Ⅰ
人間関係 基本マナー アポイント
受付 取次ぎ 案内 接待 見送り
- 第9回 マナーと接遇Ⅱ
慶弔の知識 冠婚葬祭 贈答 食事作法
- 第10回 マナーと接遇Ⅲ
話し方・聞き方の基本 敬語の種類
- 第11回 正しい敬語の使い方
尊敬語と謙譲語の使い分け 敬語使用上の
注意 接遇用語 面接会話
- 第12回 秘書の技能Ⅰ
文書の作成・取扱い 会議の準備・開催
- 第13回 秘書の技能Ⅱ
日程作成と管理 ファイリング 資料管理
環境整備
- 第14回 一般知識
一般常識 業界知識 組織の知識等

〔履修のポイント・注意点〕

1. 秘書あるいは社会人としての基本的な知識やマナーを身につけられるよう学習して下さい。
2. 「学生言葉」からの脱却。出るところに出たらきちんとした言葉使いや礼儀が出来るよう努力して下さい。
3. 人数の多い講義なので、授業中の私語や、他の人の迷惑になるような行動は慎んで下さい。

〔成績評価の方法〕

期末のテストを基本としますが、出席点も重視。

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

テキストは不要です。参考図書も特に定めませんが、秘書検定を受験する人は問題集や参考書により授業以外の勉強もした方が良いでしょう。

〔講義目的・テーマ〕

国語による表現の方法を探る道は2本あります。1つは文字通り表現の仕方そのものに則して自ら作文してそれを確認する学び方、もう1つは表現の実作を基にしてそれを分析し批評しながら方法を探る道です。

この講義では後者の道を選びとり、井上靖の自伝小説といわれる「しろばんば」にたいまつを当ててみることにしました。

この小説の作者は、少年時両親と離れ、血のつながらない老婆と田舎の土蔵の中で数年を過すという不思議な生活体験を持っています。後年歴史小説家として名を成す作者の作品の根底には、この時のやさしい感受が生き続けており、それが詩情となって作品の清澄性を生み出しているといわれているのも当然のこととされます。

名作「しろばんば」の主人公、少年「洪ちや」の情感を自らのものとして感受しながらその成長の軌跡をたどり、あわせて国語による表現の方法のいくつかを考えていきたいと思います。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 講義内容と受講の仕方の説明
- 第2週 「しろばんば」講読と表現表(第1章)
- 第3週 「しろばんば」講読と表現法(第1章)
- 第4週 「しろばんば」講読と表現法(詩的表現)
- 第5週 作文創作
- 第6週 作文批評と表現について
- 第7週 「しろばんば」講読と表現法(第2章)
- 第8週 「しろばんば」講読と表現法(第2章)
- 第9週 井上靖講演「詩と小説」(CD)を聴く
- 第10週 「しろばんば」講読と表現法(第3章)
- 第11週 作文創作
- 第12週 「しろばんば」登場人物論
- 第13週 「しろばんば」表現法のまとめ

〔履修のポイント・注意点〕

講義の進行と同時に自力で第4章の読みにかかり、講義終了時まで前編第8章までを読み終えてください。

〔成績評価の方法〕

毎週出席票を書きこみ提出します。出席回数を調べ成績評価の1助とします。

学期末試験は講義内容と自主読解(第4章以降)の両方から等分に出題、講義内容分についてはその概要を予告します。作文は試験と同等の位置で評価します。

経	ゼミナール	経	選通4単位	青 山 米 蔵
53				

〔使用テキスト〕

「しろばんば」井上 靖著 新潮文庫版860円

〔指定参考図書〕

「あすなろ物語」井上 靖著 新潮文庫版560円

「幼き日のこと 青春放浪」

井上 靖著 新潮文庫版560円

〔講義目的・テーマ〕

経営分析のうち財務分析を主体にする。前半を分析の基礎的な講義にあて、後半は地域産業としてなじみのある企業、富士重工、日本製粉、日清製粉、森永製菓などや、女性として親しみのある企業、グンゼ、ワコールなどの有価証券報告書総覧を使用して、実際に分析を行い報告をさせる。

〔授業計画と内容〕

- 第1週
- 第2週 経営分析の意義・目的
- 第3週
- 第4週 経営分析の種類・方法
- 第5週 経営分析の発展過程
- 第6週
- 第7週 貸借対照表と損益計算書の構造
- 第8週
- 第9週 基礎的な財務分析Ⅰ健全性の分析
- 第10週
- 第11週 基礎的な財務分析Ⅱ流動性の分析
- 第12週 基礎的な財務分析Ⅲ収益性の分析
- 第13週
- 第14週 単一指数法分析・ケーススタディ報告
- 第15週 趨勢法分析・ケーススタディ報告
- 第16週
- 第17週 損益分岐点分析・ケーススタディ報告
- 第18週 限界利益分析・ケーススタディ報告
- 第19週
- 第20週 資金運用表分析・ケーススタディ報告
- 第21週
- 第22週 キャッシュフロー分析・ケーススタディ報告
- 第23週
- 第24週 動態的方法による支払能力の分析・ケーススタディ報告
- 第25週 ①生産性の分析講義
- 第26週 ②利益計画と資金計画講義
- 第27週 ③成長性の分析講義
- 第28週 ①②③の中から一題選択させる
- 第29週
- 第30週 レポート提出

〔履修のポイント・注意点〕

講義は後半のレポート作成の基礎となるものであるから注意して聞くこと。講義をおろそかにするとレポートを作成する際に、無用な苦勞をすることになる。

経	ゼミナール	経	選通4単位	沖	津	直
53						

〔成績評価の方法〕

レポートによって評価する。

〔使用テキスト〕

市販のテキストは使用しない。

〔指定参考図書〕

「経営分析入門」	阪本安一著	中央経済社
「経営分析概説」	阪本安一著	税務経理協会
「最新経営分析」	青木・松本著	千倉書房

〔講義目的・テーマ〕

1年次の「経済原論」を踏まえて、経済のことを確実に、よく深く研究していきたい。各人あるいは何人かでテーマを決めて、1年間系統的に集中的に学習していく。最終的に、卒業論文を仕上げることを目標としたい。

これまでゼミで扱った主なテーマは、マクロ経済学の理論研究、消費構造の動向および研究、円高と産業空洞化、バブル経済の生成と崩壊、価格破壊などがあります。

バブル経済は、土地や株の価格がGNPや資金の上昇率よりもはるかに高い率で高騰、いわゆる資産インフレが発生して、それが一挙に暴落、いわゆる資産デフレの過程でありました。私達国民は、過去に蓄積した貯蓄を貨幣、不動産、株式などの有価証券、実物資本ストックなどのいずれかの形態で保有します。貨幣の形態のまま保有すると、インフレに弱く、不動産や株の形態で保有すると、デフレに弱い。富をどういう形態で保有するのが最も有利であるかは、どんな立場の人にとっても、一生を通じて考えてみると、非常に重要なことなのです。

いま、日本経済は不況が長期化・深刻化して、非常に難しい局面にあります。土地、株、消費拡大、完全雇用などの諸神話が崩れつつある。現在の日本経済を以前のように活力ある状態に復活させるためには、政府がどのような経済政策を実行していかなければならないか、また、企業はその業績を向上させるためにはどのようにすればよいか。国民は失業者急増、賃金上昇の頭打ちなど不安要因の多い環境のなかにあつて、どのように生活を改変させなければならないか。官・民・企業の三位一体の努力が要求されるところである。

〔授業計画と内容〕

はじめのころ、共通認識を深めるための講義等を行い、その後研究テーマについて発表し、全員で討論する。これを繰り返すことによって、理解を深めるとともに基礎力を培い、最終的に卒論に仕上げていく。

〔履修のポイント・注意点〕

欠席をしない。積極的に発言すること。積極的に、自分の研究に関する書籍、新聞、経済雑誌などの資料をあつめること。

〔成績評価の方法〕

学問・各人の研究テーマに対する取り組み方、熱意、態度、出席状況などによる。

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

授業のときに指示します。

経	ゼミナール	経	選通4単位	塚越千由
53				

〔講義目的・テーマ〕

現在国際社会の中における、特に国際経済の中で日本の果たす役割は非常に大きいものとなっています。旧ソ連や東欧諸国の自由主義経済への転換によって、日本の国際経済に及ぼす影響力は今後もますます大きくなっていきます。一方貿易摩擦など日本をとりかこむ状況も厳しいものがあります。

そこで日本を国際社会とのつながりという観点で色々な問題を考えてみようというのがこのゼミの目的です。
(研究テーマ例)

国際ビジネス

国際マーケティング、輸出入貿易、海外企業進出、外国企業の導入(合併)

外国為替

為替相場の決定、為替相場の変動、変動の影響

異文化間コミュニケーション

ビジネス・コミュニケーション、異文化間ビジネス交渉、対日感情摩擦

〔事業計画と内容〕

5月末頃までゼミ員の希望する分野を決定するため講義形式で行い、以後は3～4人のグループ別に専門分野に特化し学習します。各専門分野のテキストを読み、報告・質問形式で行います。

〔履修のポイント・注意点〕

テレビ、新聞などを通じ、国際社会と日本との関係、特に日本の国際社会における活動に注意を払い、どのような現状を呈し、問題点が生じているかを常に考えて欲しい。

〔成績評価の方法〕

演習論文の提出

〔使用テキスト〕

各ゼミ員の研究テーマに合わせて指定します。

〔指定参考図書〕

研究活動中適時に紹介します。

経	ゼミナール	経	選通4単位	高橋浩夫
53				

〔講義目的・テーマ〕

ゼミナールの利点は小人数制による教師と生徒とのコミュニケーションを密にすることにあります。この方式によって、生徒が考えている様々な問題(学習上のことはもちろんプライベートなことまで)を教師といつしよになって学ぶことができます。ゼミナールの基本はゼミナリス滕が自らのテーマを定めて、自主的に勉強し発表します。これは、通常の講義方式の授業と異なって、生徒の自主的活動に主眼をおいているからです。

本ゼミナールは「現代の経営学の諸問題」について勉強します。ただ、これではあまりにも大テーマなので、それを掘り下げ焦点をしぼった形で研究をすすめていきます。参考までに述べますと、ここ2～3年の研究テーマは「国際化とは何か～在日外国人労働者の実態について」です。これは、現代の企業の経営課題の一つである国際化の問題を、われわれの身近な問題としての外国人労働者問題の実態を探りながら、この問題を考えてみようとしているのです。

〔授業計画と内容〕

〈例〉1994年度は「外国人労働者」問題について勉強したので、その時の内容は下記の通り。

1. 国際化とは - アウト・フローとイン・フロー
2. 日本企業の国際化と発展段階
3. 日本企業の人的資源問題
～海外での現地人雇用問題～
4. 日本で働く外国人
～ホワイト・カラーとブルー・カラー～
5. 国際労働者移動の実態
6. 諸外国での外国人労働者の実態
7. 外国人労働者受け入れの賛否両論
8. 外国人との共存と今後の展望
9. インタビュー調査

〔履修のポイント・注意点〕

ゼミナールの仲間と共同研究を行うことが大事なので、一人よがりな行動は許されない。みんなと仲良くやってゆける人が入ゼミ条件。

〔成績評価の方法〕

ゼミナールは毎回の出席と発表が大事なこと。インタビュー調査をまとめて卒論の形で最後に提出、これを統合して評価。

経	ゼミナール	経	選通4単位	鈴木	嘉
53					

〔使用テキスト〕

1994年度の場合

「国境を越える労働者」 桑原晴夫著 岩波書店

「外国人労働」 手塚和影著 日本経済新聞社

その他、研究をすすめる中で指示する。

〔指定参考図書〕

〔講義目的・テーマ〕

－ 財務諸表と簿記 －

決算と財務諸表作成の過程のうちに、企業会計の本質を探り、またその手続きの実際を、可能な範囲で、検討することによって、企業会計の中心へのアプローチを試みたい。

〔授業計画と内容〕

具体的には、

1. 決算の歴史的変革
2. 企業の利害関係者の情報ニーズ
3. 日常の簿記手続と決算
4. 決算手続
5. 決算の本質
6. 財務諸表作成に関する諸基準
7. 損益計算書と貸借対照表の本質

などをめぐる諸問題を取り上げることができるであろう。

〔履修のポイント・注意点〕

これらをテーマとして、各自に選択のうえ、考究を展開して欲しい。またその結果をレポートし、みんなで内容を討究しあう。

〔成績評価の方法〕

授業時の活動とレポートの内容により評価する。

〔使用テキスト〕

開講のときに指示する。

〔指定参考図書〕

53	ゼミナール	経	選通4単位	鈴木恒男
----	-------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

一般の講義では、ある程度、理論を体系的に学んでいくが、ゼミナール（演習）では、現実の中に課題を求め、それを解明しながら学んでいく。ゼミは少人数の仲間で、共に学びながら、短いカレッジライフの中で、思い出に残る、密度の濃い学習の時間としたい。

テーマは、現代の経済社会で、最も重要な機能を果たす企業形態である株式会社について、まず「株とは何か」から基本的に学んでいく。

〔授業計画と内容〕

今、毎日の経済活動を示す2つの指標がある。株価の指標（平均株価と株価指数）と為替レートである。株価の変動が、経済の動きを端的に示すものと考えられているが、その内容は複雑である。

そこで、このゼミナールでは、そもそも株とは何かを基本から学びながら、株式会社や株式市場、株価変動のメカニズムにメスを入れていく。特にわが国の株式会社の実態と変貌、株価や株式市場の特質など、テキストと一緒に読みながら、専門用語には解説を加えゆつくり進めていく。

主なテーマは次の通り。

1. 株とは何か
2. 株主の地位と内容
3. 株式や社債の発行
4. 証券会社と取引所
5. 株価の形成
6. インサイダー取引
7. 平成バブル崩壊のメカニズム
8. 証券スキャンダルの内容
9. 二十一世紀に求められる株式会社像

〔履修のポイント・注意点〕

第1点、事前に、次にやるところを読んでおくこと。

第2点、事後に、もう一度読み直し、新しく学んだ専門用語などをよく理解しておくこと。

第3点、新聞やテレビで、株価の変動や企業経営に関するニュース、用語に注意し、株式会社制度などについての情報にも目を配ること。

〔成績評価の方法〕

出席は学習の基本であり、特にゼミナールは、出席しなければ学習効果は期待出来ない。出席を評価の基本に考える。

成績は、夏休みのレポートと、学年末の小論文によっておこなう。

〔使用テキスト〕

奥村 宏著「株とは何か」 毎日新聞社

鈴木恒男著「株式会社と利潤」 マネジメント社

〔指定参考図書〕

奥村 宏著「日本・株式会社大改造計画」 徳間書店

奥村 宏著「法人資本主義」 毎日新聞社

奥村 宏著「法人資本主義の構造」 社会思想社

若林政史「日本の経営の制度化を考える」 中央経済化

経	ゼミナール	経	選通4単位	小 谷 利 一
53				

〔講義目的・テーマ〕

企業経営における一定の給付にかかわらせて把握された財質または用役の消費を貨幣価値的に表わしたものを原価（Cost）といい、この原価を記録し、配分し、解説する行為が原価計算（Cost Accounting）である。

この原価計算は、企業会計においては、期間損益計算に必要な原価データを提供するとともに経営者の様々な意思決定活動に役立つ原価データを提供することをその目的としている。

当ゼミナールでは、まず、この原価計算の意義・目的・種類さらには計算手続き等を十分に理解した上で、現実企業が行っている原価計算の技法やその計算結果としての原価データがいかに企業の意思決定に活用されているかを研究していく。

〔授業計画と内容〕

- 4月～7月：基礎的な原価計算技法の習得ならびにテキストの輪読
各自研究テーマの決定
- 9月～10月：研究テーマの資料収集とまとめ
- 11月～12月：研究レポートの作成と中間発表
- 1月：研究レポート完成

〔履修のポイント・注意点〕

当ゼミナールは、原価計算を中心に研究を行っていくが、ゼミ生は、「財務会計論」をはじめ「管理会計論」など会計関係の科目、さらには「経営管理」に関する科目も履修すること。

〔成績評価の方法〕

ゼミナールのため当然出席を重視するが、研究テーマの中間発表の内容やレポートの内容によって評価する。

〔使用テキスト〕

「会計学基礎講座5 原価計算の基礎知識」
津曲直躬 宮本匡章編著 中央経済社

〔指定参考図書〕

「原価計算（四訂版）」 岡本 清著 国元書房
「最新原価計算論」 小林健吾著 中央経済社

経	ゼミナール	経	選通4単位	星 法 子
53				

〔講義目的・テーマ〕

コンピュータが企業に与えた影響は大きく、革新的である。企業環境が急激に変化するなかで、多くの企業で戦略的レベルの意思決定を行う機会が増大している。そのためには経営計画または戦略的マネジメントをサポートする会計情報システムは不可欠である。

本ゼミナールではこのような視点から、経営計画作成のための実践的フォーム、シミュレーションによる意思決定に役立つ具体的モデルおよびコンピュータを用いたシステムの設計・開発について研究していく。

〔授業計画と内容〕

- 前期 意思決定支援システムのテキストの輪読
- 後期 シミュレーションモデル・システム設計およびレポートの作成

〔履修のポイント・注意点〕

コンピュータの基本操作および応用は各自で学習。

〔成績評価の方法〕

卒業レポートの成績により評価する。

〔使用テキスト〕

開講時に指示する。

〔指定参考図書〕

広内哲夫他著「意思決定支援システム」竹内書店新社
鈴木洋光著「システム設計」東京電気大学出版局

経	ゼミナール	経	選通4単位	鷹野 宏 行
53				

〔講義目的・テーマ〕

研究テーマ「監査論・環境監査」

世界的に環境意識が高まる中で、企業の環境に対する行動について監査・評定を行う環境監査が、いま非常に注目を集めている。すでに、欧州連合（EU）では、この環境監査を制度として導入することが決定した。また、国際標準化機構（ISO）においても、環境監査について議論がなされ、国際環境規格として近々発効されようとしている。我が国の通産省も平成8年末の制定を目指している環境JISにおいて、企業活動の環境に対する影響を第三者機関がチェックする「外部監査」を導入する方針を固めた。

本ゼミナールでは、このような国際的な環境監査時代の到来を前に、会計学の一分野である監査論の基礎的な考察とともに、制度としての環境監査について研究を行っていく。

〔授業計画と内容〕

本ゼミナールでは、環境監査を中心に、概ね次の内容を検討の対象とする。

- ① 輪読（下記のテキスト）およびディスカッション
- ② マッキントッシュによるワープロ演習・英文会計
- ③ 卒業レポート

〔履修のポイント・注意点〕

ゼミとは、本来、議論の場である。議論というのかた苦しいが、いわゆる世間話が重要であると考ええる。会計情報が生み出されるに至った社会的背景や経済動向ばかりでなく、トレンドと呼ばれるものの情報まで、ゼミでの議論において得られる雑多な知識こそ価値が高いと思われる。よって、積極的な発言を期待する。

〔成績評価の方法〕

出席最重視。就職活動等のやむ得ない理由による欠席の場合でも事前に必ず報告すること。

〔使用テキスト〕

『環境監査入門』環境監査研究会 日本経済新聞社

〔指定参考図書〕

『総解説・国際会計基準～企業会計が変わる～』
黒川保美編著 日本経済新聞社

経	ゼミナール	経	選通4単位	藤井 信之
53				

〔講義目的・テーマ〕

マーケティングは、売り手の都合で買い手を刺激して目標を達成しようとする販売とは異なる。マーケティングでは市場を分析し、市場を満足させるような製品とマーケティング手段の組合せを計画・実行するものであり、市場対応・市場適応こそマーケティングである。市場についての情報を収集し、分析し、情報を判断に変え、それに沿って経営資源を配分して、実行を統制していかなければならない。発信される情報がマーケティングに役立つかどうか、また役に立てるにはどのように処理すべきかということについて、講義、実習する。

〔授業計画と内容〕

- 前期 分析ツールの修得、研究テーマの決定。
- 後期 研究テーマ別に成果を発表する。

〔履修のポイント・注意点〕

データの収集、分析が重要になる。そのための準備として、前期の講義と実習で慣れてもらいたい。後期は、各自の選んだテーマについて研究成果を発表してもらうことになる。

〔成績評価の方法〕

出席等総合的に評価する。

〔使用テキスト〕

後日指示する。

〔指定参考図書〕

後日指示する。

95年度開講

専攻科 幼児教育専攻専門科目 目次

専No	授 業 科 目 名
1	幼 児 教 育 研 究
2	講 読 演 習 (ゼミナール)
	課 題 研 究
3	発 達 心 理 学 研 究
4	臨 床 心 理 学 研 究 I
5	臨 床 心 理 学 研 究 II
6	児 童 の 社 会 性 発 達 研 究 I
7	児 童 の 社 会 性 発 達 研 究 II
8	児 童 文 学 特 論
9	幼 児 と 自 然 環 境 の 研 究
10	保 育 内 容 総 合 研 究 I
11	保 育 内 容 総 合 研 究 II
12	保 育 内 容 (美 術 表 現 の 研 究)
13	保 育 内 容 (音 楽 表 現 の 研 究)
14	幼 児 音 楽 演 習 I (歌 唱 表 現)
15	幼 児 音 楽 演 習 II (楽 器 演 習)
16	リ ト ミ ッ ク (実 技)
17	造 形 文 化 論 (演 習)
18	造 形 実 技
19	現 代 児 童 福 祉 問 題 の 研 究
20	障 害 児 保 育 の 研 究
21	幼 稚 園 実 習
	保 育 所 実 習

専 1	幼児教育研究	専	必通4単位	荒井 冽
--------	--------	---	-------	------

〔講義目的・テーマ〕

現在の日本の幼児保育界は、いくつかの基本的な課題に直面している。その一は、社会・経済的な意味からする位置づけであり、その二は、実際の保育の場面における、姿勢、内容、方法等についての、新たな理念の構築である。これから保育者を目指す者としては、特に後者についての確実な学習が期待される。わが国の現代につながる保育思想上、いわば原点的立場に位置する倉橋惣三の考え方を学習することは、現在、きわめて意味深いものがあると思われる。

〔授業計画と内容〕

- 第1～2週 幼児の生活と園における生活形態
- 第3～4週 幼児の生活における自己充実
- 第5～6週 幼児の生活の誘導
- 第7～8週 幼児の生活の教導
- 第9～10週 幼児の生活の陶冶
- 第11～12週 幼児の個性についてのとらえ方
- 第13～14週 保育案の意義
- 第15～16週 保育案と保育内容
- 第17～18週 自由遊びと仕事
- 第19～20週 園生活における幼児のグルーピング
- 第21～22週 園生活の1日の流れ
- 第23～24週 保育史上における倉橋惣三の位置
- 第25～26週 これからの保育と、倉橋理論の意義

〔履修のポイント・注意点〕

テキストとして使用する倉橋の論文等のほとんどすべては、大正期および昭和初期に執筆されたものであり、かなり難解である。一字一句、しっかりと読み取るように努力してもらいたい。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。前期にはリポート、後期には試験を行う。

〔使用テキスト〕

『倉橋惣三選集』（第一巻） フレーベル館

〔指定参考図書〕

月刊誌『保育専科』（1995.4.～1996.3.）フレーベル館
所収 荒井 冽著「倉橋理論を保育に生かす」

専 2	講読演習(ゼミナル) 課題研究	専 専	必通2単位 必4単位	細野 英夫
--------	--------------------	--------	---------------	-------

〔講義目的・テーマ〕

講読演習

人間と自然とのかかわりを中心テーマとして、また、生態学を基礎理論として幼児の育ちと自然環境との関係について考察していく。

同時に、研究とはなにか。研究の進め方。研究論文の書き方などについて学習し、諸々の課題に対応できる能力を育てる。

課題研究

平成七年度は、幼稚園・保育所での「砂場遊び」を課題として研究を進める。

これまでの課題

- 子どもと自然とのつながりについて
……自然遊びをとおして…… 1988年
- 野草の観察
……キャンパス内の野草の標本作りを
もととして…… 1993年
- 自然遊びの研究
……野草遊び（伝承遊び）の実践…… 1994年

〔授業計画と内容〕

- 研究方法について
- 研究資料の収集
- 研究資料の検討
- 調査の方法について
- 調査結果の集計
- 調査結果の検討

〔履修のポイント・注意点〕

砂場遊びが中心課題であるが、総合的に環境と子どもとのつながりを理解するようにする。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

学会誌・学会発表論文その他の資料。

〔指定参考図書〕

- 「教育的環境学」
山下俊郎 岩波書店
- 「子どもの遊び場」
草森伸一 晶文社
- 「自然と人間」
石原 保 法政大学出版局

専	講読演習(ゼミナル)	専	必通2単位	粕谷圭司
2	課題研究	専	必4単位	

〔講義目的・テーマ〕

幼児が自己の身体支配の可能に応じて、まずは始めることは、自己をつつむ外界の未知と神秘に深究の触手をのばしはじめることである。生への強い衝動であるとともに、自らの感覚の開発である。

一本のクレヨンで「らくがき」に余念のない幼児、粘土いじりに専念したり、砂場で山をつくったり穴を掘ったり、幼児は常に「もの」にふれ「もの」にいどみ、はたらきかけて、あそぶのである。

幼児の造形表現は「あそび」の生活の中から誕生してくる。本能の充足、五官の開発、環境からの自己表現、人間能力の自己啓発を幼児はあそびという形で手と目と心が「もの」と素朴な対決を続けているのである。当講座においては、この幼児「あそび」の中に現れる、造形表現の形をより深く研究する講義内容としたい。

〔授業計画と内容〕

幼児の「あそび」に関する、研究テーマを各自設定し美術的観点から論理的、技術的両面からより深く研究することとする。

1. 幼児の造形能力の発達
2. おもちゃについて考察 — おもちゃ開発
3. 材料の研究
4. 技術修得と実践

〔履修のポイント・注意点〕

各自テーマが決定したら、一年間の計画表を作り提出する。話し合いの中から修正を加えまとめる。主要となるテーマから外れないよう注意しながら枝葉の部分の研究もすること。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。
月末に研究状況を発表させ評価。
学年末に研究発表をし評価する。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専	講読演習(ゼミナル)	専	必通2単位	粒来哲蔵
2	課題研究	専	必4単位	

〔講義目的・テーマ〕

どの子供のどの心にも優しい鬼が眠っているように、あらゆる民話や童話の中にもいろいろな鬼が隠されています。東西の古典のみならず、グリム、アンデルセンの童話にも恒に鬼は登場し、芥川の「藪の中」黒沢の映画「羅生門」にも人面を被った鬼が現れます。

幼年時は誰でも鬼の出てくる絵本を見て夢にうなされた思い出を持っていますが、私達は「物語の鬼」を知ること、その鬼の出処や経歴、あるいは民族意識といったものに手を触れてみたく思っています。

子供達の「心の鬼」や「夢の鬼」は未来の保育者にも多分何かを語りかけてくれるはずです。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 ゼミの計画と自主研究テーマの選択
- 第2週 「絵本の中の鬼」調査、研究
- 第3週 「絵本の中の鬼」研究発表
- 第4週 「グリム童話の鬼」調査、研究
- 第5週 「グリム童話の鬼」研究発表
- 第6週 「アンデルセン童話の鬼」調査、研究
- 第7週 「アンデルセン童話の鬼」研究発表
- 第8週 「民話の中の鬼」調査、研究
- 第9週 「民話の中の鬼」研究発表
- 第10週 「日本古典の鬼」調査、研究
- 第11週 「日本古典の鬼」研究発表
- 第12週 専攻科研究発表の為の原稿制作
- 第13週 学生論集の為の論文制作

〔履修のポイント・注意点〕

1年を通して研究テーマに打ち込んでいける情熱がほしいと思います。

〔成績評価の方法〕

研究論文を評価の対象とします。

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

- 「鬼の研究」馬場あき子 ちくま文庫680円
「グリム童話の中の怖い話」
金成陽一 大和書房1,400円
「復興期の精神」花田清輝

専 2	講読演習(ゼミナル) 課題研究	専 専	必通2単位 必4単位	荒井 冽
--------	--------------------	--------	---------------	------

〔講義目的・テーマ〕

幼児保育の現場において、古くて新しい課題は、園生活における「計画」の位置づけである。この扱い方によって、子どもたちの園での生活ぶりは大きく、また決定的に左右されることになる。

この基本的なテーマについて、現代につながる日本の保育史上の原点的立場に位置する倉橋惣三の、「保育案」について再び検討することによって、深く考えてみたいと思う。

〔授業計画と内容〕

- 第1～2週 保育案の誕生
- 第3～4週 中心統合保育案
- 第5～6週 自由遊戯保育案
- 第7～8週 生産保育案
- 第9～10週 コンダクト・カリキュラム
- 第11～12週 保育案と自由遊戯
- 第13～14週 保育案と実際生活
- 第15～16週 純生活指導から立案保育へ
- 第17～18週 期待効果について
- 第19～20週 誘導保育案
- 第21～22週 課程保育案
- 第23～24週 現在の指導計画との対比
- 第25～26週 倉橋理論の今日的評価

〔履修のポイント・注意点〕

倉橋理論を、選集に収録されている論文等のすべてから丹念に読み取り、テーマに必要な内容を整理し、論文としてまとめること。

〔成績評価の方法〕

最終的に作成した論文によって評価する。

〔使用テキスト〕

『倉橋惣三選集』（第1巻～第4巻） フレーベル館

〔指定参考図書〕

専 2	講読演習(ゼミナル) 課題研究	専 専	必通2単位 必4単位	芳野 紀子
--------	--------------------	--------	---------------	-------

〔講義目的・テーマ〕

子どもが周囲の世界をどのように捉えているか、子どもの心理的世界を明らかにするような文献を講読し、子どもの心理的発達諸事象について理解を深める。特に今年度は、子どもの対人行動、対人関係に焦点を当てたい。一般、概説的知識を得るのではなく子どもの対人行動スキルが、どのような人間関係の体験から、どのようにして獲得されるか等問題を詳細に検討していく。例えば、実際の研究論文やデータを参照しながら、問題を具体的に理解する。従って、この講読を通して、幼児の発達研究の進め方やデータの読み方、データの取り方、まとめ方などについて知識が得られる筈である。

〔授業計画と内容〕

- 4・5月 きょうだい関係
発達段階によるきょうだい関係の形成。きょうだいのやりとり。親をめぐってのきょうだいの争い。多人数きょうだいの特徴など。
- 6・7月 友達関係
友達とのやりとり。ごっこ遊びでのやりとり、異文化の中での友人関係の成立。
- 9・10月 養護性
赤ん坊に対する養護性。養護性の発達。
- 11・12月 自己とのかかわり
「私」へのめざめ。自己意識の成長。自己と他者の関係の理解。
- 1月 幼児の人間関係についてのまとめ

〔履修のポイント・注意点〕

文献講読は、担当者を決め、内容を要約して報告してもらおう。各人が共通理解が持てるよう疑問点を明らかにしながら内容を把握していく。その上で相互の意見を交換する。従って受講者は、自分が担当の時ばかりでなく毎回授業の準備をして参加してほしい。

〔成績評価の方法〕

日常の発言、発表内容、理解度などから評価する。

〔使用テキスト〕

『乳幼児の社会的世界』
小嶋秀夫編 有斐閣選書1,730円

〔指定参考図書〕

必要に応じて指示する。

専	講読演習(ゼミナル)	専	必通2単位 必4単位	神戸文朗
2	課題研究			

〔講義目的・テーマ〕

学生の希望に応じて以下のいずれかの研究を行うつもりです。

1. 幼稚園・保育園等において特定児に対するチェックリスト法による行動観察を行い、その子供の持つ行動特性と生育環境・保育環境との関連を考察する。
2. ビデオ機材を使用することにより、複数の子供間の相互交渉を時系列的に記録し、このデータを統計的に分析することにより、子供どうしの社会構造を明らかにする。
3. 興味ある心理学のテーマを選び、多数の文献を利用してレビューを作成する。

学生は研究計画を作成し、教員はその計画に従った研究の実施をチェックし、学生は最終的には論文を提出するものとします。

〔授業計画と内容〕

以下に標準的な実験・観察研究のスケジュールを挙げておきます。

- 4月／5月 テーマの選定
- 5月／6月 関連文献の収集、把握
- 7月 実験・観察計画の作成
- 8月 実験・観察の実施
- 9月～12月 文献・データの整理、論文の作成

〔履修のポイント・注意点〕

この授業の履修者は自分の選定したテーマに最後まで強い学問的関心を持ち続けてください。

〔成績評価の方法〕

提出論文の内容によって評価します。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専	講読演習(ゼミナル)	専	必通2単位 必4単位	荒井弘高
2	課題研究			

〔講義目的・テーマ〕

日本には、昔から歌い継がれてきた素晴らしい童謡が数多く残されている。一方、現在でも非常に多くの童謡が毎日のように誕生している。

当授業は、これら童謡の中より子供に好まれている、現場で数多くうたわれている「うた」を選び出し、その曲の作られた地域、時代背景、また作曲者・作詞者の生い立ちなどを調査しながら、子供の歌を“うた”“伴奏”両面からより深く音楽的な表現方法をさぐる。

また、幼児教育の現場において音楽のになう範囲は、非常に大きい事は言うまでもない。そこで幼児教育者は、自らの音楽的感受性を出来るだけ高めておく事が必要である。そのためには、“うたう”“ひく”だけでなく“きく”ことが最も大切になってくる。そこで、オーケストラ・室内楽・オペラ等のクラシック音楽を数多く聴き、同時に文献も調べ、時には演奏会にでかけ生の音楽に触れることにより、音楽的感受性、また教養を高めたい。そうした中より幼児と音楽のかかわり合いをさぐる。

〔授業計画と内容〕

上記にとらわれず、具体的なテーマは学生自身が決定し、それに対し必要なアドバイスをしながら授業を進める。

〔履修のポイント・注意点〕

第1回目の授業までに研究テーマを考えておくこと。

〔成績評価の方法〕

実技又は論文提出により評価。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専 2	講読演習(ゼミナル) 課題研究	専 専	必通2単位 必4単位	川 瀬 善 美
--------	--------------------	--------	---------------	---------

〔講義目的・テーマ〕

児童は将来の生産力の担い手であり、社会の後継者であるため、どの時代でも児童対策が在った。

確かに、児童は未来の社会を支える労働力に違いなし、この観点で今後も児童福祉対策の充実・整備がなされていくであろう。

しかし、児童福祉は児童の権利であり、児童の基本的人権の尊重が児童福祉の根幹的理念であると考ええる。

この観点にたつてそれぞれが設定した児童福祉問題に関する研究テーマを深化していきたい。

〔授業計画と内容〕

4月～6月 我国の児童問題・児童福祉の現状についての分析

7月～11月 それぞれが設定したテーマに関する研究・検討

12月～1月 研究論文作成

〔履修のポイント・注意点〕

積極的に主体性を持って研究に取り組むこと。

〔成績評価の方法〕

期末にそれぞれの研究の成果を発表（論文作成を含む）を課し評価を行なう。

〔使用テキスト〕

〔指定参考図書〕

必要に応じて適時指示する。

専 3	発達心理学研究	専	選択必修 通4単位	神 戸 文 朗
--------	---------	---	--------------	---------

〔講義目的・テーマ〕

皆さんはこれまで心理学の講義のなかで様々な理論や研究を学んできたわけですが、何故そのような観察や実験が計画されたのかという心理学研究の基本的な考え方については学んで来なかったと思います。そこで前期では主として心理学的研究法とは何かという点についてなるべく分かりやすく講義をしたいと思えます。また後期には本科での発達心理学Ⅰと教育心理学の内容を更に深めるために母子相互交渉をテーマに講義をすすめたいと思えます。

〔授業計画と内容〕

1. 心理学的研究法

① 科学的研究法とは何か

② 帰納法と仮説演繹法

③ 検証

④ 独立変数、従属変数、統制

⑤ 統計的検定

2. 母子相互交渉

① マイクロ分析による母子間のコミュニケーション

② 新奇状況における子供の行動

③ 育児パターンとそれが子供に及ぼす影響

④ 母親と父親の役割

⑤ 喜んで示す従順性、強制された従順性

⑥ 家庭崩壊、虐待等

〔履修のポイント・注意点〕

1. 心理学的研究法においてなぜ思いつきによる実験が学問的に意味をなさないか自分が実験を計画する立場になって考察してください。

2. 母子相互交渉に関しては多数の研究の要約を紹介します。

丹念にノートを取ってください。また錯綜した研究結果からどのような結論が引き出せるかを考察してください。

〔成績評価の方法〕

提出されたレポートの内容によって評価します。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専	臨床心理学研究Ⅰ	専	選択必修 2単位	芳野紀子
4				

〔講義目的・テーマ〕

現代の日本社会における幼児や児童は、種々多様なストレス状況にさらされている。子どもは、これらのストレスをどのように受け止め、自分の中に消化したり解決するのだろうか。ストレスへの対処がうまく出来ない子どもは、どのような反応や行動を示すのであろうか。そして、それらの子どもの行動に対して、周囲の大人や保育者は、どのようにかかわって行けば良いのだろうか。これら子どものストレスに関する文献を輪読しながら、問題を正確かつ多面的に把握、観察し、洞察する等、討議を通して読みを深めたい。このような体験を通して、臨床的物の見方や態度が理解されることを目指している。

〔授業計画と内容〕

文献講読と討議。取り上げる文献は、子どもが示す様々の行動サインを伝えるものとする。

- 4月 子どもの示す様々の行動の意味を考える。
- 5月 文献Ⅰ章を中心に討議、読みを深める。
- 6月 文献Ⅱ章を中心に討議、読みを深める。
- 7月 文献Ⅲ章を中心に討議、読みを深める。

〔履修のポイント・注意点〕

文献を唯読むのではなく、その内容を自分の問題として汲み取り、相互に深め合うことが出来るよう積極的に参加し、意見を出すこと。またお互いを尊重することを体験的に理解して欲しい。

〔成績評価の方法〕

日常の発言、討議への参加などを評価するとともに、読書（子どもの行動に関する文献）し感想をレポートにまとめる。

〔使用テキスト〕

「子どものからだことば」
竹内敏晴著 晶文社1,100円 他

〔指定参考図書〕

特になし。必要に応じて自分で学習して欲しい。

専	臨床心理学研究Ⅱ	専	選択必修 2単位	芳野紀子
5				

〔講義目的・テーマ〕

臨床心理学研究Ⅰの学習を踏まえ、実際に子どもの行動を理解するための様々の臨床的技法について学習する。例えば、各種の心理検査法や面接法などの実習やロールプレイを行い体験的理解を試みる。また、相談室など実際に訪問し、実態を見学することも考えている。これらの実習は、複雑な人間の姿を、正確に把握するということが、いかに困難なことであるかを知ることによって役立つであろう。現在の臨床的技法によって明らかにされる様々な人間の心理的側面は、個々バラバラなもののように見える。しかし、この学習を通じて、個々バラバラに見えたものが、習熟するにつれ、深い意味的連関性を有していることに気付くであろう。

〔授業計画と内容〕

小グループに分け、各々のグループが以下のような課題を順に体験できるようプログラムに従って進める。

- 第1週 臨床心理学研究Ⅱの概要と進め方
- 第2週 箱庭療法
- 第3週 箱庭療法
- 第4週 エンカウンター・グループのワークa
- 第5週 エンカウンター・グループのワークb
- 第6週 エンカウンター・グループのビデオ視聴
- 第7週 人の話を聴くことと自らを開くことの体験
- 第8週 バウムテストの実施
- 第9週 HTPテストの実施
- 第10週 スクウイグルの実施
- 第11週 その他の描画法について
- 第12週 幼児の事例の検討a
- 第13週 幼児の事例の検討b
- 第14週 臨床的理解と関わりについて

〔履修のポイント・注意点〕

実習が中心となるので、相互に尊重し、秘密を厳守する態度が必要である。臨床心理学研究Ⅰよりも一層自分を人前で表現することが要求されるので、単なる興味本位でなく自分と取り組む姿勢で臨んで欲しい。原則として欠席を認めない。

〔成績評価の方法〕

毎回の課題についての記録と考察を全部まとめる。

〔使用テキスト〕

特になし。必要に応じてプリントを配布する。

〔指定参考図書〕

テーマごとに提示する。

専 6	児童の社会性 発達研究Ⅰ	専	選択必修 2単位	萩原元昭
--------	-----------------	---	-------------	------

〔講義目的・テーマ〕

幼児・児童の社会性の発達過程について、理論的かつ実際の視点から、概括的に考察する。

〔授業計画と内容〕

1. 社会性とは何か
2. 社会性の発達過程
3. 自己の社会性の歴史
4. 幼児・児童の社会性発達への援助の方法

〔履修のポイント・注意点〕

ゼミ形式で進めるので、毎回出席するように留意されたい。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

内外の文献、資料、ビデオを使用の予定。

〔指定参考図書〕

テーマ毎に提示する。

専 7	児童の社会性 発達研究Ⅱ	専	選択必修 2単位	萩原元昭
--------	-----------------	---	-------------	------

〔講義目的・テーマ〕

児童の社会性発達研究Ⅰを基礎に、子どもの通過集団である家庭、近所、園の生活の中での社会性の発達過程にそって親、友だち、教師や他の大人や子どもとの相互作用の実態とその理論的な究明をとり入れて考察する。特に、友だちとの関係に焦点をあて、ビデオなどを通して、社会性の抱え方を学習する。

〔授業計画と内容〕

児童の社会性発達研究Ⅱ

〔履修のポイント・注意点〕

ゼミ形式で進めるので、欠席しないように留意してください。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

内外の文献、資料、ビデオなどを教材として用意する。

〔指定参考図書〕

専	児童文学特論	専	選択必修 2単位	粒 来 哲 蔵
8				

〔講義目的・テーマ〕

少年期を送る誰もが、それを乗り越えるために傷つき、それを乗り越えられず更に傷つく ― という「仲間外れ」の経験を持っています。しかしそれは皆が皆他人によってなされたものでした。教室で、校庭で、クラブ活動で、その陰湿なドラマは、いつも他人の手で演出されました。

でもここに、実の母親による「いじめ」や「仲間外れ」ドラマが進行し、母と兄、姉の嘲笑的になっているそばかすだらけの少年がいたとしたら、いじめの手からわが子を引き離し、それを温かく抱きかかえるはずの母親が、逆にその子を突きとばすという悲劇の極みが現出されてくるはずです。(もちろん少年の方にもいろいろな問題性があるとしてもー)

髪の色が赤いために「にんじん」と呼ばれていたその少年は、絶望のあまりある日バケツの水に顔をつけて自殺の試みさえするようになります。いつも家庭内の悲喜劇に顔をそむけていた寡黙な父親が、実はにんじんを愛してくれていたのだ、と気が付く日まで、少年は余りにも孤独でした。

作者ジュール、ルナールは、このにんじん一家の物語を1章ずつごく短いパートに区切り、それらの断片を読者の心に貼りつけていきました。やがて小説にんじんは劇作化され、映画にもなりました。

作者ルナールの死後発表された日記によると、さながらにんじんの父親を思わせるルナールの父は猟銃自殺をとげ、母親は井戸に落ちて死んでいます。ルナール自身の実人生がひきずる暗い影から生まれた少年ににんじんを知ることは、少年心理の具体的現象を自らのものにすることに他なりません。

〔授業計画と内容〕

- 第1週 講義内容と受講の仕方の説明
- 第2週 「にんじん」第1、2章講読発表と批評
- 第3週 「にんじん」第3、4章 〃
- 第4週 「にんじん」第5、6章 〃
- 第5週 「にんじん」第7、8章 〃
- 第6週 「にんじん」第9、10章 〃
- 第7章 「にんじん」第11、12章 〃
- 第8章 作文
- 第9週 「にんじん」第13、14章講読発表と批評
- 第10週 「にんじん」第15、16 〃
- 第11週 「にんじん」第17、18 〃
- 第12週 映画「にんじん」を観る
- 第13週 作者と小説と映画について

〔履修のポイント・注意点〕

講義の進行と同時にテキスト第19章から最終章までの自主講読に入り、必ず読了してください。

〔成績評価の方法〕

研究発表内容と作文、学期末に提出させる「にんじん」についてのレポートで評価します。

〔使用テキスト〕

「にんじん」ジュール・ルナール著 岸田国土訳
岩波書店岩波文庫版410円

〔指定参考図書〕

- 「ぶどう畑のぶどう作り」
ジュール・ルナール著 岸田国土訳
岩波書店岩波文庫版410円
- 「博物誌」ジュール・ルナール著 岸田国土訳
新潮社新潮文庫版360円
- 「ルナールの日記」ジュール・ルナール著
岸田国土訳 白水社

専 9	幼児と自然環境 の研究	専	選択必修 通4単位	細野英夫
--------	----------------	---	--------------	------

〔講義目的・テーマ〕

人間は自然の中で生まれ、自然をもとに成長する。人間と自然とのつながりは、古くそして新しいものである。

ここでは、幼児にとって自然環境とは何かを具体的な身近な自然（野草、樹木、昆虫、河川の動物など）の観察を通して考察する。

また、今日の課題である世界的規模での環境問題の解決に必要な認識、行動そして体験は幼児期にスタートさせなければならないことを考慮し、その視点から環境問題の考察を進める。そして、広い視野に立って自然環境をとらえ、足元をみて行動できる保育者の育成をめざす。

〔授業計画と内容〕

1. 春の野草の観察
2. 水中昆虫の採集と観察
3. 花の観察
 サクラ・アメリカハナミズキ・ツバキ・アジサイ
4. 自然遊び（野草遊び）
5. 野草標本作り
6. 尾瀬観察会
 春（5月下旬～6月上旬）
 夏（8月上旬）
 秋（9月下旬）
7. 夏の野外実習合宿（2泊3日）南那須少年自然家

〔履修のポイント・注意点〕

この授業をとおして、研究の進め方・論文の形式とまとめ方についても考察する。

〔成績評価の方法〕

学習過程でのレポートをもとに行う。

〔使用テキスト〕

- 「自然と人間 ― 学習と教育の原理」
 石原 保 法政大学出版局
「環境教育論 ― 人間と自然のかかわり」
 沼田 真 東海大学出版局

〔指定参考図書〕

- 「日本の野草」 林 弥栄 山と溪谷社
「日本の樹木」 林 弥栄 山と溪谷社
「尾瀬の植物図鑑」 里見哲夫・新井幸人 偕成社
「人里の植物Ⅰ」 長田武正 保育社
「人里の植物Ⅱ」 長田武正 保育社

専 10	保育内容 総合研究Ⅰ	専	選択必修 2単位	中山昌樹
---------	---------------	---	-------------	------

〔講義目的・テーマ〕

保育現場では、「今までやってきたことだから」あるいは、「園児を1人でも多く入園させたいので」、「親にうけるための保育」など、子どもの育ちとは関係のないところで、保育内容が存在している。

今日、幼稚園、保育園で行われなければならないことの1つは、保育内容の厳選ということであろう。言葉をかえれば、子どもにとって、重要なことは何なのかを深め、保育内容として練り上げていく作業である。

その際の視点として考えられるものの例をあげると…
○哲学、あるいは、どのような子どもに育ってほしいかという願い。

○そこでの願いを、相対化し、深めるための、子どもをめぐる、歴史的、人類学的な探求。

○さらに、子どもの発達を見通す、多様で豊かな視点。

○上述の“願い”のために、どのような園生活が、子どもたちに必要か。それは「遊びを中心にした生活」であるが、その内容はどうなるのか。

○遊びを中心にした生活を豊かにするための、文化的、民族学的な探求。

○保育内容を豊かで生き生きとしたものにしていくための、大人のオープンな人間関係。

〔授業計画と内容〕

ゼミ形式ですすめる。使用する文献、あるいは資料については、そのつど指示する。

〔履修のポイント・注意点〕

とくになし。

〔成績評価の方法〕

授業内で評価する。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専	保育内容 総合研究Ⅱ	専	選択必修 2単位	中山昌樹
---	---------------	---	-------------	------

〔講義目的・テーマ〕

保育内容総合研究Ⅰでは、保育内容の厳選ということを通して、その視点を探った。

そこでは、今まで“当たり前”として存在していた保育の中身を、ひとつひとつとらえ直し、相対化することで、今、子どもたちに何が本当に必要なかを考えたわけである。

保育内容総合研究Ⅱでは、Ⅰで考えたことをふまえて、子どもの「遊び」について焦点をあてたい。

「遊び」は、たくさんの思想家、教育者、あるいは研究者の示す通り、子どもの生活の核である。ただし、生活のすべてが遊びではないので、あくまでも“核”であり、換言すれば“遊びを中心にした生活”という表現になる。

その中で子どもたちは、結果としてたくさんのことを学ぶ。例えば、仲間関係。遊びの中では、自分の我が通せないことはよくあることだし、時には気の合わない子とも遊ばなければならないこともある。そうしないと、遊びがこわれたり、成立しなくなってしまうからである。

仲間関係の中で、自立、自律も要求される。遊びのルールをやぶれば、仲間からはげしく批判されるだろう。遊びのおもしろさを保つために、自律せざるを得ないのである。

さらに、遊びのおもしろさを追求するために、ルールの変更など、想像力、創造力が育てられる。

その他、自然に対する認識や、仲間に伝えるための表現などなど。いずれも遊びのおもしろさの追求が原動力である。そういう意味からすると、遊びの中で育つものの中で最も基本的なものは、意欲であるといえる。

今日、子どもは、遊びの前提である3つの間、すなわち時間、空間、仲間をうばわれ、遊べなくなっている。子どもが、好きな友だちと好きな遊びを楽しむということは、かつての子ども集団においては当然のことであった。今、保育の現場で、子どもたちに遊びのおもしろさを伝えていかなければならない。

保育内容総合研究Ⅱでは、子どもの遊びにおける、保育者の役割あるいは位置について考えることも含めて、保育現場での遊びをみていきたい。

そこでは、子どもの遊びの具体的な観察が有効な手だてとなるだろう。子どもたちの遊びを仲間関係の視点を軸にすえて観察し、加えて、そこでの大人の位置を考えることは、保育において大切なことだろう。

〔授業計画と内容〕

実際に幼稚園を見学したり、ビデオを使ったり、保育内容総合研究Ⅰの理論的な考察を応用することを心がけたい。見学する園については、そのつど相談して決める。

〔履修のポイント・注意点〕

とくになし。

〔成績評価の方法〕

レポートを提出してもらう。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専	保育内容 (美術表現の研究)	専	選択必修 通2単位	小久保裕
12				

〔講義目的・テーマ〕

政治、経済といった人間の社会的活動の歴史が複雑であると同様、人間の精神活動の結果である造形文化も複雑であり、単眼的に概観することはなかなか困難である。とはいえ今日我が国では生活の豊かさから精神的な豊かさへの関心が移りつつある。そして芸術に対する関心はかつてない程に高まり、幼児に対しても、音楽、美術など早期教育が叫ばれ、活況を呈している。

この現実をふまえ感性を高めるには広い視野と美しさに対して感動する柔軟な心、高い見識・そして自由な発想と創造力が大切である。それを具体化する強靱な精神・隠し味としての「遊び心」これらが美術表現を生む原動力となるのである。

授業の主要テーマとしては、

1. 原始美術と幼児造形表現の共通点
2. 地域文化と造形表現
3. 現代の美術表現

〔授業計画と内容〕

1. 各種表現素材と技法の研究
2. 画集、スライドによる鑑賞と研究
3. 油絵(アクリル)による「模写」、「構想画」
4. 絵本作り
5. 美術館見学
6. 自由テーマによる修了制作と展示

〔履修のポイント・注意点〕

あらかじめ、各自の研究課題を設定し、特に実技においては主体性と、美術作品として完成させるだけの意欲的な取り組みが求められる。

〔成績評価の方法〕

提出作品の質と完成度によって判定する。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

美術書全般。

専	保育内容 (音楽表現の研究)	専	選択必修 通2単位	富田英也
13				

〔講義目的・テーマ〕

幼児を教育する者にとっての音楽の重要性を、本科で学んだ事項に加え、さらに幅広く学ぶとともに、教育の歴史の中で音楽表現の様々な形態の発達や、意義と効果を考察することを目的とする。

また、種々の音楽を豊富に聴き、視聴覚教材を多く用いながら、「歌あそび」「リズムあそび」等様々な方法を研究し、さらにその効果的な指導方法を考察する。

〔授業計画と内容〕

前期○諸外国や日本の幼児音楽教育の原理および歴史を理解する。

後期○日本の各地に残る伝統的な音楽的風習や神楽や舞等と諸民族の音楽を通しての音楽表現の研究をする。

〔履修のポイント・注意点〕

一部テキストおよび資料を利用するが、重要事項は必ず筆記すること。様々な項目や人物についての自分の考えや感じたこと等を積極的に述べ討論し合うこと。

〔成績評価の方法〕

受講者は講義を積極的に履修し、出席状況や学習態度の悪い者には単位を認定しない。したがって学習意欲や平常点を重視する。

〔使用テキスト〕

なし、必要に応じプリント等を準備する。

〔指定参考図書〕

「表現」幼児音楽1・2

監修小林美実 編著高野雅子

保育出版社(2分冊)2,500円

専 14	幼児音楽演習Ⅰ (歌唱表現)	専	選択必修 通2単位	荒井弘高
---------	-------------------	---	--------------	------

〔講義目的・テーマ〕

“うたつてあそぶ”ことが非常に多く行われている現在、幼児教育者は自分自身の歌唱能力を十分に高めしておく必要がある。

当授業は、今までに修得した歌唱力をさらにアップさせるため、各人の力に合わせ、“発声”“歌唱表現”両面から指導を行う。同時に日本語の美しい発音のしきりも研究する。

〔授業計画と内容〕

次の事からを順次組み合わせて授業を行なう。

1. 各自能力に合わせた発声指導
2. コンコーネ50番を用いての歌唱指導
3. 幼児曲の歌唱表現研究

〔履修のポイント・注意点〕

能力は問わず、歌う事が大好きな、意欲ある学生の受講を望む。

〔成績評価の方法〕

出席を重視。いかに積極的に学習したかを評価する。

〔使用テキスト〕

「コンコーネ50番」	畑中良輔編 全音楽譜出版社
「赤い風船とんだ」 (湯山昭作品集)	湯山 昭著 東京書籍

〔指定参考図書〕

「声がよくなる本」 (21世紀ブックス)	米山文明著 主婦と生活社
-------------------------	-----------------

専 15	幼児音楽演習Ⅱ (器楽演習)	専	選択必修 通2単位	渡邊洋子
---------	-------------------	---	--------------	------

〔講義目的・テーマ〕

これまで学んできたピアノを、実際の幼児教育の現場において、より自由自在に扱うことができるよう学習する。また、器楽曲においての西洋音楽史についても研究する。

〔授業計画と内容〕

4月	各自の前期履修曲の決定 曲目について 各自研究・発表
5月	履修曲のレッスン 中旬 基本的な楽典Ⅰ 下旬 小テスト
6月	〃
7月	〃 中旬 曲の発表と後期の曲目決定
9月	履修曲のレッスン 下旬 曲目について、各自の研究・発表
10月	〃 上旬 AV機器を使用しての奏法研究
11月	〃 中旬 基本的な楽典Ⅱ 下旬 小テスト
12月	〃
1月	曲の完成・発表

〔履修のポイント・注意点〕

本講義は実技が中心であるため、各自の家庭での練習が重要となる。したがって、能力を問わず、意欲ある者の受講を望む。

受講生の演奏能力を把握するため、講義開始時に各自のピアノ演奏を聞かせてもらう。そのため、ピアノ曲(曲目は自由)を用意しておくこと。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。履修曲においての到達度を、各自の技量を考慮したうえ評価する。小テストの結果も参考にする。

〔使用テキスト〕

講義内において指示。

〔指定参考図書〕

なし。

専 16	リトミック(実技)	専	選択必修 通2単位	吉田 裕 昭
---------	-----------	---	--------------	--------

〔講義目的・テーマ〕

リトミックは、スイスの作曲家・教育者E. J＝ダルクローズにより創始されたユニークな音楽教育法である。しかし、その目的は「感性を磨き、肉体と精神の一致・調和のとれた人格形成を目指す」ことにある。すべての可能性・能力発展の源泉を身体行動の中に求め、それを通じて諸感覚機能の発達を促し、想像性・創造性の上になった教育活動の中に、人間としての芸術性の高まりを求めているようにも思われる。すなわち、人間教育こそがリトミックの目指すところであり、領域“表現”のねらいと合致するところでもある。従ってこの教育法は、音楽教育の分野のみならず、ダンス・演劇・体育・造形・障害者教育などの諸分野にも影響を与えている。

この講義では、将来幼児教育の現場に立った時、戸惑わないよう各々の技術向上をめざし、また、実際に指導する時の指導案のヒントとなることをできるだけ多く経験できるように進めていく。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

受講の際は、動きやすく、体育館の床に直接座っても差し障りのない服装で参加すること。また、リトミックの授業は、知識を得ることが目的ではなく、自分自身で経験をつむことが何よりも大切なことなので、積極的に参加し、自分自身の感覚を研ぎ澄まし、想像力や創造力を十分に発揮し、かつ楽しく受講することを望む。

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

「保育園・幼稚園のためのリトミック 4才児用」
岩崎光弘 他 ビクターリトミック研究室

〔指定参考図書〕

専 17	造形文化論(演習)	専	選択必修 通2単位	柏谷 圭 司
---------	-----------	---	--------------	--------

〔講義目的・テーマ〕

我々の祖先の遺した造形文化を研究理解することは、自分自身の教養を高めると共に、それにまつわる、様々な事項が現在社会にどう関わっているかを知ることは、社会人として、優れた幼児教育者となる為に必要なことであります。先史時代から現代に至るまでの造形文化は、美術や音楽に留まらず、我々の生活のあらゆる分野に解けこんで存在しています。生存の生活の為、精神の充実の為、あるいは生産の形をとることもありますが、いずれにせよ、民族の未来がかかっていると云えます。それらは、幼児の素朴な造形表現活動の発達段階と一致するところがあります。当講座においては、教師と学生と一緒に研究テーマに添った中で博物館、美術館等を廻り、世界の建築、彫刻、絵画、工芸など、幅広い分野において鑑賞し、その歴史的背景と現在との結び付きを、より深く研究し、幼児教育者に必要な要素を探ることを目的とします。

〔授業計画と内容〕

1. 各自の研究テーマに添って、出来るだけ多くの作品を鑑賞し研究内容によって作家訪問なども加え、自身で感じたものをレポートにまとめる。
2. 実践的、技術的修得も加味し、幼児教育者に必要な要素を引き出す研究も課す。

〔履修のポイント・注意点〕

各自の研究分野に従い全国の博物館、美術館などの所蔵品を検索し積極的に鑑賞する。後期においては、研究した内容をレポートにまとめ、技術的観点からの作品を創作する。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。
博物館、美術館訪問後レポートによる評価。
創作作品提出による評価。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専	造形実技	専	選択必修 通2単位	粕谷圭司
18				

〔講義目的・テーマ〕

幼い子供達が絵を描くということは、切実な営みである。人類は前肢が歩行から開放されて自由になったとき、道具を用いることが出来るようになり、手でものを作れるようになったと同じように、幼児がはいはいから解放されて、立って歩行出来るようになる一才から一才半の時期は重要な時期である。単に手が使える、というばかりでなく自主的に人生に出会う時期である。自由になった手はあらゆる造形的経験をもとめてやなまい。なぐり描きに引かれた線によって、顔や花や人間というシンボルのイメージが刺激される。なぐり描きは記号の母体であると同時にイメージの母体である。3才から5才にかけて幼児は能動性においてはるかに強烈である、経験領域はいつそうひろがる。体はがっしりしてくる。走る、跳ぶ、ものを叩く、にぎる、ひっかく、ちぎる、破る、道具を使う、体験することへの好奇心と喜びがある。そのような生活の中に絵を描いたり、粘土や砂でものをつくる活動が位置づけられる。形の表現が現実から切り取った獲物であるところに、単なる行為としての経験とは異質な不思議な喜びと驚きの理由がある。言葉が自由に使えないにもかかわらず、内部の感情を外化しようとする強い欲求は、なぐり描きの内部に託されるようになるのである。言葉が発達すると、絵と言葉とは相互に協力しながら同時に行為となる。幼い子供にとって絵を描くことは、心の内部にひそみ、充実した感情や認識した事物、現わしたい行動にいたる広い領域を、まず外化し表出することによって、身我と外界とのかかわりを流通させようとする欲求に貫かれているのである。以上の観点から当講座では、幼児の芸術的表出の発達について、実際の絵や彫刻などを参考にしながら研究を進める場としたい。

〔授業計画と内容〕

当講座においては、幼児の発達段階について重点的に研究し、特に絵画表出の発達をテーマとし実践的に進める。

前期は各自、書物等により理論的に発達段階を把握する講義とし、後期においては、それに基づき実際の絵画等から絵画表出の状況を研究する場とする。

〔履修のポイント・注意点〕

各自の自発性を期待し、積極的に課題に取り組んでもらいたい。特に絵画表出についての研究には資料として幼児の描いた絵等が必要となるので、様々な機会を通じて集める努力をしておくこと。

〔成績評価の方法〕

出席を重視する。

前期・後期に2回研究状況を評価し、最終的には研究発表によって全体評価とする。

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

なし。

専 19	現代児童福祉 問題の研究	専	選択必修 通4単位	川 瀬 善 美
---------	-----------------	---	--------------	---------

〔講義目的・テーマ〕

1994年は国際家族年とすることを国連は決定し様々なイベントを実施した。

今やこのような形で取り上げなければならない程家族崩壊が世界的共通現象であることの別の表現であろう。

子どもにとって成長途上で体験する生活環境は、まず家庭生活であろう。だとしたならば、子どもの人格形成上の観点から無視できない問題であろう。

家族の崩壊の例だけではなく子どもの生活上のバランスを崩す社会変動が起こっている。

しかもそれは最近の特徴的現象ではなく昭和30年代前半、いわゆる高度経済成長の兆しと共に現われはじめ徐々にしかも確実に速度を加えてきたものである。

そうして、その今や子どもの生活環境の「瀬」となった様々な阻害要因が確実に子供たちを蝕んでいる。それらについて検証してみる。

時代が大きく変貌し、従来の児童観や児童福祉観を改め新しいものを作り上げるべき時期にきている現在、児童福祉とはなにか、これからの児童福祉にとって何が必要なのかについて再考し、展望してみる。

〔授業計画と内容〕

- 4月5月 現代社会と児童問題について
- 6月 非社会的問題行動と反社会的問題行動について
- 7月9月 家庭崩壊と児童問題発生メカニズム
- 10月11月 要保護児童の現状
- 12月1月 ノマライゼーションやインテグレーションについて

〔履修のポイント・注意点〕

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等のマスメディアに日頃より注意を払い、現在の子ども状況についてタイムリーに観察すること。

〔成績評価の方法〕

期末テーマを与えレポートを課し評価を行なう。

〔使用テキスト〕

「子どもの権利」古川孝順著 有斐閣選書

〔指定参考図書〕

専 20	障害児保育の研究	専	選択必修 2単位	中 谷 陽 子
---------	----------	---	-------------	---------

〔講義目的・テーマ〕

学生は、次の5項目を参考にして授業の性格を理解・選択して下さい。

1. 障害児保育に深い関心を抱く学生を対象とする。
2. 障害によって発達が遅れたり、片寄ってしまう子どもの実際を理解するために、観察のしかた、教材やおもちゃの与え方の工夫、コミュニケーションのとり方などを研究する。
3. 客観的に子どもの発達を把握する方法として、発達検査の実施を練習する。
4. 障害児の親との話し合い方について勉強する。
5. 参考文献は、専門雑誌「発達教育」(5年分)を利用する。

〔授業計画と内容〕

〔履修のポイント・注意点〕

〔成績評価の方法〕

〔使用テキスト〕

なし。

〔指定参考図書〕

授業中に提示する。

専	幼稚園実習	専	選択必修 実習2単位	
21	保育所実習			

※履修する場合、どちらかを選択すること。

※別に指導・指示する。

講 義 概 要

平成7年度(1995年)

平成7年4月1日発行

編集・発行 **白鷗女子短期大学事務局**

〒323 栃木県小山市大行寺1117
電 話 0285 (22) 8900 (代表)
FAX 0285 (22) 0800